

Title	東京歯科大学研究年報 : 平成16年度
Journal	東京歯科大学研究年報, (): -
URL	<a href="http://hdl.handle.net/10130/389">http://hdl.handle.net/10130/389</a>
Right	

## 1. 歯科保存学第一講座

### プロフィール

#### 1. 教室員と主研究テーマ

教授	中川 寛一	根管形態に関する歯内療法的検討 NiTi 根管拡大機器の特性と臨床応用に関する研究 歯内療法におけるレーザーの応用
助教授	伊藤 彰人	根管の器械的拡大・形成に関する研究
講師	近藤 祥弘	歯内療法処置に応用される剤(材)品に関する研究
	森永 一喜	歯内療法処置時の偶発症の処置に関する研究
	加藤 広之	根管の器械的拡大・形成に関する研究 歯内療法処置に応用される材(剤)品に関する研究 歯髄腔形態の三次元的解析
助手	古澤 成博	歯髄 - 材(剤)品の接触界面に関する検討
	市之川 浩	外科的歯内療法処置に関する研究 自家歯牙移植について
	渡部 光弘	歯内療法処置に応用される材(剤)品に関する研究
	土倉 康	根管処置に伴う歯根膜組織の傷害とその保護に関する研究
	八ッ橋孝彰	歯内療法処置に応用される材(剤)品に関する研究
	萩原 領一	根管の器械的拡大・形成に関する研究
	末原 正崇	歯内療法処置に応用される剤(材)品に関する研究

#### 2. 成果の概要

##### 1) ニッケルチタン製根管拡大器具の歯内療法学臨床基礎実習応用への試み

歯内療法学の臨床前基礎実習において根管処置は、そのカリキュラムの上で多くの時間を割り当てている。なかでも根管拡大形成の実技教育には、教育サイド、受講サイドの双方ともに多大な労力を傾注せざるを得ない。本学の歯内療法学基礎実習においても一昨年度までは全実習時間(58.5時間)の15%(9時間)を根管拡大形成実習に当てており、髓室開拓から根管拡大形成までの一連の切削操作の実習を含めると42%(24時間)を占めている。

本年度歯内療法学基礎実習においてNiTi製器具根管拡大形成実習を試行した。本実習は拡大形成実習枠の最終回に3コマ、4時間30分を充当し、2時間ずつ交代で半数の学生がNiTi製器具を用いた実習(残り半数の学生は齶蝕天然歯実習を実施)を行った。

NiTi製器具の破折は透明ブロック根管模型実習では発現しなかった。重ね合わせ実体顕微鏡像では根尖1/3部において、ほとんどの学生が根管経路に追従した形成を行っており、著しい根尖孔部の移動は8例にすぎなかった。抜去天然歯の切削実習では3例で器具破折を来した。学生アンケートでは、NiTi製器具拡大形成法と手用器具主体の拡大形成法を比較して自己評価や疑問点を挙げた記載が多数みられ、単に手技トレーニングに止まらず根管形成全体を再思考する機会となっていることが窺われた。

日歯保存誌 47(秋季特別号), 214, 2004.

##### 2) 各種歯牙保存液が培養歯根膜に及ぼす影響

再植時における歯根膜組織の状態はその後の治癒に大きな影響を及ぼすものとされている。歯根膜組織を

可及的に健常維持するためには口腔外環境における当該組織の保護を目的とした歯牙保存液の応用が必要となる。種々な歯牙保存液が歯根膜細胞に及ぼす影響について検討した。保存液には牛乳、歯牙保存液「ネオ」、歯牙保存液「EMTトゥースセーバー」、滅菌等張食塩水を採用した。4週齢Wistar系ラットより得られた歯根膜細胞を15%FBS含有・MEMにて、37℃、5%CO<sub>2</sub>下にて継代培養した。実験には5代から10代継代培養した細胞を使用し、コールターカウンターにて細胞数の測定および万能写真顕微鏡にて形態観察を行った。細胞数は牛乳およびTP液が他の保存液と比べ高い値を示しており、統計的にも有意差が認められた。一方全ての保存液において細胞数は経時的に減少傾向を示し、48時間後ではほぼ残存していなかった。細胞形態については8時間経過後、滅菌等張食塩液において原形質突起および細胞質の縮小を示し、それ以外は正常な線維芽細胞様形態を呈した。48時間経過後では全ての保存液でほとんどの細胞がディッシュ底面から剥離し円形を呈していた。今回歯根膜細胞の保護という観点から牛乳ならびにTP液の有用性が示された。

日歯保存誌 47(秋季特別号), 49, 2004.

### 3) レーザー溶接を応用した根管内破折機器除去法に関する研究

歯内療法時の偶発症の中で小機器の破折・残留は比較的頻度が高い。近年、顕微鏡下での処置が可能となり除去率が飛躍的に向上したものの除去には多くの労力と時間を必要とすることが多く、さらに根管内で開閉を伴う機器の使用は作業領域の確保といった点からも困難である。そこでレーザー溶接を応用した根管内破折機器除去法を考案し他の除去法と比較検討を行った。試料としてステンレス製K-ファイル20号とNITI製ファイルを各5本ずつ用いた。ファイルを先端から8mmの位置で切断し、切断部をアルミ製チップ(Endo-EZ tip, ヨシダ社製)に2mm挿入した。そして逆側より光ファイバーの先端がファイル切断部に接触するまでチップ内に挿入、接触を保持した状態でNd:YAGレーザーにて1秒間レーザー照射した。これらをポリエステル樹脂系の包埋材にて包埋し、EXACTBS300CP薄切器を用いて溶接部を含む断面で薄切後、走査型電子顕微鏡(SEM)にて溶接部の状態を、またエックス線マイクロアナライザー(XMA)を用いて溶接部の金属元素の分布を観察した。その結果、SEM観察レーザーが直接的に作用したと思われる部位では、金属表面が溶融した跡とそれが再硬結したときに生じたと思われるバブル様構造物が観察された。XMA観察溶接部での金属原子の分布が観察された。

日歯保存誌 47(春季特別号), 48, 2004.

### 3. 学外共同研究

担当者	研究課題	学外研究施設		
		研究施設	所在地	責任者
中川 寛一	Microscopic Endodontics	Pacific Endodontics Research Foundation	San Diego, USA	G. B. Carr

4. 科学研究費補助金・各種補助金

研究代表者	研究課題	研究費
中川 寛一	歯内療法関連疾患の精細画像データベースの構築と教育素材としての活用	平成 16 年度高等教育改革維持経費
中川 寛一 (研究分担者)	歯のう蝕治療での細菌学的アプローチと再生治療	科学研究費・基盤 ( A )
古澤 成博 (研究分担者)	根尖切除によって生じた骨創腔の生物学的修復法	科学研究費・基盤 ( A )

5. 研究活動の特記すべき事項

シンポジウム

シンポジスト	年月日	講演演題	学会・研究会名	開催地
中川 寛一	2004.10.16	歯内療法と手術用顕微鏡の 10 年 (特別講演)	第 278 回東京歯科大学 学会総会	千葉市
中川 寛一	2004.10.31	歯内療法のフロンティア マイクロエンドドンティクス	第 20 回日本歯科医学会 総会	横浜市

6. 教育講演等教育に関する業績, 活動

教育ワークショップ等

氏名	年月日	ワークショップ名	役割	開催地
森永 一喜	2004. 6.18 ~19	平成 16 年度第 1 回共用試験歯学系 OSCEワークショップ	参加者	札幌市
森永 一喜	2004. 8.27 ~28	平成 16 年度第 2 回共用試験歯学系 OSCEワークショップ	補助員	千葉市
末原 正崇	2004.10. 2 ~ 3	第 12 回東京歯科大学カリキュラム 研修ワークショップ	参加者	千葉市
土倉 康	2004.11.25	東京歯科大学カリキュラム研修ワーク ショップ第 1 回アドバンスコース	参加者	千葉市
八ッ橋孝彰	2004.11.25	東京歯科大学カリキュラム研修ワーク ショップ第 1 回アドバンスコース	参加者	千葉市
近藤 祥弘	2005.12. 9	東京歯科大学カリキュラム研修ワーク ショップ第 2 回アドバンスコース	参加者	千葉市
市之川 浩	2005.12. 9	東京歯科大学カリキュラム研修ワーク ショップ第 2 回アドバンスコース	参加者	千葉市
渡部 光弘	2005.12. 9	東京歯科大学カリキュラム研修ワーク ショップ第 2 回アドバンスコース	参加者	千葉市

共用試験等

氏名	年月日	種別	役割	開催地
加藤 広之	2004.11.20	平成 16 年度歯科臨床研修医 OSCE	評価者	千葉市
古澤 成博	2004.11.20	平成 16 年度歯科臨床研修医 OSCE	副委員長	千葉市
土倉 康	2004.11.20	平成 16 年度歯科臨床研修医 OSCE	評価者	千葉市
八ッ橋孝彰	2004.11.20	平成 16 年度歯科臨床研修医 OSCE	器材係	千葉市
土倉 康	2004.11.20	平成 16 年度歯科臨床研修医 OSCE	器材係	千葉市
末原 正崇	2004.11.20	平成 16 年度歯科臨床研修医 OSCE	誘導係	千葉市
萩原 領一	2004.11.20	平成 16 年度歯科臨床研修医 OSCE	器材係	千葉市
森永 一喜	2005. 2.26	平成 16 年度第 4 学年 OSCE	評価者	盛岡市
加藤 広之	2005. 2.27	平成 16 年度第 4 学年 OSCE	評価者	千葉市
古澤 成博	2005. 2.27	平成 16 年度第 4 学年 OSCE	評価者	千葉市
土倉 康	2005. 2.27	平成 16 年度第 4 学年 OSCE	器材係	千葉市

## 解 説

1. 中川寛一：根管処置についての考えかた，歯界月報 **635**, 45～49, 2004.
2. 浅井康宏：ニッケルチタン製ロータリーファイルの根管壁切削特性について，静岡県歯報 **37**(4), 9～16, 2004.
3. 中川寛一：歯の外傷と処置 再植後の治癒変化について ，日歯評論 **64**(10), 83～91, 2004.
4. 加藤広之：Endo の兵法-Endodontic Strategy & Tactics 1 根管形態の捉え方を再考しよう，歯界展望 **105**(1), 131～138, 2005.
5. 加藤広之：Endo の兵法-Endodontic Strategy & Tactics 1 臨床で使いやすい根管分類を考える，歯界展望 **105**(2), 315～320, 2005.
6. 加藤広之：Endo の兵法-Endodontic Strategy & Tactics 1 X線画像から根管形態診断をしよう，歯界展望 **105**(3), 553～558, 2005.

## 単行図書

1. 中川寛一：著分担：カラーアトラスハンドブック 歯内療法臨床ヒント集 (a)第 6 章 生活歯髄切断法(生活断髄法) 63～69 頁，クインテッセンス出版，東京，2004.
2. 加藤広之：著分担：カラーアトラスハンドブック 歯内療法臨床ヒント集 (a)第 9 章 感染根管治療 1.根管の器械的清掃 95～105 頁,(b)第 9 章 感染根管治療 2.根管の化学的清掃 106～109 頁,(c)第 9 章 感染根管治療 3.根管消毒 110～112 頁，クインテッセンス出版，東京，2004.
3. 萩原領一：著分担：カラーアトラスハンドブック 歯内療法臨床ヒント集 (a)第 12 章 象牙質知覚過敏症 151～159 頁，クインテッセンス出版，東京，2004.
4. 末原正崇,森永一喜：著分担：カラーアトラスハンドブック 歯内療法臨床ヒント集 (a)第 15 章 歯髄・根管処置における偶発症への対応 187～200 頁，クインテッセンス出版，東京，2004.

## その他

1. 末原正崇,萩原領一,ハツ橋孝彰,中川寛一：レーザー溶接を応用した根管破折機器の除去(第 20 回日本歯科医学会総会テーブルクリニック),日歯医会誌 **57**(4), 383, 2004.
2. 中川寛一：平成 16 年度卒後研修保存学テキスト，東京都歯科医師会，1～66, 2004.
3. 中川寛一：根管貼薬剤と根管充填材の選択基準，クインテッセンスイヤーブック 2004, 234～235, 2004.
4. 加藤広之：効率的で確実な根管乾燥・根管貼薬，Dental Magazine **113**, 54～59, 2004.
5. 森永一喜：ガッタパーチャの有効な除去法とは？, Dental Frontier **30**, 52～53, 2005.

## 学会抄録

1. 加藤広之, 土倉 康, 中川寛一 : コア・キャリアー法による新しい加温軟化ガッタパーチャ根管充填法術式, 日歯医会誌 **57**(4), 404, 2004.(第 20 回日本歯科医学会総会, 横浜市)
2. 中川寛一 : 歯内療法と手術用顕微鏡の 10 年(特別講演), 歯科学報 **103**(5), 502, 2004.(第 278 回東京歯科大学学会総会, 千葉市)
3. 齋藤健介, 末原正崇, 土倉 康, 井原郁夫, 中川寛一 : ヒアルロン酸が歯根端切除後の骨創腔治癒に及ぼす影響(第 1 報), 日歯保存誌 **47**(春季特別号), 43, 2004.(第 121 回日本歯科保存学会春季学会, 東京) 実動施設
4. 萩原領一, ハッ橋孝彰, 藤井理絵, 中川寛一, 小田 豊<sup>(1)</sup> : レーザー溶接を応用した根管内破折機器除去に関する研究(第 2 報), 日歯保存誌 **47**(春季特別号), 48, 2004.(第 121 回日本歯科保存学会春季学会, 東京) (1)理工
5. 萩原領一, 末原正崇, 中川寛一, 小田 豊<sup>(1)</sup> : レーザー溶接を応用した根管内破折機器除去に関する研究(第 2 報) 破折機器溶接界面の観察, 歯科学報 **103**(3), 359, 2004.(第 277 回東京歯科大学学会例会, 千葉市) (1)理工
6. Hagiwara,R., Nakagawa,K., Oda,Y.<sup>(1)</sup> : Study of broken instrument removal root canal using laser welding, IFEA Sixth Endodontic World Congress Handbook and Abstracts, 64 ~ 65, 2004.(IFEA Sixth Endodontic World Congress, Queensland, Australia) (1)理工
7. 井原郁夫, 齋藤健介, 山田雅司, 奥村礼二郎, 小林鉄也, 齋藤百合子, 福山賀子, 中川寛一 : 各種歯牙保存液が培養歯根膜に及ぼす影響, 日歯保存誌 **47**(秋季特別号), 49, 2004.(第 122 回日本歯科保存学会秋季学会, 長崎市)
8. 青柳彩, 島田友美, 二宮寿祥, 間宮朋子, 藤本 誠, 渡辺 諭, 土倉 康, ハッ橋孝彰, 中川寛一 : ニッケルチタン製根管拡大器具の歯内療法学臨床基礎実習応用への試み, 日歯保存誌 **47**(秋季特別号), 214, 2004.(第 122 回日本歯科保存学会秋季学会, 長崎市)
9. 山田雅司, 齋藤健介, 井原郁夫, 中川寛一 : 培養歯根膜に対する各種歯牙保存液の影響, 第 4 回日本外傷歯学会総会・学術大会プログラム抄録集, 54, 2004.(第 4 回日本外傷歯学会総会, 東京)
10. 高橋俊之<sup>(1)</sup>, 佐藤 亨<sup>(1)</sup>, 中川寛一, 久永竜一<sup>(1)</sup>, 山田敏勝<sup>(1)</sup>, 三穂乙暁<sup>(1)</sup>, 鈴木雄太<sup>(1)</sup> : 多孔質ファイアインプラントの長期臨床経過 天然歯との連結症例 , 歯科学報 **103**(5), 537, 2005.(第 278 回東京歯科大学学会総会, 千葉市) (1)補綴 II

## 2. 歯科保存学第二講座

### プロフィール

#### 1. 教室員と主研究テーマ

教授	山田 了	歯周療法全般
	角田 正健	口臭
助教授	渋川 義宏	歯根膜細胞が骨再生に及ぼすテトラサイクリンの影響 (A97-0410-51)
講師	森山 貴史	GTR法の骨再生に関する研究 (A96-0410-49)
	関口 一実	GTR法の吸収性膜露出が新生組織に及ぼす影響 (A97-0410-53)
	太田 幹夫	プラークがインプラント周囲の軟組織に及ぼす影響 (A98-0410-55)
助手	伊藤 明代	簡便DNAプローブ法の開発と臨床応用 (A98-0410-54)
	伊藤 太一	咬合性外傷が歯周組織に及ぼす影響 (A98-0410-56)
	杉戸 博記	再生歯根膜の分化・誘導に関する研究 (A97-0410-52)
	小川 貴也	再生組織における組織応答に関する研究 (A00-0410-59)
	鈴木 道子	歯周組織の発生
	増田 浩之	サルにおける咬合性外傷に関する研究 (A99-0410-57)
病院助手	稲垣 覚	歯周病原性細菌に対する線毛抗体 (A00-0410-60)
	杉本 真慈	再生組織における組織応答に関する研究 (A00-0410-59)
大学院生	小野寺博子	エナメルマトリックスプロテインの歯根膜由来細胞に対する影響 (A00-0410-62)
	丹野 光恵	ラット歯肉上皮におけるLaminin-5, Integrin $\alpha_4$ の発現 (A00-0410-63)
	山崎 智子	<i>Treponema denticola</i> dentilisinの補体成分C3に対する影響 (A00-0410-64)
	片山 明彦	自己増殖歯根膜組織の歯牙移植に対する効果 (A00-0410-65)

#### 2. 成果の概要

##### 1) エナメルマトリックスプロテインの歯根膜由来細胞に対する影響 (A00-0410-62)

GTR法を用いて骨原性細胞の増殖の場を確保し, *in vivo*においてエナメルマトリックスプロテイン(EMP)が骨再生に及ぼす影響を検索した結果, EMPは歯周組織再生, 特に硬組織再生の初期に作用する事が示唆された.

Biomed Res **26**(2), 69~77, 2005.

##### 2) ラット歯肉上皮におけるLaminin-5, Integrin $\alpha_4$ の発現 (A00-0410-63)

付着上皮のエナメル表面あるいは露出根面への接着機構を解明する目的で, ラット歯肉初代培養細胞を用い, 付着上皮の細胞接着に関与すると考えられている接着タンパクのIntegrin  $\alpha_4$ と, そのリガンドである細胞外マトリックスのLaminin-5およびサブユニット $\alpha_3$ ,  $\beta_3$ ,  $\gamma_2$ の発現を細胞生物学的及び免疫組織化学的に検討した結果, 付着上皮細胞のエナメル表面への接着には, 付着上皮細胞からのLaminin-5の産生と基底面細胞膜上のIntegrin  $\alpha_4$ の発現が重要である事が示唆された.



### 3. 学外共同研究

担当者	研究課題	学外研究施設		
		研究施設	所在地	責任者
杉戸 博記	下顎正中部の形態形成における Indian hedgehog の役割	Division of Orthopaedic Research, Department of Periodontics, Jefferson Medical College of Thomas Jefferson University	USA	Pacifici, M
杉戸 博記	発生からみた歯周組織再生メカニズムにおける CCN ファミリーの役割	Division of Orthopaedic Research, Department of Periodontics, Jefferson Medical College of Thomas Jefferson University	USA	Koyama, E

### 4. 科学研究費補助金・各種補助金

研究代表者	研究課題	研究費
太田 幹夫 (分担者)	根尖性歯周炎により破壊された歯周組織の治療のメカニズムの解明と再生医療への応用	科学研究費・基盤 (A)
山田 了	自己の増殖歯根膜組織の歯周組織再生における役割と新しい再生療法の開発	平成 16 年度私立大学経常費補助金 1. 大学院高度化推進特別経費
山田 了	シュミレーションシステムの導入による歯科臨床教育の合理化・能率化	科学研究費・基盤 (A)
衣松 高志	マウス付着上皮内側基底板および外側基底板における laminin-5 の発現の違い	私立大学等経常費補助金 (大学院整備充填化経費 学生分)
丹野 光恵	歯肉付着上皮の歯面への接着機構に関する研究	私立大学等経常費補助金 (大学院整備充填化経費 学生分)

### 5. 研究活動の特記すべき事項

#### シンポジウム

氏名	年月日	学会名	役割	開催地
山田 了	2004. 5.21	ティッシュエンジニアリングを用いた歯周組織再生	座長	鹿児島市
太田 幹夫	2004. 5.21	ティッシュエンジニアリングを用いた歯周組織再生	シンポジスト	鹿児島市

6. 教育講演等教育に関する業績, 活動

教育ワークショップ等

氏名	年月日	ワークショップ名	役割	開催地
角田 正健	2004. 5. 15 ~16	第 11 回東京歯科大学カリキュラム 研修ワークショップ	タスクフォース	千葉市
太田 幹夫	2005. 1. 13	東京歯科大学カリキュラム研修ワーク ショップ第3回アドバンスコース	参加者	千葉市
杉戸 博記	2005. 1. 13	東京歯科大学カリキュラム研修ワーク ショップ第3回アドバンスコース	参加者	千葉市
伊藤 明代	2005. 1. 20	東京歯科大学カリキュラム研修ワーク ショップ第4回アドバンスコース	参加者	千葉市
伊藤 太一	2005. 1. 20	東京歯科大学カリキュラム研修ワーク ショップ第4回アドバンスコース	参加者	千葉市
小川 貴也	2005. 1. 20	東京歯科大学カリキュラム研修ワーク ショップ第4回アドバンスコース	参加者	千葉市
杉戸 博記	2005. 3. 19 ~20	第 15 回東京歯科大学カリキュラム 研修ワークショップ	タスクフォース	千葉市
角田 正健	2005. 3. 24	平成 16 年度東京歯科大学千葉病院 歯科臨床研修医ワークショップ	タスクフォース	千葉市
杉戸 博記	2005. 3. 24	平成 16 年度東京歯科大学千葉病院 歯科臨床研修医ワークショップ	タスクフォース	千葉市

共用試験等

氏名	年月日	種別	役割	開催地
太田 幹夫	2005. 2. 27	平成 16 年度第 4 学年 OSCE	評価者	千葉市
杉戸 博記	2005. 2. 27	平成 16 年度第 4 学年 OSCE	評価者	千葉市
伊藤 太一	2005. 2. 27	平成 16 年度第 4 学年 OSCE	評価者	千葉市
関口 一実	2005. 2. 27	平成 16 年度第 4 学年 OSCE	評価者	千葉市
小川 貴也	2005. 2. 27	平成 16 年度第 4 学年 OSCE	器材係	千葉市

## 論 文

1. Suzuki,A.<sup>(1)</sup>, Guijin,J.<sup>(2)</sup>, Numabe,Y.<sup>(3)</sup>, Muramatsu,M.<sup>(3)</sup>, Gomi,K.<sup>(4)</sup>, Kanazashi,M.<sup>(4)</sup>, Ogata,Y.<sup>(5)</sup>, Shimizu,E.<sup>(5)</sup>, Shibukawa,Y., Ito,A., Ito,T., Sugaya,A.<sup>(6)</sup>, Arai,T.<sup>(4)</sup>, Yamada,S., Deguchi,S.<sup>(6)</sup>, Kamoi,K.<sup>(3)</sup> : Single nucleotide polymorphisms associated with aggressive periodontitis and severe chronic periodontitis in Japanese, *Biochem Biophys Res Commun* **317**(3), 887 ~ 892, 2004. 原著 (1)日歯大・総合診療科,(2)HuBit Genomix Inc.,(3)日歯大・歯周病,(4)鶴見大・歯・保存 2,(5)日大・松戸歯・歯周病,(6)神歯大・歯周病
2. 久野彰子<sup>(1)</sup>, 佐藤 聡<sup>(1)</sup>, 鴨井久博<sup>(2)</sup>, 高柳和明<sup>(1)</sup>, 伊藤明代, 伊藤太一, 渋谷義宏, 山田 了, 鴨井久一<sup>(1)</sup> : アスコルビン酸ナトリウム配合歯磨剤の歯周炎に対する臨床効果, *日歯周病会誌* **46**(2), 137 ~ 142, 2004. 原著 (1)日歯大・歯周病,(2)日医大・千葉北総病院・歯科
3. Shimo,T.<sup>(1)</sup>, Kanayama,M.<sup>(1)</sup>, Wu,C.<sup>(1)</sup>, Sugito,H., Billings,P.C.<sup>(2)</sup>, Abrams,W.R.<sup>(2)</sup>, Rosenbloom,J.<sup>(2)</sup>, Iwamoto,M.<sup>(2)</sup>, Pacifici,M.<sup>(2)</sup>, Koyama,E.<sup>(2)</sup> : Expression and roles of connective tissue growth factor in Meckel's cartilage development, *Dev Dyn* **231**(1), 136 ~ 147, 2004. 原著 (1)Dept. of Orthopaedic Surgery , Thomas Jefferson Univ.,(2)Dept. of Orthopaedic Surgery , School of Medicine , Univ. of Pennsylvania
4. Sugimoto,S., Ota,M., Shibukawa,Y., Yamada,S. : Formation of new periodontal ligament around transplanted teeth with proliferating tissue in periodontal osseous defect under barrier membrane, *Biomed Res* **25**(4), 179 ~ 187, 2004. 原著 細形研 実動施設
5. Onodera,H., Shibukawa,Y., Sugito,H., Ota,M., Yamada,S. : Periodontal regeneration in intrabony defects after application of enamel matrix proteins withguided tissue regeneration: An experimental study in dogs, *Biomed Res* **26**(2), 69 ~ 77, 2005. 原著 細形研,保情研,分子生研 実動施設

## 解 説

1. 高橋潤一, 山田 了 : エナメルマトリックスデリバティブをヒト歯槽骨縁下欠損に対する非外科的歯周治療に応用した症例の組織学的検索, *Int J Periodontics Restorative Dent Japan* **12**(1), 100, 2004.
2. 高橋潤一, 山田 了 : 多血小板血漿(PRP)と有機物を除去したウシ骨(Bio-oss)のウサギ頭蓋骨の骨欠損における評価:パイロットスタディ, *Quintessence Dent Imp* **11**(3), 62 ~ 65, 2004.
3. 渋谷義宏, 山田 了 : 慢性歯周炎患者の歯周ポケットに対する Nd:YAG レーザー,CO2 レーザー,超音波スケーリングの治療効果の比較, *Int J Periodontics Restorative Dent Japan* **12**(2), 88 ~ 89, 2004.
4. 渋谷義宏, 山田 了 : 集中的抗菌治療が喫煙者の2度分岐部病変におけるGTR法に及ぼす影響について, *Int J Periodontics Restorative Dent Japan* **12**(3), 88 ~ 89, 2004.
5. 渋谷義宏, 山田 了 : ヒト歯肉退縮に対するエナメルマトリックスデリバティブ(EMD)を併用した歯肉弁歯冠側移動術と結合組織移植術との比較, *Int J Periodontics Restorative Dent Japan* **12**(4), 92, 2004.
6. 太田幹夫, 山田 了 : 動揺のために除去した歯科用インプラントの臨床的,組織学的研究, *Int J Periodontics Restorative Dent Japan* **12**(5), 86, 2004.

7. 森山貴史<sup>(1)</sup>, 山田 了 : 歯周疾患および即時埋入がインプラント生存率に及ぼす影響の長期的後向き研究, Quintessence Dent Imp **11**(6), 782 ~ 788, 2004. (1)水病・保存科
8. 森山貴史<sup>(1)</sup>, 山田 了 : 残存歯根片由来の退行性インプラント周囲感染症の対処と予防:2 例の症例報告, Int J Periodontics Restorative Dent Japan **12**(6), 19 ~ 28, 2004. (1)水病・保存科
9. 太田幹夫, 山田 了 : Er:YAG レーザーあるいはスケーリング・ルートプレーニングによる歯周治療.2 年間経過観察したスプリットマウス研究, Int J Periodontics Restorative Dent Japan **12**(6), 84 ~ 86, 2004.
10. 小川貴也, 山田 了 : オッセオタイトインプラントにおける即時暫間修復物:18 ヶ月後の臨床報告, Quintessence Dent Imp **12**(1), 88 ~ 96, 2005.
11. 杉戸博記, 山田 了 : 上顎洞への移植術を行った部位に埋入したインプラントの生存率に関するレビュー, Int J Periodontics Restorative Dent Japan **13**(1), 59 ~ 67, 2005.
12. 太田幹夫, 山田 了 : ヒトにおけるインプラント周囲炎治療後の 5 年間の臨床的、微生物学的、X 線学的な治療効果の評価, Int J Periodontics Restorative Dent Japan **13**(1), 86 ~ 87, 2005.

#### 単行図書

1. 長谷川紘司<sup>(1)</sup>, 野口俊英<sup>(2)</sup>, 山田 了, 花田信弘<sup>(3)</sup>, 眞木吉信<sup>(4)</sup>, 山崎洋治<sup>(5)</sup> : 共著 :歯周病と全身の健康を考える, 医歯薬出版, 東京, 2004. (1)昭和大・歯・歯周治療 ,(2)愛知学院大・歯・保存3,(3)国立保健医療学院・口腔保健部,(4)衛生,(5)(財)ライオン歯科衛生研究所

#### その他

1. 山田 了 : ティッシュエンジニアリングを用いた歯周組織再生, 日歯周病会誌 **46**(春季特別), 41, 2005.
2. 太田幹夫 : 自己の再生歯根膜組織再生システムの開発と臨床応用, 日歯周病会誌 **46**(春季特別), 44, 2005. 細形研,保情研 実動施設

#### 学会抄録

1. 鈴木麻美<sup>(1)</sup>, 沼部幸博<sup>(2)</sup>, 五味一博<sup>(3)</sup>, 金指幹元<sup>(3)</sup>, 小方頼昌<sup>(4)</sup>, 清水映美<sup>(4)</sup>, 渋川義宏, 伊藤明代, 伊藤太一, 菅谷 彰<sup>(5)</sup>, 新井 高<sup>(3)</sup>, 山田 了, 出口眞二<sup>(5)</sup>, 鴨井久一<sup>(2)</sup> : 一塩基多型 (SNP) 解析による歯周炎感受性遺伝子の検索, 日歯周病会誌 **46**(春季特別), 110, 2004.(第 47 回春季日本歯周病学会学術大会, 鹿児島市) (1)日歯大・総合診療科,(2)日歯大・歯周病,(3)鶴見大・歯・保存 2,(4)日大・松戸歯・歯周病,(5)神歯大・歯周病
2. 山崎智子, 宮本 暦<sup>(1)</sup>, 小林友子, 山田 了, 奥田克爾<sup>(1)</sup>, 石原和幸<sup>(1)</sup> : 白血球貪食作用に与える *Treponema denticola* プロテアーゼの影響, 日歯周病会誌 **46**(春季特別), 141, 2004.(第 47 回春季日本歯周病学会学術大会, 鹿児島市) 分子生研 (1)微生物
3. 杉本真慈, 太田幹夫, 片山明彦, 藤波弘州, 千葉 緑, 渋川義宏, 山田 了 : 自己増殖歯根膜組織の移植歯根における歯周組織再生能について, 日歯周病会誌 **46**(春季特別), 147, 2004.(第 47 回春季日本歯周病学会学術大会, 鹿児島市) 細形研,保情研,分子生研 実動施設

4. 片山明彦, 太田幹夫, 村野嘉則, 黒田美智代, 渋川義宏, 山田 了 : 自己増殖歯根膜組織の歯牙移植における創傷治癒について, 日歯周病会誌 **46**(春季特別), 148, 2004.(第 47 回春季日本歯周病学会学術大会, 鹿児島市) 細形研,保情研,分子生研 実動施設
5. 片山明彦, 太田幹夫, 村野嘉則, 林 智子, 渋川義宏, 山田 了 : 歯牙移植における自己増殖歯根膜組織応用後の創傷治癒について, 歯科学報 **104**(3), 73, 2004.(第 277 回東京歯科大学学会例会, 千葉市) 細形研,保情研,分子生研 実動施設
6. 杉本真慈, 太田幹夫, 片山明彦, 藤波弘州, 木暮隆司, 渋川義宏, 山田 了 : 歯周骨欠損内における膜下増殖組織応用後の歯牙周囲の歯根膜形成について, 歯科学報 **104**(3), 74, 2004.(第 277 回東京歯科大学学会例会, 千葉市) 細形研,保情研,分子生研 実動施設
7. 関野 仁, 石川一磨, 遠藤義典, 鴨打江里子, 北和田健吾, 五味渕京子, 伊藤太一, 山田 了 : 歯周療法学講座ポストグラデュエートコース第 6 期生による症例提示, 歯科学報 **104**(3), 104, 2004.(第 277 回東京歯科大学学会例会, 千葉市)
8. 太田幹夫, 片山明彦, 渋川義宏, 山田 了 : 自己間葉系幹細胞の再生・増殖システムの開発, 日歯医師会誌 **57**(4), 128, 2004.(第 20 回日本歯科医学会総会, 横浜市) 細形研,保情研 実動施設
9. 小野寺博子, 山本茂樹, 浅井裕之, 渋川義宏, 太田幹夫, 山田 了 : エナメルマトリックスプロテインが GTR における歯根膜由来細胞に及ぼす作用について, 日歯周病会誌 **46**(秋季特別), 78, 2004.(第 47 回秋季日本歯周病学会学術大会, 仙台市) 細形研,保情研 実動施設
10. 山本茂樹, 小野寺博子, 藤田貴久, 高橋潤一, 渋川義宏, 太田幹夫, 山田 了 : 多血小板血漿が GTR における硬組織形成能に及ぼす影響について, 日歯周病会誌 **46**(秋季特別), 85, 2004.(第 47 回秋季日本歯周病学会学術大会, 仙台市) 細形研,保情研 実動施設
11. 山崎智子, 宮本 暦<sup>(1)</sup>, 浅野裕之, 山田 了, 奥田克爾<sup>(1)</sup>, 石原和幸<sup>(1)</sup> : *Treponema denticola* dentilisin は補体成分 C3 を分解する, 日歯周病会誌 **46**(秋季特別), 99, 2004.(第 47 回秋季日本歯周病学会学術大会, 仙台市) 保情研,分子生研 (1)微生物
12. 丹野光恵, 衣松高志, 田中公文, 山田 了, 橋本貞充<sup>(1)</sup>, 下野正基<sup>(1)</sup> : ラット歯肉上皮初代培養細胞における Laminin-5, Integrin  $\alpha_4$  の発現, 日歯周病会誌 **46**(秋季特別), 103, 2004.(第 47 回秋季日本歯周病学会学術大会, 仙台市) 細形研,保情研 実動施設 (1)病理
13. 奥田倫子, 君塚隆太<sup>(1)</sup>, 大島みどり, 山田 了, 加藤哲男<sup>(1)</sup>, 石原和幸<sup>(1)</sup>, 奥田克爾<sup>(1)</sup> : *Treponema denticola* による血管内皮細胞傷害, 日歯周病会誌 **46**(秋季特別), 104, 2004.(第 47 回日本歯周病学会秋季学術大会, 仙台市) 保情研,分子生研 (1)微生物
14. 衣松高志, 丹野光恵, 木暮隆司, 橋本貞充<sup>(1)</sup>, 下野正基<sup>(1)</sup>, 山田 了 : レーザーマイクロダイセクションを用いたマウス付着上皮における laminin-5 発現の検討, 日歯周病会誌 **46**(秋季特別), 110, 2004.(第 47 回秋季日本歯周病学会学術大会, 仙台市) 細形研,保情研 実動施設 (1)病理

15. 富田幸代, 中崎俊克, 角田正健, 山田 了, 清水和正<sup>(1)</sup>, 前田雄一<sup>(1)</sup>, 大澤謙二<sup>(1)</sup> : 舌苔除去キャンディ開発に関する研究, 日歯周病会誌 **46**(秋季特別), 185, 2004.(第 47 回秋季日本歯周病学会学術大会, 仙台市) (1)(株)ロッテ中央研究所
16. 小野寺博子, 山本茂樹, 浅井裕之, 渋川義宏, 太田幹夫, 山田 了 : エナメルマトリックスプロテインが GTR における歯根膜由来細胞に及ぼす作用について, 歯科学報 **104**(5), 44, 2004.(第 278 回東京歯科大学学会総会, 千葉市) 細形研,保情研 実動施設
17. 太田 卓, 山田 了, 国分栄仁<sup>(1)</sup>, 松坂賢一<sup>(1)</sup>, 井上 孝<sup>(1)</sup> : ラット歯根膜幹細胞の治癒動態, 歯科学報 **104**(5), 45, 2004.(第 278 回東京歯科大学学会総会, 千葉市) 細形研,保情研 実動施設 (1)臨検査
18. 太田幹夫, 片山明彦, 渋川義宏, 穂坂康朗, 山田 了 : GTR に用いる吸収性膜および吸収性ピン併用システムの開発, 日口腔インプラント誌 **18**(1), 52, 2005.(第 34 回日本口腔インプラント学会総会・学術大会, 大阪市) 細形研, 保情研 実動施設
19. 片山明彦, 太田幹夫, 渋川義宏, 山田 了 : 歯牙移植における膜下増殖組織応用の効果, 日口腔インプラント誌 **18**(1), 57, 2005.(第 34 回日本口腔インプラント学会総会・学術大会, 大阪市) 細形研,保情研,分子生研 実動施設
20. Ohta,S., Yamada,S., Kokubu,E.<sup>(1)</sup>, Matsuzaka,K.<sup>(1)</sup>, Inoue,T.<sup>(1)</sup> : Behavior of stem cells of periodontal ligament during wound healing, J Dent Res (CD-ROM) **84**(Special Issue A), #1118, 2005.(83rd general session & exhibition of the IADR/AADR/CADR, Baltimore, USA) 細形研,保情研 実動施設 (1)臨検査
21. Tanno,M., Kinumatsu,T., Yamada,S., Matsuki,M.<sup>(1)</sup>, Muramatsu,T.<sup>(1)</sup>, Hashimoto,S.<sup>(1)</sup>, Shimono,M.<sup>(1)</sup> : Laminin-5, integrin-<sub>6 4</sub> in rat primary gingival epithelial cultured cells, J Dent Res (CD-ROM) **84**(Special Issue A), #2341, 2005.(83rd general session & exhibition of the IADR/AADR/CADR, Baltimore, USA) 細形研,保情研 実動施設 (1)病理
22. Yamazaki,T., Miyamoto,M.<sup>(1)</sup>, Yamada,S., Okuda,K.<sup>(1)</sup>, Ishihara,K.<sup>(1)</sup> : *Treponema denticola* dentilisin in phagocytosis of polymorphonuclear leukocytes, J Dent Res (CD-ROM) **84**(Special Issue A), #2342, 2005.(83rd general session & exhibition of the IADR/AADR/CADR, Baltimore, USA) 保情研,分子生研 (1)微生物
23. Sugito,H., Wu,C.<sup>(1)</sup>, Shibukawa,Y., Young,B.<sup>(1)</sup>, Minugh-Purvis,N.<sup>(2)</sup>, Pacifici,M.<sup>(1)</sup>, Koyama,E.<sup>(1)</sup> : Role of Indian hedgehog in mandibular symphyseal cartilage development, Journal of Dental Research (CD-ROM) **84**(Special Issue A), #2664, 2005.(83rd general session & exhibition of the IADR/AADR/CADR, Baltimore, USA) (1)Dept. of Orthopaedic Surgery, Thomas Jefferson Univ.,(2)Univ. of Pennsylvania School of Medicine

### 3. 歯科保存学第三講座

#### プロフィール

##### 1. 教室員と主研究テーマ

教授	石川 達也	顎口腔機能の不調和が全身におよぼす影響に関する研究
	平井 義人	歯の形成異常と変色・着色の実態とその治療
	槇石 武美	炭酸ガスレーザー装置 (Panalas10) による硬組織治療の臨床的観察
助教授	高瀬 保晶	2 波長発振レーザーは齲蝕の進行抑制効果があるか
講師	野呂 明夫	歯科医療における飛沫感染対策に関する研究
	加藤 純二	405nm 半導体レーザーの歯質及び軟組織に対する影響
助手	杉山 利子	吸収性コラーゲン膜を用いた GTR 法におけるコラーゲンスポンジのスペースメイキング効果について
	高橋 賢	顎口腔機能の不調和が全身におよぼす影響に関する研究
	武藤 由剛	各種修復材による修復後の窩洞内および象牙細管内微生物の存在状況について
	天谷 哲也	2 波長発振レーザーの軟組織応用に関する研究
	春山 親弘	Er: YAG レーザー窩洞に対するグラスアイオノマーセメント修復の効果
	篠原 崇	DIAGNOdent と極微小焦点 X 線 CT 撮影装置の比較, 検討
大学院生	五十嵐章浩	繰り返し速度を変化させた Er: YAG レーザーの応用
	相沢 甲也	繰り返し速度を変化させた Er: YAG レーザー照射象牙質への接着に関する研究
	明石 豪	Er: YAG レーザー照射象牙質面への歯面処理した時の歯髄反応に関する研究
	中澤妙衣子	ホームブリーチング法とオフィスブリーチング法が漂白効果に及ぼす影響
	大須賀敬悟	変色歯の色調変化とメカニズムに関する研究
	久木留伸享	2 波長レーザーの齲蝕治療効果

##### 2. 成果の概要

###### 1) 繰り返し速度を変化させた Er: YAG レーザーの応用

本研究の目的は, Er:YAG レーザーによる象牙質の切削において重要な因子である, 出力(W), 先端エネルギー(mJ/pulse), 繰り返しパルス数(pps)の違いが切削部分へおよぼす影響を検討し, 切削効率を向上させることにある.

ウシより抜去した下顎前歯の歯根部分より象牙質プレートを作製し試料とした. 照射距離 0.05mm, 注水量 2ml/min とし, 象牙質プレートは 1mm/sec で移動させた状態で Er:YAG レーザーの照射を行った. 照射条件は異なる先端エネルギー, 繰り返しパルス数を組み合わせた出力 1.0W 群, 1.5W 群, 2.0W 群で, 1.0W 群で 4 条件, 1.5W 群で 4 条件, 2.0W 群で 2 条件の計 10 条件とした. レーザー照射後, カラーレーザー顕微鏡にて切削深さ, 切削量の測定を行った. 測定後, 同一試料を用いて走査型電子顕微鏡 (SEM) で断面の形態および照射面の観察を行った.

切削深さ, 切削量ともに出力の増大により, その値は増大した. また先端エネルギーの増大によっても切削深さ, 切削量の増大が認められた. しかし, 繰り返しパルス数では, パルス数の増大によって切削深さ, 切削量の増大する傾向が認められるものの, その程度は不明であった. また, 切削部分の形態と出力の間には関連が認められ, 出力の変化と形態の変化はほぼ一致していた.

歯の硬組織切削においては出力だけでなく、それを構成する先端エネルギーと繰り返しパルス数のそれぞれの影響および組み合わせにより、切削力は大きく変化することが判明した。そして、本研究の至適照射条件（出力 1.5W または 2.0W、先端エネルギー75～100mJ/pulse、繰り返しパルス数 10～25pps）では、象牙質を損傷することなく切削効率を向上する可能性が示唆された。

日歯保存誌 48(2), 303～313, 2005.

### 3. 科学研究費補助金・各種補助金

研究代表者	研究課題	研究費
高瀬 保晶	2波長発振レーザーは齲蝕の進行抑制効果があるか	科学研究費・基盤（C）
天谷 哲也	2波長発振レーザーは医療用レーザーメスとして両波長の利点を生かせるか？	科学研究費・若手（B）

### 4. 教育講演等教育に関する業績，活動

#### 教育ワークショップ等

氏名	年月日	ワークショップ名	役割	開催地
篠原 崇	2004. 5. 15 ～16	第 11 回東京歯科大学カリキュラム研修 ワークショップ	参加者	千葉市
平井 義人	2004.11.25	東京歯科大学カリキュラム研修ワーク ショップ第1回アドバンスコース	参加者	千葉市
高瀬 保晶	2004.11.25	東京歯科大学カリキュラム研修ワーク ショップ第1回アドバンスコース	参加者	千葉市
槇石 武美	2004.12. 9	東京歯科大学カリキュラム研修ワーク ショップ第2回アドバンスコース	参加者	東京
野呂 明夫	2004.12. 9	東京歯科大学カリキュラム研修ワーク ショップ第2回アドバンスコース	参加者	東京
杉山 利子	2005. 1. 20	東京歯科大学カリキュラム研修ワーク ショップ第4回アドバンスコース	参加者	千葉市
高橋 賢	2005. 1. 20	東京歯科大学カリキュラム研修ワーク ショップ第4回アドバンスコース	参加者	千葉市
武藤 由剛	2005. 1. 20	東京歯科大学カリキュラム研修ワーク ショップ第4回アドバンスコース	参加者	千葉市
天谷 哲也	2005. 1. 20	東京歯科大学カリキュラム研修ワーク ショップ第4回アドバンスコース	参加者	千葉市
春山 親弘	2005. 1. 20	東京歯科大学カリキュラム研修ワーク ショップ第4回アドバンスコース	参加者	千葉市



共用試験等

氏名	年月日	種別	役割	開催地
杉山 利子	2004. 2. 27	平成 16 年度第 4 学年 OSCE	評価者	千葉市
高橋 賢	2004. 2. 27	平成 16 年度第 4 学年 OSCE	評価者	千葉市
武藤 由剛	2004. 2. 27	平成 16 年度第 4 学年 OSCE	評価者	千葉市
天谷 哲也	2004. 2. 27	平成 16 年度第 4 学年 OSCE	評価者	千葉市
木瀬 宏明	2004. 2. 27	平成 16 年度第 4 学年 OSCE	器材係	千葉市
春山亜希子	2004. 2. 27	平成 16 年度第 4 学年 OSCE	誘導係	千葉市
浦井 康恵	2004. 2. 27	平成 16 年度第 4 学年 OSCE	誘導係	千葉市
高瀬 保晶	2004. 2. 9	平成 16 年度第 4 学年 CBT	サイトマネージャー	千葉市
高瀬 保晶	2004. 3. 8	平成 16 年度第 4 学年 CBT 追・再試	サイトマネージャー	千葉市
高瀬 保晶	2004. 2. 19	平成 16 年度日本歯科大学歯学部 共用試験歯学系 OSCE トライアル	外部評価者	東京
杉山 利子	2004. 2. 19	平成 16 年度日本歯科大学歯学部 共用試験歯学系 OSCE トライアル	外部評価者	東京

## 論 文

1. 吉田友明<sup>(1)</sup>, 石川達也, 西連寺永康<sup>(2)</sup> : 咬合関連症候群における睡眠障害の臨床的研究 咀嚼関連筋症状の検討, 日全身咬合会誌 **10**(1), 9~23, 2004. 原著 (1)老年歯科医学総合研究所,(2)松本歯大・歯・医療総論
2. 亀山敦史 : 口臭を主訴とした患者に対する漢方エキス剤の応用, 日歯東洋医学会誌 **23**(1), 1~13, 2004. 原著
3. 亀山敦史, 武藤由剛, 中澤祐一, 河田英司<sup>(1)</sup>, 平井義人 : 過剰に脱灰処理された象牙質に対するレジンの接着強さ ボンディングレジンからのフッ化物放出の有無とミネラル溶液への浸漬による影響, 日歯保存誌 **47**(3), 403~410, 2004. 原著 (1)理工
4. 津守将充, 見明康雄<sup>(1)</sup>, 柳澤孝彰<sup>(1)</sup>, 平井義人 : 酸化亜鉛配合グラスアイオノマーセメントの象牙質脱灰の抑制効果, 歯科学報 **104**(3), 326~333, 2004. 原著 (1)超微構造
5. Kameyama,A., Matsukubo,T.<sup>(1)</sup>, Hirai,Y., Takaesu,Y.<sup>(1)</sup> : Comparison of short-term *in vitro* fluoride release and recharge from four different types of pit-and-fissure sealants, Bull Tokyo Dent Coll **45**(3), 173~179, 2004. 原著 (1)衛生

## 解 説

1. 加藤純二 : 小児歯科臨床における各種レーザーの使い方-Er:YAG レーザーの小児歯科領域での応用-, 小児歯臨 **9**(5), 17~22, 2004.
2. 加藤純二 : 小児歯科臨床における各種レーザーの使い方-He-Ne レーザーの小児歯科領域での応用-, 小児歯臨 **9**(5), 23~26, 2004.
3. 加藤純二 : 小児歯科臨床における各種レーザーの使い方 -レーザーの基礎と各種レーザーの特徴-, 小児歯臨 **9**(5), 12~16, 2004.
4. 高瀬保晶 : 備えて安心 チェアーサイドの主訴対応マニュアル 治まらない痛みへの対応 歯の痛み 知覚過敏が治まらない, デンタルダイヤモンド **29**(10), 16~19, 2004.
5. 守矢佳世子<sup>(1)</sup>, 篠木 毅<sup>(1)</sup>, 加藤純二, 平井義人 : 進化する Er:YAG レーザー, 歯界展望 **104**(1), 55~64, 2004. (1)埼玉県
6. 平井義人, 篠原 崇, 高瀬保晶 : 歯科におけるレーザー応用の現状 齲蝕治療・診断におけるレーザーの応用, 日レーザー医学会誌 **25**(4), 275~280, 2005.
7. 加藤純二, 守矢佳世子<sup>(1)</sup> : 小児歯科領域におけるレーザー治療, 日レーザー医学会誌 **25**(4), 307~312, 2005. (1)埼玉県

## 単行図書

1. 高瀬保晶: 共著 :臨床における不安と疑問 誰にも聞けなかったあのことをいま明らかに-レジン修復の変色-, 歯科評論, 東京, 2004.

## プロシーディングス

1. Abe,S.<sup>(1)</sup>, Watanabe,Y.<sup>(2)</sup>, Shintani,M.<sup>(3)</sup>, Yamane,G.<sup>(2)</sup>, Ide,Y.<sup>(1)</sup>, Shimono,M.<sup>(4)</sup>, Ishikawa,T. : Cortical regulation during the early stage of initiation of voluntary swallowing, Int Congr Ser **1270**, 105 ~ 110, 2004.(15th World Congress of the International Society for Brain Electromagnetic Topography, Urayasu) 脳科学研 (1)解剖,(2)市病・オーラルメディシン,(3)脳科学研究施設,(4)病理
2. Watanabe,Y.<sup>(1)</sup>, Yamane,G.<sup>(1)</sup>, Abe,S.<sup>(2)</sup>, Takahashi,M.<sup>(3)</sup>, Ishikawa,T. : Neuromagnetic analysis of the late phase of readiness field for hand precision movement using magnetoencephalography, Int Congr Ser **1270**, 192 ~ 196, 2004.(The 15th World Congress of the International Society for Brain Electromagnetic Topography, Urayasu) 脳科学研 (1)市病・オーラルメディシン,(2)解剖,(3)市病・整外科
3. Takahashi,K., Mutou,Y., Hirai,Y., Ishikawa,T., Nishina,M.<sup>(1)</sup>, Kato,M.<sup>(2)</sup> : Effect of pain alleviation by occlusal contact, Int Congr Ser **1270**, 337 ~ 340, 2004.(The 15th World Congress of the International Society for Brain Electromagnetic Topography, Chiba) (1)市病・内科,(2)慶大・医・精神神経科
4. 杉山利子, 春山親弘, 高瀬保晶, 平井義人, 村本睦司<sup>(1)</sup> : 窩洞形成技能評価システムによる窩洞形成評価法-臨床基礎実習への導入-, 第 2 回デンタルシミュレーション教育(DSE)研究会研究発表論文集, 59 ~ 62, 2004. (第 2 回デンタルシミュレーション教育(DSE)研究会, 京都市) (1)(株)ユニスン

## 学会抄録

1. 中澤妙衣子, 天谷哲也, 大須賀敬悟, 高瀬保晶, 平井義人 : コンピネーション漂白は効果的か 第 1 報 *in vitro* による測色, 日歯保存誌 **47**(春季特別), 57, 2004.(第 120 回日本歯科保存学会春季学会, 東京)
2. 野呂明夫, 細川壮平<sup>(1)</sup>, 高橋潤一<sup>(1)</sup>, 秋廣良昭<sup>(1)</sup>, 槇石武美, 平井義人 : 口腔リハビリ器具『パタカラ』を利用した口腔筋機能療法 第 1 報 口呼吸患者への応用による口腔諸機能の変化, 日歯保存誌 **47**(春季特別), 103, 2004.(第 120 回日本歯科保存学会春季学会, 東京) (1)水病・総合歯科
3. 細川壮平<sup>(1)</sup>, 野呂明夫, 高橋潤一<sup>(1)</sup>, 秋廣良昭<sup>(1)</sup>, 槇石武美, 平井義人 : 口腔リハビリ器具『パタカラ』を利用した口腔筋機能療法 第 2 報 リハビリイビキ・たるみ顔患者への応用による口腔諸機能の変化, 日歯保存誌 **47**(春季特別), 104, 2004.(第 120 回日本歯科保存学会春季学会, 東京) (1)水病・総合歯科
4. 相沢甲也, 天谷哲也, 亀山敦史, 瀧澤雅一, 高瀬保晶, 平井義人 : 繰り返し速度を変化させた Er:YAG レーザー照射象牙質への接着強さ, 日歯保存誌 **47**(春季特別), 125, 2004.(第 120 回日本歯科保存学会春季学会, 東京)
5. 杉山節子, 春山親弘, 天谷哲也, 杉山利子, 篠原 崇, 平井義人 : フッ素徐放性コンポジットレジンの実験病理学的研究 歯髄反応について, 日歯保存誌 **47**(春季特別), 160, 2004.(第 120 回日本歯科保存学会春季学会, 東京)
6. 津守将充, 武藤由剛, 新谷敏弘, 春山亜貴子, 相沢甲也, 春山親弘, 杉山利子, 平井義人 : 新規光重合型レジン系仮封材エパダインハードの使用感に関する検討, 日歯保存誌 **47**(春季特別), 167, 2004.(第 120 回日本歯科保存学会春季学会, 東京)
7. 篠原 崇, 高瀬保晶, 平井義人 : レーザー齲蝕診断装置の臨床的診断基準, 日歯保存誌 **47**(春季特別), 177, 2004.(第 120 回日本歯科保存学会春季学会, 東京)

8. 明石 豪, 春山親弘, 天谷哲也, 高瀬保晶, 平井義人 : レーザー窩洞の変性層に対する化学的歯面処理 歯髄反応について, 歯科学報 **104**(3), 358, 2004.(第 277 回東京歯科大学学会例会, 千葉市)
9. 杉山節子, 春山親弘, 天谷哲也, 杉山利子, 篠原 崇, 平井義人 : フッ素徐放性コンポジットレジンの実験病理学的研究 歯髄反応について, 歯科学報 **104**(3), 385, 2004.(第 277 回東京歯科大学学会例会, 千葉市)
10. 中澤妙衣子, 天谷哲也, 大須賀敬悟, 高瀬保晶, 平井義人 : コンビネーション漂白は効果的か? 第 1 報 *in vitro* による測色, 歯科学報 **104**(3), 386, 2004.(第 277 回東京歯科大学学会例会, 千葉市)
11. 武藤由剛, 春山亜貴子, 津守將充, 新谷敏弘, 相沢甲也, 春山親弘, 杉山利子, 平井義人 : 新規光重合型レジン系仮封材エバダインハードの使用感に関する検討, 歯科学報 **104**(3), 387, 2004.(第 277 回東京歯科大学学会例会, 千葉市)
12. 高瀬保晶, 杉山利子, 平井義人 : 窩洞形態の標準化モデルについて, 第 3 回研究発表会プログラム・抄録集, 15, 2004.(第 3 回デンタルシミュレーション教育(DSE)研究会, 京都市)
13. 杉山利子, 新谷敏弘, 春山親弘, 高瀬保晶, 平井義人 : 窩洞形成技能評価システムによる窩洞形成評価法臨床基礎実習への導入, 第 3 回研究発表会プログラム・抄録集, 29, 2004.(第 3 回デンタルシミュレーション教育(DSE)研究会, 京都市)
14. 加藤純二 : ここまできたレーザーの臨床 Needs と Seeds 歯科における Needs と Seeds, 日レーザー医会誌 **25**(3), 185, 2004.(第 25 回日本レーザー医学会総会, 東京)
15. 高瀬保晶, 新谷敏弘, 春山親弘, 杉山利子, 平井義人 : 窩洞形成技能評価システムについて 臨床基礎実習への応用, 歯科学報 **104**(5), 529, 2004.(第 278 回東京歯科大学学会総会, 千葉市)
16. 天谷哲也, 高瀬保晶, 篠原 崇, 春山親弘, 五十嵐章浩, 岡田 崇, 大須賀敬悟, 平井義人 : 軟組織への新規 2 波長可変発振レーザーの応用 第 2 報 照射条件が軟組織へ及ぼす影響, 歯科学報 **104**(5), 539, 2004.(第 278 回東京歯科大学学会総会, 千葉市)
17. 相沢甲也, 天谷哲也, 亀山敦史, 瀧澤雅一, 高瀬保晶, 平井義人, 緒形 毅 : 繰り返し速度を変化させた Er:YAG レーザー照射象牙質への接着強さ(第 2 報), 歯科学報 **104**(5), 540, 2004.(第 278 回東京歯科大学学会総会, 千葉市)
18. 中澤妙衣子, 天谷哲也, 岡田崇, 大須賀敬悟, 高瀬保晶, 平井義人, 緒形 毅 : コンビネーション漂白は効果的か? 第 2 報 組合せ方による効果の違いについて, 歯科学報 **104**(5), 541, 2004.(第 278 回東京歯科大学学会総会, 千葉市)
19. 高瀬保晶, 新谷敏弘, 春山親弘, 杉山利子, 平井義人 : 窩洞形成技能評価システムについて 臨床基礎実習への応用, 日歯保存誌 **47**(秋季特別), 68, 2004.(第 121 回日本歯科保存学会秋季大会, 長崎市)
20. 山本宏治<sup>(1)</sup>, 平田健一<sup>(1)</sup>, 松田哲朗<sup>(2)</sup>, 斉藤隆史<sup>(2)</sup>, 高瀬保晶, 杉山利子, 平井義人, 川本雅行<sup>(3)</sup>, 井上正義<sup>(3)</sup> : 各大学における 2 級基本窩洞の客観的評価, 日歯保存誌 **47**(秋季特別), 69, 2004.(第 121 回日本歯科保存学会秋季大会, 長崎市) (1)朝日大・口腔機能修復学,(2)北海道医療大・歯・保存 2,(3)大歯大・歯・保存

21. 相沢甲也, 天谷哲也, 亀山敦史, 瀧澤雅一, 高瀬保晶, 平井義人 : 繰り返し速度を変化させた Er:YAG レーザー照射象牙質への接着強さ 第 2 報, 日歯保存誌 47(秋季特別), 77, 2004.(第 121 回日本歯科保存学会秋季大会, 長崎市)
22. 天谷哲也, 高瀬保晶, 岡田崇, 大須賀敬悟, 平井義人 : オプティカルパラメトリック発振器を用いた 2 波長可変発振レーザーの応用 第 2 報 照射条件が軟組織へ及ぼす影響, 日歯保存誌 47(秋季特別), 147, 2004.(第 121 回日本歯科保存学会秋季大会, 長崎市)
23. 中澤妙衣子, 天谷哲也, 岡田 崇, 大須賀敬悟, 緒形 毅, 高瀬保晶, 平井義人 : コンビネーション漂白は効果的か 第 2 報 組合せ方の違いが及ぼす効果への影響, 日歯保存誌 47(秋季特別), 167, 2004.(第 121 回日本歯科保存学会秋季大会, 長崎市)
24. 明石 豪, 春山親弘, 天谷哲也, 緒形 毅, 高瀬保晶, 平井義人 : レーザー窩洞の変性層に対する化学的歯面処理 歯髄反応について, 日歯保存誌 47(秋季特別), 177, 2004.(第 121 回日本歯科保存学会秋季大会, 長崎市)
25. 野呂明夫, 細川壮平<sup>(1)</sup>, 高橋潤一<sup>(1)</sup>, 秋廣良昭<sup>(1)</sup>, 槇石武美, 平井義人 : 口腔リハビリ器具『パタカラ』を利用した口腔筋機能療法(第 3 報) 脳梗塞患者・顔面神経麻痺患者への口腔リハビリテーション, 日歯保存誌 47(秋季特別), 189, 2004.(第 121 回日本歯科保存学会秋季大会, 長崎市) (1)水病・総合歯科
26. 細川壮平<sup>(1)</sup>, 野呂明夫, 高橋潤一<sup>(1)</sup>, 秋廣良昭<sup>(1)</sup>, 槇石武美<sup>(2)</sup>, 平井義人 : 口腔リハビリ器具『パタカラ』を利用した口腔筋機能療法(第 4 報) 麻痺・構音障害を伴う脳梗塞患者へのリハビリテーション, 日歯保存誌 47(秋季特別), 190, 2004.(第 121 回日本歯科保存学会秋季大会, 長崎市) (1)水病・総合歯科,(2)水病・保存科
27. Aizawa,K., Amagai,T., Kameyama,A., Takizawa,M., Takase,Y., Ogata,T., Hirai,Y. : Resin Bond Strengths to High-Repetition Er:YAG Laser-Irradiated Dentin, 52nd Annual Meeting Japanese Association for Dental Research Program and Abstracts of Papers, 72, 2004.(52nd Annual Meeting Japanese Association for Dental Research , Tokyo)
28. Akashi,G., Haruyama,C., Amagai,T., Ogata,T., Takase,Y., Hirai,Y. : Effect of Chemical Application on the pulp of Lrradaited Tooth, 52nd Annual Meeting Japanese Association for Dental Research Program and Abstracts of Papers, 102, 2004.(52nd Annual Meeting Japanese Association for Dental Research , Tokyo)
29. Takahashi,K., Mutou,Y., Hirai,Y. : Relationship Between Occlusal Contact and Pain Alleviation, 52nd Annual Meeting Japanese Association for Dental Research Program and Abstracts of Papers, 104, 2004.(52nd Annual Meeting Japanese Association for Dental Research , Tokyo)
30. Amagai,T., Takase,Y., Haruyama,C., Akashi,G., Kato,J., Hirai,Y. : Effect of Dual-Wavelength Laser on Soft Tissue, 52nd Annual Meeting Japanese Association for Dental Research Program and Abstracts of Papers, 106, 2004.(52nd Annual Meeting Japanese Association for Dental Research , Tokyo)
31. Nakazawa,T., Amagai,T., Oosuka,K., Okada,T., Takase,Y., Ogata,T., Hirai,Y. : Influence on whitening effects through a combination of bleaching processes, 52nd Annual Meeting Japanese Association for Dental Research Program and Abstracts of Papers, 110, 2004.(52nd Annual Meeting Japanese Association for Dental Research , Tokyo)

32. 天谷哲也 : Er:YAG レーザーの保存修復領域への応用, 第 16 回日本レーザー歯学会総会・学術大会プログラム/講演抄録集, 13, 2004.(第 16 回日本レーザー歯学会総会・学術大会, 千葉市)
33. 津久井 明<sup>(1)</sup>, 加藤純二, 篠木 毅<sup>(2)</sup> : 炭酸ガスレーザーの歯周形成外科(根面被覆)への応用とその臨床, 第 16 回日本レーザー歯学会総会・学術大会プログラム/講演抄録集, 32, 2004.(第 16 回日本レーザー歯学会総会・学術大会, 千葉市) (1)神奈川県,(2)埼玉県
34. 明石 豪, 春山親弘, 天谷哲也, 緒形 毅, 加藤純二, 高瀬保晶, 平井義人 : レーザー窩洞の変性層に対する化学的歯面処理 歯髄反応について, 第 16 回日本レーザー歯学会総会・学術大会プログラム/講演抄録集, 57, 2004.(第 16 回日本レーザー歯学会総会・学術大会, 千葉市)
35. 高瀬保晶, 天谷哲也, 平井義人 : Dual Wave Length Laser Equipment with OPO の硬組織への応用, 第 7 回 Er:YAG レーザー臨床研究会講演抄録集, 59, 2004.(第 7 回 Er:YAG レーザー臨床研究会, 京都市)
36. 天谷哲也, 高瀬保晶, 平井義人 : Dual Wave Length Laser Equipment with OPO の軟組織への応用, 第 7 回 Er:YAG レーザー臨床研究会講演抄録集, 59, 2004.(第 7 回 Er:YAG レーザー臨床研究会, 京都市)

## 4. 小児歯科学講座

### プロフィール

#### 1. 教室員と主研究テーマ

教授	薬師寺 仁	光硬化型ガラスアイオノマーセメントの歯髄に及ぼす影響 (A93-0450-1)
客員研究員	兪 芳	実験的脱灰エナメル質の再石灰化に関する研究 (A04-0450-1)
助教授	関口 浩	ヒト珐瑯質蛋白アメロジェニンの遺伝子構造の解明 (A96-0450-2)
講師	米津 卓郎	ビデオマクロスコープを用いた小児歯齦の観察 (A91-0450-5)
	久保 周平	窩底象牙質厚径と電気抵抗値の関連性 (A90-0450-3)
助手	福山 達郎	側方歯群の位置の累年的変化 (A02-0450-1)
	今井 裕樹	白色海綿状母斑の遺伝学的研究 (A01-0450-2)
	原 麻子	マイクロCTを用いた乳臼歯咬合面溝の三次元的観察 (A02-0450-3)
	門屋 真理	小児歯科における障害者歯科診療の実態調査
病院助手	原田 朋子	
	宮里 裕美	
大学院生	恩田 尚余	歯間空隙の累年的変化 (A97-0450-1)
	牛田 永子	乳幼児 <i>Streptococcus mutans</i> と <i>Streptococcus sobrinus</i> 伝播 (A03-0450-1)
	小林 菜穂	乳歯部局所の歯周病原性細菌は母親から伝播するか (A03-0450-2)
	織田 進也	ラット歯胚の発生に及ぼす胎児性アルコール症の影響 (A04-0450-3)
	桑名 りえ	ラット歯胚の硬組織形成に及ぼす胎児性アルコール症の影響 (A04-0450-2)
専攻生	西村 文子	マイクロCTを用いた下顎乳臼歯咬合面溝の三次元的観察 (A04-0450-3)

#### 2. 成果の概要

##### 1) Effects of prolonged non-nutritive sucking on occlusal characteristics in the primary dentition

1歳6か月児, 2歳児および3歳児歯科健康診査のすべてを累年的に受診した592名の小児を調査対象とし, おしゃぶりの常用期間, 吸指行動の継続期間が乳歯列咬合に及ぼす影響について検討した. その結果, おしゃぶりを常用する小児は増齢とともに減少するものの, 3歳まで継続した場合は, 開咬, 上顎前突, 臼歯部交叉咬合の発現率が顕著に高いことが明らかとなった. 本研究は, おしゃぶりが乳歯列咬合に及ぼす影響に関する本邦初のものであり, 得られた結果は小児科医会のホームページにも引用, 掲載されている.

Dent Jpn 41, 107~112, 2005.

### 3. 学外共同研究

担当者	研究課題	学外研究施設		
		研究施設	所在地	責任者
薬師寺 仁 今井 裕樹	The incidence of dental caries of deciduous dentition in relationship to normal occlusion and deep overbite	Dept. of Pedodontics, School of Stomatology, Shanghai Tiedao University	China	Shi, Sizen
関口 浩	DNA diagnosis of amelogenesis imperfecta	Dept. of Pedodontics & Orthodontics, Institute of Dentistry, University of Helsinki	Finland	Alaluusua , Satu
米津 卓郎	Effect of feeding methods on dental arch parameters Attrition patterns in the primary dentition Tooth size in the primary dentition relationship to fluoride intake Relationship between dietary factors and primary dentition dental arch characteristics	Dept. of Preventive and Community Dentistry, University of Iowa, College of Dentistry	U. S. A	Levy, Steven M.
米津 卓郎	Tooth size arch length relationships in the primary dentition Correlation of dental arch and anthropometric measurements in pre school children	Dept. of Orthodontics, University of Iowa, College of Dentistry	U. S. A	Bishara, Samir E.



#### 4. 教育講演等教育に関する業績, 活動

##### 教育講演

講演者	年月日	演題名	学会・研究会名	開催地
薬師寺 仁	2004. 8. 5	幼若第一大臼歯の保護 幼若第一大臼歯の齲蝕予防	東京都歯科医師会 卒後研修	東京
薬師寺 仁	2004. 8. 5	幼若第一大臼歯の保護 Preventive resin restoration	東京都歯科医師会 卒後研修	東京
関口 浩	2004. 8. 5	幼若第一大臼歯の保護 萌出異常 第一大臼歯に対する咬合誘導	東京都歯科医師会 卒後研修	東京
久保 周平	2004. 8. 5	幼若第一大臼歯の保護 CO or C: 齲蝕の診断	東京都歯科医師会 卒後研修	東京
米津 卓郎	2004.10.22	子育て支援の観点からおしゃぶりの 功罪を考える	神奈川県藤沢保健 福祉事務所	茅ヶ崎市
久保 周平	2004.10.28	う蝕多発傾向園児を考える	川崎市歯科医師会	川崎市
米津 卓郎	2005. 2. 10	少子社会における小児期の口腔健康 管理について	神奈川県厚木保健 福祉事務所	厚木市
米津 卓郎	2005. 3. 23	低年齢児の歯科健診と育児支援	東京歯科大学千葉市 同窓会(水葉会)	千葉市

##### 教育ワークショップ等

氏名	年月日	ワークショップ名	役割	開催地
久保 周平	2004. 8. 27 ~28	平成 16 年度第 2 回共用試験歯学系 OSCEワークショップ	参加者	千葉市
米津 卓郎	2004.11.25	東京歯科大学カリキュラム研修ワーク ショップ第 1 回アドバンスコース	参加者	千葉市
久保 周平	2004.11.25	東京歯科大学カリキュラム研修ワーク ショップ第 1 回アドバンスコース	参加者	千葉市
久保 周平	2004.12. 4 ~5	第 13 回東京歯科大学カリキュラム 研修ワークショップ	タスクフォース	千葉市
関口 浩	2005. 1. 13	東京歯科大学カリキュラム研修ワーク ショップ第 3 回アドバンスコース	参加者	千葉市
薬師寺 仁	2005. 1. 20	東京歯科大学カリキュラム研修ワーク ショップ第 4 回アドバンスコース	参加者	千葉市
今井 裕樹	2005. 1. 20	東京歯科大学カリキュラム研修ワーク ショップ第 4 回アドバンスコース	参加者	千葉市
久保 周平	2005. 2. 19 ~20	第 15 回東京歯科大学カリキュラム 研修ワークショップ	タスクフォース	千葉市
久保 周平	2005. 3. 19 ~20	第 16 回東京歯科大学カリキュラム 研修ワークショップ	タスクフォース	千葉市

氏名	年月日	ワークショップ名	役割	開催地
久保 周平	2005. 3.24	平成 16 年度千葉病院歯科臨床研修医 ワークショップ	タスクフォース	千葉市

共用試験等

氏名	年月日	種別	役割	開催地
久保 周平	2005. 2. 4	平成 16 年度東北大学歯学部 共用試験歯学系 OSCE トライアル	外部評価者	仙台市
薬師寺 仁	2005. 2.27	平成 16 年度第 4 学年 OSCE	顧問	千葉市
関口 浩	2005. 2.27	平成 16 年度第 4 学年 OSCE	誘導責任者	千葉市
久保 周平	2005. 2.27	平成 16 年度第 4 学年 OSCE	ST6 責任者・評価者	千葉市
福山 達郎	2005. 2.27	平成 16 年度第 4 学年 OSCE	器材責任者	千葉市

## 論 文

1. 辻野啓一郎<sup>(1)</sup>, 金子かおり<sup>(1)</sup>, 坪倉亜希子<sup>(1)</sup>, 望月清志<sup>(1)</sup>, 大多和由美<sup>(1)</sup>, 薬師寺 仁 : 乳歯早期喪失の原因について, 小児歯誌 **42**(3), 390 ~ 396, 2004. 原著 (1)水病・小児歯科
2. 金子かおり<sup>(1)</sup>, 坪倉亜希子<sup>(1)</sup>, 辻野啓一郎<sup>(1)</sup>, 望月清志<sup>(1)</sup>, 大多和由美<sup>(1)</sup>, 薬師寺 仁 : 東京都心に位置する歯科大学病院小児歯科における障害者診療の実態, 小児歯誌 **42**(3), 397 ~ 403, 2004. 原著 (1)水病・小児歯科
3. 林 芳裕, 片倉 朗<sup>(1)</sup>, 黒須美佳, 松坂賢一<sup>(2)</sup>, 薬師寺 仁 : 6 歳男児に認められた歯牙腫を伴う石灰化歯原性嚢胞の 1 例, 小児歯誌 **42**(3), 447 ~ 452, 2004. 原著 (1)口外 I,(2)臨検査
4. 門屋真理, 氏家真由子, 薬師寺 仁 : 歯科大学病院小児歯科における障害者歯科診療の実態調査, 歯科学報 **104**(3), 297 ~ 302, 2004. 原著
5. Sekiguchi,H., Wang,X.<sup>(1)</sup>, Minaguchi,K.<sup>(2)</sup>, Yakushiji,M. : A point mutation of the ED1 gene in a Japanese family with X-linked hypohidrotic ectodermal dysplasia, Int J Paediatr Dent **15**(1), 73 ~ 77, 2005. 原著 (1)Dept. of Paediatric Dentistry, the Stomatological Coll. of the Fourth Military Medical Univ. Xian, China,(2)法歯
6. Yonezu,T., Kurosu,M., Ushida,N., Yakushiji,M. : Effects of prolonged non-nutritive sucking on occlusal characteristics in the primary dentition, Dent Jpn (Tokyo) **41**, 107 ~ 112, 2005. 原著
7. 坪倉亜希子<sup>(1)</sup>, 金子かおり<sup>(1)</sup>, 辻野啓一郎<sup>(1)</sup>, 望月清志<sup>(1)</sup>, 大多和由美<sup>(1)</sup>, 薬師寺 仁 : 歯科大学病院小児歯科臨床における口腔外傷に関する実態調査, 小児歯誌 **43**(1), 65 ~ 71, 2005. 原著 (1)水病・小児歯科
8. 関口 浩, 福山達郎, 原田朋子, 宮里裕美, 原 麻子, 薬師寺 仁 : 歯科大学病院小児歯科における診療予約についてのアンケート調査, 小児歯誌 **43**(1), 94 ~ 98, 2005. 原著

## 解 説

1. 米津卓郎, 薬師寺 仁 : ECC(Early Childhood Caries)の発生要因から考えた齲蝕予防方略, 日歯評論 **64**(4), 183 ~ 185, 2004.
2. 米津卓郎, 薬師寺 仁 : FC(formocresol)を用いた歯髄切断法の行方, 日歯評論 **64**(5), 177 ~ 179, 2004.
3. 米津卓郎, 薬師寺 仁 : 叢生歯列が増加している原因を再考する, 日歯評論 **64**(6), 175 ~ 177, 2004.

## 単行図書

1. 薬師寺 仁(a): 著分担 :小児救急外来診療マニュアル (a)歯および口腔の外傷 143 ~ 145 頁, 医学芸術社, 東京, 2004.

## 学会抄録

1. 原 麻子, 関口 浩, 井出吉信<sup>(1)</sup>, 薬師寺 仁 : マイクロ CT を用いた上顎第一乳臼歯咬合面溝の三次元的観察, 小児歯誌 **42**(2), 203, 2004.(第 42 回日本小児歯科学会大会および総会, 福岡市) 分析生研 (1)解剖

2. 町田幸雄：永久歯口腔内萌出まで観察した固定性保険装置，小児歯誌 42(2)，206，2004.(第42回日本小児歯科学会大会および総会，福岡市)
3. 西村文子，原 麻子，関口 浩，井出吉信<sup>(1)</sup>，薬師寺 仁：マイクロCTを用いた下顎乳側切歯と乳犬歯の癒合歯の三次元的観察，小児歯誌 42(2)，250，2004.(第42回日本小児歯科学会大会および総会，福岡市) 分析生研 (1)解剖
4. 辻野啓一郎<sup>(1)</sup>，金子かおり<sup>(1)</sup>，坪倉亜希子<sup>(1)</sup>，望月清志<sup>(1)</sup>，大多和由美<sup>(1)</sup>，薬師寺 仁：乳歯早期喪失の原因について，小児歯誌 42(2)，305，2004.(第42回日本小児歯科学会大会および総会，福岡市) (1)水病・小児歯科
5. 今井裕樹，久保周平，薬師寺 仁：外傷を主訴に来院した下顎左側乳中切歯へのストロー状異物陥入の1例，歯科学報 104(3)，374，2004.(第277回東京歯科大学学会例会，千葉市)
6. 原田朋子，宮里裕美，米津卓郎，薬師寺 仁：最近の小児における乳歯の萌出状態に関する累年的研究，歯科学報 104(3)，377，2004.(第277回東京歯科大学学会例会，千葉市)
7. 宮里裕美，原田朋子，米津卓郎，薬師寺 仁：乳歯の萌出歯数と咬合状態および口腔習癖との関連性について，歯科学報 104(3)，378，2004.(第277回東京歯科大学学会例会，千葉市)
8. 本橋佳子<sup>(1)</sup>，中嶋英乃<sup>(1)</sup>，澁井武夫<sup>(1)</sup>，中野洋子<sup>(1)</sup>，内山健志<sup>(1)</sup>，牛田永子，久保周平，川原由里香<sup>(2)</sup>，井上 孝<sup>(3)</sup>：口唇裂・口蓋裂児の早期口腔清掃指導の試み 第1報 -指導前の患児と母の齲蝕活動性試験について-，歯科学報 104(3)，379，2004.(第277回東京歯科大学学会例会，千葉市) (1)口外II，(2)千病・臨検，(3)臨検査
9. 一戸達也<sup>(1)</sup>，田崎雅和<sup>(2)</sup>，阿部伸一<sup>(3)</sup>，久保周平，石崎 憲<sup>(4)</sup>，渡邊 裕<sup>(5)</sup>，本橋佳子<sup>(6)</sup>，白鳥たかみ<sup>(7)</sup>，石井拓男<sup>(8)</sup>，井出吉信<sup>(3)</sup>：PBLと実習に基づく摂食・嚥下リハビリテーションの卒前カリキュラム，日歯医教会第23回抄集，93，2004.(第23回日本歯科医学教育学会 総会・学術大会，新潟市) (1)歯麻，(2)生理，(3)解剖，(4)補綴I，(5)市病・オーラルメディシン，(6)口外II，(7)東歯大・衛校，(8)社会歯
10. Kubo,S., Ujiie,M., Oka,Y., Yakushiji,M. : Study on physiological tooth mobility in the maxillary incisors, The 4th Conference of Pediatric Dentistry Association of Asia and TSPD Annual Meeting 2004, 104, 2004.(The 4th Conference of Pediatric Dentistry Association of Asia and TSPD Annual Meeting 2004, Bangkok, Thailand)
11. Imai,H., Kuwana,R., Yonezu,T., Yakushiji,M. : Crown dimensions and mandibular incisor alignment in Japanese children, The 4th Conference of Pediatric Dentistry Association of Asia and TSPD Annual Meeting 2004, 119, 2004.(The 4th Conference of Pediatric Dentistry Association of Asia and TSPD Annual Meeting 2004, Bangkok, Thailand)
12. 関口 浩，福山達郎，原田朋子，宮里裕美，薬師寺 仁：歯科大学病院小児歯科における診療予約についてのアンケート調査，歯科学報 104(5)，542，2004.(第278回東京歯科大学学会総会，千葉市)
13. 久保周平，門屋真理，薬師寺 仁：小児期の外傷歯への対応 特に乳歯の陥入症例について，第4回日本外傷歯学会総会・学術大会 プログラム・抄録集，49，2004.(第4回日本外傷歯学会総会・学術大会，東京)
14. 阿部伸一<sup>(1)</sup>，一戸達也<sup>(2)</sup>，田崎雅和<sup>(3)</sup>，久保周平，石崎 憲<sup>(4)</sup>，渡邊 裕<sup>(5)</sup>，本橋佳子<sup>(6)</sup>，白鳥たかみ<sup>(7)</sup>，石井拓男<sup>(8)</sup>，井出吉信<sup>(1)</sup>：歯科学生に対するPBLと実習を主体とした摂食・嚥下リハビリテーションカリキュラムの導入について，日摂食嚥下リハ会誌 8(2)，286，2004.(第10回日本摂食・嚥下リハビリテーション学会学術大会，新潟市) (1)解剖，(2)歯麻，(3)生理，(4)補綴I，(5)市病・オーラルメディシン，(6)口外II，(7)東歯大・衛校，(8)社会歯

15. 大多和由美<sup>(1)</sup>, 武田友孝<sup>(2)</sup>, 辻野啓一郎<sup>(1)</sup>, 望月清志<sup>(1)</sup>, 薬師寺 仁, 中島一憲<sup>(2)</sup>, 小川 透<sup>(2)</sup>, 川村慎太郎<sup>(2)</sup>, 島田 淳<sup>(3)</sup>, 石上恵一<sup>(2)</sup> : Sturge-Weber 症候群の小児に,改良型ラミネートタイプマウスガードを応用した 1 例, スポーツ歯 **8**(1), 93, 2005.(第 15 回日本スポーツ歯科医学会学術大会, 横浜市) (1)水病・小児歯科,(2)スポーツ歯, (3)水病・スポーツ歯科
16. 小林菜穂, 牛田永子, 薬師寺 仁, 奥田克爾<sup>(1)</sup>, 石原和幸<sup>(1)</sup> : 乳歯局所の歯周病原性細菌は母親から伝播するか, 小児歯誌 **43**(1), 134, 2005.(第 19 回日本小児歯科学会関東地方会・大会および平成 16 年度総会, 松戸市) (1)微生物
17. 牛田永子, 小林菜穂, 薬師寺 仁, 田中葉子<sup>(1)</sup>, 奥田克爾<sup>(2)</sup>, 石原和幸<sup>(2)</sup> : 乳幼児 *Streptococcus mutans* と *Streptococcus sobrinus* 伝播, 小児歯誌 **43**(1), 134, 2005.(第 19 回日本小児歯科学会関東地方会・大会および平成 16 年度総会, 松戸市) (1)市病・小児科,(2)微生物
18. Yonezu,T., Warren,J.<sup>(1)</sup>, Bishara,S.<sup>(1)</sup>, Levy,S.<sup>(1)</sup> : Mixed dentition tooth size-arch length relationships : a longitudinal study, J Dent Res (CD-ROM) **84**(Special Issue A), #1305, 2005.(2005 IADR/AADR/CADR, Baltimore, Maryland, USA) (1)University of Iowa

## 5. 口腔外科学第一講座

### プロフィール

#### 1. 教室員と主研究テーマ

教 授	柴原 孝彦	口腔再建と機能評価 ( A98-0470-1 ) マイクロアレイを用いた口腔癌の診断および治療
	柿澤 卓	非進展口腔癌に対する最小侵襲治療における予後因子の検討 ( A98-0470-8 )
助 授	高野 正行	粘膜染色による口腔粘膜疾患の診断に関する研究 ( A98-0470-13 )
	講 師	矢島 安朝
	高木多加志	顎顔面変形症の形態, 機能異常の3次元的评价と治療予測 ( A98-0470-1 )
	片倉 朗	ラット舌癌の腫瘍血管構築の変化とその抗腫瘍効果についての実験的研究 ( A98-0470-7 )
助 手	山 満	下顎後退症患者における顎位と顎関節に関する実験的研究 ( A95-0470-9 )
	畑田 憲一	4NQO 誘発ラット舌癌モデルの発癌過程におけるテロメラーゼ活性の推移について ( A98-0470-5 ) 顎・顔面・口腔領域の疾患に対する内視鏡を使用した新しい検査・手術法の研究 ( A94-0470-6 )
	高崎 義人	下歯槽神経損傷に対する治療の指標となる知覚診断法の開発 ( A94-0470-1 )
	横山 葉子	術前後の下顎頭の位置変化に対する研究 ( A98-0470-11 )
	笠原 清弘	口腔癌手術におけるSIRSと術後合併症についての検討
	花上 健一	外科的矯正治療におけるインプラント矯正の研究
	山内 智博	超薄膜HAコーティングインプラントの骨形成過程に関する研究
	武田 栄三	口腔外科における手術侵襲と生体反応について ( A98-0470-2 )
	秋元 善次	第2頸椎突起と咬合平面との関係について ( A95-0470-1 )
病院助手	山口 晋一	人工材料による下歯槽神経欠損部架橋に関する実験的研究 ( A95-0470-3 )
	神山 勲	4-nitroquinolin 1-oxide (4NQO) 誘発ラット舌癌に対する抗癌剤持続動注の効果 ( A96-0470-2 )
	古谷 義隆	血管柄付再植骨内への人工歯根埋入後の骨形成過程に関する実験的研究 ( A96-0470-4 )
	浜瀬 真紀	下顎枝矢状分割術後の知覚障害に関する臨床的研究 ( A97-0470-2 )
	高木 亮	フローサイトメトリーを用いた口腔扁平上皮癌の核DNA量解析 ( A94-0470-4 )
	藤波 淳	顔面非対称の術後の安定性に関する研究 ( A97-0470-3 )
	山本 信治	口腔癌の第21番染色体におけるLOH解析と癌抑制遺伝子の検索 ( A99-0470-4 )
	横尾 恵子	口腔扁平上皮癌におけるヨード不染部の病理組織学的研究 ( A89-0470-13 )

	椎木さやか	下顎後退症の顎位安定性に関する形態学的研究 ( A99-0470-3 )
	神尾 崇	顎顔面変形症の形態、機能異常の 3 次元的評価と治療予測
	薬師寺 孝	口腔扁平上皮癌における p16/CDKN2 の hypermethylation と発現減弱
	田中 千早	口腔扁平上皮癌におけるアポトーシス阻害蛋白 Survivin の過剰発現 ( A01-0470-02 )
	廬 靖文	ヒト口腔悪性腫瘍ならびに境界病変におけるバイオマーカーの検索 ( A01-0470-03 )
	生野 貴裕	顎顔面形態と咬合分布に関する研究
	山田 美香	唾液タンパクが口腔癌に与える影響の解析
大学院生	沼澤 秀之	口腔癌の第 2 番染色体における LOH 解析と癌抑制遺伝子の検索
	恩田 健志	口腔癌関連遺伝子タンパクの同定ならびに機能解析
	中本 大介	頭頸部癌における重粒子線治療の抗腫瘍効果に対する実験的研究 ( A94-0470-5 )
	別所 央城	MEG 計測による大脳皮質野の特定
	鈴木 憲久	頭頸部非扁平上皮癌における各染色体の欠失状況の解析
	与謝野 明	矯正インプラントアンカーの適応症例に関する検討
	柿本 吉堂	口腔扁平上皮癌患者における血清 free DNA のマイクロサテライト解析
	作間 巧	口腔癌関連遺伝子の発現解析および機能解析
	菅原 圭亮	頭頸部扁平上皮癌患者の遺伝子多型解析とその臨床応用に関する研究
	松原志津加	下顎歯肉扁平上皮癌の顎骨浸潤に関する臨床病理学的検討
	右田 雅士	4-nitroquinolin 1-oxide (4NQO) 誘発ラット舌軟組織病変に対する光線力学療法の効果
	山本 雅絵	顔面の非対称性に関する顔貌形態と骨格形態との関連性に関する研究
専攻生	植田 恵実	下顎前突症術後の軟組織形態の変化に関する研究 ( A88-0470-6 )
	大越 学	下顎枝矢状分割術後の下顎頭長軸角の変化 ( A96-0470-7 )

## 2. 成果の概要

### 1) インプラントを用いた顎顔面再建に関する研究 ( A95-0470-5 )

近年悪性腫瘍の手術や外傷によって失われた顎骨に対して血管柄付移植骨にインプラントを埋入された臨床報告が多く見られるようになった。そこで我々は成犬において下歯槽神経血管束を血管柄として再植し、インプラント周囲の骨形成過程について検討したところ、2 週後例でインプラント周囲に骨新生が見られ、以後経日的に新生骨量が増すとともに緻密化し、12 週後例にはほぼ満足すべき状態に達していた。すなわちインプラントの埋入は free bone より living bone に行う方がよいことが証明された。

Dent Jpn 40, 63~66, 2004.

### 2) 下歯槽神経修復術後の神経回復過程に関する研究

当教室では腫瘍などにより下顎骨を切除する際、顎骨の形態回復だけでなく、オトガイ部の知覚機能の回復、すなわち機能的再建を積極的におこなっている。今回われわれは下顎歯肉癌のため下顎骨区域切除術と前腕皮弁による再建をおこなった 5 症例に対して、外側前腕皮神経を用いた下歯槽神経部への自家神経移植をおこなった。その結果下唇およびオトガイの知覚回復は移植後 10 ヶ月ごろより確認された。さらに移

植後 24 ヶ月では SW 値が 11.1gf/mm<sup>2</sup>を示し、これは非神経移植群よりも明らかな回復過程を示していた。このことより本法は下歯槽神経の修復術として有効な術式であると考えられた。

日口科会誌 52(5), 243~246, 2003.

Bull Tokyo Dent Coll 44(2), 29~35, 2003.

### 3) ヨード生体染色を用いた口腔癌の切除範囲の決定 (A89-0470-13, A98-9470-5, A01-0470-03)

近年当教室では、腫瘍の切除範囲設定の補助診断としてヨード生体染色を用いることを提唱している。このヨード不染部と癌化能を有する上皮異形成の関係について免疫組織学的に解析した結果、ヨード不染部は種々の程度の異形成を示し、異型性の程度が強くなるにつれて p53, PCNA 染色ともに陽性率は増加傾向を示した。さらにテロメラーゼ活性陽性率ならびに定量値は不染部では明らかに高値を示していた。以上のことから、ヨード不染部である上皮異形成はすでに過剰増殖能をもった細胞集団であり、癌に近い性格を有していることが示唆された。すなわちヨード不染部は癌とともに切除すべき病変であり、その明確な描出にはヨード染色法が有用であると考えられた。

Int J Oral Maxillofac Surg 33(1), 75~83, 2004.

Oral Oncol 40(3), 314~320, 2004.

### 4) 口腔癌抑制遺伝子の解析 (A89-0470-13, A99-0470-4, A01-0470-01, A01-0470-02, A94-0470-5)

口腔癌は未知のものを含め、様々な遺伝子が蓄積した結果発生するものと考えられている。我々は口腔癌関連遺伝子の異常を染色体の構造解析と、単一遺伝子の機能解析の両面からアプローチしている。今回我々は口腔癌の頸部リンパ節転移症例や予後不良症例について切除標本より DNA を採取し、ヒト第 2 番, 3 番および 21 番染色体上のヘテロ接合性消失 (LOH) およびマイクロサテライト不安定性 (MSI) の状況を検索した。その結果それぞれにおいて複数の異なった共通欠失領域が同定され、新規癌抑制遺伝子の存在が示唆された。すなわち口腔癌の悪性度の同定や、治療法の検討について重要な情報となり得るものと思われた。

アポトーシス関連遺伝子である Survivin を mRNA およびタンパクの発現から解析した。その結果、前癌病変である白板症および口腔扁平上皮癌において高い発現率を示した。この結果より Survivin は口腔扁平上皮癌の発生と強い関係があるものと推察された。さらにその発現はメチル化という epigenetic な機構により制御されていることが示唆された。

細胞周期に関わる CDKN1/p16 遺伝子のプロモーター領域における高メチル化に DNA メチルトランスフェラーゼが関与しているか口腔癌組織と健常組織の間で比較検討した。その結果 p16 遺伝子の高メチル化とタンパクもしくは mRNA の減弱を認めた。対照的に DNA メチルトランスフェラーゼは mRNA およびタンパクともに発現していた。しかしながら両者に相関は認められなかった。これらのことから p16 遺伝子の高メチル化と DNA メチルトランスフェラーゼの強発現とはそれぞれが異なる経路で起こるイベントではないかと考えられた。

Int J Oncol 22(6), 1201~1207, 2003.

Int J Clin Oncol 8(6), 386~390, 2003.

Oral Oncol 39(8), 64~68, 2003.

Oral Oncol 39(8), 796~805, 2003.

J Dent Res 82(8), 607~611, 2004.



### 3. 学外共同研究

担当者	研究課題	学外研究施設		
		研究施設	所在地	責任者
柴原 孝彦 山本 信治	口腔癌における重粒子線照射治療の基礎的, 臨床的研究	放射線医学総合研究所	千葉市	溝江 純悦
柴原 孝彦 恩田 健志	口腔癌関連遺伝子の同定とアミノ酸解析について	千葉大学	千葉市	丹沢 秀樹
柴原 孝彦 薬師寺 孝	口腔扁平上皮癌における p16/CDKN2 の hypermethylation と発現減弱	千葉大学	千葉市	丹沢 秀樹
柴原 孝彦 田中 千早	口腔扁平上皮癌におけるアポトーシス阻害蛋白 Survivin の過剰発現	千葉大学	千葉市	丹沢 秀樹
柴原 孝彦 野村 武史	口腔扁平上皮癌における顎骨浸潤発現のメカニズムに関する研究	徳島大学	徳島市	佐藤 光信
矢島 安朝 武田 栄三 別所 央城	炭酸水による舌刺激時の反応時間の測定	産業技術総合研究所	つくば市	斉藤 幸子
矢島 安朝 武田 栄三	味覚障害の客観的計測技術ならびに従来の検査法の自動化, 高速化技術の開発	産業技術総合研究所	つくば市	小早川 達
高木多加志 神尾 崇	顎顔面変形症の形態, 機能異常の3次元的評価と治療予測	株式会社ユニスン	大阪市	村本 陸司
高木多加志	口腔・顎顔面形態の3次元計測の標準化に関する研究	1. 佐賀医科大学 2. 大阪大学	1. 佐賀市 2. 大阪市	1. 後藤昌昭 2. 森 悦秀
高木多加志 高崎 義人	下顎枝矢状分割術後のオトガイ神経知覚障害検査方法の標準規格化に関する研究	1. 佐賀医科大学 2. 大阪大学	1. 佐賀市 2. 大阪市	1. 後藤昌昭 2. 森 悦秀
片倉 朗 高木 亮	フローサイトメトリーを用いた口腔扁平上皮癌の核DNA量解析	北海道大学	札幌市	井上 勝一
片倉 朗 高木 亮	口腔癌における第9,11,17番染色体のFISH法による解析	大塚アッセイ研究所	徳島市	江沢 英俊

4. 科学研究費補助金・各種補助金

研究代表者	研究課題	研究費
柴原 孝彦	口腔癌細胞株をもちいた重粒子線照射による DNA 構造変化の解析	科学研究費・基盤 (C)
笠原 清弘	口腔外科手術における SIRS の発現に関する研究 特に術後合併症との関連について	科学研究費・若手 (B)
山内 智博	癌抑制遺伝子産物 Doc 1 による口腔白板症の癌化の予測に関する検討	科学研究費・基盤 (C)
武田 栄三	脳磁場計測による大脳皮質味覚野の特定と味覚障害に対する他覚的客観的評価法の確立	科学研究費・若手 (B)
野村 武史	顎骨浸潤能を獲得した口腔扁平上皮癌の特性を探る	科学研究費・若手 (B)

5. 研究活動の特記すべき事項

シンポジウム

シンポジスト	年月日	講演演題	学会・研究会名	開催地
柴原 孝彦	2004.10.22	ヒト唾液腺腫瘍の遺伝子メカニズムへの糸口	第6回アジア顎顔面外科学会・第49回日本口腔外科学会総会	千葉市
柴原 孝彦	2004. 5. 7	唾液腺腫瘍 cDNA ライブラリーの解析および遺伝子発現プロファイル	第 58 回日本口腔科学会総会	横浜市
柴原 孝彦	2004.11.15	口腔癌の顎骨浸潤 その臨床と基礎 “ 下顎骨浸潤能をもつ歯肉癌 破骨細胞誘導サイトカインの役割 ”	東京医科歯科大学21世紀 COE プログラム 第7回シンポジウム 歯と骨の分子破壊と再構築のフロンティア	東京
高木多加志	2004.10.22	下顎枝矢状分割術へのロッキングプレートシステムによる固定	第6回アジア顎顔面外科学会・第49回日本口腔外科学会総会	千葉市
山本 信治	2004. 6. 17	頭頸部悪性腫瘍の組織型による重粒子線および X 線照射後における DNA 構造変化の相違の検討	第 28 回日本頭頸部腫瘍学会総会	福岡市
横尾 恵子	2004. 7. 9	ヨード不染部の解析	第 14 回日本口腔粘膜学会総会・学術集会	東京

6. 教育講演等教育に関する業績，活動

教育講演

講演者	年月日	演題	学会・研究会名	開催地
柴原 孝彦	2004. 6. 16	口腔癌と口腔癌検診	調布市歯科医師会 学術講演会	調布市
柴原 孝彦	2004. 6. 17	最近の口腔外科臨床から	印旛支部学術講演会	印旛郡
柴原 孝彦	2004. 11. 18	口腔粘膜疾患と口腔癌	習志野市歯科医師会 講演会	習志野市
柴原 孝彦	2004. 12. 5	口腔内小手術と偶発症	東京歯科大学千葉県 同窓会学術講演会	千葉市
柴原 孝彦	2004. 12. 15	口腔外科のトピックス	成田臨床検討会	成田市
柴原 孝彦	2004. 6. 30	口腔癌と早期発見	千葉市民文化大学	千葉市
柴原 孝彦	2004. 9. 29	病診連携	水葉会学術講演会	千葉市
柴原 孝彦	2004. 10. 29	最近の口腔外科	東京歯科大学同窓会 弥生会	千葉市
柴原 孝彦	2004. 11. 11	病診連携	茂原市長生郡 歯科医師会講演会	千葉市
柴原 孝彦	2004. 12. 5	口腔内小手術と偶発症	東京歯科大学千葉県 同窓会学術講演会	千葉市
矢島 安朝	2004. 11. 28	インプラント治療における 外科基本手技	日本大学歯学部同窓会 生涯教育臨床セミナー	東京
矢島 安朝	2004. 7. 25	骨移植とインプラント治療に 関する Clinical Evidence	プラトンセミナー2004	東京
矢島 安朝	2004. 11. 20	インプラント手術手技の基本 - 炎症総論からみたインプラント -	東京歯科大学長野県 中信地区同窓会学術講演会	松本市
矢島 安朝	2004. 11. 21	根拠に基づいたインプラント治療 (EBI)を考える 1. 偶発症とその対応 2. Top Down Treatment の落とし穴	東京歯科大学長野県 中信地区同窓会及び 木曜会講演会合同講演会	松本市
矢島 安朝	2004. 11. 9	口腔癌の早期発見は歯科医師の仕事	ラジオ NIKKEI 「歯科医の時間」	東京
片倉 朗	2004. 10. 14	あっ歯がとれちゃった ・・・外傷歯の処置	千葉県歯科医師会学校 歯科医会教育講演会	千葉市
片倉 朗	2004. 11. 11	智歯抜歯に伴う神経損傷への対応	千葉県茂原市長生郡 歯科医師会学術講演会	茂原市
片倉 朗	2005. 2. 18	1) 本学における教育カリキュラム - OSCEについて - 2) 口腔外科処置における偶発症への 対応	東京歯科大学同窓会 四谷支部学術講演会	東京

講演者	年月日	演題	学会・研究会名	開催地
片倉 朗	2004.12. 3	歯と全身の健康・運動能力	東京都新宿区立四谷第三 小学校総合授業6年生	東京
野村 武史	2004. 6. 3	口腔がんの発生要因について	千葉県市原市歯科医師会	市原市

#### 教育ワークショップ等

氏名	年月日	ワークショップ名	役割	開催地
矢島 安朝	2004. 5.15 ~16	第11回東京歯科大学カリキュラム 研修ワークショップ	タスクフォース	千葉県
野村 武史	2004. 4.26	第32回東京歯科大学 歯科医学教育セミナー	口腔外科WS実施報告	千葉県
花上 健一	2004. 7.23	平成16年度教育ワークショップ	訪問歯科診療	千葉県
柴原 孝彦	2004.11.25	東京歯科大学カリキュラム研修ワーク ショップ第1回アドバンスコース	参加者	千葉県
高木多加志	2004.11.25	東京歯科大学カリキュラム研修ワーク ショップ第1回アドバンスコース	参加者	千葉県
片倉 朗	2004.11.25	東京歯科大学カリキュラム研修ワーク ショップ第1回アドバンスコース	参加者	千葉県
畑田 憲一	2004.11.25	東京歯科大学カリキュラム研修ワーク ショップ第1回アドバンスコース	参加者	千葉県
武田 栄三	2004.11.25	東京歯科大学カリキュラム研修ワーク ショップ第1回アドバンスコース	参加者	千葉県
高野 正行	2004.12. 9	東京歯科大学カリキュラム研修ワーク ショップ第2回アドバンスコース	参加者	東京
山 満	2004.12. 9	東京歯科大学カリキュラム研修ワーク ショップ第2回アドバンスコース	参加者	東京
高崎 義人	2004.12. 9	東京歯科大学カリキュラム研修ワーク ショップ第2回アドバンスコース	参加者	東京
横山 葉子	2004.12. 9	東京歯科大学カリキュラム研修ワーク ショップ第2回アドバンスコース	参加者	東京
笠原 清弘	2005. 1.20	東京歯科大学カリキュラム研修ワーク ショップ第4回アドバンスコース	参加者	千葉県
山内 智博	2005. 1.20	東京歯科大学カリキュラム研修ワーク ショップ第4回アドバンスコース	参加者	千葉県
野村 武史	2005. 1.20	東京歯科大学カリキュラム研修ワーク ショップ第4回アドバンスコース	参加者	千葉県
花上 健一	2005. 1.20	東京歯科大学カリキュラム研修ワーク ショップ第4回アドバンスコース	参加者	千葉県

共用試験等

氏名	年月日	種別	役割	開催地
柴原 孝彦	2005. 2.27	平成 16 年度第 4 学年 OSCE	ST2 責任者	千葉市
柴原 孝彦	2005. 2.27	平成 16 年度第 4 学年 OSCE	評価者	千葉市
笠原 清弘	2005. 2.27	平成 16 年度第 4 学年 OSCE	評価者	千葉市
武田 栄三	2005. 2.27	平成 16 年度第 4 学年 OSCE	SP・指導医役	千葉市
花上 健一	2005. 2.27	平成 16 年度第 4 学年 OSCE	SP・指導医役	千葉市
山内 智博	2005. 2.27	平成 16 年度第 4 学年 OSCE	器材係	千葉市
盧 靖文	2005. 2.27	平成 16 年度第 4 学年 OSCE	誘導係	千葉市
生野 貴裕	2005. 2.27	平成 16 年度第 4 学年 OSCE	評価シート回収・入力	千葉市

## 論 文

1. Mizoe, J.<sup>(1)</sup>, Tsujii, H.<sup>(1)</sup>, Kamada, T.<sup>(1)</sup>, Tsuji, H.<sup>(1)</sup>, Hasegawa, A.<sup>(1)</sup>, Yamamoto, N., Ebihara, S.<sup>(2)</sup> : Dose Escalation Study of Carbon ion Radiotherapy for Locally Advanced Head-and-neck Cancer, *Int J Radiat Oncol Biol Phys* **60**(2), 358 ~ 364, 2001. 原著 (1)放射線医学総合研究所・重粒子医科学センター病院,(2)国立がんセンター東病院
2. 野村武史 : 顎骨浸潤能を獲得した口腔扁平上皮癌の特性を探る, *歯科学報* **105**(1), 13 ~ 21, 2004. 原著
3. Yajima, Y., Noma, H., Furuya, Y., Nomura, T., Yamauchi, T., Kasahara, K., Hatada, K., Takano, M.<sup>(1)</sup> : Quantification of telomerase activity of regions unstained with Iodine solution that surround oral squamous cell carcinoma, *Oral Oncol* **40**(3), 314 ~ 320, 2004. 原著 (1)水病・口外科
4. 林 芳裕<sup>(1)</sup>, 片倉 朗, 黒須美佳<sup>(1)</sup>, 松坂賢一<sup>(2)</sup>, 薬師寺 仁<sup>(1)</sup> : 6歳男児に認められた歯牙腫を伴う石灰化歯原性膿胞の1例, *小児歯誌* **42**(3), 447 ~ 452, 2004. 症例 (1)小児歯,(2)臨検査
5. Matsuzaka, K.<sup>(1)</sup>, Shibahara, T., Murakami, S.<sup>(1)</sup>, Lee, D.<sup>(1)</sup>, Shimono, M.<sup>(2)</sup>, Inoue, T.<sup>(1)</sup> : Acinic cell carcinoma found by recurrence of a mucous cyst in the sublingual gland, *Bull Tokyo Dent Coll* **45**(2), 95 ~ 98, 2004. 症例 細形研 (1)臨検査,(2)病理
6. 高崎義人<sup>(1)</sup>, 秋元善次<sup>(1)</sup>, 柿澤 卓<sup>(1)</sup>, 清水英孝<sup>(2)</sup>, 南 克浩<sup>(2)</sup>, 森 悦秀<sup>(2)</sup>, 野口信宏<sup>(3)</sup>, 檀上 敦<sup>(3)</sup>, 後藤昌昭<sup>(3)</sup>, 浜瀬真紀, 高木多加志, 野間弘康, 渡邊 裕<sup>(4)</sup>, 外木守雄<sup>(4)</sup>, 山根源之<sup>(4)</sup> : 下顎枝矢状分割法術後のオトガイ神経知覚検査に関する臨床的研究 第二報 知覚障害程度の違いによる回復過程の差について, *日顎変形会誌* **14**(2), 101 ~ 110, 2004. 原著 (1)水病・口外科,(2)阪大・口外2,(3)佐賀大・歯口外,(4)市病・オーラルメディスン
7. 山内智博, 野間弘康, 矢島安朝, 古谷義隆, 野村武史, 櫻井 薫<sup>(1)</sup>, 杉山哲也<sup>(1)</sup>, 石崎 憲<sup>(1)</sup>, 安藤友彦<sup>(1)</sup>, 小林健一郎<sup>(1)</sup>, 和光 衛<sup>(2)</sup>, 見明康雄<sup>(3)</sup> : HA 薄膜コーティングインプラントの有用性に関する実験的研究, *日本顎顔面インプラント学会誌* **1**(1), 11 ~ 16, 2004. 原著 (1)補綴1,(2)歯放,(3)超微構造
8. Furuya, Y., Yajima, Y., Noma, H. : Characteristics of Osteogenesis Around Dental Implant Inserted into Vascularized Bone Grafts and Free Bone Grafts in Mandible of Dogs, *Dent Jpn* **40**, 63 ~ 66, 2004. 原著
9. Katakura, A., Shibahara, T., Noma, H., Yoshinari, M.<sup>(1)</sup> : Material Analysis of AO Plate Fracture Cases, *J Oral Maxillofac Surg* **62**(3), 348 ~ 352, 2004. 原著 (1)理工
10. 山本信治, 溝江純悦<sup>(1)</sup>, 柴原孝彦 : 頭頸部癌への重粒子線治療の最前線 - 本学と放医研との共同研究について -, *歯科学報* **104**(4), 397 ~ 403, 2004. 原著 (1)放射線医学総合研究所・重粒子医科学センター病院
11. 神山 勲, 野間弘康, 片倉 朗 : 4-nitroquinoline 1-oxide 誘発ラット舌癌における 5-fluorouracil 持続動注の効果, *歯科学報* **104**(4), 438 ~ 450, 2004. 原著
12. Muramatsu, T.<sup>(1)</sup>, Shima, K.<sup>(1)</sup>, Ohta, K.<sup>(2)</sup>, Kizaki, H.<sup>(2)</sup>, Ro, Y., Kohno, Y.<sup>(3)</sup>, Abiko, Y.<sup>(4)</sup>, Shimono, M.<sup>(1)</sup> : Inhibition of osteopontin expression and function in oral cancer cell lines by antisense oligonucleotides, *Cancer Lett* **217**(1), 87 ~ 95, 2005. 原著 A-02-0160-01, 科研費萌芽 14657489 細形研,分子生研 (1)病理,(2)生化学,(3)昭和大・口病,(4)北医大・口病

13. Shibahara, T., Nomura, T. : Osteoclast-activated cytokines as caused mandibular invasion in gingival squamous cell carcinoma, Dent Jpn **41**, 61 ~ 65, 2005. 原著

## 解 説

1. 柴原孝彦 : 見落としてはいけない口腔外の腫脹, デンタルダイヤモンド **29**(10), 80 ~ 84, 2004.
2. 矢島安朝 : メディカルインタビュー医療面接 求められる言葉の医療行為 座談会 問診からメディカル・インタビューの時代へ, デンタルダイヤモンド **29**(14), 13 ~ 21, 2004.
3. 矢島安朝 : メディカルインタビュー医療面接 求められる言葉の医療行為 こんな患者が来院したら・・・ 他院のミスが明らかな場合, デンタルダイヤモンド **29**(14), 75, 2004.
4. 矢島安朝 : メディカルインタビュー医療面接 求められる言葉の医療行為 こんな患者が来院したら・・・ 癌の告知, デンタルダイヤモンド **29**(14), 86 ~ 87, 2004.
5. 矢島安朝 : メディカルインタビュー医療面接 求められる言葉の医療行為 歯科教育改革が求める歯科医師像, デンタルダイヤモンド **29**(14), 122 ~ 130, 2005.

## プロシーディングス

1. Tazaki, M.<sup>(1)</sup>, Tazaki, Y.<sup>(1)</sup>, Bessho, H., Takeda, E., Yajima, Y., Noma, H. : Responses of the Gustatory Area Following Electrical Stimulation of Palatine Ridge, Int Congr Ser(1270), 197 ~ 200, 2004.(15th World Congress of the International Society for Brain Electromagnetic Topography, Urayasu) (1)生理

## その他

1. 片倉 朗 : ロサンゼルス歯医者さん, 千葉市歯科医師会雑誌 Wisdom **161**, 24 ~ 27, 2004.

## 学会抄録

1. Yoshinari, M.<sup>(1)</sup>, Inoue, T.<sup>(2)</sup>, Matsuzaka, K.<sup>(2)</sup>, Abe, S.<sup>(3)</sup>, Miake, Y.<sup>(4)</sup>, Shibahara, T., Kato, T.<sup>(5)</sup>, Hirayama, A.<sup>(6)</sup> : Development of smart biomaterials modified with salivary proteins, Bull Tokyo Dent Coll **45**(2), 153 ~ 157, 2004.(Workshop 2003 Oral Health Science Center Tokyo Dental College, Chiba) (1)理工,(2)臨検査,(3)解剖,(4)超微構造,(5)微生物,(6)RI研
2. 松木美和子<sup>(1)</sup>, 橋本貞充<sup>(1)</sup>, 嶋 香織<sup>(1)</sup>, 佐々木穂高<sup>(1)</sup>, 中野洋子<sup>(2)</sup>, 斉藤 力<sup>(3)</sup>, 柴原孝彦, 畑田憲一, 松井 隆<sup>(4)</sup>, 井上 孝<sup>(5)</sup>, 下野正基<sup>(1)</sup> : 口腔領域にみられた Sinusoidal Hemangioma の 5 例, 歯科学報 **104**(5), 511, 2004. (第 278 回東京歯科大学学会総会, 千葉市) 細形研 (1)病理,(2)口外 II,(3)新潟大・組織再建口外,(4)水病・口外科,(5)臨検査
3. 鈴木憲久, 与謝野明, 山内智博, 矢島安朝, 野間弘康, 井上 孝<sup>(1)</sup>, 才藤純一<sup>(2)</sup>, 和光 衛<sup>(3)</sup> : TS-1 投与が著効した進行上顎癌の 1 例, 日口腔外会誌 **50**(11), 704, 2004.(第 177 回日本口腔科学会関東地方会, 川越市) (1)臨検査,(2)予病・臨検,(3)歯放

4. 柴原孝彦, 鶴澤一弘<sup>(1)</sup>, 佐藤光信<sup>(2)</sup>, 関 直彦<sup>(3)</sup>, 野間弘康, 丹沢秀樹<sup>(1)</sup> : ヒト唾液線腫瘍の遺伝子メカニズムへの糸口, 日口腔外会誌 **50**(13), 813, 2004.(第 6 回アジア顎顔面外科学会・第 49 回日本口腔外科学会総会, 千葉市)  
(1)千葉大・医・臨床分子生物,(2)徳島大・口外 II,(3)千葉大・医・機能ゲノム
5. 高木多加志 : 下顎枝矢状分割術へのロッキングプレートシステムによる固定, 日口腔外会誌 **50**(13), 817 ~ 818, 2004.(第 6 回アジア顎顔面外科学会・第 49 回日本口腔外科学会総会, 千葉市)
6. 神山 勲, 山田美香, 生野貴裕, 高木 亮, 片倉 朗, 柴原孝彦, 野間弘康, 村松 敬<sup>(1)</sup>, 石原和幸<sup>(2)</sup> : 唾液タンパクが口腔癌に及ぼす影響, 日口腔外会誌 **50**(13), 878, 2004.(第 6 回アジア顎顔面外科学会・第 49 回日本口腔外科学会総会, 千葉市) (1)病理,(2)微生物
7. 中本大介, 山本信治, 柴原孝彦, 野間弘康 : 頭頸部悪性腫瘍における循環血清 free DNA の検出とその臨床応用, 日口腔外会誌 **50**(13), 879, 2004.(第 6 回アジア顎顔面外科学会・第 49 回日本口腔外科学会総会, 千葉市)
8. 高木 亮, 片倉 朗, 柴原孝彦, 野間弘康 : 舌癌における p16, p21, cyclin D1 遺伝子産物の発現の予後因子としての意義, 日口腔外会誌 **50**(13), 881 ~ 882, 2004.(第 6 回アジア顎顔面外科学会・第 49 回日本口腔外科学会総会, 千葉市)
9. 野村武史, 柴原孝彦, 野間弘康 : アセトアルデヒドによるラット舌粘膜上皮の変化に関する研究, 日口腔外会誌 **50**(13), 883, 2004.(第 6 回アジア顎顔面外科学会・第 49 回日本口腔外科学会総会, 千葉市)
10. 盧 靖文, 矢島安朝, 柴原孝彦, 野間弘康, 村松 敬<sup>(1)</sup>, 嶋 香織<sup>(1)</sup>, 下野正基<sup>(1)</sup> : Reduction of syndecan-1 in tongue squamous cell carcinoma, 日口腔外会誌 **50**(13), 885, 2004.(第 6 回アジア顎顔面外科学会・第 49 回日本口腔外科学会総会, 千葉市) (1)病理
11. 恩田健志, 柴原孝彦, 野間弘康 : 口腔扁平上皮癌のプロテオミクス解析, 日口腔外会誌 **50**(13), 888 ~ 889, 2004.(第 6 回アジア顎顔面外科学会・第 49 回日本口腔外科学会総会, 千葉市)
12. 沼澤秀之, 柿本吉堂, 山本信治, 柴原孝彦, 野間弘康 : 口腔扁平上皮癌における第 2 番染色体長腕上のヘテロ接合性消失, 日口腔外会誌 **50**(13), 889, 2004.(第 6 回アジア顎顔面外科学会・第 49 回日本口腔外科学会総会, 千葉市)
13. 山本信治, 中本大介, 沼澤秀之, 田中千早, 薬師寺 孝, 野村武史, 柴原孝彦, 野間弘康 : 頭頸部悪性腫瘍の重粒子線および X 線照射後の DNA 構造変化の検討, 日口腔外会誌 **50**(13), 891, 2004.(第 6 回アジア顎顔面外科学会・第 49 回日本口腔外科学会総会, 千葉市)
14. 田中千早, 沼澤秀之, 薬師寺 孝, 山本信治, 柴原孝彦, 野間弘康 : 口腔扁平上皮癌における Survivin の発現について, 日口腔外会誌 **50**(13), 900, 2004.(第 6 回アジア顎顔面外科学会・第 49 回日本口腔外科学会総会, 千葉市)
15. 藤波 淳, 野間弘康, 柴原孝彦, 高木多加志, 浜瀬真紀 : 外科的矯正治療における顔面の対称性判定基準正面頭部 X 線規格写真分析の基準図形 , 日口腔外会誌 **50**(13), 904, 2004.(第 6 回アジア顎顔面外科学会・第 49 回日本口腔外科学会総会, 千葉市)
16. 武田栄三, 別所央城, 矢島安朝, 柴原孝彦, 野間弘康 : MEG 計測による大脳皮質味覚野の特定(第 2 報), 日口腔外会誌 **50**(13), 914, 2004.(第 6 回アジア顎顔面外科学会・第 49 回日本口腔外科学会総会, 千葉市) 脳科学研



17. 渡邊 裕<sup>(1)</sup>, 佐藤一道<sup>(1)</sup>, 岡崎雄一郎<sup>(1)</sup>, 高田篤史<sup>(1)</sup>, 森崎重規<sup>(1)</sup>, 蔵本千夏<sup>(1)</sup>, 木津康博<sup>(1)</sup>, 小澤靖弘<sup>(1)</sup>, 森本光明<sup>(1)</sup>, 外木守雄<sup>(1)</sup>, 山根源之<sup>(1)</sup>, 武田栄三, 矢島安朝, 柴原孝彦, 野間弘康 : 口腔内手術が随意嚥下の中枢制御に及ぼす影響について, 日口腔外会誌 **50**(13), 914 ~ 915, 2004.(第 6 回アジア顎顔面外科学会・第 49 回日本口腔外科学会総会, 千葉市) (1)市病・オーラルメディスン
18. 浜瀬真紀, 野間弘康, 高木多加志, 柴原孝彦, 高崎義人<sup>(1)</sup> : 下顎枝矢状分割法術後の知覚障害に関する臨床的研究, 日口腔外会誌 **50**(13), 915, 2004.(第 6 回アジア顎顔面外科学会・第 49 回日本口腔外科学会総会, 千葉市) (1)水病・口外科
19. 山口晋一, 柴原孝彦, 高崎義人<sup>(1)</sup>, 野間弘康 : 硬組織用超音波メスによる下歯槽神経損傷:短時間接触による影響, 日口腔外会誌 **50**(13), 915, 2004.(第 6 回アジア顎顔面外科学会・第 49 回日本口腔外科学会総会, 千葉市) (1)水病・口外科
20. 別所央城, 武田栄三, 矢島安朝, 柴原孝彦, 野間弘康, 澁川義幸<sup>(1)</sup>, 田崎雅和<sup>(1)</sup> : MEG 計測による口蓋粘膜電気刺激による体性感覚野の応答, 日口腔外会誌 **50**(13), 916, 2004.(第 6 回アジア顎顔面外科学会・第 49 回日本口腔外科学会総会, 千葉市) 脳科学研 (1)生理
21. 高崎義人<sup>(1)</sup>, 高野正行<sup>(1)</sup>, 柿澤 卓<sup>(1)</sup>, 清水英孝<sup>(2)</sup>, 南 克浩<sup>(2)</sup>, 森 悦秀<sup>(2)</sup>, 野口信宏<sup>(3)</sup>, 壇上 敦<sup>(3)</sup>, 後藤昌昭<sup>(3)</sup>, 浜瀬真紀, 高木多加志, 野間弘康, 渡邊 裕<sup>(4)</sup>, 外木守雄<sup>(4)</sup>, 山根源之<sup>(4)</sup> : 下顎枝矢状分割法術後のオトガイ神経知覚障害, 日口腔外会誌 **50**(13), 927 ~ 928, 2004.(第 6 回アジア口腔顎顔面外科学会・第 49 回 日本口腔外科学会, 千葉市) (1)水病・口外科,(2)阪大・口外 2,(3)佐賀大・歯口外,(4)市病・オーラルメディスン
22. 生野貴裕, 山本雅絵, 与謝野明, 椎木さやか, 浜瀬真紀, 高木多加志, 柴原孝彦, 野間弘康, 高崎義人<sup>(1)</sup> : 下顎枝矢状分割法術後の知覚障害の検討, 日口腔外会誌 **50**(13), 928, 2004.(第 6 回アジア顎顔面外科学会・第 49 回日本口腔外科学会総会, 千葉市) (1)水病・口外科
23. 田村英俊<sup>(1)</sup>, 佐々木研一<sup>(2)</sup>, 高木多加志, 野間弘康 : 顎変形症患者の下顎枝形態に関する研究, 日口腔外会誌 **50**(13), 928 ~ 929, 2004.(第 6 回アジア顎顔面外科学会・第 49 回日本口腔外科学会総会, 千葉市) 脳科学研 (1)亀田総合病院・歯口外,(2)口外
24. 椎木さやか, 高木多加志, 柴原孝彦, 野間弘康 : 下顎後退症の顎矯正手術の術後安定性, 日口腔外会誌 **50**(13), 929, 2004.(第 6 回アジア顎顔面外科学会・第 49 回日本口腔外科学会総会, 千葉市)
25. 横尾恵子, 野間弘康, 矢島安朝, 柴原孝彦 : 口腔扁平上皮癌周囲にひろがるヨード不染部の解析, 日口腔外会誌 **50**(13), 969 ~ 970, 2004.(第 6 回アジア顎顔面外科学会・第 49 回日本口腔外科学会総会, 千葉市)
26. 横尾恵子, 野間弘康, 矢島安朝, 野村武史, 与謝野 明, 高野正行<sup>(1)</sup> : ヨード不染部の解析, 日口腔粘膜会誌 **10**(2), 62, 2004.(第 14 回日本口腔粘膜学会総会・学術集会, 東京) (1)水病・口外科
27. 与謝野 明, 野間弘康, 柴原孝彦, 野村武史, 横尾恵子 : メシル酸カモスタット含有含嗽剤による TS-1 誘発口内炎の治療経験の 1 例, 日口腔粘膜会誌 **10**(2), 68, 2004.(第 14 回日本口腔粘膜学会総会・学術集会, 東京)
28. 与謝野 明, 神尾 崇, 椎木さやか, 浜瀬真紀, モハメッドアシュラフ, 高木多加志, 野間弘康 : 矯正用インプラント埋入の検討, 日顎変形会誌 **14**(3), 234, 2004.(第 14 回日本顎変形症学会総会, 福岡市)

29. 神尾 崇, 生野貴裕, 与謝野 明, 椎木さやか, 浜瀬真紀, モハメッドアシュラフ, 高木多加志, 野間弘康 : 外科的矯正治療の顎顔面軟組織三次元形状解析-第 1 報 下顎前突症の検討-, 日顎変形会誌 14(3), 249, 2004.(第 14 回日本顎変形症学会総会, 福岡市)
30. モハメッドアシュラフ, 与謝野 明, 神尾 崇, 椎木さやか, 浜瀬真紀, 高木多加志, 野間弘康 : 外科的矯正治療の顎顔面軟組織三次元形状解析-第 2 報 顔面非対称症例の検討-, 日顎変形会誌 14(3), 249, 2004.(第 14 回日本顎変形症学会総会, 福岡市)
31. 高木多加志 : イブニングフォーラム「矯正用インプラントの埋入手術とメンテナンス」-インプラント矯正を確実にこなうために-矯正用インプラント埋入手術の診断と注意点, 日顎変形会誌 14(3), 259, 2004.(第 14 回日本顎変形症学会総会, 福岡市)
32. 花上健一, 神尾 崇, 高木多加志, 野間弘康, 西井 康<sup>(1)</sup>, 山口秀晴<sup>(1)</sup> : 口蓋におけるインプラントアンカー埋入位置の臨床的検討, 日顎変形会誌 14(3), 259, 2004.(第 14 回日本顎変形症学会総会, 福岡市) (1)矯正
33. 山本信治, 中本大介, 沼澤秀之, 田中千早, 薬師寺 孝, 野村武史, 柴原孝彦, 野間弘康 : 頭頸部悪性腫瘍の組織型による重粒子線および X 線照射後における DNA 構造変化の相違の検討, 頭頸部腫瘍 30(2), 191, 2004.(第 28 回日本頭頸部腫瘍学会総会, 福岡市)
34. 野村武史, 崔念暉, 横尾恵子, 橋本貞充<sup>(1)</sup>, 柴原孝彦, 野間弘康 : マウス顎骨浸潤癌モデルを用いた新規薬剤 YM529 の効果について, 頭頸部腫瘍 30(2), 249, 2004.(第 28 回日本頭頸部腫瘍学会総会, 福岡市) (1)病理
35. 田中千早, 沼澤秀之, 薬師寺 孝, 山本信治, 柴原孝彦, 野間弘康 : 口腔扁平上皮癌におけるアポトーシス阻害遺伝子 Survivin の発現について, 日癌治療会誌 39(2), 899, 2004.(第 42 回日本癌治療学会総会, 京都市)
36. 盧 靖文, 矢島安朝, 柴原孝彦, 野間弘康, 村松 敬<sup>(1)</sup>, 嶋 香織<sup>(1)</sup>, 下野正基<sup>(1)</sup> : 舌扁平上皮癌における Syndecan-1 の発現, 日癌治療会誌 39(2), 899, 2004.(第 42 回日本癌治療学会総会, 京都市) (1)病理
37. 沼澤秀之, 田中千早, 薬師寺 孝, 山本信治, 柴原孝彦, 野間弘康 : 口腔扁平上皮癌における第二染色体上のヘテロ接合性消失(LOH)とマイクロサテライト不安定性(MSI)についての解析, 日口腔科会誌 54(1), 161, 2004.(第 58 回日本口腔科学会総会, 横浜市)
38. 作間 巧, 武田栄三, 片倉 朗, 山内智博, 神尾 崇, 盧 靖文, 柴原孝彦, 下野正基<sup>(1)</sup>, 嶋 香織<sup>(1)</sup>, 村上 聡<sup>(2)</sup> : 当講座における歯原性粘液腫の臨床的検討, 日口腔科会誌 54(2), 293, 2004.(第 38 回日本口腔科学会関東地方会, 東京) (1)病理,(2)臨検査
39. 恩田健志, 柴原孝彦, 野間弘康 : ヒト口腔扁平上皮癌由来細胞株と正常歯肉由来表皮角化細胞のプロテオミクス解析, Cancer Science 95(Suppl), 206, 2004.(第 63 回日本癌学会総会, 福岡市)
40. 菅原圭亮, 椎木さやか, 武田栄三, 山内智博, 柴原孝彦, 野間弘康, 橋本貞充<sup>(1)</sup>, 嶋 香織<sup>(1)</sup>, 佐野 司<sup>(2)</sup> : 頸部に発生した脂肪腫の一例, 第 178 回日本口腔外科学会(関東地方会)プログラム・抄録集, 18, 2004.(第 178 回日本口腔外科学会関東地方会, 東京) (1)病理,(2)歯放

41. 山内智博, 野間弘康, 柴原孝彦, 矢島安朝, 古谷義隆, 野村武史, 櫻井 薫<sup>(1)</sup>, 杉山哲也<sup>(1)</sup>, 石崎 憲<sup>(1)</sup>, 安藤友彦<sup>(1)</sup>, 和光 衛<sup>(2)</sup>, 見明康雄<sup>(3)</sup> : HA 薄膜インプラントの有用性(第 2 報), 第 8 回日本顎顔面インプラント学会プログラム・抄録集, 27, 2004.(第 8 回日本顎顔面インプラント学会, 東京) (1)補綴 I,(2)歯放,(3)超微構造
42. 高木多加志, 浜瀬真紀, 花上健一, 野間弘康, 川端薫子<sup>(1)</sup>, 根津亜希子<sup>(1)</sup>, 西井 康<sup>(1)</sup>, 野嶋邦彦<sup>(1)</sup>, 山口秀晴<sup>(1)</sup> : 口蓋用インプラントアンカー(PIAS)の開発 第 1 報 インプラント体と埋入手技, 日矯正歯会 63 回抄集, 216, 2004.(第 63 回日本矯正歯科学会大会, 福岡市) (1)矯正
43. 花上健一, 浜瀬真紀, 高木多加志, 野間弘康, 根津亜希子<sup>(1)</sup>, 川端薫子<sup>(1)</sup>, 西井 康<sup>(1)</sup>, 野嶋邦彦<sup>(1)</sup>, 山口秀晴<sup>(1)</sup> : 口蓋用インプラントアンカー(PIAS)の開発 第 3 報 口蓋埋入部位の X 線診断と埋入計画, 日矯正歯会 63 回抄集, 251, 2004.(第 63 回日本矯正歯科学会大会, 福岡市) (1)矯正
44. 浜瀬真紀, 野間弘康, 高木多加志, 高崎義人<sup>(1)</sup> : 下顎枝矢状分割法術後の知覚障害に関する研究, 日矯正歯会 63 回抄集, 261, 2004.(第 63 回日本矯正歯科学会大会, 福岡市) (1)水病・口外科
45. 別所央城, 武田栄三, 神尾 崇, 横尾恵子, 片倉 朗, 小池吉彦<sup>(1)</sup>, 橋本貞充<sup>(2)</sup>, 音成貴道<sup>(3)</sup>, 佐野 司<sup>(3)</sup>, 野間弘康 : 翼口蓋窩に認められた血管腫の 1 例, 歯科学報 **104**(3), 366, 2004.(第 277 回東京歯科大学学会例会, 千葉市) (1)臨検査,(2)病理,(3)歯放
46. 柿本吉堂, 中本大介, 沼澤秀之, 山本信治, 柴原孝彦 : 口腔扁平上皮癌における第 2 番染色体長腕上のヘテロ接合性消失(LOH)とマイクロサテライト不安定性(MSI)の解析, 歯科学報 **104**(5), 509, 2004.(第 278 回東京歯科大学学会総会, 千葉市)
47. 片倉 朗, 村松 敬<sup>(1)</sup>, 石原和幸<sup>(2)</sup>, 神山 勲, 高木 亮, 山田美香, 生野貴裕, 柴原孝彦, 大鶴 洋<sup>(3)</sup> : 唾液タンパクが口腔癌に及ぼす影響, 平成 16 年度東京歯科大学口腔科学研究センターワークショッププログラムおよび抄録集, 25, 2005.(平成 16 年度東京歯科大学口腔科学研究センターワークショップ, 千葉市) (1)病理,(2)微生物,(3)東京医療センター・口腔外科
48. 井上 孝<sup>(1)</sup>, 松坂賢一<sup>(1)</sup>, 下野正基<sup>(2)</sup>, 吉成正雄<sup>(3)</sup>, 山中すみへ<sup>(4)</sup>, 田崎雅和<sup>(5)</sup>, 石川達也<sup>(6)</sup>, 山田 了<sup>(7)</sup>, 久保周平<sup>(8)</sup>, 関根秀志<sup>(9)</sup>, 茂木悦子<sup>(10)</sup>, 矢島安朝, 新谷益朗<sup>(11)</sup>, 石崎 憲<sup>(12)</sup> : 唾液検査とオーダージェット治療, 平成 16 年度東京歯科大学口腔科学研究センターワークショッププログラムおよび抄録集, 27, 2005.(平成 16 年度東京歯科大学口腔科学研究センターワークショップ, 千葉市) (1)臨検査,(2)病理,(3)理工,(4)衛生,(5)生理,(6)保存 III,(7)保存 II,(8)小児歯,(9)補綴 III,(10)矯正,(11)脳科学研究施設,(12)補綴 I
49. Hanaue,K., Noma,H., Shibahara,T. : Experimental study of fracture line on sagittal splitting of mandible, J Dent Res (CD-ROM) **84**(Special Issue A), #2259, 2005.(83rd General Session & Exhibition of the IADR / AADR / CADR, Baltimore, USA)
50. Muramatsu,T.<sup>(1)</sup>, Ro,Y., Shima,K.<sup>(1)</sup>, Ohta,K.<sup>(2)</sup>, Uekusa,T.<sup>(1)</sup>, Shimono,M.<sup>(1)</sup> : Inhibition of Syndecan-1 using siRNA in Human Oral Cancer, J Dent Res (CD-ROM) **84**(Special Issue A), #2748, 2005.(83rd General Session & Exhibition of the IADR / AADR / CADR, Baltimore, USA) (1)病理,(2)生化学
51. 右田雅士, 山本信治, 横尾恵子, 野村武史, 柴原孝彦, 松坂賢一<sup>(1)</sup>, 井上 孝<sup>(1)</sup> : 周辺性エナメル上皮腫の 3 例, 第 23 回日本口腔腫瘍学会プログラム・抄録集, 2005.(第 23 回日本口腔腫瘍学会総会, 東京) (1)臨検査

## 6. 口腔外科学第二講座

### プロフィール

#### 1. 教室員と主研究テーマ

教授	内山 健志	口唇顎口蓋裂患者の形態学ならびに機能的研究
講師	松井 隆	口腔外科手術を安全に行うための画像解析
	大畠 仁	顎裂部骨形成における Platelet-rich Plasma 応用についての研究
	中野 洋子	口蓋裂患者の音声言語学的研究
	米津 博文	顎関節鏡視下剥離授動術前後の顎運動に関する研究 ( A98-0480-3 )
	須賀賢一郎	顎顔面変形症患者の顎運動機能が顎顔面形態に及ぼす影響
助手	西堀 陽平	マウス二次口蓋発生における正中上皮索消失 ( A00-0480-5 )
	本橋 佳子	口蓋裂患者の摂食機能獲得過程について
	幾本 英之	骨組織への多血小板血漿 ( PRP ) 応用についての基礎的研究
	中嶋 英乃	口唇口蓋裂患児の食生活に関する研究
大学院生	石井 建	外科的顎矯正手術に関わる臨床解剖学的研究 ( A00-0480-1 )
	吉村 元	MEG を用いた口腔内異常感覚に対する言語中枢の制御に関する研究 ( A01-0480-1 )
	大島 崇宏	マウス顎関節発生過程の形態学的観察
	渡邊 章	日本人口唇・口蓋裂遺伝子の解析
	市川英三郎	下顎前突症に関する遺伝子解析
	水橋 博行	生体吸収性骨接合材料の骨治癒期間中における疲労特性

#### 2. 成果の概要

##### 1) MEG を用いた口腔内異常感覚に対する言語中枢の制御に関する研究 ( A01-0480-1 )

発音・発語に関する大脳皮質機能の時間的な経過については、いまだ明らかにされていない。本研究は、磁場変動に影響を与える発音に関わる筋の運動によるノイズを防止する必要性から、被験者に発音させることなく発音のイメージ想起を行わせ、その際の大脳皮質の初期活動を捉える方法を考案して、誘発脳磁場を記録した。すなわち、タイミングを維持しながら、視覚刺激に同期して聴覚刺激を用いるコントロール条件と、視覚刺激に同期して言語音想起を行う実験条件の差分計測を行うという方法により、解析を行ったものである。

被験者は6人の健康成人(男性4人 女性2人) Edinburgh Scale にて右利きと判断され、視覚異常がないことが確認された。MEG 計測にあたり十分にインフォームドコンセントがなされ、文章による承諾を得ている。本研究では視覚、聴覚刺激をもちいた3パターンのタスクを考案し100回の誘発脳磁場加算を行った。各条件を分析したところ、潜時約160ms付近において右側前頭、側頭葉および右島葉に優位な反応を得た。発声想起は言葉の認知と表出という相互作用が存在し、複雑なネットワークを形成しており、その活動の左半球の優位性が指摘されてきた。今回の結果はそのネットワークの一部であり、潜時160msにおける右側前頭、側頭葉および右島葉の脳活動が音声想起に関与することが示唆された。

2) Le Fort I 型骨切り術から見た顎動脈とその分枝の走行に関する外科解剖

本研究は上顎の手術、とくに Le fort I 型骨切り術との関連から、顎動脈およびその分枝である下行口蓋動脈の走行について、顎骨に対する位置関係を把握することを目的とした。日本人遺体 29 体 (57 側) の造影剤注入頭部 X 線規格写真を撮影し、Cephalo Metrics A to Z (安永コンピューターシステム) を用いて X 線画像上の分析を行った。その結果、Le Fort I 型骨切り術を行う際に、水平骨切り線と交差し得る破格が約 3.5% 認められ、骨ノミ挿入時に顎動脈が刃部上方に近接し得るものが、7% ~ 11% 認められた。また、梨状口側縁から下行口蓋動脈までの距離を測定したところ、下行口蓋動脈が骨切り時に骨鋸に接触し得る所見が左右とも約 10% 認められた。以上より、翼突上顎結合部の分割に際しては、骨ノミ刃部を上方に向けたり逸脱することを避けることが顎動脈の損傷防止につながり、また骨鋸を用いて梨状口側壁を骨切りする際には、深部の鼻腔側壁を骨切りしないことが、下行口蓋動脈の損傷防止につながると考えられた。

3. 学外共同研究

担当者	研究課題	学外研究施設		
		研究施設	所在地	責任者
内山 健志 渡邊 章 大島 仁 中野 洋子 幾本 英之	日本人口唇裂・口蓋裂患者における候補遺伝子の解析	長崎大学医学部付属病院 原爆後遺障害医療研究施設 分子医療部門 変異遺伝子解析研究分野	長崎市	新川 詔夫 吉浦孝一郎
内山 健志 大島 仁 須賀賢一郎 幾本 英之 渡邊 章 市川英三郎	日本人骨格性下顎前突症患者における候補遺伝子の解析	長崎大学医学部付属病院 原爆後遺障害医療研究施設 分子医療部門 変異遺伝子解析研究分野	長崎市	新川 詔夫 平野 明喜 吉田 教明 吉浦孝一郎

4. 研究活動の特記すべき事項

シンポジウム

シンポジスト	年月日	講演演題	学会・研究会名	開催地
内山 健志	2004. 5.27	シンポジウム 「教室における不完全口蓋裂と完全口蓋裂に対する初回手術」	第28回日本口蓋裂学会 総会	鹿児島市
中野 洋子	2004. 5.28	シンポジウム 「両側唇顎口蓋裂に対する Hotz 床による管理」	第28回日本口蓋裂学会 総会	鹿児島市

5. 教育講演等教育に関する業績, 活動

教育講演

講演者	年月日	演 題	学会・研究会名	開催地
須賀賢一郎	2004. 6. 2	日常臨床に即した小手術	千葉市同窓会	千葉市
成田 真人	2004.11.11	いまなぜ、病診連携が必要なのか? 症例をまじえて 注意しましょう。こんな小児の外傷には	茂原市長生郡歯科医師会	茂原市

教育ワークショップ等

氏 名	年月日	ワークショップ名	役 割	開催地
幾本 英之	2004. 5. 15 ~16	第11回東京歯科大学カリキュラム 研修ワークショップ	参加者	千葉市
内山 健志	2004.11.25	東京歯科大学カリキュラム研修ワーク ショップ第1回アドバンスコース	参加者	千葉市
大畠 仁	2004.11.25	東京歯科大学カリキュラム研修ワーク ショップ第1回アドバンスコース	参加者	千葉市
中野 洋子	2004.11.25	東京歯科大学カリキュラム研修ワーク ショップ第1回アドバンスコース	参加者	千葉市
米津 博文	2004.11.25	東京歯科大学カリキュラム研修ワーク ショップ第1回アドバンスコース	参加者	千葉市
須賀賢一郎	2005. 1. 13	東京歯科大学カリキュラム研修ワーク ショップ第3回アドバンスコース	参加者	千葉市

共用試験等

氏 名	年月日	種 別	役 割	開催地
中野 洋子	2005. 2. 27	平成 16 年度第 4 学年 OSCE	評価者	千葉市
米津 博文	2005. 2. 27	平成 16 年度第 4 学年 OSCE	評価者	千葉市
須賀賢一郎	2005. 2. 27	平成 16 年度第 4 学年 OSCE	評価者	千葉市
西堀 陽平	2005. 2. 27	平成 16 年度第 4 学年 OSCE	評価者	千葉市
幾本 英之	2005. 2. 27	平成 16 年度第 4 学年 OSCE	指導医役	千葉市
芦澤 玲	2005. 2. 27	平成 16 年度第 4 学年 OSCE	誘導係	千葉市
堤 政雄	2005. 2. 27	平成 16 年度第 4 学年 OSCE	誘導係	千葉市

## 論 文

1. Shibuya, T.<sup>(1)</sup>, Kino, K.<sup>(2)</sup>, Yoshitake, H.<sup>(2)</sup>, Yonezu, H., Amagasa, T.<sup>(2)</sup>, Takahashi, T.<sup>(1)</sup> : Use of a new instrument for lateral release in arthroscopic surgery of the temporomandibular joint: a preliminary study, Br J Oral Maxillofac Surg **42**(2), 166 ~ 169, 2004. 症例 (1)九州歯大・口外 2, (2)東医歯大・大学院・口腔機能再建学
2. Wakoh, M.<sup>(1)</sup>, Yonezu, H., Otonari, T.<sup>(1)</sup>, Sano, T.<sup>(1)</sup>, Matsuzaka, K.<sup>(2)</sup>, Inoue, T.<sup>(2)</sup>, Wada, N.<sup>(3)</sup> : Two cases of schwannoma with marked cystic changes, Dentomaxillofac Radiol **34**(1), 44 ~ 50, 2005. 症例 (1)歯放, (2)臨検査, (3)千葉脳神経外科病院
3. 中野洋子, 中嶋英乃, 幾本英之, 本橋佳子, 渡辺 一, 内山健志 : 咽頭弁基部 raw surface の被覆に遊離頬粘膜移植を応用した口蓋裂児の 1 例, 日口腔外会誌 **51**(3), 120 ~ 123, 2005. 原著

## 学会抄録

1. 米津博文, 内山健志, 和光 衛<sup>(1)</sup>, 黒柳錦也<sup>(1)</sup>, 佐野 司<sup>(1)</sup> : 顎関節症の画像診断における関節腔造影検査法の役割, 日顎関節会誌 **16**(1), 57, 2004.(第 14 回日本顎関節症学会総会, 東京) (1)歯放
2. 内山健志, 本橋佳子, 中野洋子, 須賀賢一郎, 西堀陽平 : 我々の口蓋裂手術 教室における不完全口蓋裂と完全口蓋裂に対する初回手術, 日口蓋裂会誌 **29**(2), 95, 2005.(第 28 回日本口蓋裂学会総会・学術集会, 鹿児島市)
3. 中野洋子, 中嶋英乃, 本橋佳子, 内山健志 : 口蓋床の目的と現況 両側唇顎口蓋裂に対する Hotz 床による管理, 日口蓋裂会誌 **29**(2), 99, 2004.(第 28 回日本口蓋裂学会総会・学術集会, 鹿児島市)
4. 坂本輝雄<sup>(1)</sup>, 幾本英之, 原崎守弘<sup>(1)</sup>, 内山健志, 山口秀晴<sup>(1)</sup>, 花井淳一郎, 中嶋英乃 : 広い顎裂幅を示す片側性唇顎口蓋裂患者に対する歯槽骨骨延長の応用, 日口蓋裂会誌 **29**(2), 144, 2004.(第 28 回日本口蓋裂学会総会・学術集会, 鹿児島市) (1)矯正
5. 内山健志, 中野洋子, 渡邊 章, 桑名りえ<sup>(1)</sup>, 中嶋英乃, 薬師寺 仁<sup>(1)</sup>, 本橋佳子, 田中葉子<sup>(2)</sup> : 口蓋裂で受診した Sticker 症候群の診断要点, 日口蓋裂会誌 **29**(2), 172, 2004.(第 28 回日本口蓋裂学会総会・学術集会, 鹿児島市) (1)小児歯, (2)市病・小児科
6. 西堀陽平, 内山健志, 原 宣道 : マウス二次口蓋発生における正中上皮索消失, 日口蓋裂会誌 **29**(2), 173, 2004.(第 28 回日本口蓋裂学会総会・学術集会, 鹿児島市)
7. 澁井武夫, 須賀賢一郎, 中野洋子, 内山健志, 田中潤一<sup>(1)</sup>, 高野伸夫<sup>(1)</sup> : 長期経過観察中の holoprosencephaly V 型の一例, 日口蓋裂会誌 **29**(2), 173, 2004.(第 28 回日本口蓋裂学会総会・学術集会, 鹿児島市) (1)都立大塚病院・口腔科
8. 本橋佳子, 内山健志, 中嶋英乃, 澁井武夫, 中野洋子 : 口唇裂・口蓋裂児の口腔清掃指導における歯磨剤フエーストティース(R)使用の試み, 日口蓋裂会誌 **29**(2), 200, 2004.(第 28 回日本口蓋裂学会総会・学術集会, 鹿児島市)
9. 市川栄三郎, 大島崇宏, 中嶋英乃, 成田真人, 椎木さやか<sup>(1)</sup>, 本橋佳子, 西堀陽平, 渡辺 一, 大島 仁, 内山健志 : 幼児下顎骨骨体骨折の 3 例, 日口腔外会誌 **50**(5), 332, 2004.(第 174 回日本口腔外科学会関東地方会, 東京) (1)口外 I

10. 石井 建, 須賀賢一郎, 内山健志 : 上顎手術からみた顎動脈とその分枝の走行に関する外科解剖, 歯科学報 **104**(3), 349, 2004.(第 278 回東京歯科大学学会総会, 千葉市)
11. 本橋佳子, 中嶋英乃, 澁井武夫, 中野洋子, 内山健志, 牛田永子<sup>(1)</sup>, 久保周平<sup>(1)</sup>, 川原由里香<sup>(2)</sup>, 才藤純一<sup>(2)</sup> : 口唇裂・口蓋裂児の早期口腔清掃指導の試み(第 1 報) 指導前の患児と母の齶蝕活動性試験について, 歯科学報 **104**(3), 379, 2004.(第 278 回東京歯科大学学会総会, 千葉市) (1)小児歯,(2)千病・臨検
12. 幾本英之, 大金覚, 中嶋英乃, 成田真人, 大畠 仁, 内山健志 : 舌縮小術を施行した Beckwith-Wiedemann 症候群の 1 例, 日口腔外会誌 **50**(11), 700, 2004.(第 178 回日本口腔外科学会関東地方会, 東京)
13. 澁井武夫, 本橋佳子, 西堀陽平, 須賀賢一郎, 中野洋子, 大畠 仁, 内山健志, 才藤純一<sup>(1)</sup> : 口腔トリコモナス感染症の 4 例, 日口腔粘膜会誌 **10**(2), 72, 2004.(第 14 回日本口腔粘膜学会・学術総会, 東京) (1)千病・臨検
14. 幾本英之, 渡邊 章, 成田真人, 中嶋英乃, 大畠 仁, 内山健志, 西村文邦<sup>(1)</sup>, 野嶋邦彦<sup>(1)</sup>, 山口秀晴<sup>(1)</sup> : 上下顎移動術と腸骨移植を同時に行った第一第二鰓弓症候群の 1 例, 日顎変形会誌 **14**(3), 221, 2004.(第 14 回日本口腔顎変形症学会総会, 博多市) (1)矯正
15. 成田真人, 水橋博行, 市川栄三郎, 幾本英之, 渡辺 一, 大畠 仁, 内山健志 : 顎変形症患者の周術期管理における栄養アセスメント, 日顎変形会誌 **14**(3), 225, 2004.(第 14 回日本口腔顎変形症学会総会, 博多市)
16. 和光 衛<sup>(1)</sup>, 米津博文, 音成貴道<sup>(1)</sup>, 原田卓哉<sup>(1)</sup>, 佐野 司<sup>(1)</sup>, 井上 孝<sup>(2)</sup> : 嚢胞性変化が顕著に認められた神経鞘腫の 2 例, 歯放線 **44**(4), 277, 2004.(第 45 回日本歯科放射線学会総会・学術大会, 広島市) (1)歯放,(2)臨検査
17. 水橋博行, 内山健志, 須賀賢一郎 : 生体吸収性骨接合材料の骨治癒期間における疲労特性, 日口腔外会誌 **50**(13), 954 ~ 955, 2004.(第 49 回日本口腔外科学会総会, 千葉市)
18. 吉村 元, 内山健志 : MEG による発音想起における大脳皮質活動の解析, 日口腔外会誌 **50**(13), 965, 2004.(第 49 回日本口腔外科学会総会, 千葉市) 脳科学研
19. 内山健志, 大畠 仁, 中野洋子, 須賀賢一郎 : 口蓋裂患者の上顎劣成長 予防と対処 上顎劣成長を示す口蓋裂術後患者の Le Fort I 型骨切り術施行に際しての問題点, 日口腔外会誌 **54**(1), 67, 2005.(第 49 回日本口腔外科学会総会, 千葉市)
20. 大島崇宏, 市川栄三郎, 吉村 元, 塩見周平, 原 宣道, 西堀陽平, 米津博文, 内山健志 : マウス顎関節発生過程の形態学的観察, 日口腔科会誌 **54**(1), 182, 2005.(第 58 回日本口腔科学会総会, 横浜市)
21. 吉村 元, 塩見周平, 内山健志, 市川栄三郎, 新谷益朗<sup>(1)</sup>, 加藤 隆<sup>(2)</sup>, 加藤元一郎<sup>(2)</sup> : 口腔内異常感覚に対する言語中枢の制御における MEG を用いた研究, 日口腔科会誌 **54**(1), 195, 2005.(第 58 回日本口腔科学会総会, 横浜市) 脳科学研 (1)脳科学研究施設,(2)市病・精神・神経科
22. 米津博文, 内山健志, 音成貴道<sup>(1)</sup>, 和光 衛<sup>(1)</sup>, 佐野 司<sup>(1)</sup> : 下顎頭外側に生じた骨腫の 1 例, 日顎関節会誌, 2005.(第 18 回日本顎関節学会総会, 新潟市) (1)歯放



## 7. 歯科麻酔学講座

### プロフィール

#### 1. 教室員と主研究テーマ

教授	金子 譲	痛み反応を必要としない局所麻酔薬の効果判定法 - 局所麻酔薬の局在の光学的計測 - ( A99-0500-10 )
	一戸 達也	口腔外科手術のための全静脈麻酔の検討 - 正常血圧者と高血圧者での比較 - ( A95-0500-1 )
講師	櫻井 学	歯科臨床におけるアデノシン三リン酸を用いた鎮静法の検討 ( A04-0500-1 )
	間宮 秀樹	ラジオアイソトープを用いた歯科用局所麻酔薬浸透経路の解明 ( A04-0500-2 )
助手	野村 仰	側位頭部 X 線規格写真分析から求めた数値による咽頭形態の評価ならびに 体表の目標点を用いた経鼻挿管難易度の予測 ( A01-0500-4 )
	福田 謙一	幻歯痛の病態分析 ( A01-0500-11 )
	笠原 正貴	口腔外科手術後の神経麻痺治療における直線偏光近赤外線星状神経節照射の 有用性の検討 ( A01-0500-12 )
	西條みのり	周術期における呼吸器感染症に関する細菌学研究 ( A99-0500 )
	松浦由美子	塩酸デクスメトミジンをを用いた鎮静法の検討 ( A04-0500-3 )
	半田 俊之	アデノシン三リン酸の術中持続投与による術後痛への効果
大学院生	稲川 元明	血管収縮薬の違いが心筋酸素需給バランスに与える影響 ( A04-0500-5 )
	半田麻里子	炭酸ガス負荷と麻酔薬の種類が口腔内組織血流量に及ぼす影響 ( A04-0500-6 )
	伊藤英美子	デキストランの添加がリドカイン骨内麻酔の持続時間に及ぼす影響 ( A04-0500-7 )
	大野 建州	培養マスト細胞を用いたヒト肥満細胞の B 細胞に及ぼす影響に関する研究 ( A04-0500-15 )
	久保浩太郎	歯髄神経における電気刺激誘発時での脳磁場応答の観察 - 歯髄神経内に A 線維が存在するか? MEG 計測の観点からの検討 -
	塩崎 秀弥	下顎孔伝達麻酔の効果の考察 - 下顎孔周囲の解剖学的形態について - ( A04-0500-9 )

## 2. 成果の概要

### 1) 全身麻酔

プロポフォール麻酔下で亜酸化窒素とベクロニウムの神経筋遮断効果への相互作用について臨床的に検討した。対象は、各種口腔外科手術予定の女性 59 名で、67%亜酸化窒素・酸素群 33 名と 100%酸素群 26 名に分け、すべて肝・腎障害、神経筋疾患および神経筋伝導を阻害する薬物を服用していない ASA 分類 Ⅰ度またはⅡ度の患者である。結果は、亜酸化窒素群はプロピット変換したベクロニウムの用量反応曲線を左方移動させたが、ベクロニウムの ED50 および ED95 は両群間に有意差を認めなかった。結論として、亜酸化窒素はプロポフォール麻酔下のベクロニウムによる筋弛緩効果を増強させなかった。

日歯麻会誌 32(2), 193~197, 2004.

### 2) 局所麻酔

非カテコールアミン系血管収縮薬のフェリプレシン添加のプロピトカインを使用し、心筋の酸素バランスへの影響を研究した。フェリプレシンの心筋に対する影響がイヌとヒトで同様であるとはいえないが、フェリプレシン添加のプロピトカインカートリッジ (1.8ml) 3~6 本以上の投与は循環器系疾患患者に対して心筋組織酸素受容バランスを悪化させることが示唆された。

日歯麻会誌 32(2), 185~192, 2004.

### 3) 患者管理

在宅患者の歯科治療時の循環変動が、基礎疾患名、年齢、治療内容により特徴があるか調査し、歯科治療中の循環変動による危険性の予測ができるか検討した。在宅用介護患者の歯科治療中の循環変動は疾患名や治療内容による差はなく、循環変動の予測はできなかった。エピネフリン 12.5 µg/ml 添加リドカインによる局所麻酔 (平均投与量  $1.3 \pm 0.5$  ml) による循環変動は小さく、問題となる症例はなかった。しかし、在宅用介護患者の中には予測のできない循環変動を起こす者もいるため歯科治療時には着席後からモニター監視を必ず行い、循環の安定を待ってから歯科治療を行うことが安全な患者管理につながると考えられた。

日歯麻会誌 32(3), 328~344, 2004.

外来患者において精神鎮静法が重要なことの 1 つは、鎮静状態からの回復を的確に評価することである。患者の帰宅の仕方はさまざまであるが、一般的な外来患者では公共交通機関を利用して単独で安全に帰宅できるための判定が必要である。そこで、プロポフォール鎮静後の帰宅判定の評価法を検討した。プロポフォール静脈内鎮静を用いた時の帰宅判定として安全で独立歩行の可能な帰宅時期を決めるには歩行テスト、鎮静スコアによる自覚症状の回復で評価するのが適切であると考えられた。また、target controlled infusion を用いた場合には予測血漿濃度を帰宅時期の判定の客観的評価として参考にすることは有用であると考えられた。

日歯麻会誌 32(3), 345~355, 2004.

2000 年 1 月から 2002 年 12 月までの 3 年間に東京歯科大学千葉病院歯科麻酔科外来で全身管理下に処置を行った症例について、統計的に検討した。受診患者数は 2000 年 1048 名、2001 年に 1068 名、2002 年 1165 名と経年的に増加していた。特に歯科恐怖症等の患者の増加が著しかった。また 3 年間を通じて、65 歳以上の高齢者の患者数に増加がみられた。患者の内訳は 3 年間を通じて有病者 (約 35%)、障害者 (約 25%) が多かった。患者管理法では、ミダゾラム単独投与による静脈内鎮静法が多く行われていた。また歯科麻酔科外来における全身麻酔症例は、2000 年 97 症例から 2002 年 143 症例と増加しており、特に入院を伴った全身麻酔症例が 2000 年 9 症例から 2002 年 38 症例と急激に増加した。これは入院全身麻酔に限り、午後か

らでも開始できるシステムの変更によるものと考えられ、全身麻酔症例は、今後も増加していくと考えられた。

歯科学報 104(3), 310~315, 2004.

1996年4月~2003年3月の7年間における東京歯科大学千葉病院外来患者の救急症例で、歯科麻酔科が管理した106例について retrospective に検討した。救急症例の発生頻度は来院患者の0.007% (106人/1508586人)であった。救急症例は、基礎疾患や既往歴の有無に関わらず発生していた。また、重症症例も含め、前回報告した全身偶発症の発生率にも差が認められないことから、予防対策とともに、歯科治療に際しては常に全身的偶発症が起こる可能性があることを認識し、迅速に対応できる体制を確立しておくことが重要と考えられた。

日歯麻会誌 33(1), 68~74, 2005.

#### 4) ペインクリニック

顎顔面領域の慢性疼痛疾患には、allodynia や hyperalgesia が特徴的な complex regional pain syndrome や心因性疼痛などがあり、いずれも極めて治療が困難である。これらの疾患の大脳皮質の活動状態を脳磁図から評価し、慢性難治性疼痛の発現における大脳皮質各部位の関与を明らかにし、治療指針の検討目的とした。CO<sub>2</sub>レーザー痛覚刺激装置を用いて出力の違いによる三叉神経支配領域皮膚の痛覚誘発脳磁場 (pain SEFs) の記録、各種鎮痛薬剤の pain SEFs に対する効果を検討した。大脳皮質二次体性感覚野 (痛覚領野) は、三叉神経領域の痛覚刺激強度依存性に活性化される事が認められた。ケタミンはその応答を可逆的に抑制する事から、大脳皮質への痛覚入力過程におけるグルタミン酸受容体を介する神経伝達機構を抑制する事で鎮痛効果をもたらす事が示唆された。一方、オピオイド受容体に作用するフェンタニルは、痛覚入力過程においてケタミンとは異なった作用を持つと考えられた。

Int Congr Ser 1270, 121~125, 2004.

#### 5) 教育

卒前臨床実習のカリキュラムの変更により、109期生から当科でも前期臨床実習が独立して行われるようになった。新しい前期臨床実習では、従来の実習項目 (血圧測定、静脈確保、下顎孔伝達麻酔、吸入鎮静法 (後期)、心肺蘇生法 (後期)) に加え、技能系実習として、モニタリング機器の装着、高齢者疑似体験、対診書作成および全身麻酔記録の作成、症例検討 (PBS) として、高齢者・有病者の全身管理計画および障害者の全身管理計画を行った。実習最終日の前日に OSCE を行い、実習最終日に口頭試問を行った。実習終了後には、全身に対してアンケート調査を行った。アンケート調査の結果から、現在の歯科麻酔科臨床実習に対する学生の評価は比較的良好で、実習の成果も上がっていると考えられた。今後は、より効率的でより診療参加型の臨床実習を目指すべく、実習の内容の再検討が必要と考えられた。

歯科学報 105(1), 55~60, 2005.

### 3. 学外共同研究

担当者	研究課題	学外研究施設		
		研究施設	所在地	責任者
櫻井 学	抗炎症を目的としたアデノシン三リン酸 (ATP) 製剤の口腔外科手術への臨床応用	岡山大学大学院 歯科麻酔学分野	岡山市	宮脇 卓也
金子 謙	静脈内投与アデノシンの鎮痛作用に関する研究	ハーバーUCLA メディカル センター麻酔科	アメリカ	福永 敦翁
一戸 達也	静脈内鎮静時の酸素療法	ハーバーUCLA メディカル センター麻酔科	アメリカ	福永 敦翁
櫻井 学	アミノフィリンの麻酔からの回復に対する研究	ハーバーUCLA メディカル センター麻酔科	アメリカ	福永 敦翁

### 4. 科学研究費補助金・各種補助金

研究代表者	研究課題	研究費
一戸 達也	口腔内痛覚誘発脳磁場に関する総合的研究	口腔科学研究センター
松浦由美子	心拍出量の連続的モニタリングによる歯科外来患者の治療中の安全性の向上	科学研究費・若手 (B)

### 5. 研究活動の特記すべき事項

#### 講演

講演者	年月日	演 題	学会名	開催地
一戸 達也	2005. 2. 25	「口腔内感覚の脳内認知機構の解明とその臨床医学的展開」の研究構想	平成16年度東京歯科大学 口腔科学研究センター ワークショップ	千葉市
福永 敦翁	2004. 10. 2	血液ガスと組織酸素化からみた麻酔と呼吸管理の仕方—呼吸回路の Dead Space、Rebreathing、Hypercapnia、Acidosis と Low Flow—	日本歯科麻酔学会雑誌会	東京

#### シンポジウム

シンポジスト	年月日	講演演題	学会・研究会名	開催地
一戸 達也	2004. 3. 5	医学教育における PBL	日本歯科放射線学会	東京

6. 教育講演等教育に関する業績, 活動

受賞

受賞者名	年月日	賞名	テーマ	学会・団体名
一戸 達也	2004. 7. 12	教育システム開発賞	SGD を取り入れた「情報科学」	日本歯科医学教育学会
櫻井 学	2004.10.21	DR. ELMER ZSIGMOND AWARD	Exogenous ATP Postentiate and Aminophylline Reverses Propofol-induced Sedative/Hypnotic Effects as Assessed by BIS in Human Volunteers	International Society for Aesthetic Pharmacology

教育講演等

講演者	年月日	演題	学会・研究会名	開催地
一戸 達也	2004. 5. 29	有病者の歯科治療と救急薬品の使用法	山梨県歯科医師会講演会	甲府市
一戸 達也	2004. 7. 8	歯科患者の全身的偶発症と救急薬品の使用法	佐原市香取郡歯科医師会講演会	佐原市
一戸 達也	2004. 7. 29	患者が倒れた・・・さあ、どうする？	東京歯科医師会 平成16年度卒後研修	東京
一戸 達也	2004. 4. 27	歯科の局所麻酔について	KO デンタル講演会	東京
間宮 秀樹	2004. 8. 29	歯科麻酔に関する新しい器材と薬剤	MDA 研修会	福岡市
一戸 達也	2004. 9. 13	新しい心肺蘇生法とパルスオキシメータ使用のコツ	東京歯科大学同窓会 日本橋支部医療管理講習会	東京
金子 譲	2004. 9. 15	救急蘇生法	京橋歯科医師会	東京
間宮 秀樹	2005. 9. 17	安全な顎変形症手術のための周術期の麻酔管理	昭和大学歯学部 口腔外科学講座講演会	東京
金子 譲	2004. 9. 23	インプラント治療における局所麻酔と全身管理	大阪インプラント研究会	大阪市
金子 譲	2004.10. 9	歯科医療事故の現状と対策	熊本歯科三水会	熊本市
一戸 達也	2004.10.15	歯科治療後の麻痺と痛み	東京歯科大学 理工懇談会講演会	東京
一戸 達也	2004.11. 6	診療室における偶発症とその対処法	夷隅郡市歯科医師会 障害研修講演会	夷隅郡
一戸 達也	2004.11.19	口腔外科医のための安全で確実な顎変形症の外科的治療周術期管理	日本口腔外科学会 第25回教育研修会	湯沢市
金子 譲	2004.12.11	高齢者・有病者の歯科治療を安全に行うためになすべきこと	東京歯科大学同窓会 茨城県支部総会	水戸市
金子 譲	2005. 2. 16	救急蘇生と救急薬品	中野区歯科医師会	東京

教育ワークショップ等

氏名	年月日	ワークショップ名	役割	開催地
一戸 達也	2004. 5.15 ~16	第 11 回東京歯科大学カリキュラム 研修ワークショップ	タスクフォース	千葉市
一戸 達也	2004. 6.18 ~19	平成 16 年度第 1 回共用試験歯学系 OSCEワークショップ	タスクフォース	札幌市
一戸 達也	2004. 6.29 ~30	日本歯科医学教育学会第 5 回 歯科医学教育者ワークショップ	タスクフォース	東京
一戸 達也	2004. 7.24	文科省 平成 16 年度「医学・歯学 教育者のためのワークショップ」	モデレータ	東京
一戸 達也	2004. 8.27 ~28	平成 16 年度第 2 回共用試験歯学系 OSCEワークショップ	タスクフォース	千葉市
一戸 達也	2004.10. 2 ~3	第 12 回東京歯科大学カリキュラム 研修ワークショップ	タスクフォース	千葉市
一戸 達也	2004.11.25	東京歯科大学カリキュラム研修ワーク ショップ第 1 回アドバンスコース	参加者	千葉市
間宮 秀樹	2004.11.25	東京歯科大学カリキュラム研修ワーク ショップ第 1 回アドバンスコース	参加者	千葉市
野村 仰	2004.11.25	東京歯科大学カリキュラム研修ワーク ショップ第 1 回アドバンスコース	参加者	千葉市
福田 謙一	2004.12. 9	東京歯科大学カリキュラム研修ワーク ショップ第 2 回アドバンスコース	参加者	千葉市
櫻井 学	2005. 1.13	東京歯科大学カリキュラム研修ワーク ショップ第 3 回アドバンスコース	参加者	千葉市
一戸 達也	2004.11.29 ~12.2	歯科医療研修振興財団 第 7 回 歯科医師会臨床研修指導歯科医 ワークショップ	参加者	裾野市
一戸 達也	2004.12. 4 ~5	第 13 回東京歯科大学カリキュラム 研修ワークショップ	タスクフォース	千葉市
一戸 達也	2004.12.10 ~11	平成 16 年度第 3 回共用試験歯学系 OSCE ワークショップ	タスクフォース	東京
一戸 達也	2005. 1.15 ~16	第 14 回東京歯科大学カリキュラム 研修ワークショップ	タスクフォース	千葉市
一戸 達也	2005. 2.19 ~20	第 15 回東京歯科大学カリキュラム 研修ワークショップ	タスクフォース	千葉市
一戸 達也	2005. 2.26 ~27	平成 16 年度第 1 回日本大学松戸 歯学部附属歯科病院歯科医師研修 指導医ワークショップ	タスクフォース	松戸市

氏名	年月日	ワークショップ名	役割	開催地
一戸 達也	2005. 3.19 ~20	第15回東京歯科大学カリキュラム 研修ワークショップ	タスクフォース	千葉市

共用試験等

氏名	年月日	種別	役割	開催地
一戸 達也	2004. 4.24	大阪歯科大学共用試験歯学OSCE	モニタリング委員	大阪市
一戸 達也	2004. 9.11	日本大学松戸歯学部共用試験歯学 OSCE	モニタリング委員	松戸市
一戸 達也	2005. 2. 9	平成16年度第4学年CBT	運営委員	千葉市
金子 讓	2005. 2.27	平成16年度第4学年OSCE	運営委員長	千葉市
一戸 達也	2005. 2.27	平成16年度第4学年OSCE	オブザーバー	千葉市
間宮 秀樹	2005. 2.27	平成16年度第4学年OSCE	ST責任者	千葉市
櫻井 学	2005. 2.27	平成16年度第4学年OSCE	器材係	千葉市
野村 仰	2005. 2.27	平成16年度第4学年OSCE	器材係	千葉市
松浦由美子	2005. 2.27	平成16年度第4学年OSCE	器材係	千葉市
一戸 達也	2005. 3. 8	平成16年度第4学年CBT 追・再試	運営委員	千葉市

## 論 文

1. 野村 仰, 大野建州, 松浦由美子, 一戸達也, 金子 譲 : 食物残渣により全身麻酔導入後に無気肺を生じた口蓋裂手術症例, 日歯麻会誌 **32**(2), 274, 2004. 症例
2. 加納美穂子, 一戸達也, 金子 譲 : 在宅要介護患者の歯科診療時における循環変動, 日歯麻会誌 **32**(3), 328 ~ 344, 2004. 原著
3. 伊藤英美子, 松浦信幸, 稲川元明, 間宮秀樹, 一戸達也, 金子 譲 : 筋緊張性ジストロフィー患者の顎矯正術に対するプロポフォル全身麻酔 1 例, 日歯麻会誌 **32**(3), 391 ~ 392, 2004. 症例
4. 金子 譲, 一戸達也, 宮地建次 : フェリプレシン添加プリロカインの局所注射が心筋組織酸素バランスに及ぼす影響, 日歯麻会誌 **32** (2), 185 ~ 192, 2004. 原著
5. 高北義彦<sup>(1)</sup>, 一戸達也, 保坂譲治<sup>(2)</sup>, 半田俊之, 杉山あや子<sup>(3)</sup>, 福田謙一<sup>(1)</sup>, 金子 譲 : プロポフォル麻酔下におけるベクロニウムの神経筋遮断効果への亜酸化窒素の影響, 日歯麻会誌 **32** (2), 193 ~ 197, 2004. 原著  
(1)水病・麻酔科,(2)(株)ルネサステクノロジ武蔵事業所健康管理センター,(3)都立墨東病院・歯口外
6. 櫻井 学 : アミノフィリンによるプロポフォル麻酔からの回復促進効果, 歯科学報 **104**(5), 478 ~ 483, 2004. 総説
7. 稲川元明, 間宮秀樹, 野村 仰, 櫻井 学, 一戸達也, 金子 譲 : Asperger 症候群患児の日帰り全身麻酔経験, 日小児麻酔会誌 **10**, 151 ~ 153, 2004. 原著
8. 松浦由美子, 一戸達也, 金子 譲 : プロポフォル静脈内鎮静後における帰宅時期の判定, 日歯麻会誌 **32**(3), 345 ~ 355, 2004. 原著
9. 大野建州, 縣 秀栄, 間宮秀樹, 野村 仰, 櫻井 学, 一戸達也, 金子 譲 : 東京歯科大学千葉病院歯科麻酔科外来における麻酔症例の臨床統計 2000 年 1 月 ~ 2002 年 12 月 , 歯科学報 **104**(3), 310 ~ 315, 2004. 臨床
10. 金子 譲 : 歯科医療の安全確保のために, 日歯医師会誌 **57**(10), 1069 ~ 1083, 2005. 原著
11. 松浦由美子, 西條みのり<sup>(1)</sup>, 松木由起子, 吉田恵子, 縣 秀栄, 野村 仰, 間宮秀樹, 櫻井 学, 一戸達也, 金子 譲 : 歯科麻酔学の新規卒前臨床実習 - 2 年間の評価 - , 歯科学報 **105**(1), 55 ~ 60, 2005. 原著  
(1)水病・麻酔科
12. 久保浩太郎, 縣 秀栄, 櫻井 学, 一戸達也, 金子 譲 : 東京歯科大学千葉病院における院内救急症例の検討, 日歯麻会誌 **33**(1), 68 ~ 73, 2005. 原著

## 解 説

1. 一戸達也 : 座談会;局所麻酔を見直す 第 1 回 日常臨床の記録から「局所麻酔」を振り返る, Quintessence **23**(10), 115 ~ 122, 2004.
2. 一戸達也 : 局所麻酔の基本(1) 麻酔前の問診・これだけは聞いておこう, 歯科補綴 **37**(3), 278 ~ 283, 2004.



3. 一戸達也 : 座談会;局所麻酔を見直す 第2回「壮年男性下顎7番の抜髄」をモデルケースに麻酔の方法を探る, Quintessence **23**(11), 117 ~ 127, 2004.
4. 一戸達也 : 座談会;局所麻酔を見直す 第3回 局所麻酔の安全性について考える, Quintessence **23**(12), 103 ~ 117, 2004.
5. 金子 譲 : 歯科医療の安全確保のために, 日歯医師会誌 **57**(10), 1069 ~ 1083, 2005.
6. 一戸達也 : 障害者の歯科治療と全身管理, 障害者歯 **26**(1), 1 ~ 8, 2005.

## 単行図書

1. 一戸達也: 著分担 :カラーアトラスハンドブック (a)第3章 歯髄除痛法 27 ~ 30 頁, クインテッセンス出版, 東京, 2004.
2. 金子 譲: 単著 :歯科の局所麻酔 Q&A , 診療新社, 大阪, 2004.
3. 金子 譲(g) 編著,一戸達也(e) 編著,間宮秀樹(a),櫻井 学(d),福田謙一(c),小坂橋俊哉<sup>(1)</sup>(h), 縣 秀栄<sup>(2)</sup>(f),(i), 櫻井 誠<sup>(3)</sup>(b): 著分担 :モニタリングガイド (a) .モニタリングの実際 1.バイタルサイン 2~15 頁,(b) .モニタリングの実際 2.脈 16~25 頁,(c) .モニタリングの実際 3.血圧 26~45 頁,(d) .モニタリングの実際 4.心電図 46~65 頁,(e) .モニタリングの実際 5.パルスオキシメータ 66~85 頁,(f) .モニタリングの実際 6.機器なしでできるモニタリング 86~93 頁,(g) .モニタリングの基礎知識 1.歯科医療の安全とモニタリング 94~103 頁,(h) .モニタリングの基礎知識 2.何をモニタリングするのか 104~107 頁,(i) .いろいろなモニタリング機器 機器の種類 128~141 頁, 医歯薬出版, 東京, 2004. CD-ROM 付 (1)市病・麻酔科,(2)国立病院機構・栃木病院・歯口外,(3)袖ヶ浦歯科医院

## プロシーディングス

1. Matsuura,N., Shibukawa,Y.<sup>(1)</sup>, Ichinohe,T., Suzuki,T.<sup>(1)</sup>, Kaneko,Y. : Ketamine inhibits pain-SEFs following CO<sub>2</sub> laser stimulation on trigeminally innervated skin region: a magnetoencephalographic study, Int Congr Ser (1270), 121 ~ 125, 2004.(15th World Congress of the International Society for Brain Electromagnetic Topography, Urayasu) 脳科学研 (1)生理

## その他

1. 前川剛志<sup>(1)</sup>, 石原 晋<sup>(2)</sup>, 小村 健<sup>(3)</sup>, 金子 譲, 小林国男<sup>(4)</sup>, 花岡一雄<sup>(5)</sup>, 堀 進悟<sup>(6)</sup>, 行岡哲男<sup>(7)</sup>,大槻 学<sup>(8)</sup> : 歯科医師の救命救急研修のガイドライン策定に関する研究, 日歯麻会誌 **32**(1), 72 ~ 110, 2004. (1)山口大・医・生体侵襲医学,(2)県立広島病院救命救急センター,(3)東歯大・大学院・口腔機能再建学,(4)帝京大・医・救急医学,(5)東大・大学院・臨床麻酔学・疼痛麻酔学,(6)慶大・医・附属病院救急部,(7)東医大・救急医学,(8)福島県立医大・医・麻酔科学
2. 間宮秀樹 : 安全な顎変形症手術のための周術期の麻酔管理, 昭和歯会誌 **25**(1), 53, 2005.

## 学会抄録

1. 一戸達也：「モニタは患者の代弁者 症例から学ぶモニタリングの実際」, 臨モニター 15, 18, 2004.(第 15 回 日本臨床モニター学会総会, 東京)「歯科医師のためのモニタリング講座」ビデオ講座
2. 金子 譲：「歯科臨床におけるモニタリングの実際」(日本歯科医師会生涯研修ライブラリ 平成 15 年度 ), 臨モニター 15, 18, 2004.(第 15 回 日本臨床モニター学会総会, 東京)「歯科医師のためのモニタリング講座」ビデオ講座
3. 半田麻里子, 一戸達也, 金子 譲：炭酸ガス負荷がウサギの咬筋組織酸素分圧および下顎骨骨膜血流量に与える影響, 臨モニター 15, 70, 2004.(第 15 回 日本臨床モニター学会総会, 東京)
4. Matsuura,N., Shibukawa,Y.<sup>(1)</sup>, Ichinohe,T., Suzuki,T.<sup>(1)</sup>, Kaneko,Y. : Ketamine inhibits pain-SEFs following CO<sub>2</sub> Laser stimulation on trigeminally innervated skin region:a magnetoencephalographic study, 15th Congress of the International Society for Brain Electromagnetic Topography (ISBET2004) Program and Abstracts, 33, 2004.(15th Congress of the International Society for Brain Electromagnetic Topography (ISBET2004), Urayasu) 脳科学研 (1)生理
5. 金子 譲：歯科麻酔医の立場からみた安全な顎変形症の治療, 第 14 回顎変形症学会総会プログラム・抄録集, 33, 2004.(第 14 回 顎変形症学会総会, 福岡市)
6. 伊藤英美子, 一戸達也, 金子 譲：プロポフォル麻酔時の尿中結晶性沈殿物に起因したと思われる尿道カテーテル閉塞の 1 症例, 第 21 回関東臨床歯科麻酔懇話会プログラム, 9, 2004.(第 21 回関東臨床歯科麻酔懇話会, 東京)
7. 久保浩太郎, 間宮秀樹, 野村 仰, 一戸達也, 金子 譲：皮弁採取部皮下に硬膜外麻酔用カテーテルを留置し、術後持続的に鎮痛を図った 2 症例, 第 21 回関東臨床歯科麻酔懇話会プログラム, 10, 2004.(第 21 回関東臨床歯科麻酔懇話会, 東京)
8. 河田英司<sup>(1)</sup>, 一戸達也, 石井拓男<sup>(2)</sup>, 下野正基<sup>(3)</sup>, 荒木孝二<sup>(4)</sup>, 福島 統<sup>(5)</sup>：共用試験 CBT で総括的評価は可能か, 日歯医教会第 23 回抄集, 73, 2004.(第 23 回日本歯科医学教育学会総会・学術大会, 新潟市) (1)理工,(2)社会歯,(3)病理,(4)東医歯大,(5)共用試験実施機構
9. 一戸達也, 田崎雅和<sup>(1)</sup>, 阿部伸一<sup>(2)</sup>, 久保周平<sup>(3)</sup>, 石崎 憲<sup>(4)</sup>, 渡邊 裕<sup>(5)</sup>, 本橋佳子<sup>(6)</sup>, 石井拓男<sup>(7)</sup>, 井出吉信<sup>(2)</sup>：PBL と実習に基づく摂食・嚥下リハビリテーションの卒前カリキュラム, 日歯医教会第 23 回抄集, 93, 2005.(第 23 回日本歯科医学教育学会総会・学術大会, 新潟市) (1)生理,(2)解剖,(3)小児歯,(4)補綴 I,(5)市病・オーラルメディスン,(6)口外 II,(7)社会歯
10. 半田俊之, 笠原正貴<sup>(1)</sup>, 一戸達也, 金子 譲：経口クロナゼパムとリドカイン静脈内投与の併用によって除痛された口腔粘膜異常疼痛の一例, 日臨麻会誌 24(8), 2-001, 2004.(日本臨床麻酔学会第 24 回大会, 大阪市) (1)水病・麻酔科
11. 半田麻里子, 一戸達也, 金子 譲：歯痛を初発症状とする神経血管性疼痛の一症例, 日臨麻会誌 24(8), 2-003, 2004.(日本臨床麻酔学会第 24 回大会, 大阪市)

12. 福田謙一<sup>(1)</sup>：全身麻酔および術後挿管チューブ留置患者の鎮静，日歯麻会誌 32(4)，13，2004.(第32回日本歯科麻酔学会総会・学術講演会，東京) (1)水病・麻酔科
13. 齋田菜緒子<sup>(1)</sup>，高北義彦<sup>(1)</sup>，福田謙一<sup>(1)</sup>，笠原正貴<sup>(1)</sup>，一戸達也，金子 譲：フレキシブルタイプ Laryngeal maskairway(LMA)挿入時至適プロポフォルの検討，日歯麻会誌 32(4)，497，2004.(第32回日本歯科麻酔学会総会・学術講演会，東京) (1)水病・麻酔科
14. 谷田部純子<sup>(1)</sup>，笠原正貴<sup>(1)</sup>，福田謙一<sup>(1)</sup>，高北義彦<sup>(1)</sup>，一戸達也，金子 譲：顎変形症手術の出血量に影響を及ぼす因子の検討，日歯麻会誌 32(4)，502，2004.(第32回日本歯科麻酔学会総会・学術講演会，東京) (1)水病・麻酔科
15. 松木由起子，櫻井 学，一戸達也，金子 譲：東京歯科大学千葉病院における静脈内鎮静法薬剤の選択基準についての考察，日歯麻会誌 32(4)，512，2004.(第32回日本歯科麻酔学会総会・学術講演会，東京)
16. 櫻井 学，福永敦翁<sup>(1)</sup>，久保浩太郎，一戸達也，金子 譲：プロポフォルの鎮静/催眠効果は、ATP によって増強し、アミノフィリンによって減弱する，日歯麻会誌 32(4)，513，2004.(第32回日本歯科麻酔学会総会・学術講演会，東京) (1)UCLA Harbor Medical Center
17. 西條みのり<sup>(1)</sup>，福田謙一<sup>(1)</sup>，高北義彦<sup>(1)</sup>，一戸達也，金子 譲：歯科外来精神鎮静法を想定したプロポフォル(ディプリバン TM とマルイシ TM)による血管痛の検討，日歯麻会誌 32(4)，520，2004.(第32回日本歯科麻酔学会総会・学術講演会，東京) (1)水病・麻酔科
18. 半田俊之，高北義彦<sup>(1)</sup>，一戸達也，齋田菜緒子<sup>(1)</sup>，谷田部純子<sup>(1)</sup>，綱川和美<sup>(1)</sup>，笠原正貴<sup>(1)</sup>，西條みのり<sup>(1)</sup>，福田謙一<sup>(1)</sup>，金子 譲：下顎枝矢状分割術におけるフルルビプロフェンアキセチルの先制鎮痛効果について，日歯麻会誌 32(4)，524，2004.(第32回日本歯科麻酔学会総会・学術講演会，東京) (1)水病・麻酔科
19. 松浦由美子，久保浩太郎，間宮秀樹，野村 仰，一戸達也，金子 譲：硬膜外麻酔用カテーテルの皮弁採取部留置による持続的術後鎮痛管理，日歯麻会誌 32(4)，536，2004.(第32回日本歯科麻酔学会総会・学術講演会，東京)
20. 間宮秀樹，大野建州，一戸達也，金子 譲，中村公英<sup>(1)</sup>，安西和紀<sup>(2)</sup>：兎歯槽骨内リドカイン局在性の観察，日歯麻会誌 32(4)，537，2004.(第32回日本歯科麻酔学会総会・学術講演会，東京) 脳科学研 (1)東京ニュークリアサービス株式会社，(2)独立行政法人・放射線医学研修所 レドックス制御研究グループ
21. 塩崎秀弥，一戸達也，金子 譲，阿部伸一<sup>(1)</sup>，井出吉信<sup>(1)</sup>：蝶下顎靭帯の解剖学的観察，日歯麻会誌 32(4)，543，2004.(第32回日本歯科麻酔学会総会・学術講演会，東京) (1)解剖
22. 福永敦翁<sup>(1)</sup>：血液ガスと組織酸素化からみた麻酔と呼吸管理の仕方 - 呼吸回路の Dead Space、Rebreathing、Hypercapnia、Acidosis と Low Flow - ，日歯麻会誌 32(4)，543～557，2004.(第32回日本歯科麻酔学会総会・学術講演会，東京) (1)UCLA Harbor Medical Center
23. 吉田恵子，櫻井 学，間宮秀樹，松浦由美子，半田俊之，一戸達也，金子 譲：フォローの4徴症と慢性腎不全を有した患者の抜歯10日後に、腎不全が増悪し救急搬送された症例，日歯麻会誌 32(4)，550，2004.(第32回日本歯科麻酔学会総会・学術講演会，東京)

24. 福田謙一<sup>(1)</sup>, 齋田菜緒子<sup>(1)</sup>, 谷田部純子<sup>(1)</sup>, 西條みのり<sup>(1)</sup>, 笠原正貴<sup>(1)</sup>, 高北義彦<sup>(1)</sup>, 一戸達也, 杉山あや子<sup>(2)</sup>, 金子 讓 : 歯科麻酔業務の医療経済を考える, 日歯麻会誌 **32**(4), 559, 2004.(第 32 回日本歯科麻酔学会総会・学術講演会, 東京) (1)水病・麻酔科,(2)都立墨東病院・歯口外
25. 久保浩太郎, 福永敦翁<sup>(1)</sup>, 櫻井 学, 笠原正貴<sup>(2)</sup>, 高北義彦<sup>(2)</sup>, 一戸達也, 金子 讓 : 新しい麻酔ガス節約システム - F-conomy Type System - の検討, 日歯麻会誌 **32**(4), 567, 2004.(第 32 回日本歯科麻酔学会総会・学術講演会, 東京) (1)UCLA Harbor Medical Center,(2)水病・麻酔科
26. 笠原正貴<sup>(1)</sup>, 高北義彦<sup>(1)</sup>, 福永敦翁<sup>(2)</sup>, 福田謙一<sup>(1)</sup>, 一戸達也, 金子 讓 : 新しい麻酔ガス節約システム - F-conomy Type2System - の検討, 日歯麻会誌 **32**(4), 568, 2004.(第 32 回日本歯科麻酔学会総会・学術講演会, 東京) (1)水病・麻酔科,(2)UCLA Harbor Medical Center
27. 間宮秀樹, 松木由起子, 松浦由美子, 笠原正貴<sup>(1)</sup>, 縣 秀栄<sup>(2)</sup>, 福田謙一<sup>(1)</sup>, 野村 仰, 櫻井 学, 一戸達也, 金子 讓 : 静脈内鎮静法に用いるミダゾラムとプロポフォールと比較, 日歯医師会誌 **57**(4), 330, 2004.(第 20 回日本歯科医学会総会, 横浜市) (1)水病・麻酔科,(2)独立行政法人国立病院機構栃木病院歯科口腔外科
28. 福田謙一<sup>(1)</sup>, 笠原正貴<sup>(1)</sup>, 西條みのり<sup>(1)</sup>, 半田俊之, 村松 淳<sup>(1)</sup>, 高北義彦<sup>(1)</sup>, 一戸達也, 金子 讓 : 東京歯科大学水道橋病院歯科麻酔科・口腔顔面痛みセンターにおけるペインクリニックの現状, 日歯医師会誌 **57**(4), 335, 2004.(第 20 回日本歯科医学会総会, 横浜市) (1)水病・麻酔科
29. 櫻井 学, 加納美穂子, 縣 秀栄, 福田謙一<sup>(1)</sup>, 間宮秀樹, 野村 仰, 一戸達也, 金子 讓, 廣岡理昭<sup>(2)</sup>, 神田秀二<sup>(2)</sup> : 船橋市さざんか歯科診療所における在宅要介護高齢者の歯科治療時の全身管理, 日歯医師会誌 **57**(4), 336, 2004.(第 20 回日本歯科医学会総会, 横浜市) (1)水病・麻酔科,(2)船橋歯科医師会
30. Sakurai,S., Fukunaga,A.<sup>(1)</sup>, Hayashida,M.<sup>(2)</sup>, Kaneko,Y., Ichinohe,T. : ATP Potentiates and Aminophylline Reverses Propofol-induced Sedation/Hypnotic Effects as Assessed by BIS in Human Volunteers., Anesthesiology, #65002, 2004.(American Society of Anesthesiologist Annual Meeting, Las Vegas ,USA) (1)UCLA Harbor Medical Center,(2)東大・医科学研究所附属病院手術部
31. Sakurai,S., Fukunaga,A.<sup>(1)</sup>, Hayashida,M.<sup>(2)</sup>, Kaneko,Y., Ichinohe,T. : ATP Potentiates and Aminophylline Reverses Propofol-induced Sedation/Hypnotic Effects as Assessed by BIS in Human Volunteers., 13th Annual Meeting The Pharmacology of Pain and Analgesia, 40, 2004.(13th Annual Meeting The Pharmacology of Pain and Analgesia, Las Vegas ,USA) (1)UCLA Harbor Medical Center,(2)東大・医科学研究所附属病院手術部
32. 梶安理絵, 宮尾真理子, 湯村潤子, 松浦由美子, 間宮秀樹, 野村 仰, 櫻井 学, 一戸達也, 金子 讓 : 東京歯科大学千葉病院手術室における麻酔症例の臨床統計, 歯科学報 **104**(5), 513, 2004.(第 278 回東京歯科大学学会総会, 千葉市)
33. 小川志保, 吉田恵子, 野村 仰, 久保浩太郎, 福田謙一<sup>(1)</sup>, 松浦由美子, 間宮秀樹, 櫻井 学, 一戸達也, 金子 讓 : 硬膜外麻酔用カテーテルの皮弁採取部留置による持続的術後鎮痛管理, 歯科学報 **104**(5), 514, 2004.(第 278 回東京歯科大学学会総会, 千葉市) (1)水病・麻酔科
34. 剣持正浩, 田村洋平, 山崎貴希, 大野建州, 松木由起子, 松浦由美子, 吉田恵子, 間宮秀樹, 野村 仰, 櫻井 学, 一戸達也, 金子 讓 : 2003 年 1 月 ~ 12 月の 1 年間の東京歯科大学千葉病院歯科麻酔科外来症例と院内出張症例の臨床統計, 歯科学報 **104**(5), 515, 2004.(第 278 回東京歯科大学学会総会, 千葉市)

35. 網川和美<sup>(1)</sup>, 福田謙一<sup>(1)</sup>, 笠原正貴<sup>(1)</sup>, 西條みのり<sup>(1)</sup>, 齋田菜緒子<sup>(1)</sup>, 谷田部純子<sup>(1)</sup>, 高北義彦<sup>(1)</sup>, 一戸達也, 金子 讓 : 塩酸デクスメトミジンの精神鎮静法における使用経験, 歯科学報 **104**(5), 516, 2004.(第 278 回東京歯科大学学会総会, 千葉市) (1)水病・麻酔科
36. 林田眞和<sup>(1)</sup>, 福田謙一<sup>(2)</sup>, 関山裕詞<sup>(3)</sup>, 折井 亮<sup>(3)</sup>, 有田英子<sup>(3)</sup>, 金子 讓, 花岡一雄<sup>(3)</sup> : CRPS の治療 ~ 有効だった治療とその考察 ~ 帯状疱疹後神経痛における薬理的疼痛機序判定試験ドラッグチャレンジテスト(DCT)の役割, 日ペインクリニック会誌 **11**(3), 111, 2004.(日本ペインクリニック学会第 38 回大会, 東京) (1)東大・医科学研究所附属病院手術部,(2)水病・麻酔科,(3)東大・医学部附属病院麻酔科・痛みセンター
37. 松浦由美子, 伊藤英美子, 縣 秀栄, 一戸達也, 金子 讓 : 先天性心疾患を有する非協力児および Down 症患儿 2 症例の全身麻酔経験, 障害者歯 **25**(3), 348, 2004.(第 21 回 日本障害者歯科学会総会および学術大会, 大阪市)
38. 高市 武<sup>(1)</sup>, 岡田健太郎<sup>(1)</sup>, 假屋隆彦<sup>(1)</sup>, 関屋晴彦<sup>(1)</sup>, 田中英一<sup>(1)</sup>, 原 慎一<sup>(1)</sup>, 山内幸司<sup>(1)</sup>, 東 俊雄<sup>(1)</sup>, 上野真人<sup>(1)</sup>, 嘉指幸子<sup>(1)</sup>, 谷口聡子<sup>(1)</sup>, 大崎住江<sup>(1)</sup>, 池田正一<sup>(2)</sup>, 金子 讓 : オープンシステムによる全身麻酔下歯科治療 治療内容の検討 , 障害者歯 **25**(3), 482, 2004.(第 21 回 日本障害者歯科学会総会および学術大会, 大阪市) (1)中野区歯科医師会スマイル歯科診療所,(2)神奈川県立こども医療センター歯科
39. 一戸達也 : 「口腔外科医のための安全で確実な顎変形症の外科的治療」 周術期管理, 日本口腔外科学会 第 25 回教育研修会資料 プログラム, 11 ~ 14, 2004.(日本口腔外科学会 第 25 回教育研修, 新潟市)
40. 吉田恵子, 半田俊之, 向山英里, 一戸達也, 金子 讓 : プロポフォルを用いた日帰り全身麻酔における亜酸化窒素併用の功罪, 日本医療ガス学会第 8 回学術大会・総会 プログラム/抄録集, 55, 2004.(日本医療ガス学会, 東京)
41. 阿部伸一<sup>(1)</sup>, 一戸達也, 田崎雅和<sup>(2)</sup>, 久保周平<sup>(3)</sup>, 石崎 憲<sup>(4)</sup>, 渡邊 裕<sup>(5)</sup>, 本橋佳子<sup>(6)</sup>, 石井拓男<sup>(7)</sup>, 井出吉信<sup>(1)</sup> : 歯科学生に対する PBL と実習を主体とした摂食・嚥下リハビリテーションカリキュラムの導入について, 日摂食嚥下リハ会誌 **8**(2), 286, 2004.(第 10 回日本摂食・嚥下リハビリテーション学会, 新潟) (1)解剖,(2)生理,(3)小児歯,(4)補綴 I, (5)市病・オーラルメディスン,(6)口外 II,(7)社会歯
42. 福田謙一<sup>(1)</sup> : Pain Clinic における ATP, 日本麻酔・薬理学会誌 **16**(2), 16, 2004.(日本麻酔・薬理学会 第 26 回学術大会, 東京) (1)水病・麻酔科
43. 間宮秀樹 : 歯科における鎮静法, 日本麻酔・薬理学会誌 **16**(2), 24, 2004.(日本麻酔・薬理学会 第 26 回学術大会, 東京)
44. 縣 秀栄<sup>(1)</sup>, 久保浩太郎, 塩崎秀弥, 大野建州, 櫻井 学, 一戸達也, 金子 讓 : 2 種類のプロポフォル製剤同時投与時の血管痛の比較, 日本麻酔・薬理学会誌 **16**(2), 32, 2004.(日本麻酔・薬理学会 第 26 回学術大会, 東京) (1)(独)国立病院機構栃木病院・歯口外
45. 半田俊之, 福田謙一<sup>(1)</sup>, 林田眞和<sup>(2)</sup>, 福永敦翁<sup>(3)</sup>, 一戸達也, 金子 讓 : 術中アデノシン三リン酸持続静脈内投与は術後痛に有効である, 日本麻酔・薬理学会誌 **16**(2), 35, 2004.(日本麻酔・薬理学会 第 26 回学術大会, 東京) 脳科学研 (1)水病・麻酔科,(2)東大・医科学研究書附属病院手術部,(3)ハーバーUCLA メディカルセンター麻酔科

46. 松浦信幸, 澁川義幸<sup>(1)</sup>, 一戸達也, 鈴木 隆<sup>(1)</sup>, 金子 譲 : 術中アデノシン三リン酸持続静脈内投与は術後痛に有効である, 日本麻酔・薬理学会誌 **16**(2), 38, 2004.(日本麻酔・薬理学会 第 26 回学術大会, 東京) 脳科学研 (1)生理
47. Sakurai,S., Fukunaga,A.<sup>(1)</sup>, Yamaguchi,K.<sup>(2)</sup>, Okazaki,K.<sup>(2)</sup>, Ichinohe,T. : Conversion of fresh gas inlet site in the anaesthesia machine can save sevoflurane, 13th World Congress of Anaesthesiologist (CD-ROM), P0927, 2004.(13th World Congress of Anaesthesiologist , Paris, France) 脳科学研 (1)水病・麻酔科,(2)横浜市大・医・附属市民総合センター・麻酔科
48. Fukunaga,A.<sup>(1)</sup>, Kasahara,M.<sup>(1)</sup>, Koukita,Y.<sup>(1)</sup>, Fukuda,K.<sup>(1)</sup>, Kaneko,Y. : A new anaesthetic gas saving system;The F-conomy type2system, 13th World Congress of Anaesthesiologist (CD-ROM), P0928, 2004.(13th World Congress of Anaesthesiologist , Paris, France) (1)水病・麻酔科
49. 久保浩太郎, 稲川元明, 縣 秀栄, 一戸達也, 金子 譲 : 極度の病院および白衣恐怖症の自閉症患者に対する日帰り全身麻酔の 2 症例の経験, 歯科学報 **104**(3), 361, 2004.(第 277 回東京歯科大学学会例会, 千葉市)
50. 松浦由美子, 奥田みのり, 縣 秀栄, 野村 仰, 間宮秀樹, 櫻井 学, 一戸達也, 金子 譲 : 歯科麻酔科卒前臨床実習 2 年間の成果, 歯科学報 **104**(3), 371, 2004.(第 277 回東京歯科大学学会総会, 千葉市)
51. 野村 仰, 半田麻里子, 一戸達也, 金子 譲 : Brugada 症候群を有する患者の上下顎同時移動術に対する麻酔経験, J Anesth **18** (Suppl), 123, 2004.(第 51 回日本麻酔科学会, 名古屋市)
52. 森崎重規<sup>(1)</sup>, 小澤靖弘<sup>(1)</sup>, 外木守雄<sup>(1)</sup>, 山根源之<sup>(1)</sup>, 小坂橋俊哉<sup>(2)</sup>, 金子 譲 : 顎変形症術後に対する PCA の効果, J Anesth **18** (Suppl), 159, 2004.(第 51 回日本麻酔科学会, 名古屋市) (1)市病・オーラルメディシン,(2)市病・麻酔科
53. 稲川元明, 野村 仰, 一戸達也, 金子 譲 : 口腔顎顔面領域の難知性慢性痛に対するケタミンおよびアデノシン三リン酸による持続点滴療法の検討, J Anesth **18** (Suppl), 173 ~ 174, 2004.(第 51 回日本麻酔科学会, 名古屋市)
54. 一戸達也, 久保浩太郎, 佐野 司<sup>(1)</sup>, 新谷益朗<sup>(2)</sup>, 澁川義幸<sup>(3)</sup>, 加藤元一郎<sup>(4)</sup> : 三叉神経支配領域皮膚痛覚刺激時の pain-SEFs に対する各種薬剤の抑制効果, 平成 16 年度 東京歯科大学口腔外科研究センター ワークショップ プログラムおよび抄録集, 40 ~ 41, 2005.(平成 16 年度 東京歯科大学口腔外科研究センター ワークショップ, 千葉市) (1)歯放,(2)脳科学研究施設,(3)生理,(4)慶大・医・精神神経科
55. Handa,M., Ichinohe,T., Kaneko,Y. : Does Hypercapnia alter oral tissue blood flow in rabbits?, J Dent Res (CD-ROM) **84**(Special Issue A), #0914, 2005.(83rd General Session & Exhibition of the IADR/AADR/CADR, Baltimore, USA)
56. Inagawa,M., Ichinohe,T., Kaneko,Y. : Felypressin contained in dental local anesthetics aggravates myocardial oxygen balance, J Dent Res (CD-ROM) **84**(Special Issue A), #0916, 2005.(83rd General Session & Exhibition of the IADR/AADR/CADR, Baltimore, USA)

## 8. 歯科補綴学第一講座

### プロフィール

#### 1. 教室員と主研究テーマ

- |    |       |   |
|----|-------|---|
| 教授 | 櫻井 薫  | 呼吸訓練によってストレスの結果生じるクレンチングが抑制できるか<br>( A03-0510-1 )<br>非就眠時ブラキシズムに対する呼吸法の抑制効果<br>( A04-0510-6 )<br>クレンチングの指標として用いられている舌圧痕と舌圧との関係について<br>( A04-0510-5 )  |
| 講師 | 杉山 哲也 | 下顎位認知のメカニズム ( A99-0510-4 )<br>義歯床の表面性状の改質に関する研究 ( A03-0510-5 )  |
| 助手 | 石崎 憲  | 義歯床による床下粘膜への機械的刺激が口腔粘膜上皮の触覚細胞に及ぼす影響<br>( A00-0510-5 )<br>実験的口蓋床による口蓋粘膜加圧による床下粘膜組織のストレス<br>( A04-0510-11 )<br>口蓋側研磨面形態が嚥下に及ぼす影響 ( A04-0510-12 )  |
|    | 安藤 友彦 | 非就眠時ブラキシズムに対する呼吸法の抑制効果 ( A04-0510-6 )   |
|    | 長谷川洋人 | 無口蓋義歯の適応基準 ( A00-0510-1 )   |
|    | 高木 一郎 | 高齢義歯装着者における口腔内環境と嚥下動態に関する検討<br>( A03-0510-3 )<br>クレンチングの指標として用いられている舌圧痕と舌圧との関係について<br>( A04-0510-5 )  |
|    | 石井 治伸 | チューイングおよび実験的クレンチングによるストレス緩和の効果<br>( A03-0510-4 )<br>健常者における実験的ブラキシズム時の歯肉血流動態の解明<br>( A04-0510-9 )   |
|    | 上田 貴之 | WWW を用いた教育素材の評価と改善への取り組み ( A04-0510-1 )<br>即時重合レジン重合時の温水への浸透が床用レジンとの接着強さに与える影響<br>( A04-0510-2 )<br>舌苔の臨床的評価に関する研究 ( A04-0510-6 )<br>卵巣摘出ラットへの DHEA-s の投与が抜歯後の下顎骨吸収に与える影響<br>( A04-0510-8 ) |
|    | 大神浩一郎 | 口唇線における刺激唾液量測定法の確立 ( A00-0510-3 )<br>フッ化物の応用によるオーバードンチャーの支台歯の保護方針の確立<br>( A03-0510-7 )  |
|    | 小平 順可 | 口蓋粘膜の被覆の違いが嚥下時間に及ぼす影響 ( A03-0510-6 )<br>口蓋側研磨面形態が嚥下に及ぼす影響 ( A04-0510-12 )   |

	田原 靖章	チューイングおよび実験的クレンチングによるストレス緩和の効果 ( A03-0510-4 ) 新規人工歯の耐摩耗性と被着色性について ( A04-0510-7 )
病院助手	角 大輔	義歯床の表面性状の改質に関する研究 ( A03-0510-5 )
	小杉 賢史	WWW を用いた教育素材の評価と改善への取り組み ( A04-0510-1 )
	島野 圭介	WWW を用いた教育素材の評価と改善への取り組み ( A04-0510-1 )
	安原 朋子	呼吸訓練によってストレスの結果生じるクレンチングが抑制できるか ( A03-0510-1 )
	竜崎 美樹	即時重合レジン重合時の温水への浸透が床用レジンとの接着強さに与える影響 ( A04-0510-2 )
	渡瀬 秀彦	
大学院生	清水 崇雪	舌苔の臨床的評価に関する研究 ( A04-0510-6 )
	柳澤光一郎	クレンチングの指標として用いられている舌圧痕と舌圧との関係について ( A04-0510-5 )
	岡田 千奈	卵巣摘出ラットへの DHEA-s の投与が抜歯後の下顎骨吸収に与える影響 ( A04-0510-8 )
	齋藤 貴之	<i>A. actinomycetemcomitans</i> のバイオフィルム形成因子に関する解析 ( A04-0510-10 )
	田坂 彰規	
	田中 綾	口蓋側研磨面形態が嚥下に及ぼす影響 ( A04-0510-12 )
	鶴岡 守人	実験的口蓋床による口蓋粘膜加圧による床下粘膜組織のストレス ( A04-0510-11 )
	天野 大地	
	新井 貴博	
専攻生	小林健一郎	健常者における実験的ブラキシズム時の歯肉血流動態の解明 ( A04-0510-9 )

## 2. 成果の概要

### 1) 口唇線における刺激唾液量測定法の確立 ( A00-0510-3 )

患者の理解や協力度、口腔内の状態に左右されず計測が行え、さらに測定の際には患者に不快感を与えない、ヨウ素デンプン反応を利用した唾液量測定法の確立を目的に本研究を行った。

まずストリップに蒸留水を滴下し、その重量とヨウ素デンプン反応にて変色した部分の面積の比較を行い、唾液量の算出を試みた。蒸留水滴下後のストリップの重量と変色した部分の面積との関係には相関が認められた ( $r=0.979$ ,  $p=0.01$ )。さらに回帰分析を行った結果、 $Y=0.33X+0.76$  ( $X$ : 変色部分の面積,  $Y$ : 唾液量,  $R^2=0.958$ ,  $r=0.01$ ) が得られ、この式に唾液の比重 (1.003) を積算することで、臨床的応用を可能とした。次にストリップを用いた測定法の有用性を検討するために、本法で得られた唾液量と排水法で求めた安静時全唾液量との関係を検討した。変色部分の面積から得られた唾液量と安静時全唾液量との関係には相関が認められた ( $r=0.678$ ,  $p=0.01$ )。本法によって患者の理解や協力度、口腔内の状態に左右されない、下唇粘膜部における唾液量測定法が確立された。

J Oral Rehabil 31(9), 861~865, 2004.



### 3. 科学研究費補助金・各種補助金

研究代表者	研究課題	研究費
高木 一郎	高齢義歯装着者における咬合高径の変化が嚙下動態に与える影響	科学研究費・基盤研究(C)
高木 一郎	頬粘膜圧痕の成因についての検討	学長奨励研究
上田 貴之	WWW を用いた教育コンテンツ評価システムの開発	大学教育高度化推進特別経費
清水 崇雪	妥当性のある舌苔付着評価方法の確立	大学院高度化推進特別経費
齋藤 貴之	<i>A. actinomycetemcomitans</i> のバイオフィルム形成に関わる因子の解析とその抑制	大学院高度化推進特別経費

### 4. 教育講演等教育に関する業績, 活動

#### 教育ワークショップ等

氏名	年月日	ワークショップ名	役割	開催地
杉山 哲也	2004. 7. 23	平成 16 年度教育ワークショップ	発表者	千葉市
石崎 憲	2004. 8. 27	平成 16 年度第 2 回共用試験歯学系 OSCEワークショップ	補助員	千葉市
杉山 哲也	2004. 11. 25	東京歯科大学カリキュラム研修ワークショップ第 1 回アドバンスコース	参加者	千葉市
安藤 友彦	2004. 11. 25	東京歯科大学カリキュラム研修ワークショップ第 1 回アドバンスコース	参加者	千葉市
長谷川洋人	2004. 11. 25	東京歯科大学カリキュラム研修ワークショップ第 1 回アドバンスコース	参加者	千葉市
高木 一郎	2005. 1. 13	東京歯科大学カリキュラム研修ワークショップ第 3 回アドバンスコース	参加者	千葉市
石崎 憲	2005. 1. 13	東京歯科大学カリキュラム研修ワークショップ第 3 回アドバンスコース	参加者	千葉市

#### 卒後研修セミナー等

氏名	年月日	セミナー名	役割	開催地
櫻井 薫	2004. 7. 22	東京都歯科医師会卒後研修会	講師	東京
杉山 哲也	2004. 7. 22	東京都歯科医師会卒後研修会	講師	東京
石崎 憲	2004. 7. 22	東京都歯科医師会卒後研修会	インストラクター	東京
安藤 友彦	2004. 7. 22	東京都歯科医師会卒後研修会	インストラクター	東京
長谷川洋人	2004. 7. 22	東京都歯科医師会卒後研修会	インストラクター	東京
高木 一郎	2004. 7. 22	東京都歯科医師会卒後研修会	インストラクター	東京
石井 治伸	2004. 7. 22	東京都歯科医師会卒後研修会	インストラクター	東京
大神浩一郎	2004. 7. 22	東京都歯科医師会卒後研修会	インストラクター	東京
清水 崇雪	2004. 7. 22	東京都歯科医師会卒後研修会	助手	東京

氏名	年月日	セミナー名	役割	開催地
鶴岡 守人	2004. 7. 22	東京都歯科医師会卒後研修会	助手	東京
櫻井 薫	2004. 9. 12	TDC 卒後研修セミナー	講師	東京
杉山 哲也	2004. 9. 12	TDC 卒後研修セミナー	講師	東京
石崎 憲	2004. 9. 12	TDC 卒後研修セミナー	インストラクター	東京
高木 一郎	2004. 9. 12	TDC 卒後研修セミナー	インストラクター	東京
石井 治伸	2004. 9. 12	TDC 卒後研修セミナー	インストラクター	東京
上田 貴之	2004. 9. 12	TDC 卒後研修セミナー	インストラクター	東京
大神浩一郎	2004. 9. 12	TDC 卒後研修セミナー	インストラクター	東京
小平 順可	2004. 9. 12	TDC 卒後研修セミナー	インストラクター	東京

#### 共用試験等

氏名	年月日	種別	役割	開催地
杉山 哲也	2004.11.20	平成 16 年度歯科臨床研修医 OSCE	ST2 責任者	千葉市
杉山 哲也	2005. 2. 19	平成 16 年度日本歯科大学歯学部 共用試験歯学系 OSCE トライアル	評価者	東京
石崎 憲	2005. 2. 27	平成 16 年度第 4 学年 OSCE	評価者	千葉市
石井 治伸	2005. 2. 27	平成 16 年度第 4 学年 OSCE	採点者	千葉市
上田 貴之	2005. 2. 27	平成 16 年度第 4 学年 OSCE	器材係	千葉市
竜崎 美樹	2005. 2. 27	平成 16 年度第 4 学年 OSCE	誘導係	千葉市
安藤 友彦	2005. 2. 27	平成 16 年度第 4 学年 OSCE	器材係	千葉市

## 論文

1. Ogami,K., Sakurai,K., Ando,T. : A method of measuring salivary flowing in the lower labial mucosal region, J Oral Rehabil **31**(9), 861 ~ 865, 2004. 原著
2. Muramatsu,T.<sup>(1)</sup>, Hamano,H.<sup>(1)</sup>, Ogami,K., Ohta,K.<sup>(2)</sup>, Inoue,T.<sup>(3)</sup>, Shimono,M.<sup>(1)</sup> : Reduction of connexin 43 expression in aged human dental pulp, Int Endod J **37**(12), 814 ~ 818, 2004. 原著 (1)病理,(2)生化学,(3)臨検査

## 解説

1. 大神浩一郎, 小林健一郎, 杉山哲也, 眞木吉信<sup>(1)</sup>, 櫻井 薫 : オーバーデンチャーの支台歯に対するフッ化物バーニッシュの効果, 老年歯医 **19**(1), 8 ~ 12, 2004. (1)衛生
2. 櫻井 薫 : 用語解説 アフタ性口内炎, 粥食, 空嚥下, 金属床義歯, 口角炎, シェーグレン症候群, 刺激唾液分泌量, 人工唾液, 大唾液腺, 特別養護老人ホーム, フラビーガム, 養護老人ホーム, 暦年齢, 老年歯医 **19**(1), 40 ~ 62, 2004.
3. 田原靖章, 杉山哲也, 角 大輔, 櫻井 薫 : ソリユート PX ポステリオの特徴, Quintessence **23**(12), 160 ~ 163, 2004.

## 単行図書

1. 櫻井 薫編集: 著分担 : 歯科補綴学専門用語集, 医歯薬出版, 東京, 2004.
2. 眞木吉信<sup>(1)</sup>, 櫻井 薫, 大神浩一郎 : 著分担 : 歯根面う蝕の診断・治療・予防 (a)第5章 補綴物と歯根面う蝕 91 ~ 96 頁, 医学情報社, 東京, 2004. RI 研 脳科学研 (1)衛生
3. 櫻井 薫(a),(b): 著分担 : 臨床における不安と疑問 (a)第 章 臨床における「正常と異常の判断」咬頭部がすり減った義歯 74 ~ 81 頁,(b)第 章 解剖学的問題 頬粘膜の白線(頬嚙み) 150 ~ 153 頁, ヒョーロン・パブリッシャーズ, 東京, 2005.
4. 櫻井 薫編集: 著分担 : コンプリートデンチャーテクニック(第5版), 医歯薬出版, 東京, 2005.

## その他

1. 鶴岡守人, 井上 孝<sup>(1)</sup> : 異なるインプラント表面周囲の組織破壊に関する実験: イヌを用いた臨床的ならびに放射線学的評価, Quintessence Dent Imp **12**(2), 72 ~ 74, 2005. (1)臨検査
2. 渡辺 誠<sup>(1)</sup>, 櫻井 薫, 越智守生<sup>(2)</sup>, 赤尾 勝<sup>(3)</sup>, 矢島安朝<sup>(4)</sup>, 山内智博<sup>(4)</sup> : HA 薄膜コーティングインプラントの臨床有用性を考察する, インプラントジャーナル **21**(春), 65 ~ 78, 2005. (1)東北大,(2)北医療大,(3)東医歯大,(4)口外 I

## 学会抄録

1. 柳澤光一郎, 高木一郎, 櫻井 薫 : クレンチングの指標として用いられている舌圧痕と上顎における舌圧との関係, 日補綴歯会誌 **49**(3), 558, 2004.(平成 16 年度日本補綴歯科学会東関東支部総会・第 8 回学術大会, 水戸市)

2. 竜崎美樹, 中村潤二, 上田貴之, 杉山哲也, 櫻井 薫 : 即時重合レジン重合時の温水への浸漬が床用レジンとの接着強さに与える影響, 日補綴歯会誌 **48**(111 回特別号), 81, 2004.(第 111 回日本補綴歯科学会, 東京)
3. 清水崇雪, 上田貴之, 櫻井 薫 : 評価者間一致度および評価者内一致度からみた舌苔付着評価法の妥当性, 日補綴歯会誌 **48**(111 回特別号), 121, 2004.(第 111 回日本補綴歯科学会, 東京)
4. 小杉賢史, 上田貴之, 杉山哲也, 安藤友彦, 石崎 憲, 櫻井 薫 : www(world wide web) を用いた教育素材の評価と改善への取り組み -第 4 報 2002 年と 2004 年の教育用 www の利用状況の比較-, 歯科学報 **104**(3), 92, 2004.(第 277 回東京歯科大学学会例会, 千葉市)
5. 一戸達也<sup>(1)</sup>, 田崎雅和<sup>(2)</sup>, 阿部伸一<sup>(3)</sup>, 久保周平<sup>(4)</sup>, 石崎 憲, 渡邊 裕<sup>(5)</sup>, 本橋佳子<sup>(6)</sup>, 白鳥たかみ<sup>(7)</sup>, 石井拓男<sup>(8)</sup>, 井出吉信<sup>(3)</sup> : PBL と実習に基づく摂食・嚥下リハビリテーションの卒前カリキュラム, 第 23 回日本歯科医学教育学会総会・学術大会抄録集, 93, 2004.(第 23 回日本歯科医学教育学会総会・学術大会, 新潟市) (1)歯麻,(2)生理,(3)解剖,(4)小児歯,(5)市病・オーラルメディスン,(6)口外 II,(7)東歯大・衛校,(8)社会歯
6. 柳澤光一郎, 櫻井 薫, 高木一郎 : クレンジングの指標として用いられている舌圧痕と舌圧の関係, 第 17 回日本顎関節学会総会・学術大会プログラム抄録集, 133, 2004.(第 17 回日本顎関節学会・総会, 新潟市)
7. 上田貴之, 石井治伸, 安藤友彦, 杉山哲也, 櫻井 薫 : 超音波療法を適応された患者の術前の症状と治療効果の関連について, 第 17 回日本顎関節学会総会・学術大会 プログラム・抄録集, 154, 2004.(第 17 回日本顎関節学会・総会, 新潟市)
8. 上田貴之, 大神浩一郎, 櫻井 薫 : 義歯安定剤により軟口蓋挙上装置(PLP)が装着可能となった無歯顎症例, 老年歯医 **19**(3), 66, 2004.(第 15 回日本老年歯科医学会総会・学術大会, 鹿児島市)
9. 石崎 憲, 櫻井 薫, 田崎雅和<sup>(1)</sup>, 井上 孝<sup>(2)</sup>, 玉井久貴 : 口蓋板による持続的機械刺激が Merkel 細胞に及ぼす影響, 日補綴歯会誌 **48**(112 回特別号), 50, 2004.(第 112 回日本補綴歯科学会学術大会, 横須賀市) 細形研 実動施設 (1)生理,(2)臨検査
10. 田原靖章, 角 大輔, 杉山哲也, 櫻井 薫, 清水崇雪, 田中 綾 : 新規人工歯の耐磨耗性と被着色性について, 日補綴歯会誌 **48**(112 回特別号), 92, 2004.(第 112 回日本補綴歯科学会学術大会, 横須賀市)
11. 高木一郎 : 頬粘膜圧痕の成因についての検討 , 歯科学報 **104**(5), 505, 2004.(第 278 回東京歯科大学学会総会, 千葉市)
12. 関根秀志<sup>(1)</sup>, 田口達夫<sup>(1)</sup>, 飯島俊一<sup>(1)</sup>, 椎貝達夫<sup>(1)</sup>, 武田孝之<sup>(1)</sup>, 瀬田修一<sup>(2)</sup>, 廣瀬理子<sup>(3)</sup>, 鈴木道子<sup>(3)</sup>, 長谷川洋人, 浅田智宏<sup>(1)</sup>, 野村貴生<sup>(4)</sup>, 安達 康<sup>(4)</sup> : 東京歯科大学水道橋病院におけるインプラント治療の現状 , 歯科学報 **104**(5), 507, 2004. (第 278 回東京歯科大学学会総会, 千葉市) (1)水病・口腔インプラント科,(2)水病・口外科,(3)水病・保存科,(4)水病・補綴科
13. 島野圭介, 上田貴之, 杉山哲也, 櫻井 薫, 小杉賢史, 安藤友彦, 石崎 憲 : WWW(World Wide Web)を用いた教育素材の評価と改善への取り組み 第 5 報 学生主観評価による各種教育素材との比較 , 歯科学報 **104**(5), 533, 2004.(第 278 回東京歯科大学学会総会, 千葉市)

14. 小平順可, 石崎 憲, 櫻井 薫 : 口腔粘膜の被覆による食塊の送り込み時間の変化と関与因子, 日摂食嚥下リハ  
会誌 8(2), 88, 2004.(第 10 回日本摂食・嚥下リハビリテーション学会学術大会, 新潟市)
15. 石崎 憲, 小平順可 : Clinical Conference -Periapical cemental dysplasia の一例-, 平成 16 年度 板橋区歯科医  
師会合同研修会 抄録, 2004.(平成 16 年度 板橋区歯科医師会合同研修会, 東京)
16. 小平順可, 高木一郎, 上田貴之, 石崎 憲, 櫻井 薫 : 口蓋被覆と嚥下時の舌圧について, 平成 16 年度日本  
補綴歯科学会 東関東支部総会・第 8 回学術大会抄録集, 16, 2005.(平成 16 年度日本補綴歯科学会 東関東支部  
総会・第 8 回学術大会, 水戸市)
17. 石井治伸 : 咬合挙上を伴う補綴処置を行った多数歯欠如症例, 平成 16 年度日本補綴歯科学会 東関東支部  
総会・第 8 回学術大会抄録集, 19, 2005.(平成 16 年度日本補綴歯科学会 東関東支部総会・第 8 回学術大会, 水戸市)
18. 上田貴之 : 咬合再構成を行った重度咬耗症症例, 平成 16 年度日本補綴歯科学会 東関東支部総会・第 8 回  
学術大会抄録集, 20, 2005.(平成 16 年度日本補綴歯科学会 東関東支部総会・第 8 回学術大会, 水戸市)
19. 大神浩一郎 : 歯牙挺出後に補綴処置を行った一症例, 平成 16 年度日本補綴歯科学会 東関東支部総会・  
第 8 回学術大会抄録集, 20, 2005.(平成 16 年度日本補綴歯科学会 東関東支部総会・第 8 回学術大会, 水戸市)
20. Kado,D., Sakurai,K., Sugiyama,T., Ueda,T. : Cleanability of Acrylic Denture Base Resin with Titanium Dioxide  
Coating, J Dent Res (CD-ROM) 84(Special Issue A), #1616, 2005.(83rd General Session & Exhibition of the  
IADR/AADR/CADR, Baltimore, USA)
21. Ueda,T., Ishii,H., Ando,T., Sugiyama,T., Sakurai,K. : Symptoms of Temporomandibular Disorder and Clinical  
Responses to Ultrasonic Treatment, J Dent Res (CD-ROM) 84(Special Issue A), #2432, 2005.(83rd General Session  
& Exhibition of the IADR/AADR/CADR, Baltimore, USA)
22. 石井治伸, 安藤友彦, 高木一郎, 赤澤勇人, ピケロカティウスカ, 櫻井 薫 : 弱いかみしめは口腔諸組織に影響  
を与えるか?, 歯界展望(特別), 349, 2005.(第 20 回日本歯科医学会総会, 横浜市)

## 9. 歯科補綴学第二講座

### プロフィール

#### 1. 教室員と主研究テーマ

教授	佐藤 亨	全身と咬合を考慮した頭頸部筋群マニピュレーション法の有効性に関する研究 (A00-0520-1) 口腔の状態と睡眠についての研究 (A03-0520-4) 咀嚼習癖と聴力変化との関連性について (HRC3A11)
助教授	齋藤 文明	咬合器の調節機構 (A96-0520-1)
講師	高橋 俊之	インプラント施術後の補綴処置 (A86-0520-3)
助手	吉村 浩一	歯科領域における情報伝達 (A96-0520-4) 咀嚼習癖と聴力変化との関連性について (HRC 3A11)
	久永 竜一	歯の透明感の評価と伝達 (A97-0520-1)
	三宅菜穂子	補綴材料への口腔内細菌の吸着に関する実験的研究 (A91-0520-2) 唾液腺房細胞の活性化の機序におよぼすレーザーの影響 (HRC5A03)
	山田 敏勝	ブリッジの適合性 (A95-0520-2)
	三穂 乙暁	歯冠用硬質レジンと金属との接着性に関する研究 (A98-0520-1) 歯科用金属の電気的活動性に関する研究 (A02-0520-2)
	金井 由起	歯冠色修復材料の表面処理方法と接着性に関する研究 (A99-0520-1)
	平地 正茂	8分割体重計を用いた頭位および身体重心の変化と咬合接触圧との関連性 (A02-0520-3)
	鈴木 雄太	インプラント周囲組織の感覚機構に関する研究 (HRC5A08)
	天崎 光宏	歯科用金属の電気的活動性に関する研究 (A02-0520-2)
大学院生	菊池 建司	咬合点の違いによる下顎頭の運動変化に関する研究 (A96-0520-6)
	沼澤 成文	咀嚼運動に同期した頭部運動の三次元的様相 (A00-0520-2)
	野本俊太郎	各種象牙質接着システムの補綴領域への応用に関する研究 (A03-0520-2) $\mu$ CT装置による上顎骨歯槽突起部の骨形態計測学的研究 (A03-0520-1)
病院助手	野木 智代	8分割体重計を用いた頭位および身体重心の変化と咬合接触圧との関連性 (A02-0520-3)

#### 2. 成果の概要

##### 1) 全身と咬合を考慮した頭頸部筋群マニピュレーション法の有効性に関する研究 (A00-0520-1)

本年度は、前年度計測した全身、顎口腔系及び平衡機能障害に自他覚的異常のない青年男子43名に加え、同じく水泳を日常スポーツとしている者28名について、全身写真撮影により体の形態的状态を観察し、比較検討した。測定条件は、開眼時と閉眼時における歯牙接触位と咬頭嵌合位とし、重力線を基準に、肩(左右肩峰)、腰(左右上前腸骨棘)の高さの差と偏位量、頭蓋(ナジオン相当の鼻根部と人中下点を結んだ線)の傾斜と偏位量、頭蓋(ナジオン相当の鼻根部と人中下点を結んだ線)と下顎(人中下点と頤下点を結んだ線)の角度差の測定を行った。両者の各条件における、Q1、Q3区間(中央50%区間)では、青年男子において、肩は若干右が高く、中心は左にずれる傾向で、腰も右が高い傾向にあるが、中心は肩に比較してほ

ば重力線に近いという結果であった。また、水泳スポーツ者においては、肩は右が高く、腰はほぼ水平になる傾向で、中心は、肩は重力線に近く、腰は右側偏位の傾向であった。また、顔面部では、各計測値ともに水泳スポーツ者の方が、青年男子に比較して傾きやずれが少ないという結果であった。また開眼咬頭嵌合位の条件では、他の条件に比較して、Q1, Q3 区間は最も小さいという結果であった。

## 2) 口腔の状態と睡眠についての研究 (A03-0520-4)

口腔内状態と睡眠の関係、睡眠と健康の関係に関する報告は多いが、口腔内咬合状態と睡眠との関係に関する研究報告は少ない。特に高齢者の多くが使用している義歯の就寝時の取り扱いに関しては、義歯を取り外して就寝する指導と、義歯を使用して就寝する指導の相反する2つの指導がある。しかし、これらの指導は経験則にて行われており、義歯の使用あるいは咬合関係の確保が、睡眠状態、睡眠の質にどのような影響を与えているかを考慮したものではない。そこで義歯の使用の有無による咬合確保と睡眠状態および睡眠の質との関係を解明するために研究方法の確立とその検討を行った。

## 3) インプラント施術後の補綴処置に関する研究 (A86-0520-3)

昭和59年9月より多孔質アルミナセラミックインプラントを臨床応用し、単独あるいは天然歯と連結した形で上部補綴物を装着し、その経過を各種診査法を用いて追っている。現在最長経過例は17年以上になる。また、ハイドロキシアパタイト被覆2回法インプラントを平成元年3月より約40症例に応用した。現在最長経過例は12年以上になる。これらの研究を本学歯科保存学第一講座と共同で行っている。

また、平成11年よりウメオ大学歯学部補綴科の Johan Gunne 教授 (スウェーデン) らと、上部補綴物の適合性に関する共同研究も開始した。さらに、Broänemark システムと Ankylos システムについても、同様の検討を行う予定である。3タイプの上部構造を応用したいずれのインプラント体も、臨床的に良好な経過を示している。インプラント連結・術者可撤式タイプの1症例において、フィクスチャーの近心側歯頸部に骨吸収がみられた症例については、処置後骨のさらなる吸収は認められず落ち着いた経過を取っている。8年以上経過した3症例4本のアバットメントに破折を認めたが、交換修理し現在問題なく経過している。しかし、なお今後も十分な経過観察が必要と思われる。

## 4) 唾液腺房細胞の活性化の機序におよぼすレーザーの影響 (HRC5A03)

本研究はヒドロキシアパタイト表面に対する唾液タンパクと口腔内細菌の吸着、ヒドロキシアパタイト表面へのレーザー照射による唾液タンパクと口腔内細菌の吸着阻止効果を明らかにすることを目的としている。これまでレーザー照射前後のゼータ電位の測定およびSEM, AFM について検討してきた。平成16年度はレーザー照射前後の接触角を測定した。レーザーにはGaAlAs 半導体ダイオードレーザーLD15 (波長:810nm, Dentek Laser Systems Production 社製) を使用し、照射条件は6.1Watt 60sec, エネルギー密度300 J/cm<sup>2</sup> とした。被験材料には焼結アパタイト (アパタイトペレット<sup>TM</sup>旭光学工業社製) を使用した。耐水研磨紙 (#180, #320, #600, #1200) で平面を仕上げ、アルミナ質研磨材(5 $\mu$ m, 0.05 $\mu$ m)を用いてバフ研磨を行いプレート状に調整した。アセトンによる15分間超音波洗浄後、アセトンに浸漬保存し、5分間自然乾燥し接触角を測定した。レーザー照射前後を比較するとレーザー照射前 (29.5 $\pm$ 4.9, n=37) よりもレーザー照射後 (27.5 $\pm$ 4.08, n=14) のほうが小さくなる傾向が認められた。

5) 8分割体重計を用いた頭位および身体重心の変化と咬合接触圧との関連性 (A02-0520-3)

咬合の不調和は顎口腔系にとどまらず、身体機能に広範な影響を及ぼす可能性が示唆されているが、その因果関係については未だ明らかとはいえない。そこで8分割バランス、ナソヘキサグラフ、オクルーザーを用いて、その分布状態と咬頭嵌合位における体重8分割バランスとの関連を検討する。

6) 咬合点の違いによる下顎頭の運動変化に関する研究 (A96-0520-6)

補綴処置を行うにあたり、現存の下顎位を変更する必要性のある患者に遭遇することは少なくない。

特に歯の移動や高度な咬耗によって咬合高径の挙上を余儀なくされ、新たに咬合を構築しなければならない場合がある。このような症例に対しては、上下顎歯列および下顎頭や関節円板を含めた解剖学的要素の他に、神経筋機構を考慮する必要があると考えられる。そこで顎機能に異常を認めない正常有歯顎者に対して、咬合高径を変化した際の下顎運動を、特にタッピング運動について検討を行った。

7) 咀嚼運動に同期した頭部運動の三次元的様相 (A00-0520-2)

歯科領域で咬合採得や咬合調整等における頭位の設定はいまだ統一した見解はなく、術者によって任意に設定されているのが現状である。最近、咀嚼運動は全身のなかでバランスを保ちながら行われると考えられてきている。そこで下顎開閉口運動もしくは咀嚼運動を行わせた際の頭部の運動を三次元的に解析し、正常者の運動様相をとらえることにより、より詳細な下顎運動に伴う頭部運動の様相が明らかになり、これにより頭位の設定や全身咬合という考えのなかでの咀嚼運動を解明する一助となると考えられる。

3. 科学研究費補助金・各種補助金

研究代表者	研究課題	研究費
平地 正茂	8分割体重計を用いた頭位および身体重心の変化と咬合接触圧との関連性	科学研究費・若手 (B)

4. 教育講演等教育に関する業績、活動

教育講演等

講演者	年月日	演題	学会・研究会名	開催地
齋藤 文明	2004. 9. 5	審美歯科と技工	東京都歯科技工士会 全都講習会	東京



教育ワークショップ等

氏名	年月日	ワークショップ名	役割	開催地
佐藤 亨	2004. 11. 25	東京歯科大学カリキュラム研修ワークショップ第1回アドバンスコース	参加者	千葉市
吉村 浩一	2004. 11. 25	東京歯科大学カリキュラム研修ワークショップ第1回アドバンスコース	参加者	千葉市
高橋 俊之	2005. 1. 13	東京歯科大学カリキュラム研修ワークショップ第3回アドバンスコース	参加者	千葉市
久永 竜一	2005. 1. 13	東京歯科大学カリキュラム研修ワークショップ第3回アドバンスコース	参加者	千葉市
三宅菜穂子	2005. 1. 20	東京歯科大学カリキュラム研修ワークショップ第4回アドバンスコース	参加者	千葉市
三穂 乙暁	2005. 1. 13	東京歯科大学カリキュラム研修ワークショップ第3回アドバンスコース	参加者	千葉市
金井 由起	2004. 12. 9	東京歯科大学カリキュラム研修ワークショップ第2回アドバンスコース	参加者	東京
平地 正茂	2004. 10. 2 ～3	第12回東京歯科大学カリキュラム研修ワークショップ	参加者	千葉市

共用試験等

氏名	年月日	種別	役割	開催地
三宅菜穂子	2004. 5. 15	第7回水道橋病院OSCE	ST責任者	東京
金井 由起	2004. 5. 15	第7回水道橋病院OSCE	評価者	東京
久永 竜一	2004. 11. 20	平成16年度歯科臨床研修医OSCE	評価者	千葉市
山田 敏勝	2004. 11. 20	平成16年度歯科臨床研修医OSCE	評価者	千葉市
三穂 乙暁	2004. 11. 20	平成16年度歯科臨床研修医OSCE	評価者	千葉市
高橋 俊之	2005. 2. 27	平成16年度第4学年OSCE	実行委員	千葉市
吉村 浩一	2005. 2. 27	平成16年度第4学年OSCE	評価者	千葉市
久永 竜一	2005. 2. 27	平成16年度第4学年OSCE	評価者	千葉市
山田 敏勝	2005. 2. 27	平成16年度第4学年OSCE	指導医役	千葉市
三穂 乙暁	2005. 2. 27	平成16年度第4学年OSCE	器材係	千葉市
平地 正茂	2005. 2. 27	平成16年度第4学年OSCE	評価者	千葉市
天崎 光宏	2005. 2. 27	平成16年度第4学年OSCE	器材係	千葉市
中尾 祐介	2005. 2. 27	平成16年度第4学年OSCE	誘導係	千葉市
松木 佳史	2005. 2. 27	平成16年度第4学年OSCE	誘導係	千葉市
三宅菜穂子	2005. 3. 5	第8回水道橋病院OSCE	評価者	東京
金井 由起	2005. 3. 5	第8回水道橋病院OSCE	実行委員	東京

## 論文

1. Matsuzaka,K.<sup>(1)</sup>, Miyake,N., Takahashi,K.<sup>(2)</sup>, Ohta,K.<sup>(3)</sup>, Hattori,M.<sup>(4)</sup>, Muramatsu,T.<sup>(5)</sup>, Satou,T., Oda,Y.<sup>(4)</sup>, Shimono,M.<sup>(5)</sup>, Ishikawa,T.<sup>(2)</sup> : Transformation of hydroxyapatite surface characteristics during diode laser irradiation, Biomed Res **25**(2), 105 ~ 108, 2004. 原著 HRC5A03 生素研 (1)臨検査,(2)保存 III,(3)生化学,(4)理工,(5)病理
2. 菊池建司, 佐藤 亨, 齋藤文明 : 習慣性閉口路におよぼす因子の三次元的検討-体位の影響について-, 歯科学報 **104**(2), 127 ~ 139, 2004. 原著 A96-0520-6 学位論文 保情研
3. 沼澤成文, 佐藤 亨, 齋藤文明 : ガム咀嚼に伴う頭部運動の三次元的検討, 歯科学報 **104**(3), 287 ~ 296, 2004. 原著 A-00-0520-2 学位論文

## プロシーディングス

1. Takahashi,T. : Fit of implant frameworks fabricated by Procera system, Proceedings World Congress for Oral Implantology 6, 330 ~ 332, 2004.(Proceedings World Congress for Oral Implantology 6, Honolulu, USA) A-86-0520-3
2. Ishikawa,T.<sup>(1)</sup>, Shimono,M.<sup>(2)</sup>, Oda,Y.<sup>(3)</sup>, Satou,T., Muramatsu,T.<sup>(2)</sup>, Matsuzaka,K.<sup>(4)</sup>, Miyake,N., Hattori,M.<sup>(3)</sup>, Takahashi,K.<sup>(1)</sup>, Ohta,K.<sup>(5)</sup> : Influences of laser on the activity of salivary acinar cells, Bull Tokyo Dent Coll **45**(2), 142 ~ 143, 2004.(Workshop 2004 Oral Health Science Center Tokyo Dental College, Chiba) HRC5A03 (1)保存 III,(2)病理,(3)理工,(4)臨検査,(5)生化学
3. Kobayashi,Y.<sup>(1)</sup>, Matsukubo,T.<sup>(1)</sup>, Satou,T., Nagasaka,H.<sup>(1)</sup>, Sugihara,N.<sup>(1)</sup>, Yomoto,M.<sup>(2)</sup>, Ishikawa,T.<sup>(3)</sup> : The effect of cotton roll biting on auditory evoked magnetic fields, Int Congr Ser(1270), 324 ~ 328, 2004.(15th World Congress of the International Society for Brain Electromagnetic Topography, Urayasu) 脳科学研 (1)衛生,(2)東大・医・検査部神経生理,(3)保存 III

## その他

1. 松久保 隆<sup>(1)</sup>, 長坂 斉<sup>(1)</sup>, 中村昭二<sup>(1)</sup>, 小林義昌<sup>(1)</sup>, 高江洲義矩<sup>(1)</sup>, 佐藤 亨, 星 詳子<sup>(2)</sup>, 渡邊 誠<sup>(3)</sup>, 中島庸也<sup>(4)</sup>, 山根源之<sup>(5)</sup>, 石川達也<sup>(6)</sup> : 周波数域別聴力レベルと咬合咀嚼機能, 日歯医師会誌 **57**(4), 374, 2004. (1)衛生,(2)東京都精神医学総合研究所・脳機能解析,(3)東北大・大学院・加齢歯科,(4)市病・耳鼻科,(5)市病・オーラルメディスン,(6)保存 III

## 学会抄録

1. 阿部伸一<sup>(1)</sup>, 渡邊 裕<sup>(2)</sup>, 新谷益朗<sup>(3)</sup>, 佐藤 亨, 田崎雅和<sup>(4)</sup>, 松久保 隆<sup>(5)</sup>, 山根源之<sup>(2)</sup>, 井出吉信<sup>(1)</sup>, 山田好秋<sup>(3)</sup>, 下野正基<sup>(6)</sup>, 石川達也<sup>(7)</sup> : 脳磁図計による中枢性嚙下誘発部位の検索, 平成 15 年度東京歯科大学口腔科学研究センターワークショッププログラムおよび抄録集, 9,2004.(平成 15 年度東京歯科大学口腔科学研究センターワークショップ, 千葉市) 脳科学研 (1)解剖,(2)市病・オーラルメディスン,(3)脳科学研究施設,(4)生理,(5)衛生,(6)病理,(7)保存 III
2. 佐藤 亨, 沼澤成文, 齋藤文明 : 垂直座位における下顎運動に伴う頭部運動の三次元的検討,日補綴歯会誌 **48**(2), 319, 2004.(平成 15 年度日本補綴歯科学会東関東支部学術大会,さいたま市) A00-0520-2 保情研

3. Abe,S.<sup>(1)</sup>, Watanabe,Y.<sup>(2)</sup>, Shintani,M.<sup>(3)</sup>, Satou,T., Tazaki,M.<sup>(4)</sup>, Matsukubo,T.<sup>(5)</sup>, Yamane,G.<sup>(2)</sup>, Ide,Y.<sup>(1)</sup>, Yamada,Y.<sup>(3)</sup>, Shimono,M.<sup>(6)</sup>, Ishikawa,T.<sup>(7)</sup> : Investigation of central control during voluntary deglutition,Bull Tokyo Dent Coll **45**(2), 112 ~ 113, 2004.(Workshop 2003 Oral Health Science Center Tokyo Dental College,Chiba) 脳科学研 (1)解剖,(2)市病・オーラルメディスン,(3)脳科学研究施設,(4)生理,(5)衛生,(6)病理,(7)保存 III
4. Yajima,Y.<sup>(1)</sup>, Takeda,E.<sup>(1)</sup>, Tazaki,M.<sup>(2)</sup>, Sakamoto,T.<sup>(3)</sup>, Tazaki,Y.<sup>(2)</sup>, Shibukawa,Y.<sup>(2)</sup>, Bessho,.<sup>(1)</sup>, Sekine,H.<sup>(4)</sup>, Abe,S.<sup>(5)</sup>, Inoue,T.<sup>(6)</sup>, Katakura,A.<sup>(1)</sup>, Satou,T., Kakizawa,T.<sup>(7)</sup>, Ide,Y.<sup>(5)</sup> : The primary gustatory area in the human cerebral cortex examined by magnetoencephalography (MEG) : Defferences caused by gustatory qualities, stimulus densities, thermal stimulus in active location and variation of reaction time., Bull Tokyo Dent Coll **45**(2), 114 ~ 116, 2004.(Workshop 2003 Oral Health Science Center Tokyo Dental College, Chiba) 脳科学研 (1)口外 I,(2)生理,(3)矯正,(4)水病・口腔インプラント科,(5)解剖,(6)臨検査,(7)水病・口外科
5. Ishikawa,T.<sup>(1)</sup>, Shimono,M.<sup>(2)</sup>, Oda,Y.<sup>(3)</sup>, Satou,T., Muramatsu,T.<sup>(2)</sup>, Matsuzaka,K.<sup>(4)</sup>, Miyake,N., Hattori,M.<sup>(3)</sup>, Takahashi,K.<sup>(1)</sup>, Ohta,K.<sup>(5)</sup> : Influences of laser on the activity of salivary acinar cells, Bull Tokyo Dent Coll **45**(2), 142 ~ 143, 2004.(Workshop 2003 Oral Health Science Center Tokyo Dental College, Chiba, Chiba) HRC5A03 (1)保存 III,(2)病理,(3)理工,(4)臨検査,(5)生化学
6. Tomita,Y.<sup>(1)</sup>, Miyake,N., Ishikawa,H.<sup>(2)</sup> : Phospholipid Profile in Rat Salivary Glands., 95th AOCs Annual Meeting & Expo Abstracts, 97, 2004.(95th AOCs Annual Meeting & Expo, Cincinnati, Ohio, USA) A89-0120-1 生素研 実動施設 (1)生化学,(2)文教大・教育
7. 野本俊太郎, 市川 淳<sup>(1)</sup>, 原 俊浩<sup>(1)</sup>, 井出吉信<sup>(1)</sup>, 佐藤 亨 : マイクロCT 装置による上顎骨歯槽突起部の骨形態計測学的研究, 歯科学報 **104**(3), 350, 2004.(第 277 回東京歯科大学学会総会, 千葉市) A03-0520-1 細形研,保情研,分析生研 (1)解剖
8. 野本俊太郎, 市川 淳<sup>(1)</sup>, 井出吉信<sup>(1)</sup>, 佐藤 亨 : 歯の喪失に伴う上顎骨歯槽突起部の構造変化, 日補綴歯会誌 **48**(112 回特別号), 117, 2004.(第 112 回日本補綴歯科学会学術大会, 横須賀市) A03-0520-1 脳科学研 細形研,保情研,分析生研 (1)解剖
9. 宮原理子<sup>(1)</sup>, 竹内史江<sup>(2)</sup>, 勝村 麗<sup>(2)</sup>, 菊地 悠<sup>(2)</sup>, 篠 珠美<sup>(2)</sup>, 井上恵実<sup>(2)</sup>, 大峽 潤<sup>(2)</sup>, 鈴木祥子<sup>(2)</sup>, 高根ユミ<sup>(2)</sup>, 野村真弓<sup>(2)</sup>, 宮崎晴代<sup>(2)</sup>, 茂木悦子<sup>(2)</sup>, 原崎守弘<sup>(2)</sup>, 山口秀晴<sup>(2)</sup>, 佐藤 亨 : オージオメーターによる 8020 達成者の聴力と咬合との関連について, 歯科学報 **104**(5), 46, 2004.(第 278 回東京歯科大学学会総会, 千葉市) (1)千葉県,(2)矯正
10. 高橋俊之, 佐藤 亨, 中川寛一<sup>(1)</sup>, 久永竜一, 山田敏勝, 三穂乙暁, 鈴木雄太 : 多孔質サファイアインプラントの長期臨床経過-天然歯との連結症例-, 歯科学報 **104**(5), 537, 2004.(第 278 回東京歯科大学学会総会, 千葉市) A-86-0520-3 細形研 (1)保存 I
11. 富田友美子<sup>(1)</sup>, 三宅菜穂子, 石川博美<sup>(2)</sup> : ラット唾液腺の脂質プロフィール, 第 43 回日本油化学会講演要旨集, 114, 2004.(第 43 回日本油化学会年会, 吹田市) A-89-0120-1 細形研,生素研 実動施設 (1)生化学,(2)文教大・教育
12. 小田 豊<sup>(1)</sup>, 下野正基<sup>(2)</sup>, 佐藤 亨, 村松 敬<sup>(2)</sup>, 松坂賢一<sup>(3)</sup>, 三宅菜穂子, 服部雅之<sup>(1)</sup>, 高橋 賢<sup>(4)</sup>, 太田一正<sup>(5)</sup> : 唾液腺房細胞の活性化の機序に及ぼすレーザーの影響, 平成 16 年度東京歯科大学口腔科学研究センターワークショッププログラムおよび抄録集, 17 ~ 18, 2005.(平成 16 年東京歯科大学口腔科学研究センターワークショップ, 千葉市) 細形研,分子生研,細生研,生素研 実動施設 (1)理工,(2)病理,(3)臨検査,(4)保存 III,(5)生化学

## 10. 歯科補綴学第三講座

### プロフィール

#### 1. 教室員と主研究テーマ

教授	岸 正孝	可撤性局部義歯の診断と診療計画 (A85-0530-1)
	安達 康	骨結合インプラントの基礎的臨床的研究 (A83-0530-1)
客員教授	小宮山彌太郎	骨結合インプラントの基礎的臨床的研究 (A83-0530-1)
助教授	嶋村 一郎	可撤性局部義歯における咬合圧支持因子 (A85-0530-2)
	堀田 宏巳	骨結合インプラントの基礎的臨床的研究 (A83-0530-1)
講師	山倉 大紀	可撤性局部義歯における咬合圧支持因子 (A85-0530-2)
	関根 秀志	可撤性局部義歯の診断と診療計画 (A85-0530-1)
助手	鈴木 浩樹	骨結合インプラントの基礎的臨床的研究 (A83-0530-1)
	野村 貴生	骨結合インプラントの基礎的臨床的研究 (A83-0530-1)
	森下亜矢子	骨結合インプラントの基礎的臨床的研究 (A83-0530-1)
	荒瀧 友彦	骨結合インプラントの基礎的臨床的研究 (A83-0530-1)
	宮下 有恒	骨結合インプラントの基礎的臨床的研究 (A83-0530-1)
	赤堀 仁則	骨結合インプラントの基礎的臨床的研究 (A83-0530-1)
	井上 敬介	可撤性局部義歯の診断と診療計画 (A85-0530-1)
	安達 亮	可撤性局部義歯における咬合圧支持因子 (A85-0530-2)
病院助手	長野 泰弘	骨結合インプラントの基礎的臨床的研究 (A83-0530-1)
	小山 鈴代	可撤性局部義歯の診断と診療計画 (A85-0530-2)
	吉田 宏	可撤性局部義歯の診断と診療計画 (A85-0530-2)
	高梨 聖敏	骨結合インプラントの基礎的臨床的研究 (A83-0530-1)
大学院生	武藤 功英	可撤性局部義歯における咬合圧支持因子 (A85-0530-2)
	山田 淳	骨結合インプラントの基礎的臨床的研究 (A83-0530-1)
	神庭 光司	可撤性局部義歯における咬合圧支持因子 (A85-0530-2)
	早川 正哉	可撤性局部義歯における咬合圧支持因子 (A85-0530-2)
	本間 慎也	骨結合インプラントの基礎的臨床的研究 (A83-0530-1)
	井本 裕之	骨結合インプラントの基礎的臨床的研究 (A83-0530-1)
	高梨 琢也	可撤性局部義歯の診断と診療計画 (A85-0530-2)
	堺 健太郎	骨結合インプラントの基礎的臨床的研究 (A83-0530-1)
	未森 豪	可撤性局部義歯における咬合圧支持因子 (A85-0530-2)
	粟生田晃一	骨結合インプラントの基礎的臨床的研究 (A83-0530-1)

## 2. 成果の概要

### 1) 骨結合インプラントの基礎的, 臨床的研究 (A83-0530-1)

#### (1) 荷重と非荷重とのインプラント周囲海綿骨の形態学的差異について

マイクロCTを用いてインプラント周囲海綿骨の三次元的な形態観察および, インプラント埋入後上部構造を装着したことによるインプラント周囲海綿骨への影響を調査した.

中型雄性免疫成犬2頭を実験に供し, 下顎両側前臼歯を抜去した後3ヶ月の治癒期間をおき, 同部に2回法によるインプラント埋入手術を行った. 埋入に際しては, 直径3.8mm, 長径10.0mmのマシンサ-フェイス, スレッドタイプインプラントを片側に対し4本, 1頭につき両側で計8本埋入した. 埋入位置は頬舌的には顎骨の中央に近遠心的には各インプラント間がほぼ等間各を為すように配慮した. その後3ヶ月の治癒期間をおき右側のみ上部構造を装着した. その後さらに3ヶ月の後下顎骨を試料とし, BV/TV値を測定した. 関心領域はインプラントから近接部(以下Nと略す)とインプラント間のちょうど中央に相当する部分(以下Fと略す)に分け, また, 上部構造を装着した荷重側と埋入のみを行った非荷重側とに分けて計測をした. まず, 被験体1では荷重側におけるBV/TV値はNで $8.2\% \pm 1.7$ , Fで $7.5\% \pm 1.7$ であり, 非荷重側においてはNで $6.8\% \pm 1.8$ , Fで $5.5\% \pm 1.4$ を示し荷重側Nと非荷重側Fに有意差が認められた. 次に被験体2では荷重側におけるBV/TV値はNで $36.8\% \pm 11.4$ , Fで $40.0\% \pm 7.7$ であり, 非荷重側においてはNで $35.9\% \pm 6.6$ , Fで $37.5\% \pm 12.1$ を示し, 有意差は認められなかった.

歯科学報 104(5), 525, 2004

#### (2) 骨結合インプラントにおける fixture の植立条件についての力学的考察

複数の fixture の植立状況がインプラント周囲の応力分布にどのような影響を及ぼすかについて三次元有限要素法解析を用い検討を行った. 顎骨に4本の fixture を植立し, abutment を介してそれぞれが延長ポンティックをもつ上部構造により連結された三次元有限要素法解析モデルを作製した. fixture を直線的に植立したモデルを基本モデルとし, 植立位置を水平的に偏心させたモデルを条件モデルとした. 各モデルの上部構造に種々の静荷重を与え, fixture 周囲に生じる応力の解析を行った. 複数の fixture を強固な上部構造で連結し, 荷重を加えた場合, fixture 周囲に生じる応力は, 直線的な植立した場合が最も大きく, また最も応力の集中する fixture 周囲の応力値の総量を比較すると, 水平的に偏心して植立した場合の値は, 直線的に植立した場合の値と同じか, 荷重条件によっては小さくなることから, fixture を直線的に植立することは荷重に対する最も過酷な植立条件であり, fixture を水平的に偏心して植立することは力学的に好ましいと考えられる.

日口腔インプラント会誌 18(2), 349~350, 2005.

### 2) 可撤性局部義歯における咬合圧支持因子 (A85-0530-2)

#### (1) 義歯用軟質裏装材の特性に関する研究

顎堤および粘膜の条件から通常のレジン床義歯では床下粘膜の部分的な過剰圧迫により十分な負担能力の回復が得られない場合などに, 義歯床基底面に軟質裏装材を応用することがある. しかしながら軟質裏装材の硬さには様々なものがあり, その硬さの違いが負担圧の分散にどのような影響を与えるかについては不明である. そこで, JISの試験を行い, タイプおよびクラスを判定することを試みた. 試料にはジーシー社製ジーシーリラインソフト(以下GCS), ジーシーリラインエクストラソフト(以下GCE), ジーシーリラインウルトラソフト(以下GCU), トクヤマ社製ソフリライナーメディアムソフト(以下SFM), ソフリライナースーパーソフト(以下SFS), 亀水化学社製ソフテン(以下SOF), ティッシュテnder(以下TIS), ニッシ

ン社製バイオリナー（以下B10）を用いた。なお試料は直径 $30 \pm 1$  mm、深さ $4 \pm 0.5$ mmの凹型をもつ石膏の型にそれぞれの裏装材を注入した。針入深さ測定装置として、直径1 mmの針が固定されたプランジャーにより試料に荷重を加えた。測定は練和開始から30分・1時間・3時間・6時間・12時間・24時間・48時間・72時間・7日・14日・21日・28日後に5秒間針入深さ試験および30秒間針入深さ試験を行った。タイプ分類は、24時間後の5秒間針入深さ（以下 $P_1$ ）が $0.20$  mm  $P_1 < 0.40$  mmをタイプA、 $0.40$  mm  $P_1 < 0.80$ mmをタイプB、 $0.80$  mm  $P_1 < 2.50$  mmをタイプCとした。クラス分類は24時間後の30秒間針入深さ（以下 $P_2$ ）と $P_1$ との針入深さ比（以下R）を $R = P_2 / P_1$ とし、 $R = 1.10$ をクラス 1、 $1.10 < R < 1.75$ をクラス 2とした。測定結果からタイプAは存在せず、GCS、SOF、B10がタイプBであり、GCE、GCU、SFM、TISはタイプCであった。SFSはタイプCより軟らかい領域にあった。GCS、GCE、GCU、SFM、SFSはクラス 1で、すべてシリコン系の軟質裏装材であった。またSOF、TIS、B10はクラス 2で、すべてアクリル系の軟質裏装材であった。練和24時間後と28日後での針入深さの変化量はGCS・GCE・GCUでは少なく、SFM・SFS・SOF・TIS・B10では大きかった。

日補綴歯会誌 48(110 回特別号), 82, 2004

### 3. 研究活動の特記すべき事項

#### シンポジウム

シンポジスト	年月日	演 題	学会・研究会名	開催地
小宮山彌太郎	2004.10.30	国際セッションシンポジウム2 インプラント治療を論証する - インプラントと審美 - 早期荷重と即時荷重のメリット・ デメリット	第20回日本歯科医学会 総会	横浜市

### 4. 教育講演等教育に関する業績、活動

#### 教育ワークショップ等

氏 名	年月日	ワークショップ名	役 割	開催地
宮下 有恒	2004.10. 2 ~ 3	第 12 回東京歯科大学カリキュラム 研修ワークショップ	参加者	千葉市
辻 吉純	2004.11.25	東京歯科大学カリキュラム研修ワーク ショップ第1回アドバンスコース	参加者	東京
安達 康	2004.12. 9	東京歯科大学カリキュラム研修ワーク ショップ第2回アドバンスコース	参加者	東京
堀田 宏巳	2004.12. 9	東京歯科大学カリキュラム研修ワーク ショップ第2回アドバンスコース	参加者	東京
野村 貴生	2004.12. 9	東京歯科大学カリキュラム研修ワーク ショップ第2回アドバンスコース	参加者	東京
山倉 大紀	2005. 1.13	東京歯科大学カリキュラム研修ワーク ショップ第3回アドバンスコース	参加者	千葉市
森下垂矢子	2005. 1.13	東京歯科大学カリキュラム研修ワーク ショップ第3回アドバンスコース	参加者	千葉市

氏名	年月日	ワークショップ名	役割	開催地
嶋村 一郎	2005. 2. 19 ~20	第 15 回東京歯科大学カリキュラム 研修ワークショップ	タスクフォース	千葉市
嶋村 一郎	2005. 3. 19 ~20	第 16 回東京歯科大学カリキュラム 研修ワークショップ	タスクフォース	千葉市
赤堀 仁則	2005.3.19 ~20	第 16 回東京歯科大学カリキュラム 研修ワークショップ	参加者	千葉市

共用試験等

氏名	年月日	種別	役割	開催地
嶋村 一郎	2004. 2. 27	平成 16 年度第 4 学年 OSCE	評価者	千葉市
山倉 大紀	2004. 2. 27	平成 16 年度第 4 学年 OSCE	評価者	千葉市
宮下 有恒	2004. 2. 27	平成 16 年度第 4 学年 OSCE	評価者	千葉市
荒瀧 友彦	2004. 2. 27	平成 16 年度第 4 学年 OSCE	器材係	千葉市
森下亜矢子	2004. 2. 27	平成 16 年度第 4 学年 OSCE	ST7 器材係責任者	千葉市
高梨 聖敏	2004. 2. 27	平成 16 年度第 4 学年 OSCE	誘導係	千葉市
吉田 宏	2004. 2. 27	平成 16 年度第 4 学年 OSCE	回収係	千葉市

## 論 文

1. Takanashi,K., Kishi,M., Okuda,K.<sup>(1)</sup>, Ishihara,K.<sup>(1)</sup> : Colonization by *Porphyromonas gingivalis* and *Prevotella intermedia* from teeth to osseointegrated implant regions, Bull Tokyo Dent Coll **45**(2), 77 ~ 85, 2004. 原著 学位論文 (1)微生物
2. Li,Z., Arataki,T., Shimamura,I., Kishi,M. : The Influence of Prosthesis Designs and Loading Conditions on the Stress Distribution of Tooth-Implant Supported Protheses, Bull Tokyo Dent Coll **45**(4), 213 ~ 221, 2004. 原著
3. 武藤功英, 山倉大紀, 岸 正孝 : 義歯用軟質裏装材の機械的性質に関する実験的研究, 歯科学報 **105**(1), 39 ~ 45, 2005. 原著 学位論文

## プロシーディングス

1. Gou,S., Baek,S., Miyashita,Y., Suzuki,H., Kishi,M. : A technique for immediate impression of implant, Proceedings World Congress for Oral Implantology 6, 269 ~ 271, 2004.(World Congress for Oral Implantology 6, Hawaii,USA)
2. Inoue,K., Akahori,Y., Arataki,T., Suzuki,H., Kishi,M. : The experience of immediate loading to edentulous mandible, Proceedings World Congress for Oral Implantology 6, 421 ~ 423, 2004.(World Congress for Oral Implantology 6, Hawaii,USA)
3. Arataki,T., Inoue,K., Miyashita,Y., Sekine,H., Kishi,M. : How We Check Implant Equipment Working Space During Oral Examination, Proceedings World Congress for Oral Implantology 6, 488, 2004.(World Congress for Oral Implantology 6 , Hawaii,USA)
4. Suzuki,H., Inoue,K., Miyashita,Y., Sekine,H., Kishi,M. : How We Fabricate Provisional Superstructures, Proceedings World Congress for Oral Implantology 6, 490, 2005.(World Congress for Oral Implantology 6, Hawaii,USA)

## その他

1. 関根秀志 : シアトルで垣間見た米国歯科事情, 歯科学報 **104**(4), 404 ~ 409, 2004.
2. 小宮山彌太郎 : インプラント療法における早期加重と即時加重, デンタルダイヤモンド **30**(8), 21 ~ 45, 2005.

## 学会抄録

1. 武藤功英, 山倉大紀, 安達 康, 岸 正孝 : 義歯用軟質裏装材の特性に関する研究 第2報 針入深さ試験 , 日補綴歯会誌 **48**(111 回特別号), 82, 2004.(第 111 回日本補綴歯科学会学術大会, 東京)
2. 井上敬介 : 重度歯周病に対する補綴治療の 1 症例, 日補綴歯会誌 **48**(111 回特別号), 221, 2005.(第 111 回日本補綴歯科学会学術大会, 東京)
3. 山田 淳, 赤堀仁則, 嶋村一郎, 岸 正孝, 井出吉信<sup>(1)</sup> : マイクロ CT によるイヌ顎骨内部の三次元的観察 荷重と非荷重とのインプラント周囲海綿骨の形態学的差異について , 歯科学報 **104**(5), 525, 2004.(第 278 回東京歯科大学学会総会, 千葉市) 実動施設 (1)解剖



4. 小宮山彌太郎：早期荷重と即時荷重のメリット・デメリット，日歯医師会誌 **57**(4)，366，2004.(第20回日本歯科医学会総会，横浜市)
5. 李 智勇，荒瀧友彦，岸 正孝：-The influence of prosthesis design on the stress distribution of tooth - implant supported bridges-，歯科学報 **104**(5)，506，2004.(第278回東京歯科大学学会総会，千葉市)
6. 多田美穂子<sup>(1)</sup>，白鳥たかみ<sup>(1)</sup>，小竹瑞穂<sup>(1)</sup>，永井由美子<sup>(1)</sup>，鈴木誠子<sup>(1)</sup>，杉山節子<sup>(1)</sup>，橋本貞充<sup>(2)</sup>，嶋村一郎，眞木吉信<sup>(3)</sup>，下野正基<sup>(2)</sup>：歯科衛生士の日常業務に関するアンケート調査，歯科学報 **104**(5)，530，2004.(第278回東京歯科大学学会総会，千葉市) (1)東歯大・衛校,(2)病理,(3)衛生
7. 小竹瑞穂<sup>(1)</sup>，白鳥たかみ<sup>(1)</sup>，永井由美子<sup>(1)</sup>，多田美穂子<sup>(1)</sup>，鈴木誠子<sup>(1)</sup>，杉山節子<sup>(1)</sup>，橋本貞充<sup>(2)</sup>，嶋村一郎，眞木吉信<sup>(3)</sup>，下野正基<sup>(2)</sup>：歯科衛生士専門学校臨床実習における行動目標(SBOs)の設定と教育効果，歯科学報 **104**(5)，531，2004.(第278回東京歯科大学学会総会，千葉市) (1)東歯大・衛校,(2)病理,(3)衛生
8. 神庭光司，山倉大紀，嶋村一郎，岸 正孝：咀嚼運動の調節に関する実験的研究-咀嚼条件および食品性状-，第12回顎顔面バイオメカニクス学会大会抄録集，18～21，2004.(第12回顎顔面バイオメカニクス学会大会，東京)
9. 本間慎也，荒瀧友彦，堀田宏巳，嶋村一郎，岸 正孝：骨結合インプラントにおける fixture の植立条件についての力学的考察，日口腔インプラント会誌 **18**(2)，349～350，2005.(日本口腔インプラント学会・第24回関東甲信越支部総会学術大会，東京)
10. 井本裕之，森下亜矢子，荒瀧友彦，堀田宏巳，岸 正孝：Installation 時と abutment 連結時との ISQ 値の変化について，日口腔インプラント会誌 **18**(2)，352，2005.(日本口腔インプラント学会・第24回関東甲信越支部総会学術大会，東京)
11. 山田淳，赤堀仁則，嶋村一郎，岸 正孝，井出吉信<sup>(1)</sup>：上部構造への荷重がインプラント周囲海綿骨に及ぼす影響-マイクロ CT によるイヌ顎骨の三次元的観察-，日補綴歯会誌 **49**(3)，556，2005.(平成16年度日本補綴歯科学会関東支部総会・第8回学術大会，水戸市) (1)解剖

## 11. 歯科矯正学講座

### プロフィール

#### 1. 教室員と主研究テーマ

教授	山口 秀晴	顎顔面歯列に加わる外力の測定と咬合異常との関連について (A99-0590-2)
助教授	原崎 守弘	矯正歯科におけるレーザー照射の応用について
	茂木 悦子	超音波骨密度計を用いた顎骨成長の評価 (A03-0590-3)
		顎機能異常に関する疫学調査, 臨床調査を中心とした歯科矯正学的研究 (A88-0590-1)
		8020 達成者の歯, 歯列, 咬合, ならびに全身状況に関する調査
講師	末石 研二	先天性疾患の歯科矯正治療に関する研究 (A02-059-2)
助手	野嶋 邦彦	嚥下, 発音時における舌および軟口蓋の運動解析
	坂本 輝雄	矯正歯科への骨延長法の応用 (A94-0590-2)
	片田 英憲	矯正力荷重時の顎顔面頭蓋の変形様相に関する研究 (A79-0590-1)
	野村 真弓	TMJ Scale を用いた顎関節症を疑う不正咬合者の心理的要因について
	西井 康	インプラントアンカーの開発
	根岸 史郎	矯正治療の客観的評価

#### 2. 成果の概要

##### 1) 歯列弓形態の決定, 維持に関する三次元的研究 (A03-0590-2)

The purpose of this study was to evaluate morphologic differences in the mandibular arches of Korean and North American white subjects. The subjects were grouped according to arch form (tapered ovoid, and square) to compare the frequency distribution of the 3 arch forms between the ethnic groups in each Angle classification. The sample included 160 white (60 Class I, 50 Class II, and 50 Class III) and 368 Korean (114 Class I, 119 Class II, and 135 Class III) subjects. The most facial portion of 13 proximal contact point were calculated for each tooth according to mandibular tooth thickness data, and then 4 linear and 2 proportional measurements were taken. Arch width was statistically significantly smaller in the white group than in the Korean group, but arch depth did not differ. In the Korean group, the most frequent arch form was square, whereas in the white group the tapered arch form predominated. When the subjects were regrouped by arch form, the Korean arches had a tendency to be larger and deeper than the white arches within each of the 3 arch form types.

Am J Orthod Dentofacial Orthop **126**(6), 680~686, 2004.

##### 2) 先天性疾患の歯科矯正治療 (A02-059-2)

Antley-Bixler syndrome is a disorder characterized by craniosynostosis, midface hypoplasia, choana blockade, and radiohumeral synostosis. However, the features of occlusion remain unclear.

In this paper, we report a case of Antley-Bixler syndrome, a 7-year-old boy, from the viewpoint of orthodontics. From lateral cephalometric head film analysis, remarkable retardation of the anterior subcranial base, infraorbitale, and maxilla were notable, as was vertical growth restriction

of the maxilla. The choana blockade tendency was also recognized. Moreover, although reverse occlusion was present, a mandibular retrognathic tendency was also present, and a short ramus mandible, remarkable mandibular vertical growth pattern, and skeletal open bite were present. In the dentition, two of the lower incisors were missing, and the present lower incisors were large. Maxillary and mandibular first molars were delayed in eruption. For his treatment, the solutions to such remarkable skeletal problems were limited by the insufficiency of recovery of cranial formation after the operation. We planned a non-surgical treatment to expand the maxilla. It will be necessary to continually consider the treatment of his malocclusion as he continues to grow.

Bull Tokyo Dent Coll 45(2), 87~93, 2004.

### 3. 学外共同研究

担当者	研究課題	学外研究施設		
		研究施設	所在地	責任者
野嶋 邦彦	歯列弓形態の人種差について	Division of Orthodontics, Kang Nam St. Mary's Hospital, Catholic University of Korea	Seoul, Korea	Yoon-Ah Kook

### 4. 教育講演等教育に関する業績, 活動

#### 教育講演

講演者	年月日	演題	学会・研究会名	開催地
茂木 悦子	2004. 7. 4	「歯並びと健康」 - 子どもたちの未来のために -	矯正歯科医会市民セミナー in かながわ	横浜市
茂木 悦子	2004. 7.22	「歯並びと健康」 - こどもの時から 8020 -	矯正歯科医会市民セミナー in おおさか	大阪市
茂木 悦子	2004. 8. 8	「聞いてみよう! 歯並びの悩み、 矯正歯科治療のこと」	矯正歯科医会セミナー in もりおか	盛岡市
茂木 悦子	2004.11. 6	「歯並びと健康」 - こどもの時から 8020 -	矯正歯科医会セミナー in ふくやま	福山市
茂木 悦子	2004.12.16	ご存じですか? 8020	食育と歯科保健研修会 千葉県歯科医師会	市川市
茂木 悦子	2005. 2.17	ご存じですか? 8020	食育と歯科保健研修会 千葉県歯科医師会	千葉市
西井 康	2004. 4.10 ~11	- MTM の実際 -	TDC卒後教育セミナー 2004	東京
西井 康	2004. 6. 2	K - 1 研修会	K - 1 研修会	東京
西井 康	2004.12. 1	K - 1 研修会	K - 1 研修会	東京

教育ワークショップ等

氏名	年月日	ワークショップ名	役割	開催地
坂本 輝雄	2004.11.25	東京歯科大学カリキュラム研修ワークショップ第1回アドバンスコース	参加者	東京
茂木 悦子	2005.1.13	東京歯科大学カリキュラム研修ワークショップ第3回アドバンスコース	参加者	東京
末石 研二	2005.1.13	東京歯科大学カリキュラム研修ワークショップ第3回アドバンスコース	参加者	千葉市
西井 康	2005.1.13	東京歯科大学カリキュラム研修ワークショップ第3回アドバンスコース	参加者	千葉市
原崎 守弘	2005.1.20	東京歯科大学カリキュラム研修ワークショップ第4回アドバンスコース	参加者	千葉市
野嶋 邦彦	2005.1.20	東京歯科大学カリキュラム研修ワークショップ第4回アドバンスコース	参加者	千葉市
片田 英憲	2005.1.20	東京歯科大学カリキュラム研修ワークショップ第4回アドバンスコース	参加者	千葉市

共用試験等

氏名	年月日	種別	役割	開催地
片田 英憲	2005.2.27	平成16年度第4学年OSCE	評価者	千葉市
西井 康	2005.2.27	平成16年度第4学年OSCE	器材係	千葉市
根岸 史郎	2005.2.27	平成16年度第4学年OSCE	器材係	千葉市

## 論 文

1. 西村文邦, 野嶋邦彦, 末石研二, 山口秀晴, 幾本英之<sup>(1)</sup>, 内山健志<sup>(1)</sup> : Hemifacial Microsomia の長期観察と外科的矯正治療例, 歯科学報 **104**(1), 93 ~ 102, 2004. 症例 (1)口外 II
2. Tsuchiya, Y.<sup>(1)</sup>, Sueishi, K., Yatabe, K.<sup>(2)</sup>, Yamaguchi, H. : A case of Antley-Bixler syndrome with severe skeletal CI. III malocclusion, Bull Tokyo Dent Coll **45**(2), 87 ~ 93, 2004. 原著 A-02-590-2 (1)東京都,(2)水病・矯正科
3. Kawaguchi, M.<sup>(1)</sup>, Motegi, E. : Basic research for developing methods of diagnosis and examination of the function of salivary glands: existence and characterization of BMP and Lactoferrin and their receptors in salivary glands, Bull Tokyo Dent Coll **45**(2), 160 ~ 161, 2004. 原著 (1)薬理
4. 安部輝美, 三宅晶子, 三代真義, 横田麗子, 末石研二, 山口秀晴 : 口蓋前方部に加わる嚙下時舌圧と最大舌圧の測定 上顎前突症例と下顎前突症例について , 東京矯歯誌 **14**(1), 3 ~ 9, 2004. 原著
5. 石井武展, 梶山 晃<sup>(1)</sup>, 坂本輝雄, 原崎守弘, 山口秀晴 : Bloch-Sulzberger 症候群における矯正治療とその保定について, 歯科学報 **104**(3), 316 ~ 325, 2004. 症例 (1)東京都
6. 鈴木 基, 坂本輝雄, 一色泰成 : Hemifacial Microsomia の顎運動機能に関する研究, 歯科学報 **104**(4), 417 ~ 429, 2004. 原著
7. 山崎康博<sup>(1)</sup> : X 線 VTR を用いた唇顎口蓋裂患者における嚙下時軟口蓋および咽頭後壁の運動解析, 歯科学報 **104** (4), 430 ~ 437, 2005. 原著 (1)埼玉県
8. 三代真義, 安部輝美, 三宅晶子, 横田麗子, 末石研二, 山口秀晴 : 小児の口蓋前方部に加わる舌圧の測定 前歯部被蓋関係、舌癖の有無による相違について , 東京矯歯誌 **14**(2), 153 ~ 162, 2004. 原著
9. 坂本輝雄, 原崎守弘, 山口秀晴, 松崎英雄<sup>(1)</sup>, 田中潤一<sup>(1)</sup>, 高野伸夫<sup>(1)</sup>, 坂本聡美<sup>(2)</sup>, 島村 大<sup>(2)</sup> : 包括的歯科治療を行った成人上顎前突症例, 歯科学報 **104**(6), 592 ~ 598, 2004. 症例 (1)都立大塚病院口腔科,(2)東京都
10. Kook, Y.<sup>(1)</sup>, Nojima, K., Moon, H.<sup>(2)</sup>, McLaughlin, R.P.<sup>(3)</sup>, Sinclair, P.M.<sup>(3)</sup> : Comparison of arch forms between Korean and North American white populations, Am J Orthod Dentofacial Orthop **126**(6), 680 ~ 686, 2004. 原著 A-03-0590-2 (1)Catholic Univ. of Korea,(2)Univ. California Los Angeles,(3)Univ. Southern California
11. 竹内史江, 宮崎晴代, 野村真弓, 茂木悦子, 原崎守弘, 谷田部賢一<sup>(1)</sup>, 山口秀晴, 平井基之<sup>(2)</sup>, 佐藤晃一<sup>(2)</sup> : Dental Prescale を用いた 8020 達成者の咬合調査, 歯科学報 **105**(2), 154 ~ 162, 2005. 原著 (1)水病・矯正科, (2)東京都
12. Fukuyo, K.<sup>(1)</sup>, Nishii, Y., Nojima, K., Yamaguchi, H. : A comparative study in three methods of bracket placement, Orthod Waves **63**(3), 63 ~ 70, 2005. 原著 A-03-0590-2 保情研, (1)千葉県
13. Ishii, T., Nojima, K., Nishii, Y., Takagi, T.<sup>(1)</sup>, Yamaguchi, H. : Evaluation of the implantation position of mini-screws for orthodontic treatment in the maxillary molar area by a micro CT, Bull Tokyo Dent Coll **45**(3), 165 ~ 172, 2005. 原著 保情研 (1)口外 I

## 単行図書

1. 末石研二,山口秀晴: 著分担 :臨床家のための 矯正 YEAR BOOK '04(別冊 the Quintessence) (a)卒後矯正歯科専門教育の現状 161～167 頁, クインテッセンス出版, 東京, 2004.
2. 原崎守弘(a),福井健之(a): 著分担 :歯科用レーザー・21 世紀の展望 パート2(別冊 the Quintessence) (a)矯正治療中のレーザー照射による疼痛軽減法 154～159 頁, クインテッセンス出版, 東京, 2004.
3. 茂木悦子(a): 著分担 :指しゃぶり (a)指しゃぶりおよびタングスラストによる開咬症例 236～239 頁, わかば出版, 東京, 2005.
4. 山口秀晴監修: 著分担 :指しゃぶり, わかば出版, 東京, 2005.
5. 坂本輝雄: 著分担 :よくわかる子どものための形成外科, 永井書店, 大阪, 2005.
6. 山口秀晴(a): 著分担 :一般臨床家、口腔外科医のための口腔外科ハンドマニュアル'05(別冊 the Quintessence 口腔外科 YEAR BOOK) (a)外科的矯正治療適応のクライテリア 124～130 頁, クインテッセンス出版, 東京, 2005.
7. 茂木悦子: 著分担 :歯と歯並びのなるほど book (a)8020 運動って知ってる? 26 頁, 日本臨床矯正歯科医会, 東京, 2005. 生素研

## その他

1. 原崎守弘, 山口秀晴 : 歯は動く, デンタルダイヤモンド 29(7), 132～133, 2004.
2. 茂木悦子, 木村澄子<sup>(1)</sup>, 山口秀晴, 内山健志<sup>(2)</sup> : 江戸前期に刊行された遊女評判記にみる口もとの評価, 日本顔学会会誌 4(1), 113～117, 2004. (1)都立九段高校,(2)口外Ⅱ
3. 茂木悦子, 木村澄子<sup>(1)</sup>, 山口秀晴, 内山健志<sup>(2)</sup> : 樋口一葉の作品にみる口もとの評価, 日本顔学会会誌 4(1), 190, 2004. (1)都立九段高校,(2)口外Ⅱ
4. 茂木悦子, 山口秀晴 : 8020 達成者はなぜ QOL が高いのか 当教室における 8020 研究の概要 , 健やか, 13～15, 2005. A05-0591-4 生素研
5. 望月清志<sup>(1)</sup>, 久保周平<sup>(2)</sup>, 黒須美佳<sup>(2)</sup>, 薬師寺 仁<sup>(2)</sup>, 田崎雅和<sup>(3)</sup>, 澁川義幸<sup>(3)</sup>, 阿部伸一<sup>(4)</sup>, 山倉大紀<sup>(5)</sup>, 末石研二, 坂本輝雄, 中野洋子<sup>(6)</sup> : 成長発達期における口腔内圧受容と大脳皮質感覚野の関連について, 私立大学学術研究高度化推進事業ハイテク・リサーチ・センター研究成果報告書, 441～452, 2005. 3B01(1)水病・小児歯科,(2)小児歯,(3)生理,(4)解剖,(5)補綴Ⅲ,(6)口外Ⅱ
6. 西井 康, 石井武展, 野嶋邦彦, 山口秀晴, 高木多加志<sup>(1)</sup> : 上顎インプラントアンカー埋入部位の探索, 歯界展望特別号, 343, 2005. (1)口外Ⅰ

## 学会抄録

1. 緒方寿夫<sup>(1)</sup>, 中島龍夫<sup>(1)</sup>, 矢澤真樹<sup>(1)</sup>, 小山太郎<sup>(1)</sup>, 坂本輝雄, 一色泰成 : -Tricalcium phosphate、濃縮骨髓液、多血小板血漿を使用した顎裂部欠損への boneless bone graft, 日口蓋裂会誌 **29**(2), 126, 2004.(第 28 回日本口蓋裂学会総会・学術集会, 鹿児島市) (1)慶大・医・形成外
2. 坂本輝雄, 原崎守弘, 山口秀晴, 幾本英之<sup>(1)</sup>, 内山健志<sup>(1)</sup>, 花井淳一郎<sup>(1)</sup>, 中嶋英乃<sup>(1)</sup> : 広い顎裂幅を示す片側性唇顎口蓋裂患者に対する歯槽骨骨延長の応用, 日口蓋裂会誌 **29**(2), 144, 2004.(第 28 回日本口蓋裂学会総会・学術集会, 鹿児島市) (1)口外 II
3. 安部輝美<sup>(1)</sup>, 吉村亮子<sup>(1)</sup>, 三代真義<sup>(1)</sup>, 小野暁美<sup>(1)</sup>, 長谷部利一, 坂本輝雄, 宮崎晴代<sup>(1)</sup>, 末石研二, 谷田部賢一<sup>(1)</sup>, 山口秀晴 : 東京歯科大学水道橋病院矯正歯科における過去 5 年間の口唇裂口蓋裂を有する矯正患者の統計的観察, 日口蓋裂会誌 **29**(2), 163, 2004.(第 28 回日本口蓋裂学会・学術集会, 鹿児島市) (1)水病・矯正科
4. 勝村 麗, 末石研二, 山口秀晴, 矢島安朝<sup>(1)</sup>, 田中葉子<sup>(2)</sup> : 左側唇顎口蓋裂を有する osteopathia striata with cranial sclerosis の一例, 日口蓋裂会誌 **29**(2), 223, 2004.(第 28 回日本口蓋裂学会総会・学術集会, 鹿児島市) (1)口外 I,(2)水病・小児科
5. 茂木悦子, 野村真弓, 藤田幸枝, 山口秀晴 : 若年者の顎機能異常,あるいは顎関節症に関する疫学調査のクリティカルレビュー, 第 16 回顎関節学会総会・学術大会 プログラム・抄録集, 120, 2004.(第 16 回顎関節学会総会・学術大会, 鹿児島市)
6. 中島龍夫<sup>(1)</sup>, 緒方寿夫<sup>(1)</sup>, 矢澤真樹<sup>(1)</sup>, 小山太郎<sup>(1)</sup>, 坂本輝雄, 一色泰成 : -Tricalcium phosphate( -TCP)を用いた顎裂部骨形成の検討, 第 47 回日本形成外科学会総会・学術集会プログラム・抄録集, 133, 2004.(第 47 回日本 形成外科学会総会・学術集会, 東京) 脳科学研 (1)慶大・医・形成外科
7. Negishi,F., Otsuka,W., Yamaguchi,H. : Treatment outcome in Japanese graduate program using the ABO objective grading system, 104th Annual Session of American Association of Orthodontists On-Site Program, 59, 2004.(The 104th Annual Session of American Association of Orthodontists, Orlando, USA)
8. Takane,Y., Nojima,K., Nishii,Y., Sueishi,K., Yamaguchi,H. : Facemask therapy with a removable appliance in early Class III patients, 104th Annual Session of the American Association of Orthodontists On-Site Program, 60, 2004.(104th Annual Session of the American Association of Orthodontists, Orlando, USA)
9. Nishii,Y., Suzuki,S., Arakawa,T., Nojima,K., Yamaguchi,H. : Tooth movement using implant anchorage; evaluation by the three-dimensional finite element method, 104th Annual Session of the American Association of Orthodontists On-Site Program, 80, 2004.(104th Annual Session of the American Association of Orthodontists, Orlando, USA)
10. Nojima,K., Yoshioka,N., Niizuma,H., Nishii,Y., Yamaguchi,H. : Investigation of arch form coordination by the 3-D image , 104th Annual Session of the American Association of Orthodontists On-Site Program, 81, 2004.(104th Annual Session of the American Association of Orthodontists, Orlando, USA)

11. 茂木悦子, 大峽 潤, 野村真弓, 宮崎晴代<sup>(1)</sup>, 高根ユミ, 竹内史江, 原崎守弘, 山口秀晴, 石原和幸<sup>(2)</sup>, 奥田克爾<sup>(2)</sup>, 松田一郎<sup>(3)</sup> : 8020 達成者の口腔内細菌について, 日プライマリケア誌 **27**, 185, 2004.(第 27 回日本プライマリ・ケア学会, 横浜市) A-05-0591-4 (1)水病・矯正科,(2)微生物,(3)千葉県
12. 市川秀樹<sup>(1)</sup>, 塩見周平<sup>(1)</sup>, 伊藤亜紀<sup>(1)</sup>, 松崎秀雄<sup>(1)</sup>, 田中潤一<sup>(1)</sup>, 高野伸夫<sup>(1)</sup>, 木住野義信<sup>(2)</sup>, 和知 学<sup>(3)</sup>, 坂本輝雄, 伊藤 綾<sup>(4)</sup>, 延島ひろみ<sup>(4)</sup> : 唇顎口蓋裂を伴う顎変形症患者の治療経験, 歯科学報 **104**(3), 368, 2004.(第 277 回東京歯科大学学会例会, 千葉市) (1)都立大塚病院・歯口外,(2)埼玉県・三愛病院・歯口外,(3)東歯大・水病・矯正,(4)埼玉県
13. 市村賢太郎, 稲森康二郎, 荒川知久<sup>(1)</sup>, 西井 康, 片田英憲, 坂本輝雄, 山口秀晴 : 仮骨延長法による下顎骨側方拡大の顎関節部におよぼす影響-拡大ネジ固定部位の検討-, 歯科学報 **104**(3), 369, 2004.(第 277 回東京歯科大学学会例会, 千葉市) (1)千葉県
14. 坂本輝雄, 原崎守弘, 山口秀晴, 中嶋英乃<sup>(1)</sup>, 幾本英之<sup>(1)</sup>, 花井淳一郎<sup>(1)</sup>, 内山健志<sup>(1)</sup>, 藤田盛一郎<sup>(2)</sup> : 歯槽骨骨延長を応用した広い顎裂幅を有する片側性唇顎口蓋裂症例, 歯科学報 **104**(3), 370, 2004.(第 277 回東京歯科大学学会例会, 千葉市) (1)口外 II,(2)東歯大・千病・中央技
15. 山中すみへ<sup>(1)</sup>, 茂木悦子, 野村真弓, 野村登志夫<sup>(1)</sup>, 鈴木啓介<sup>(1)</sup>, 高柳篤史<sup>(1)</sup>, 副島詩子, 山崎美央<sup>(2)</sup>, 竹内史江, 鈴木祥子, 松久保 隆<sup>(1)</sup>, 山口秀晴 : 東歯大改訂版の超音波骨密度測定装置を用いた骨密度評価と保健指導, 歯科学報 **104**(3), 373, 2004.(第 277 回東京歯科大学学会例会, 千葉市) 脳科学研 生素研 (1)衛生, (2)埼玉県
16. 末石研二, 勝村 麗, 山口秀晴, 矢島安朝<sup>(1)</sup>, 田中葉子<sup>(2)</sup> : 線状骨症 - 頭蓋骨硬化症(osteopathia striata with cranial sclerosis)の歯科的検討, 歯科学報 **104**(3), 382, 2004.(第 227 回東京歯科大学学会例会, 千葉市) A-02-590-2 (1)口外 I,(2)市病・小児科
17. 篠 珠美, トラン A<sup>(1)</sup>, 勝村 麗, 菊地 悠, 野村真弓, 茂木悦子, ハッチ J<sup>(1)</sup>, 山口秀晴 : 側貌の審美観における違いについて-日米間の比較-, 東京矯歯誌 **14**(2), 217, 2004.(東京矯正歯科学会第 63 回大会, 東京) (1)USA
18. 宮原理子<sup>(1)</sup>, 竹内史江, 勝村 麗, 菊地 悠, 篠 珠美, 井上恵実, 大峽 潤, 鈴木祥子, 高根ユミ, 野村真弓, 宮崎晴代, 茂木悦子, 原崎守弘, 山口秀晴, 佐藤 亨<sup>(2)</sup> : オージオメーターによる 8020 達成者の聴力と咬合との関連について, 歯科学報 **104**(5), 520, 2004.(第 278 回東京歯科大学学会総会, 千葉市) (1)千葉県,(2)補綴 II
19. 増淵牧子, 石井武展, 市村賢太郎, 小坂竜也, 金熙勅, 添島絵美, 鈴木祥子, 横田麗子, 北総博之<sup>(1)</sup>, 芳野亜希子<sup>(1)</sup>, 片山裕美<sup>(2)</sup>, 新妻史子<sup>(3)</sup>, 坂本輝雄, 山口秀晴 : 卒後研修課程第 27 期生による症例展示, 歯科学報 **104**(5), 543, 2004.(第 278 回東京歯科学会総会, 千葉市) (1)千葉県,(2)愛知県,(3)東京都
20. 添島絵美, 石井武展, 市村賢太郎, 小坂竜也, 金熙勅, 増淵牧子, 鈴木祥子, 横田麗子, 北総博之<sup>(1)</sup>, 芳野亜希子<sup>(1)</sup>, 片山裕美<sup>(2)</sup>, 新妻史子<sup>(3)</sup>, 坂本輝雄, 山口秀晴 : 卒後研修課程第 27 期生による症例展示 -リテンション(保定)ケース-, 歯科学報 **104**(5), 544, 2004.(第 278 回東京歯科学会総会, 千葉市) (1)千葉県, (2)愛知県,(3)東京都
21. Kawabata,K., Nezu,A., Harazaki,M., Fujimoto,K., Watanabe,H., Sakamoto,T., Yamaguchi,H., Fukui,T.<sup>(1)</sup> : Relief of pain during orthodontic treatment by laser, 52nd Annual Meeting of Japanese Association for Dental Research Program and Abstracts, 80, 2004.(52nd Annual Meeting of Japanese Association for Dental Reseach, Tokyo) (1)千葉県



22. Takeuchi,H., Motegi,E., Nomura,M., Harazaki,M., Yamaguchi,H., Miyazaki,H., Kikuchi,Y., Katsumura,R., Shino,T., Oohazama,J., Satou,T.<sup>(1)</sup> : Occlusion and hearing levels in elderly with many present teeth, 52nd Annual Meeting of Japanese Association for Dental Research Program and Abstracts, 100, 2004.(52nd Annual Meeting of Japanese Association for Dental Research, Tokyo) (1)補綴 II
23. 坂本輝雄, 中納治久<sup>(1)</sup> : 矯正保険治療の解説, 日矯正歯会 63 回抄集, 111, 2004.(第 63 回日本矯正歯科学会大会, 福岡市) (1)昭和大・歯・矯正
24. 坂本輝雄, 中納治久<sup>(1)</sup> : 2004 年度診療報酬改定の要点と QandA, 日矯正歯会 63 回抄集, 125, 2004.(第 63 回日本矯正歯科学会大会, 福岡市) (1)昭和大・歯・矯正
25. 勝村 麗, 茂木悦子, 野村真弓, 竹内史江, 鈴木祥子, 菊地 悠, 篠 珠美, 井上恵実, 大峽 潤, 宮崎晴代<sup>(1)</sup>, 原崎守弘, 山口秀晴, 松田一郎<sup>(2)</sup>, 松原 真<sup>(3)</sup> : 8020 達成者の頸椎の観察, 日矯正歯会 63 回抄集, 141, 2004.(第 63 回日本矯正歯科学会大会, 福岡市) A-05-0591-4 (1)水病・矯正科,(2)千葉県,(3)東京都
26. 原崎守弘, 川端薫子, 根津亜希子, 坂本輝雄, 山口秀晴, 福井健之 : 矯正力に起因する痛みに対する下顎孔部へのレーザー照射について, 日矯正歯会 63 回抄集, 171, 2004.(第 63 回 日本矯正歯科学会大会, 福岡市)
27. 市村賢太郎, 荒川 知久<sup>(1)</sup>, 片田英憲, 坂本輝雄, 原崎守弘, 山口秀晴 : 仮骨延長法による下顎骨側方拡大の顎関節部におよぼす影響 - 拡大ネジ固定部位の検討 -, 日矯正歯会 63 回抄集, 182, 2004.(第 63 回日本矯正歯科学会大会, 福岡市) (1)千葉県
28. 高木多加志<sup>(1)</sup>, 浜瀬真紀<sup>(1)</sup>, 花上健一<sup>(1)</sup>, 野間弘康<sup>(1)</sup>, 川端薫子, 根津亜希子, 西井 康, 野嶋邦彦, 山口秀晴 : 口蓋用インプラントアンカー (PIAS) の開発 第 1 報 インプラント体と埋入手技, 日矯正歯会 63 回抄集, 216, 2004.(第 63 回日本矯正歯科学会大会, 福岡市) (1)口外 I
29. 吉村亮子<sup>(1)</sup>, 安部輝美<sup>(1)</sup>, 小貫暁美, 三代真義<sup>(1)</sup>, 海老原環<sup>(1)</sup>, 鈴木祥子, 横田麗子, 林 正樹<sup>(1)</sup>, 長谷部利一, 坂本輝雄, 末石研二, 宮崎晴代<sup>(1)</sup>, 谷田部賢一<sup>(1)</sup>, 山口秀晴 : 東京歯科大学水道橋病院矯正歯科における口唇口蓋裂患者の矯正学的観察, 日矯正歯会 63 回抄集, 227, 2004.(第 63 回 日本矯正歯科学会大会, 福岡市) (1)水病・矯正科
30. 根岸史郎, 大塚和華, 荒川幸雄<sup>(1)</sup>, 山口秀晴 : 卒後研修課程における ABO の複雑度指数と客観的採点との関連, 日矯正歯会 63 回抄集, 231, 2004.(第 63 回日本矯正歯科学会大会, 福岡市) (1)東京都
31. 野嶋邦彦, 竹内史江, 末石研二, 西井 康, 山口秀晴 : 矯正歯科臨床における予定外来院の実態調査, 日矯正歯会 63 回抄集, 238, 2004.(第 63 回日本矯正歯科学会大会, 福岡市) 脳科学研
32. 西井 康, 根津亜希子, 川端薫子, 野嶋邦彦, 山口秀晴, 浜瀬真紀<sup>(1)</sup>, 花上健一<sup>(1)</sup>, 高木多加志<sup>(1)</sup>, 野間弘康<sup>(1)</sup>, 藤田盛一郎<sup>(2)</sup> : 口蓋用インプラントアンカー (PIAS) の開発 第 2 報 アバットメントと矯正用デバイス, 日矯正歯会 63 回抄集, 251, 2004.(第 63 回日本矯正歯科学会大会, 福岡市) (1)口外 I,(2)千葉県
33. 花上健一<sup>(1)</sup>, 浜瀬真紀<sup>(1)</sup>, 高木多加志<sup>(1)</sup>, 野間弘康<sup>(1)</sup>, 根津亜希子, 川端薫子, 西井 康, 野嶋邦彦, 山口秀晴 : 口蓋用インプラントアンカー (PIAS) の開発 第 3 報 口蓋埋入部位の X 線診断と埋入計画, 日矯正歯会 63 回抄集, 251, 2004.(第 63 回日本矯正歯科学会大会, 福岡市) (1)口外 I

34. 菊地 悠, 茂木悦子, 野村真弓, 竹内史江, 石井武展, 高根ユミ, 鈴木祥子, 勝村 麗, 篠 珠美, 井上恵実, 大峽 潤, 宮崎晴代, 原崎守弘, 山口秀晴, 松田一郎<sup>(1)</sup>: 8020 達成者に対する食生活のアンケート調査, 日矯正歯会 63 回抄集, 266, 2004.(第 63 回日本矯正歯科学会大会, 福岡市) (1)千葉県
35. 竹井邦男, 末石研二, 山口秀晴, 谷田部賢一<sup>(1)</sup>, 大多和由美<sup>(2)</sup>: Sotos 症候群の顎顔面成長について, 日矯正歯会 63 回抄集, 271, 2004.(第 63 回日本矯正歯科学会大会, 福岡市) 脳科学研 (1)水病・矯正科,(2)水病・小児歯科
36. 横瀬太志, 坂本輝雄, 末石研二, 久保周平<sup>(1)</sup>, 辻野啓一郎<sup>(2)</sup>, 谷田部賢一<sup>(3)</sup>, 山口秀晴: 下顎前歯に過剰歯を認める 2 症例, 日矯正歯会 63 回抄集, 276, 2004.(第 63 回日本矯正歯科学会大会, 福岡市) (1)小児歯,(2)水病・小児歯科,(3)水病・矯正科
37. 荒川忠博<sup>(1)</sup>, 安藤智博<sup>(1)</sup>, 福井健之<sup>(1)</sup>, 末石研二<sup>(2)</sup>, 扇内秀樹<sup>(1)</sup>: 東京女子医科大学学生における歯科矯正に関するアンケート調査 第二報, 日矯正歯会 63 回抄集, 279, 2004.(第 63 回日本矯正歯科学会大会, 福岡市) (1)東京都,(2)水病・矯正科
38. 篠 珠美, 川端薫子, 野嶋邦彦, 西井 康, 山口秀晴: 胎児の歯科矯正学的な検討, 日矯正歯会 63 回抄集, 280, 2004.(第 63 回日本矯正歯科学会大会, 福岡市)
39. 石井武展, 市村賢太郎, 小坂竜也, 金熙勅, 添島絵美, 増淵牧子, 鈴木祥子<sup>(1)</sup>, 横田麗子<sup>(1)</sup>, 北總博之<sup>(2)</sup>, 片山裕美<sup>(3)</sup>, 新妻史子<sup>(4)</sup>, 芳野亜希子<sup>(2)</sup>, 坂本輝雄, 山口秀晴: 卒後研修過程第 27 期生による症例展示, 日矯正歯会 63 回抄集, 285, 2004.(第 63 回日本矯正歯科学会大会, 福岡市) (1)水病・矯正科,(2)千葉県,(3)愛知県,(4)東京都
40. 毛利 環<sup>(1)</sup>, 朝日藤寿一<sup>(1)</sup>, 森田修一<sup>(1)</sup>, 花田晃治<sup>(2)</sup>, 相馬邦道<sup>(3)</sup>, 末石研二, 山口秀晴, 葛西一貴<sup>(4)</sup>, ボンデマルクラーシュ<sup>(5)</sup>, ステンピックアリルド<sup>(6)</sup>: スカンジナビアと EU における卒前、卒後歯科矯正学教育 - わが国の歯科矯正学教育モデルとなりうるか? -, 日矯正歯会 63 回抄集, 320, 2004.(第 63 回日本矯正歯科学会大会, 福岡市) (1)新潟大・大学院・咬合制御学,(2)明倫短大・歯科技工士学科,(3)東医歯大・大学院・咬合機能制御学,(4)日大・松戸歯・矯正,(5)マルメ大・歯・矯正,(6)オスロ大・歯・矯正
41. 幾本英之<sup>(1)</sup>, 渡邊 章<sup>(1)</sup>, 成田真人<sup>(1)</sup>, 中嶋英乃<sup>(1)</sup>, 大畠 仁<sup>(1)</sup>, 内山健志<sup>(1)</sup>, 西村文邦, 野嶋邦彦, 山口秀晴: 上下顎移動術と腸骨移植を同時に行った第一第二鰓弓症候群の 1 例, 日顎変形会誌 14(3), 221, 2004.(第 14 回日本顎変形症学会総会, 福岡市) (1)口外 II
42. 片田英憲, 市村賢太郎, 稲森康二郎, 北總博之, 荒川知久<sup>(1)</sup>, 西井 康, 山口秀晴: 仮骨過成長法による下顎骨側方拡大時の顎関節部におよぼす影響に関する力学的検討, 日顎変形会誌 14(3), 248, 2004.(第 14 回日本顎変形症学会総会, 福岡市) A-79-0590-1 (1)千葉県
43. 一色泰成, 坂本輝雄: 歯槽骨骨延長を応用した広い顎裂幅を示す片側性唇顎口蓋裂患者の一例, The Journal of Keio Medical Society 1(4), 319, 2004.(第 9 回慶應義塾大学形成外科同門会学術集会, 東京)
44. 茂木悦子, 宮崎晴代, 野村真弓, 竹内史江, 山崎美央<sup>(1)</sup>, 高根ユミ, 菊地 悠, 井上恵実, 大峽 潤, 勝村 麗, 篠 珠美, 原崎守弘, 山口秀晴: 長持ちする良い歯列、咬合徹底検証 - 8020 達成者はなぜ QOL が高いのか -, 日歯医師会誌 57(4), 436, 2004.(第 20 回日本歯科医学会総会, 横浜市) A - 05 - 0591 - 4 脳科学研 (1)埼玉県

45. 井上 孝<sup>(1)</sup>, 松坂賢一<sup>(1)</sup>, 下野正基<sup>(1)</sup>, 吉成正雄<sup>(2)</sup>, 山中すみへ<sup>(3)</sup>, 田崎雅和<sup>(4)</sup>, 石川達也<sup>(5)</sup>, 山田 了<sup>(6)</sup>, 久保周平<sup>(7)</sup>, 関根秀志<sup>(8)</sup>, 茂木悦子, 矢島安朝<sup>(9)</sup>, 新谷益朗<sup>(10)</sup>, 石崎 憲<sup>(11)</sup> : 唾液検査とオーダーメイド治療, 平成 16 年度東京歯科大学口腔科学研究センターワークショッププログラム抄録集, 27, 2005.(平成 16 年度東京歯科大学口腔科学研究センターワークショップ, 千葉市) (1)病理,(2)理工,(3)衛生,(4)生理,(5)保存 III,(6)保存 II,(7)小児歯,(8)補綴 III,(9)口外 I,(10)脳科学研究施設,(11)補綴 I
46. 川口 充<sup>(1)</sup>, 王 久子<sup>(1)</sup>, 大久保みぎわ<sup>(1)</sup>, Bruce,B.J.<sup>(1)</sup>, 山根源之<sup>(2)</sup>, 山本 哲<sup>(3)</sup>, 茂木悦子 : 唾液腺の機能診断および検査技術の展開を目的とした基礎的研究 , 平成 16 年度 東京歯科大学口腔科学研究センター ワークショッププログラム・抄録集, 39, 2005.(平成 16 年度 東京歯科大学口腔科学研究センターワークショップ, 千葉市) (1)薬理,(2)市病・オーラルメディスン,(3)生理
47. Kikuchi,Y., Motegi,E., Nomura,M., Miyazaki,H., Harazaki,M., Yamaguchi,H., Shino,T., Katsumura,R. : Cephalometric study of maxillofacial morphology in elderly with many teeth, J Dent Res (CD-ROM) **84**(Special Issue A), #1951, 2005.(83rd General Session & Exhibition of the IADR / AADR / CADR, Baltimore, USA) A-05-0591-4
48. Motegi,E., Nomura,M., Miyazaki,H., Harazaki,M., Yamaguchi,H., Kikuchi,Y., Katsumura,R., Shino,T., Takane,Y. : Questionnaire survey on diet in elderly with many present teeth, J Dent Res (CD-ROM) **84**(Special Issue A), #1952, 2005.(83rd General Session & Exhibition of the IADR / AADR / CADR, Baltimore, USA)
49. Nomura,M., Motegi,E., Hatch,J.P.<sup>(1)</sup>, Tran,A.M.<sup>(2)</sup>, Kikuchi,Y., Katsumura,R., Shino,T., Rogh,J.D.<sup>(1)</sup>, Yamaguchi,H. : Dental school training and observer preference for facial esthetics, J Dent Res (CD-ROM) **84**(Special Issue A), #3645, 2005.(83rd General Session & Exhibition of the IADR / AADR / CADR, Baltimore, USA) (1)Univ. of Texas Health Science Center at San Antonio , USA,(2)Univ. of Texas Health Science Center at San Antonio , USA
50. Yamaguchi,H., Abe,T.<sup>(1)</sup>, Sueishi,K. : Measurements of the maximum and swallowing tongue pressures on the anterior region of the palate, 81st Congress of the European Orthodontic Society Final Programme Abstract Book, po-021, 2005.(81st Congress of the European Orthodontic Society, Amsterdam, The Netherlands) (1)水病・矯正科
51. Sueishi,K., Sakamoto,T., Yamaguchi,H. : Orthodontic treatment of the impacted teeth in the cleidocranial dysplasia -its validity and difficulty-, 81st Congress of the European Orthodontic Society Final Programme Abstract Book, po-053, 2005.(81st Congress of the European Orthodontic Society, Amsterdam, The Netherlands)
52. 西井 康, 石井武展, 野嶋邦彦, 山口秀晴, 高木多加志<sup>(1)</sup>, 花上健一<sup>(1)</sup>, 野間弘康<sup>(1)</sup> : 上顎インプラントアンカー埋入部位の探索, 日歯医師会誌 **57**(4), 137, 2005.(第 20 回日本歯科医学学会総会, 横浜市) (1)口外 I
53. 山口秀晴 : 咬合と顔貌の調和 - 個性正常咬合の維持に重要な要素 -, 歯科審美 **17**(2), 2005.(日本歯科審美学会, 東京)
54. Motegi,E. : The 9th international symposium for facial growth guidance, The 9th International Symposium , 2005. (The 9th International Symposium for Facial Growth Guidance, West Sussex, UK)

## 12. 歯科放射線学講座

### プロフィール

#### 1. 教室員と主研究テーマ

教授	佐野 司	拡散強調 MR 画像を応用した顎関節症の病態診断 (A04-0610-1)
助教授	和光 衛	マイクロ CT を用いた病巣周囲骨梁構造の 3 次元解析 (A99-0610-1) 薄膜性骨内インプラントと骨との親和性に関する 3 次元構造解析 (A00-0610-1)
講師	早川 吉彦	ステレオグラフィによる歯・顎骨 3 次元再構成像の評価 (A02-0610-1)
助手	西川 慶一	超音波血流信号の定量解析による頭頸部悪性腫瘍リンパ節転移の高精度検出 (A02-0610-2)
	原田 卓哉	上顎に発生し隔壁構造を伴った不透過性病変の画像診断学的検討 (A01-0610-1)
	山田 正幸	歯周疾患の診査における臨床所見と口内法 X 線写真所見との相関性について (A97-0610-9)
	音成 貴道	悪性腫瘍リンパ節転移の評価 (A03-0610-1)
病院助手	大久保真衣	摂食・嚥下運動動態に関する画像診断学的検討
専攻生	水田 茂	インプラントの画像診断に関する研究

#### 2. 成果の概要

##### 1) 拡散強調 MR 画像を応用した顎関節症の病態診断 (A04-0610-1)

拡散強調画像 (以下, DWI) は, ブラウン運動中の水分子の位相変化を視覚化するものである. 本研究では 顎関節関節包炎の病態診断のためにこの DWI を応用した新たな MRI 診断法を開発することを目的とする. 今年度は, 顎関節部に適切な拡散強調画像の撮像条件の検討を行った. 使用機器は 1.5 T Siemens 社製 Magnetom Symphony Maestro Class を用いた. 本装置で撮像可能な DWI は 3 種類で, echo planer imaging (以下, EPI), single-shot 高速 SE 法 (以下, SSFSE), steady-state free precession 法 (以下, SSFP) である. 各撮像中, EPI および SSFSE では b 値を設定し, SSFP では b 値の代替として diffusion moment (以下, dm) を設定した. 各撮像法で下顎頭外形の同定について検討した結果, SSFP のみが同定可能となった. そこで, SSFP について dm の詳細な検討を行うこととした. 顎関節部の撮像範囲内に水 (ブラウン運動可能な水分子) を入れるため, 外耳道に蒸留水を満たしたチューブを挿入した. 対象はボランティア 3 名, 6 関節である. dm は, 10.50.100.150.200.250 の画像上で, 水, 下顎頭骨髄, 脳実質について ROI を設定し, 信号強度を計測した. その結果, 6 関節の全てにおいて, dm が大きくなるにつれて信号強度が下がり, また, S/N 比も低下した. dm が 100 の時に水は下顎頭骨髄と同程度の信号強度を示したが, 150 ではそれを下回り, 脳実質と同程度となっていた. これらの結果から, 顎関節に適切な DWI の条件は, dm が 100-150 の SSFP 法であることが示唆された. また, 関節包炎のほかにも現在までに検討されていなかった顎関節の臨床症状と関連する病態と MRI 所見の関連について論文 2 編を国際雑誌に発表した.

Cranio 22(2):124~131, 2004.

Cranio 22(4):283~288, 2004.

### 3. 学外共同研究

担当者	研究課題	学外研究施設		
		研究施設	所在地	責任者
佐野 司	Magnetic resonance evidence of joint effusion of the temporomandibular joint	九州歯科大学	北九州市	高橋 哲
佐野 司	慢性経過をたどる顎関節症患者に対する頭皮鍼療法	昭和大学歯学部	東京	南雲正男
佐野 司	顎関節症のMRI 診断	日本大学・松戸歯学部	松戸市	金田 隆
佐野 司 音成 貴道	顎関節症のMRI 診断	昭和大学歯学部	東京	岡野友宏
和光 衛	CT画像とインプラント埋入圧との相関分析評価	プラトンテクニカルセンター	東京	鹿島長門
早川 吉彦	Diagnostic information yield from Tuned-Aperture Computed Tomography	The Univ. of Louisville	Louisville, Kentucky, USA	Farman, Allan G.
早川 吉彦	TACT とステレオグラフィーによる歯・顎骨3次元再構成像の評価	国立台湾大 (National Taiwan Univ.)	Taipei, Taiwan	Chen, Ssu-Kuang
早川 吉彦	裸眼立体液晶ディスプレイによる3次元再構成画像の評価	東京電機大	印西市	新津 靖
早川 吉彦	歯科用コーンビーム CT に関する基礎的, 臨床的研究	Xoran Technologies, Inc.	Ann Arbor, MI, USA	Predrag Sukovic
大久保真衣	特別養護老人ホーム入所者の摂食・嚥下機能および指導内容の実態	昭和大学歯学部	東京	向井美恵

### 4. 科学研究費補助金・各種補助金

研究代表者	研究課題	研究費
佐野 司	拡散強調MR画像による顎関節関節包炎の病態診断	科学研究費・萌芽
早川 吉彦	バーチャルカーソルを活用したステレオグラフィーによる歯・顎骨3次元再構成像の評価	科学研究費・基盤(C)

5. 研究活動の特記すべき事項

受賞

受賞者名	年月日	賞名	テーマ	学会・団体名
Yamamoto, M., Nakajima, K. Otonari, T., Sano, T., Gokan, T., Tsuji, Y. Curtin H, D. and Okano, T.	2004.11.28 ~12. 3	Certificate of Merit	The Mylohyoid Muscle : Separation of Submandibular and Sublingual Spaces	90th Scientific Assembly and Annual Meeting of the Radiological Society of North America (RSNA2004)

企画（オーガナイザー）

オーガナイザー	年月日	主題名	学会名	主催地
佐野 司	2004. 6. 1	歯科・口腔外科領域の画像診断	学術雑誌 「映像情報 Medical」	東京
佐野 司	2005. 3. 5	わが国の歯学教育における PBL の展開	日本歯科放射線学会 教育委員会	東京
佐野 司	2005. 3. 5	Dr. Michael Pharoah (Univ. of Toronto) 特別講演	日本歯科放射線学会 第 199 回関東地方会	東京

パネリスト（ラウンド・テーブル・ディスカッション）

講演者	年月日	講演名	学会・研究会名	開催地
早川 吉彦	2004. 6.24	Round Table Discussion on Issues in Multi-dimensional Imaging	18th International Congress & Exhibition of Computer Assisted Radiology & Surgery (CARS2004)	Chicago, USA

研究指導

氏名	年月日	特記事項	役割	場所
佐野 司	2004. 4 ・ 2005. 3	研究者：矢野圭介 研究課題：関節円板転位の改善と下顎頭 の MR double contour 像との関連	研究指導	東京
早川 吉彦	2004. 4 ・ 2005. 3	文部科学省 科研費補助金・奨励研究 研究者：太田淑子 課題番号：16922207	研究指導	千葉市
早川 吉彦	2004. 4 ・ 2005. 3	研究者：森 俊道 研究課題：新しい口腔内カメラおよび 抜歯器具の臨床活用	研究指導	越谷市

## 6. 教育講演等教育に関する業績, 活動

## 教育講演

講演者	年月日	演題	学会・研究会名	開催地
佐野 司	2004. 6. 28	顎関節の画像診断	昭和大学歯学部 第3学年	東京
佐野 司	2004. 7. 1	顎関節の画像診断	日本大学松戸歯学部 第5学年	松戸市
佐野 司	2004. 11. 12	顎関節の画像診断	昭和大学歯学部 第4学年	東京
佐野 司	2004. 11. 19	顎関節の診断	東北大学大学院 歯学研究科セミナー	仙台市
佐野 司	2004. 12. 1	MR imaging of temporomandibular joint (TMJ)	延世大学交流 ミニセミナー	千葉市
佐野 司	2005. 1. 13	顎関節の画像診断	日本大学松戸歯学部 第3学年	松戸市
佐野 司	2005. 2. 19	教育講演 「顎関節症の画像診断」	第24回日本画像医学会	東京
和光 衛	2004. 11. 29	Radiographic technique of dental implant	延世大学交流 ミニセミナー	千葉市
早川 吉彦	2004. 11. 26	特別講義 「デジタル X 線イメージングの いままでとこれから」	広島大学大学院 医歯薬総合研究科	広島市
早川 吉彦	2004. 12. 1	Tuned-aperture computed Tomography (TACT) in Dentistry	延世大学交流 ミニセミナー	千葉市
西川 慶一	2004. 12. 1	Clinical validity of cone beam CT available in Japan	延世大学交流 ミニセミナー	千葉市

教育ワークショップ等

氏名	年月日	ワークショップ名	役割	開催地
佐野 司	2004.10. 2 ~ 3	第 12 回東京歯科大学カリキュラム 研修ワークショップ	タスクフォース	千葉市
佐野 司	2004.12. 4 ~ 5	第 13 回東京歯科大学カリキュラム 研修ワークショップ	タスクフォース	千葉市
佐野 司	2005. 1.15 ~16	第 14 回東京歯科大学カリキュラム 研修ワークショップ	タスクフォース	千葉市
佐野 司	2005. 3.19 ~20	第 16 回東京歯科大学カリキュラム 研修ワークショップ	タスクフォース	千葉市
佐野 司	2004.12. 6	第 37 回東京歯科大学 歯科医学教育セミナー	講師	千葉市
原田 卓哉	2005. 1.13	東京歯科大学カリキュラム研修ワーク ショップ第3回アドバンスコース	参加者	千葉市
山田 正幸	2005. 1.13	東京歯科大学カリキュラム研修ワーク ショップ第3回アドバンスコース	参加者	千葉市
和光 衛	2005. 1.20	東京歯科大学カリキュラム研修ワーク ショップ第4回アドバンスコース	参加者	千葉市
佐野 司	2005. 3. 6	日本歯科放射線学会 MRI 研修会	インストラクター	横浜市

共用試験等

氏名	年月日	種別	役割	開催地
和光 衛	2005. 2.27	平成 16 年度第 4 学年 OSCE	ST4 責任者, 評価者	千葉市
音成 貴道	2005. 2.27	平成 16 年度第 4 学年 OSCE	ST4 評価者	千葉市
西川 慶一	2005. 2.27	平成 16 年度第 4 学年 OSCE	ST4 器材係	千葉市
原田 卓哉	2005. 2.27	平成 16 年度第 4 学年 OSCE	ST4 器材係	千葉市



## 論 文

1. 佐野 司, 音成貴道 : 歯科・口腔外科領域における画像診断の現状 概略と顎関節症の MRI 診断について , 映像情報 Medical **36**(6), 672 ~ 676, 2004. 臨床
2. Sano,T., Westesson,P.-L.<sup>(1)</sup>, Yamamoto,M.<sup>(2)</sup>, Okano,T.<sup>(2)</sup> : Differences in temporomandibular joint pain and age distribution between marrow edema and osteonecrosis in the mandibular condyle, Cranio **22**(4), 283 ~ 288, 2004. 原著 A04 0610 1 (1)Dept. of Neuroradiology, Univ. of Rochester,(2)昭和大・歯・歯放
3. Amano,H.<sup>(1)</sup>, Sano,T., Gotoh,K.<sup>(1)</sup>, Kakuta,S.<sup>(1)</sup>, Suganuma,T.<sup>(1)</sup>, Kimura,Y.<sup>(1)</sup>, Tsukasaki,H.<sup>(1)</sup>, Miyashita,H.<sup>(1)</sup>, Okano,T.<sup>(1)</sup>, Goto,N.<sup>(1)</sup>, Saeki,H.<sup>(2)</sup> : Strategies for training standardized patient instructors for a competency exam, J Dent Educ **68**(10), 1104 ~ 1111, 2004. 原著 (1)昭和大・歯・OSCE 小委員会,(2)昭和大・医, 模擬患者コミュニケーション・東京ワーキンググループ
4. 岡野友宏<sup>(1)</sup>, 松田幸子<sup>(1)</sup>, 関 健次<sup>(1)</sup>, 山本実佳<sup>(1)</sup>, 佐野 司, 荒木和之<sup>(1)</sup> : 能動学習を促す症例基盤型学習 : 講堂で行う歯科放射線学の授業における試み, 歯放線 **44**(4), 225 ~ 235, 2004. 原著 (1)昭和大・歯・歯放
5. 山内智博<sup>(1)</sup>, 野間弘康<sup>(1)</sup>, 矢島安朝<sup>(1)</sup>, 古谷義隆<sup>(1)</sup>, 野村武史<sup>(1)</sup>, 櫻井 薫<sup>(2)</sup>, 杉山哲也<sup>(2)</sup>, 石崎 憲<sup>(2)</sup>, 安藤友彦<sup>(2)</sup>, 小林健一郎<sup>(2)</sup>, 和光 衛, 見明康雄<sup>(3)</sup> : HA 薄膜コーティングインプラントの有用性に関する実験的研究, 日本顎顔面インプラント学会誌 **1**(1), 11 ~ 16, 2004. 原著 (1)口外 I,(2)補綴 I,(3)超微構造
6. 佐野 司, 音成貴道, 大久保真衣 : 画像診断・マルチスライス CT(MDCT)と高磁場強度 MRI で何が診えるのか, 歯科臨床研究 **2**(1), 8 ~ 15, 2005. 臨床
7. 早川吉彦, 光菅裕治, 佐野 司, 山本一普<sup>(1)</sup>, Farman,A.G.<sup>(2)</sup> : Tuned-Aperture Computed Tomography による Tomo-Synthesis の臨床応用, 医用画像情報誌 **22**(1), 14 ~ 21, 2005. 総説 A02-0610-1 (1)石川県,(2)Div. of Radiol. & Imaging Sci., School of Dent.
8. Wakoh,M., Yonezu,H.<sup>(1)</sup>, Otonari,T., Sano,T., Matsuzaka,K.<sup>(2)</sup>, Inoue,T.<sup>(2)</sup>, Wada,N.<sup>(3)</sup> : Two cases of schwannoma with marked cystic changes, Dentomaxillofac Radiol **34**(1), 44 ~ 50, 2005. 症例 (1)口外 II,(2)臨検査,(3)千葉脳神経外科病院

## 解 説

1. 和光 衛 : Q and A ; エックス線写真撮影による被曝を気にされている患者さんに対し、安心して撮影を受けていただくにはどのように説明したらよいでしょうか?, 歯衛士 **28**(7), 81 ~ 83, 2004.
2. 和光 衛, 佐野 司 : 人のフシギ・歯のフシギ - 画像でみるあなたのからだ -, デンタルダイヤモンド **29**(12), 134 ~ 135, 2004.
3. 西川慶一 : 対数応答デジタル X 線画像システムの時代へ, アポロニア **21**(131), 67 ~ 73, 2004.
4. 藤下昌巳<sup>(1)</sup>, 小林 馨<sup>(1)</sup>, 勝又明敏<sup>(1)</sup>, 岡野友宏<sup>(1)</sup>, 古川惣平<sup>(1)</sup>, 土持 眞<sup>(1)</sup>, 野井倉武憲<sup>(1)</sup>, 湯浅賢治<sup>(1)</sup>, 金田 隆<sup>(1)</sup>, 林 孝文<sup>(1)</sup>, 佐野 司 : 歯科放射線学教育の指針, 歯放線 **44**(4), 307 ~ 309, 2004. (1)日本歯科放射線学会教育委員会

## その他

1. 早川吉彦：シカゴの街を訪ねて 第 139 回シカゴ・ミッドウインターミーティング参加記 2004 年 2 月 , Dental World(8), 16 ~ 17, 2004.
2. 佐野 司：巻頭言 効率よく論文を仕上げるシステムの必要性, 歯科学報 104(3), i, 2004.
3. 佐野 司, 伊東祐一<sup>(1)</sup>, 高橋浩二<sup>(2)</sup>, 荒木和之<sup>(2)</sup>, 岡野友宏<sup>(2)</sup>：拡散強調 MR 画像による顎関節関節包炎の病態診断, 平成 16 年度文部科学省科学研究費補助金萌芽研究・実績報告書, 2005. 研究課題番号 14657488 (1)昭和大・藤が丘病院,(2)昭和大・歯
4. 早川吉彦, 澁谷仁志, 山本一普, 音成貴道, Farman,A.G.<sup>(1)</sup>：バーチャルカーソルを活用したステレオグラフィによる歯・顎骨 3 次元再構成像の評価, 平成 14 年度～平成 16 年度科学研究費補助金基盤研究(C)(2)研究成果報告書, 2005. 研究課題番号 14571801 保情研 (1)ルイビル大・歯

## 学会抄録

1. 米津博文<sup>(1)</sup>, 内山健志<sup>(1)</sup>, 和光 衛, 黒柳錦也, 外山正彦<sup>(2)</sup>, 本田和也<sup>(3)</sup>, 佐野 司<sup>(4)</sup>, 小林 馨<sup>(5)</sup>：顎関節症の画像診断における関節腔造影検査法の役割, 日顎関節会誌 16(1), 57, 2004.(第 16 回日本顎関節学会総会・学術大会, 鹿児島市) (1)口外 II,(2)名古屋徳州会総合病院・歯口外,(3)日大・歯・放,(4)昭和大・歯・歯放,(5)鶴見大・歯・歯放
2. 音成貴道, 佐野 司, 和光 衛, 原田卓哉, 山田正幸, 菅裕裕<sup>(1)</sup>：本学千葉病院における MRI の展開, 歯科学報 104(3), 360, 2004.(第 277 回東京歯科大学学会例会, 千葉市) (1)千病・放科
3. 別所央城<sup>(1)</sup>, 武田栄三<sup>(1)</sup>, 神尾 崇<sup>(1)</sup>, 横尾恵子<sup>(1)</sup>, 片倉 朗<sup>(1)</sup>, 小池吉彦<sup>(2)</sup>, 橋本貞充<sup>(3)</sup>, 音成貴道, 佐野 司, 野間弘康<sup>(1)</sup>：翼口蓋窩に認められた血管腫の 1 例, 歯科学報 104(3), 366, 2004.(第 277 回東京歯科大学学会例会, 千葉市) (1)口外 I,(2)臨検査,(3)病理
4. 筒井重行<sup>(1)</sup>, 竹川ひとみ<sup>(1)</sup>, 住谷 要<sup>(1)</sup>, 串田東作<sup>(1)</sup>, 佐野 司, 角田左武郎<sup>(1)</sup>, 南雲正男<sup>(1)</sup>：頭皮鍼療法と CMI との関連 第 3 報 男女差の検討 , 第 17 回日顎関節会誌プログラム・抄録集, 86, 2004.(第 17 回日本顎関節学会総会・学術大会, 新潟市) (1)昭和大・歯・顎口腔疾患制御外科
5. 音成貴道, 佐野 司, 和光 衛：顎関節症における拡散強調 MR 画像検査の試み, 第 17 回日顎関節会誌プログラム・抄録集, 100, 2004.(第 17 回日本顎関節学会総会・学術大会, 新潟市) A04-0610-1
6. 金田 隆<sup>(1)</sup>, 森 進太郎<sup>(1)</sup>, 本橋淳子<sup>(1)</sup>, 加藤正隆<sup>(1)</sup>, 阪柳雅志<sup>(1)</sup>, 片山雄三<sup>(1)</sup>, 近藤壽郎<sup>(2)</sup>, 佐野 司：顎関節症画像診断における MRI 体軸横断像シークエンス追加の有用性について, 第 17 回日顎関節会誌プログラム・抄録集, 101, 2004.(第 17 回日本顎関節学会総会・学術大会, 新潟市) (1)日大・松戸歯・放,(2)日大・松戸歯・口外
7. 森 進太郎<sup>(1)</sup>, 本橋淳子<sup>(1)</sup>, 加藤正隆<sup>(1)</sup>, 阪柳雅志<sup>(1)</sup>, 片山雄三<sup>(1)</sup>, 金田 隆<sup>(1)</sup>, 近藤壽郎<sup>(2)</sup>, 佐野 司：STIR 法を用いた顎関節 MRI の検討, 第 17 回日顎関節会誌プログラム・抄録集, 101, 2004.(第 17 回日本顎関節学会総会・学術大会, 新潟市) (1)日大・松戸歯・放,(2)日大・松戸歯・口外
8. 米津博文<sup>(1)</sup>, 内山健志<sup>(1)</sup>, 音成貴道, 和光 衛, 佐野 司：下顎頭外側に生じた骨腫の 1 例, 第 17 回日顎関節会誌プログラム・抄録集, 108, 2004.(第 17 回日本顎関節学会総会・学術大会, 新潟市) (1)口外 II

9. 山本実佳<sup>(1)</sup>, 佐野 司, 音成貴道, 和光 衛, 岡野友宏<sup>(1)</sup>: 下顎頭骨変化と関節液との関係, 第 17 回日顎関節会誌プログラム・抄録集, 112, 2004.(第 17 回日本顎関節学会総会・学術大会, 新潟市) (1)昭和大・歯・歯放
10. 阪柳雅志<sup>(1)</sup>, 森 進太郎<sup>(1)</sup>, 本橋淳子<sup>(1)</sup>, 加藤正隆<sup>(1)</sup>, 片山雄三<sup>(1)</sup>, 金田 隆<sup>(1)</sup>, 近藤壽郎<sup>(2)</sup>, 佐野 司: 顎関節症における joint effusion と頭頸部リンパ節の関連性の有無, 第 17 回日顎関節会誌プログラム・抄録集, 112, 2004.(第 17 回日本顎関節学会総会・学術大会, 新潟市) (1)日大・松戸歯・放,(2)日大・松戸歯・口外
11. 矢野圭介<sup>(1)</sup>, 佐野 司, 岡野友宏<sup>(2)</sup>: 関節円板転位の改善と下顎頭の MR double contour 像との関連, 第 17 回日顎関節会誌プログラム・抄録集, 115, 2004.(第 17 回日本顎関節学会総会・学術大会, 新潟市) (1)東京都,(2)昭和大・歯・歯放
12. 原田卓哉, 音成貴道, 山田正幸, 和光 衛, 佐野 司: 上顎洞および鼻腔に進展した上顎粘液腫の MR 所見, 歯放線 44(3), 191 ~ 192, 2004.(日本歯科放射線学会第 9 回臨床画像大会, 名古屋市)
13. 山本実佳<sup>(1)</sup>, 中島 功<sup>(2)</sup>, 佐野 司, 辻 有里子<sup>(1)</sup>, 中村雅典<sup>(2)</sup>, 岡野友宏<sup>(1)</sup>: 顎舌骨筋;CT 所見と剖出所見の比較, 歯放線 44(3), 200, 2004.(日本歯科放射線学会第 9 回臨床画像大会, 名古屋市) (1)昭和大・歯・歯放,(2)昭和大・歯・口腔解剖
14. 音成貴道, 佐野 司, 和光 衛, 原田卓哉, 山田正幸, 米津博文<sup>(1)</sup>: 悪性腫瘍を疑った顎関節部骨腫の画像所見, 歯放線 44(3), 201 ~ 202, 2004.(日本歯科放射線学会第 9 回臨床画像大会, 名古屋市) (1)口外 II
15. 山本実佳<sup>(1)</sup>, 辻 有里子<sup>(1)</sup>, 岡野友宏<sup>(1)</sup>, 中島 功<sup>(2)</sup>, 音成貴道, 佐野 司: ガマ腫の画像診断, 日医放線会誌 64(6), S429 ~ S430, 2004.(第 40 回日本医学放射線学会秋季臨床大会・第 17 回頭頸部放射線研究会, 東京) (1)昭和大・歯・歯放,(2)昭和大・歯・口腔解剖
16. 石川健太郎<sup>(1)</sup>, 大岡貴史<sup>(1)</sup>, 靄島弘之<sup>(1)</sup>, 田村文誉<sup>(2)</sup>, 綾野理加<sup>(1,3)</sup>, 弘中祥司<sup>(1)</sup>, 尾形明美<sup>(1)</sup>, 大河内昌子<sup>(1)</sup>, 村田尚道<sup>(1)</sup>, 富田かをり<sup>(1)</sup>, 大久保真衣, 萬屋 陽<sup>(1)</sup>, 向井美恵<sup>(1)</sup>: 特別養護老人ホーム入所者の摂食・嚥下機能および指導内容の実態, 障害者歯 25(3), 494, 2004.(第 21 回日本障害者歯科学会総会および学術大会, 枚方市) (1)昭和大・歯・口衛,(2)日歯大・歯病・口腔介護リハビリテーションセンター,(3)昭和大・病院・口腔リハビリテーションセンター
17. 大久保真衣, 佐野 司, 和光 衛, 早川吉彦, 西川慶一, 原田卓哉, 山田正幸, 音成貴道, 菅菅裕治<sup>(1)</sup>, 小林紀雄<sup>(1)</sup>, 梅宮恒彦<sup>(1)</sup>, 末広淳史<sup>(1)</sup>, 檜垣卓生<sup>(1)</sup>: 歯科放射線科における臨床実習の改善と検討, 歯科学報 104(5), 528, 2004.(第 278 回東京歯科大学学会総会, 千葉市) (1)千病・放科
18. 鈴木憲久<sup>(1)</sup>, 与謝野 明<sup>(1)</sup>, 山内智博<sup>(1)</sup>, 矢島安朝<sup>(1)</sup>, 野間弘康<sup>(1)</sup>, 井上 孝<sup>(2)</sup>, 才藤純一<sup>(3)</sup>, 和光 衛: TS-1 投与が著効した進行上顎癌の 1 例, 日口腔外会誌 50(11), 704 ~ 705, 2004.(第 177 回日本口腔外科学会関東地方会, 川越市) (1)口外 I,(2)臨検査,(3)千病・臨検
19. 菅原圭亮<sup>(1)</sup>, 椎木さやか<sup>(1)</sup>, 武田栄三<sup>(1)</sup>, 山内智博<sup>(1)</sup>, 柴原孝彦<sup>(1)</sup>, 野間弘康<sup>(1)</sup>, 橋本貞充<sup>(2)</sup>, 嶋 香織<sup>(2)</sup>, 佐野 司: 頸部に発生した脂肪腫の一例, 第 178 回日本口腔外科学会(関東地方会)プログラム・抄録集, 18, 2004.(第 178 回日本口腔外科学会関東地方会, 東京) (1)口外 I,(2)病理
20. 山内智博<sup>(1)</sup>, 野間弘康<sup>(1)</sup>, 柴原孝彦<sup>(1)</sup>, 矢島安朝<sup>(1)</sup>, 古谷義隆<sup>(1)</sup>, 野村武史<sup>(1)</sup>, 櫻井 薫<sup>(2)</sup>, 杉山哲也<sup>(2)</sup>, 石崎 憲<sup>(2)</sup>, 安藤友彦<sup>(2)</sup>, 和光 衛, 見明康雄<sup>(3)</sup>: HA 薄膜インプラントの有用性(第 2 報), 第 8 回顎顔面インプラントプログラム・講演抄録集, 27, 2004.(第 8 回日本顎顔面インプラント学会学術大会, 東京) (1)口外 I,(2)補綴 I,(3)超微構造

21. Yamamoto,M.<sup>(1)</sup>, Nakajima,K.<sup>(2)</sup>, Otonari,T., Sano,T., Gokan,T.<sup>(3)</sup>, Tsuji,Y.<sup>(1)</sup>, Curtin,H.D.<sup>(4)</sup>, Okano,T.<sup>(1)</sup> : The Mylohyoid Muscle: Separation of Submandibular and Sublingual Spaces, Radiol, 790, 2004.(90th Scientific Assembly and Annual Meeting of the Radiological Society of North America, RSNA2004, Chicago, USA) (1)昭和大・歯・歯放,(2)昭和大・歯・口腔解剖,(3)昭和大・医・放,(4)Dept. of Radiology, Massachusetts Eye and Ear Infirmary, Harvard Medical School
22. 石川健太郎<sup>(1)</sup>, 大岡貴史<sup>(1)</sup>, 齋島弘之<sup>(1)</sup>, 田村文誉<sup>(1,2)</sup>, 綾野理加<sup>(1,3)</sup>, 弘中祥司<sup>(1)</sup>, 尾形明美<sup>(1)</sup>, 富田かをり<sup>(1)</sup>, 大久保真衣, 萬屋 陽<sup>(1)</sup>, 向井美恵<sup>(1)</sup> : 特別養護老人ホーム入所者の摂食状況及び摂食指導の実態, 日摂食嚥下リハ会誌 8(2), 100, 2004.(第 10 回日本摂食・嚥下リハビリテーション学会学術大会, 新潟市) (1)昭和大・歯・口衛,(2)日歯大・歯病・口腔介護リハビリテーションセンター,(3)昭和大・歯病・口腔リハビリテーション科
23. 音成貴道, 佐野 司, 原田卓哉, 山田正幸, 和光 衛 : 顎関節における拡散強調画像の撮像条件の検討, 歯放線 44(4), 250, 2004.(第 45 回日本歯科放射線学会総会・学術大会, 広島市) A04-0619-1
24. 山本実佳<sup>(1)</sup>, 佐野 司, 音成貴道, 和光 衛, 岡野友宏<sup>(1)</sup> : 顎関節の変形性関節症: 関節円板転位程度と関節液量との関連, 歯放線 44(4), 251, 2004.(第 45 回日本歯科放射線学会総会・学術大会, 広島市) (1)昭和大・歯・歯放
25. 佐野 司, 山本実佳<sup>(1)</sup>, 音成貴道, 和光 衛, 矢野圭介<sup>(1)</sup>, 佐久間克也<sup>(1)</sup>, 大久保真衣, 岡野友宏<sup>(1)</sup> : 顎関節症における joint effusion のロジスティック回帰分析, 歯放線 44(4), 251, 2004.(第 45 回日本歯科放射線学会総会・学術大会, 広島市) (1)昭和大・歯・歯放
26. 西川慶一, 大黒俊樹<sup>(1)</sup>, 菅菅裕治<sup>(2)</sup>, 和光 衛, 佐野 司 : 製品版 YCR21-XGR<sup>R</sup>による口内法 X 線画像のコントラスト分解能 量産試作機版および DenOptix<sup>TM</sup> との比較 , 歯放線 44(4), 255, 2004.(第 45 回日本歯科放射線学会総会・学術大会, 広島市) (1)吉田製作所, (2)千病・放科
27. 和光 衛, 米津博文<sup>(1)</sup>, 音成貴道, 原田卓哉, 佐野 司, 井上 孝<sup>(2)</sup> : 嚢胞性変化が顕著に認められた神経鞘腫の 2 例, 歯放線 44(4), 277, 2004.(第 45 回日本歯科放射線学会総会・学術大会, 広島市) (1)口外 II,(2)臨検査
28. 阪柳雅志<sup>(1)</sup>, 森 進太郎<sup>(1)</sup>, 加藤正隆<sup>(1)</sup>, 片山雄三<sup>(1)</sup>, 鎌田美弥<sup>(1)</sup>, 横張和也<sup>(1)</sup>, 岡野芳枝<sup>(1)</sup>, 金田 隆<sup>(1)</sup>, 近藤壽郎<sup>(2)</sup>, 佐野 司 : 顎関節症の joint effusion と耳下腺リンパ節の関連性, 歯放線 44(4), 283, 2004.(第 45 回日本歯科放射線学会総会・学術大会, 広島市) (1)日大・松戸歯・放,(2)日大・松戸歯・口外
29. Sano,T., Westesson,P.L.<sup>(1)</sup>, Yamamoto,M.<sup>(2)</sup>, Okano,T.<sup>(2)</sup>, Otonari,T. : Differences in temporomandibular joint pain and age distribution between marrow edema and osteonecrosis in the mandibular condyle, Program & Abstracts of the 5th Asian Congress of Oral and Maxillo-Facial Radiology, 17, 2004.(The 5th Asian Congress of Oral and Maxillo-Facial Radiology, Bangkok, Thailand) (1)Dept. of Neuroradiology, Univ. of Rochester,(2)昭和大・歯・歯放
30. Yamamoto,M.<sup>(1)</sup>, Sano,T., Otonari,T., Wakoh,M., Okano,T.<sup>(1)</sup> : Association between osseous changes of the condyle and the temporomandibular joint (TMJ) fluid in osteoarthritis, Program & Abstracts of the 5th Asian Congress of Oral and Maxillo-Facial Radiology, 18, 2004.(The 5th Asian Congress of Oral and Maxillo-Facial Radiology, Bangkok, Thailand) (1)昭和大・歯・歯放
31. 一戸達也<sup>(1)</sup>, 久保浩太郎<sup>(1)</sup>, 佐野 司, 新谷益朗<sup>(2)</sup>, 澁川義幸<sup>(3)</sup>, 加藤元一郎<sup>(4)</sup> : 三叉神経支配領域皮膚痛覚刺激時の pain-SEFs に対する各種薬剤の抑制効果, 平成 16 年度 東京歯科大学口腔外科研究センター ワークショップ プログラムおよび抄録集, 40~41, 2005.(平成 16 年度 東京歯科大学口腔外科研究センター ワークショップ, 千葉市) (1)歯麻,(2)脳科学研究施設,(3)生理,(4)慶大・医・精神神経科

32. 西川慶一, 光菅裕治<sup>(1)</sup>, 水田 茂, 和光 衛, 佐野 司 : 歯科用小照射野 CT3DX で用いられるスライス加算処理についての画像工学的検討, 歯放線 45(1), 32, 2005.(第 198 回日本歯科放射線学会関東地方会, 横須賀市) (1)千病・放科
  
33. 大久保真衣, 佐野 司, 西川慶一, 和光 衛, 早川吉彦, 原田卓哉, 山田正幸, 音成貴道, 光菅裕治<sup>(1)</sup>, 小林紀雄<sup>(1)</sup>, 梅宮恒彦<sup>(1)</sup>, 末広淳史<sup>(1)</sup>, 檜垣卓生<sup>(1)</sup> : 歯科放射線学臨床実習の変更後の評価, 歯放線 45(1), 33, 2005.(第 198 回日本歯科放射線学会関東地方会, 横須賀市) (1)千病・放科

## 13. スポーツ歯学研究室

### プロフィール

#### 1. 教室員と主研究テーマ

教授	石上 恵一	咬合と重心動揺 (A98-0508-1)
助教授	武田 友孝	マウスガードの衝撃吸収能について (A00-0790-2)
助手	中島 一憲	咬合と運動パフォーマンス (A98-0508-2)
病院助手	小川 透	スポーツと咬合の関連について (A00-0790-8)
	川村慎太郎	スポーツにおける身体運動時の口腔内状態 (A00-0790-12)
	半田 潤	頭部に生ずる加速度に対する噛みしめ, マウスガードの影響 (A00-0790-11)
	奈良 和彦	マウスガードの厚径変化に関する研究 (A00-0790-5)
	蜷川 雅晴	衝撃性閉口に対するマウスガードの効果について (A00-0790-09)
	宮島 至郎	顎口腔系の状態変化が歩行に及ぼす影響 (A00-0790-18)
大学院生	内藤 薫	骨細胞の各種機械的刺激に対する反応に関する研究 (A02-0790-15)
	黒川 勝英	頭部に生ずる加速度に対する噛み締め, マウスガードの影響 (A00-0790-11)
	渋谷 真美	マウスガードのデザインが頭頸部の安全性に及ぼす影響 (A00-0790-14)
専攻生	前田 昌彦	無髄歯に対する処置方法の違いが歯の破折強度に及ぼす影響 (A02-0790-17)
研究生	正村 正仁	スポーツ選手の外傷認識度 (A00-0790-10)

#### 2. 成果の概要

##### 1) 咬合と全身状態, スポーツパフォーマンスについて

スポーツにおいて生ずる頭部への加速度は、頭位・姿勢の変化を惹起しスポーツパフォーマンスに影響し、またその値がある閾値を超えた場合には脳震盪などの脳傷害、頸椎への損傷の原因となる。この加速度の発生に影響する因子としては、頸部の長さ、太さ、アライメントなどの解剖学的個体差、頸部の筋力、外来刺激に対する反応時間などの運動能力などが挙げられる。したがって、頭部への加速度の軽減のための顎口腔系の条件として、咬合の確立、正しい咬合を有するマウスガード、スプリントの装着、すなわち、顎口腔系の状態の改善、適切なマウスガードの装着による噛み締め力の増大および早期の筋活動が、頭頸部の固定の増強に寄与し、スポーツパフォーマンスの向上、頭頸部の損傷予防に有効と考えられる。

##### 2) マウスガードの安全性について (A00-0790-2)(A00-0790-5)

種々のスポーツ、特にコンタクトスポーツにおける顎顔面領域への障害防止対策として、マウスガードの使用が注目され、実際様々なタイプものが使用されつつある。しかしカスタムメイドタイプと現在多くの選手に使用されている市販のタイプとでは、装着感はもとよりその安全性においても大きな隔りがある。すなわち、不適切なタイプでは異物感が強く、会話等を阻害し使用が不可能であったり、また外傷の予防に十分な衝撃吸収能を得るだけの厚みを確保するのは難しい。さらに、適切な咬合関係の付与がなされていないマウスガードでは、顎関節症を誘発してしまうケースが多く認められるばかりか、外力が加わった際に早期接触部位が支点となりかえって骨折の可能性を増大してしまう事になる。そこで、適切なマウスガードの啓発、普及が必要と考えられる。

Dent Traumatol 20(1), 12~20, 2004.

Dent Traumatol 20(1), 29~35, 2004.

歯科学報 103(9), 705~713, 2003.

3) マウスガードの物性に関して (A00-0790-2)(A00-0790-5)

適切なマウスガードは、十分な衝撃吸収能を有しかつ製作過程および使用により変形、損傷等起こしてはならない。衝撃吸収能は、その能力が高いほど歯牙および粘膜の保護、また下顎へ加わった衝撃の上顎歯列および頭蓋への緩衝に有効と考えられる。そこで、衝撃吸収能測定およびより高い安全な材料の開発を進め、さらに製作過程および加圧などの条件下における厚みの減少および変形量についても検討を行っている。また、若年者においてはマウスガードの装着が成長発育を阻害してはならないことより、この時期に適したマウスガード材の開発も行っている。さらにラミネートタイプのマウスガードの耐久性は、材料そのものの機械的強度もさる事ながら十分な接着強度が必要でありその定量および接着性の向上に及ぼす溶剤の使用、接着面の削合、加熱条件などについても多方面より検討している。

3. 学外共同研究

担当者	研究課題	学外研究施設		
		研究施設	所在地	責任者
石上 恵一	スポーツ選手の外傷認識度	日本大学歯学部	東京	月村 直樹
石上 恵一 武田 友孝	スポーツ選手の外傷認識度	慶熙大学	韓国	崔大 均
石上 恵一	マウスガード材の開発とその 衝撃吸収能について	自衛隊仙台病院	仙台市	片山幸太郎
石上 恵一	ラミネートマウスガードの接 着強さについて	モルテンメディカル	東京	播戸日出男
石上 恵一	聴性脳幹反応(ABR)と顎関節 の形態について	日本大学歯学部	東京	篠田 宏司
石上 恵一 武田 友孝	A study on the shock absorption ability of the mouthguard materials	シドニー大学歯学部 バイオマテリアル研究室	オーストラリア	Michael Swain
石上 恵一 武田 友孝	A study on the shock absorption ability of the mouthguard materials	香港大学&保存学教室	中国	Danny Low

#### 4. 研究活動の特記すべき事項

##### 学会等招待講演

講演者	年月日	演題	学会・研究会名	開催地
石上 恵一	2004. 6. 3	Sports Dentistry	The 1st Korean Academy of Sports Dentistry	Soul, Korea
石上 恵一	2004.10.30	マウスガードの科学	第20回日本歯科医学会総会	横浜市
石上 恵一	2004.11. 6	The 1st Training Program of Sports Dentistry : Mouthguard	The Korean Academy of Sports Dentistry	Soul, Korea
石上 恵一	2004.11.21	スポーツ外傷歯とマウスガード	第4回日本外傷歯学会総会・学術大会	東京

#### 5. 教育講演等教育に関する業績, 活動

##### 教育講演

講演者	年月日	演題	学会・研究会名	開催地
石上 恵一	2004. 4. 3	カスタムメイドタイプMGの調製法	東京歯科大学同窓会 船橋支部学術講演会	船橋市
石上 恵一	2004. 4.21	MGの有効性とその効果	東京都歯科医師会 世田谷支部学術講演会	東京
武田 友孝	2004. 5. 3	カスタムメイドタイプMGの必要性	東京都ラグビーフットボール協会 メディカルサポーター講習会	東京
石上 恵一	2004. 5.30	ふせごう歯周病、めざそう 8020・歯とスポーツ	毎日シンポジウム	東京
石上 恵一	2004. 6.19	MGの有効性とスポーツパフォーマンス	北海道歯科医師会 学術講演会	札幌市
石上 恵一	2004. 6.30	スポーツ選手も歯が命	自衛隊体育学校 学術研修会	朝霞市
武田 友孝	2004. 7. 1	カスタムメイドタイプMGの必要性	東京都ラグビーフットボール協会 メディカルサポーター講習会	東京
石上 恵一	2004. 7. 7	噛むことによる健康維持	千葉県市民大学講座	千葉市
武田 友孝	2004. 7.18	カスタムメイドタイプMGの必要性	千葉県ラグビーフットボール協会 安全対策講習会	千葉市
石上 恵一	2004. 8.26	スポーツ外傷とMGの有効性	群馬県桐生市 学校歯科会講演会	桐生市
石上 恵一	2004. 8.31	カスタムメイドタイプMGの調製法	東京都麻布赤坂歯科医師会 MG 実習セミナー	東京



講演者	年月日	演 題	学会・研究会名	開催地
石上 恵一	2004. 9.11	MGの有効性とスポーツパフォーマンス	東京都府中市 歯科医師会学術講演会	東京
中島 一憲	2004. 9.19	マウスガードの有効性	第 13 回歯みがき&デンタル カップミニサッカー大会	千葉市
武田 友孝	2004.10.25	スポーツ歯学の応用	上田小県歯科医師会 講演会	上田市
石上 恵一	2004.12. 2	MGの有効性とその効果	鶴見大学歯学部矯正学講座 同窓会学術講演会	横浜市
石上 恵一	2004.12. 9	スポーツ歯学	千葉県鴨川市亀田総合病院 学術講演会	鴨川市
石上 恵一	2005. 1.14	有名選手になるには歯が命	東京都歯科医師会 公衆衛生講話会	東京
石上 恵一	2005. 1.15	スポーツ選手は歯が命	東京都歯科医師会 公衆衛生学術講演会	東京
塩野 英明	2005. 1.23	ファイバーポスト併用レジン築造 と臼歯部審美修復	神奈川県歯科医師会 第 3 回学術大会	横浜市
中島 一憲	2005. 2. 6	スペシャルオリンピックスにおけ る MG の調製法のポイント	スペシャルオリンピックス・ ヘルシーアスリートプログラム・ スペシャルスマイル部内、 歯科ボランティア研修会	長野市
石上 恵一	2005. 2.23	MGの有効性とスポーツパフォーマンス	日本臨床矯正歯科医師会例会 学術講演会	東京

共用試験等

氏 名	年月日	種 別	役 割	開催地
中島 一憲	2004. 2.27	平成 16 年度第 4 学年 OSCE	評価者	千葉市

## 論文

1. Takeda,T., Ishigami,K., Ogawa,T., Nakajima,K., Shibusawa,M., Shimada,A.<sup>(1)</sup>, Regner,C.W.<sup>(2)</sup> : Are all mouthguards the same and safe to use? The influence of occlusal supporting mouthguards in decreasing bone distortion and fractures, *Dent Traumatol* **20**(3), 150 ~ 156, 2004. 原著 A-00-0790-2 (1)水病・スポーツ歯科,(2)Tokyo National College of Technology
2. Hoshina,S., Matsuzaka,K.<sup>(1)</sup>, Motoyoshi,Y.<sup>(1)</sup>, Koike,Y.<sup>(1)</sup>, Takeda,T., Ishigami,K., Inoue,T.<sup>(1)</sup> : Osteoblast-like cell behavior of rat bone marrow nuder continuous compressive force in vitro, *Biomed Res* **25**(3), 109 ~ 117, 2004. 原著 A-00-0790-2 (1)臨検査
3. 月村直樹<sup>(1)</sup>, 武田友孝, 小川 透, 中島一憲, 内藤 薫, 黒川勝英, 島田 淳<sup>(2)</sup>, 石上恵一, 富田貴志<sup>(1)</sup>, 石上友彦<sup>(1)</sup> : マウスガードの衝撃吸収能について, *日大歯学* **78**(2), 115 ~ 120, 2004. 原著 (1)日大・歯・補綴, (2)水病・スポーツ歯科

## その他

1. 武田友孝, 中島一憲, 川村慎太郎, 石上恵一 : カラーアトラス 改良型一枚法によるパキュームタイプマウスガード, *歯科学報* **105**(1), 33 ~ 35, 2005. A-00-0790-2

## 学会抄録

1. 内藤 薫, 黒川勝英, 保科早苗, 小川 透, 中島一憲, 島田 淳<sup>(1)</sup>, 武田友孝, 石上恵一, 石川達也<sup>(2)</sup> : 耳鼻科受診患者における歯科的アンケート(第 2 報), *日補綴歯会誌* **48**(111 回特別号), 111, 2004.(第 111 回日本補綴歯科学会学術大会, 東京) A-02-0790-15 (1)水病・スポーツ歯科,(2)保存 III
2. 黒川勝英, 奈良和彦, 半田 潤, 川村慎太郎, 小島一郎<sup>(1)</sup>, 澁澤真美, 小川 透, 中島一憲, 島田 淳<sup>(1)</sup>, 武田友孝, 石上恵一 : 咬みしめ時の歯のひずみに対するマウスガードの効果, *日補綴歯会誌* **48**(111 回特別号), 138, 2004.(第 111 回日本補綴歯科学会学術大会, 東京) A-00-0790-11 (1)水病・スポーツ歯科
3. Takeda,T., Ishigami,K., Handa,J., Shibusawa,M., Ogawa,T., Nakajima,K., Kawamura,S., Shimada,A.<sup>(1)</sup> : Does Hard Insertion and Space Improve Absorption Ability of Mouthguard?, *Academy for sports dentistry news letter* **21**(1), 7, 2004.(23rd International Academy for Sports dentistry, Cincinnati,USA) A-00-0790-2 (1)水病・スポーツ歯科
4. 内藤 薫, 澁澤真美, 黒川勝英, 小川 透, 中島一憲, 島田 淳<sup>(1)</sup>, 武田友孝, 石上恵一, 中島庸也<sup>(2)</sup>, 石川達也<sup>(3)</sup> : 耳鼻科受診患者における歯科的アンケート(第 3 報), *歯科学報* **104**(3), 82, 2004. (第 277 回東京歯科大学学会例会, 千葉市) A-02-0790-15 (1)水病・スポーツ歯科,(2)市病・耳鼻科,(3)保存 III
5. 石川 昂<sup>(1)</sup>, 黒田英孝<sup>(1)</sup>, 三条恵介<sup>(1)</sup>, 小松俊一<sup>(1)</sup>, 石上恵一, 武田友孝 : マウスガードにおける運動能力への影響, *日歯医師会誌* **57**(4), 150, 2004.(第 20 回日本歯科医学会総会, 横浜市) (1)東歯大・学生
6. 小川 透, 川村慎太郎, 澁澤真美, 内藤 薫, 宮島至郎, 半田 潤, 正村正仁, 中島一憲, 島田 淳<sup>(1)</sup>, 武田友孝, 石上恵一, 佐藤武司<sup>(1)</sup> : マウスガードに関する評価(その 2), *日補綴歯会誌* **48**(112 回特別号), 112, 2004. (第 112 回日本補綴歯科学会学術大会, 横須賀市) A-00-0790-8 (1)水病・スポーツ歯科

7. 川村慎太郎, 小川 透, 奈良和彦, 黒川勝英, 蛭川雅晴, 小島一郎<sup>(1)</sup>, 正村正仁, 中島一憲, 島田 淳<sup>(1)</sup>, 武田友孝, 石上恵一, 前田昌彦 : 各種マウスガードの厚みについて, 日補綴歯会誌 **48**(112 回特別号), 113, 2004.(第 112 回日本補綴歯科学会学術大会, 横須賀市) A00-0790-12 (1)水病・スポーツ歯科
8. 中島一憲, 黒川勝英, 川村慎太郎, 小川 透, 島田 淳<sup>(1)</sup>, 武田友孝, 石上恵一 : 口腔内環境の変化が打撃系格闘技の打突力に及ぼす影響, 歯科学報 **104**(5), 47, 2004. (第 278 回東京歯科大学学会総会, 千葉市) A-98-0508-2 (1)水病・スポーツ歯科
9. 正村正仁, 中島一憲, 小川 透, 川村慎太郎, 島田 淳<sup>(1)</sup>, 岩崎 浩<sup>(2)</sup>, 武田友孝, 宮沢裕夫<sup>(2)</sup>, 石上恵一 : 楔状欠損歯への耐衝撃性に関する検討, 第 4 回日本外傷歯学会総会・学術大会プログラム・抄録集, 55, 2004. (第 4 回日本外傷歯学会総会・学術大会, 東京) A-00-0790-10 (1)水病・スポーツ歯科,(2)松本歯大・大学院・健康増進口腔科学部門
10. 中島一憲, 内藤 薫, 黒川勝英, 半田 潤, 澁澤真美, 小川 透, 島田 淳<sup>(1)</sup>, 武田友孝, 石上恵一 : 咬みしめ時の歯のひずみに対するマウスガードの効果(第 2 報), 体力科学 **53**(6), 921, 2004.(第 59 回日本体力医学会大会, さいたま市) A-98-0508-2 (1)水病・スポーツ歯科
11. 五十嵐一誠<sup>(1)</sup>, 中島一憲, 武田友孝, 石上恵一 : 女子プロゴルファーにおける競技力を持続させるスプリントの考案, 神奈川県歯科医師会第 3 回学術大会事前抄録プログラム, 14, 2005.(神奈川県歯科医師会第 3 回学術大会, 横浜市) (1)神奈川県
12. 半田 潤, 川村慎太郎, 中島一憲, 宮島至郎, 黒川勝英, 小川 透, 島田 淳<sup>(1)</sup>, 武田友孝, 石上恵一 : マウスガード装着による下顎頭の偏位について, スポーツ歯 **8**(1), 88, 2005.(第 15 回日本スポーツ歯科医学会学術大会, 横浜市) A-00-0790-11 (1)水病・スポーツ歯科
13. 黒川勝英, 中島一憲, 小川 透, 小島一郎<sup>(1)</sup>, 蛭川雅晴, 澁澤真美, 島田 淳<sup>(1)</sup>, 武田友孝, 石上恵一 : ヒトは最大筋力発揮時に噛み締めを行うか?, スポーツ歯 **8**(1), 90, 2005.(第 15 回日本スポーツ歯科医学会学術大会, 横浜市) A-00-0790-11 (1)水病・スポーツ歯科
14. 川村慎太郎, 小川 透, 中島一憲, 小島一郎<sup>(1)</sup>, 半田 潤, 島田 淳<sup>(1)</sup>, 武田友孝, 石上恵一 : マウスガードの衝撃吸収能に関する研究 第一報:レジン板挿入およびスペースの影響 , スポーツ歯 **8**(1), 93, 2005.(第 15 回日本スポーツ歯科医学会学術大会, 横浜市) A-00-0790-12 (1)水病・スポーツ歯科
15. 奈良和彦, 中島一憲, 小川 透, 正村正仁, 内藤 薫, 島田 淳<sup>(1)</sup>, 武田友孝, 石上恵一 : マウスガード咬合面厚径の規格化および確保, スポーツ歯 **8**(1), 94, 2005.(第 15 回日本スポーツ歯科医学会学術大会, 横浜市) A-00-0790-5 (1)水病・スポーツ歯科
16. 正村正仁, 中島一憲, 小川 透, 黒川勝英, 島田 淳<sup>(1)</sup>, 武田友孝, 宮沢裕夫<sup>(2)</sup>, 石上恵一 : 高校生サッカー部員に対するマウスガードに関するアンケート調査, スポーツ歯 **8**(1), 96, 2005.(第 15 回日本スポーツ歯科医学会学術大会, 横浜市) A-00-0790-10 (1)水病・スポーツ歯科,(2)松本歯大・大学院・健康増進口腔科学部門
17. 鷹股哲也<sup>(1)</sup>, 倉澤郁文<sup>(2)</sup>, 武田友孝, 石上恵一 : 長野県中学校・高等学校における顎口腔領域のスポーツ外傷ならびにマウスガードに関するアンケート調査, スポーツ歯 **8**(1), 101, 2005.(第 15 回日本スポーツ歯科医学会学術大会, 横浜市) (1)松本歯大・歯・口診,(2)松本歯大・歯・補綴

18. 五十嵐一誠<sup>(1)</sup>, 中島一憲, 武田友孝, 石上恵一 : ハイブラーによるスプリント使用が一女子プロゴルファーの成績に与えた影響, スポーツ歯 8(1), 103, 2005.(第 15 回日本スポーツ歯科医学会学術大会, 横浜市) (1)神奈川県
19. 正村正仁, 武田友孝, 半田 潤, 川村慎太郎, 澁澤真美, 中島一憲, 島田 淳<sup>(1)</sup>, 岩崎 浩<sup>(2)</sup>, 宮沢裕夫<sup>(2)</sup>, 石上恵一 : アメリカンフットボールにおけるコンタクト時の衝撃力について, 日本フットボール学会プログラム・抄録集, 41, 2005.(第 2 回日本フットボール学会, 東京) A00-0790-10 (1)水病・スポーツ歯科,(2)松本歯大・大学院・健康増進口腔科学部門
20. 宮島至郎, 武田友孝, 澁澤真美, 黒川勝英, 内藤 薫, 中島一憲, 島田 淳<sup>(1)</sup>, 石上恵一 : ヘディング時の頭部衝撃力およびマウスガードの効果, 日本フットボール学会プログラム・抄録集, 74, 2005.(第 2 回日本フットボール学会, 東京) A-00-0790-18 (1)水病・スポーツ歯科
21. 蜷川雅晴, 武田友孝, 黒川勝英, 正村正仁, 川村慎太郎, 奈良和彦, 中島一憲, 島田 淳<sup>(1)</sup>, 石上恵一 : マウスガード使用前後におけるアンケート調査 ラグビー選手とサッカー選手での比較 , 日本フットボール学会プログラム・抄録集, 75, 2005.(第 2 回日本フットボール学会, 東京) A-00-0790-09 (1)水病・スポーツ歯科

## 14. 臨床検査学研究室

### プロフィール

#### 1. 教室員と主研究テーマ

教授	井上 孝	歯髄・歯根膜組織およびDental implant 周囲組織細胞の分化の解析
助教授	松坂 賢一	Dental implant の基礎的研究
病院助手	村上 聡	レーザーの生体組織への影響に関する基礎的研究
大学院生	小池 吉彦	エナメル基質タンパクの硬組織形成能に関する研究
	重原 聡	歯牙クローン
	国分 栄仁	歯根膜の tissue engineering
	田中 志歩	Dental implant の実験病理学的研究
	雨宮 花	歯根膜細胞の分子生物学的分析
	佐藤 大輔	創傷の治癒における細胞とメカニカルストレス
	中川 恵理	ニコチンと歯周組織の動態
専攻生	李 東湖	歯周組織の機械刺激による活性化
	小飼 英紀	歯根膜マラッセ上皮残遺細胞とメカニカルストレス

#### 2. 成果の概要

##### 1) 歯根膜組織およびDental implant 周囲組織細胞の分化の解析

本研究の目的は、歯根膜組織および歯槽骨の持つ特性やその動態を検索し、歯根膜細胞のセメント芽細胞への分化を引き起こす因子の解析や、歯槽骨新生のための要因を検討するとともに、歯科インプラント等の生体材料に対する生体の組織反応を検討し、歯根膜誘導の可能性を探ることである。歯根膜組織および歯槽骨の動態を検討するため、*in vivo* の実験系では移植や創傷治癒過程を検討するとともに、*in vitro* では、培養細胞を用いて、歯根膜組織および歯槽骨細胞の特性を検討して、骨芽細胞への分化増殖因子を検索している。さらに、インプラント材料や移植材料に対する反応を同様の実験系によって検討している。インプラント材料表面の微細構造が細胞動態に与える影響を検索したところ、骨芽細胞では、深さと幅が数 $\mu\text{m}$ の微細溝を有する材料上で、溝に沿って増殖、配列するとともに、石灰化能が上昇する。平成16年度には基質にナノレベルでのタンパク固定を行い、*in vitro* 的に細胞動態を検索した。

J Oral Tissue Eng 2(1), 69~79, 2004.

J Biomed Mater Res, 68A(2), 227~234, 2004.

Biomed Res 25(2), 61~68, 2004.

Biomed Res 25(3), 109~117, 2004.

Biomed Res 25(4), 165~170, 2004.

Biomed Res 25(6), 263~268, 2004.

## 2) 歯髄組織の動態解析

歯髄組織の発生，加齢変化，象牙芽細胞への分化，種々の薬剤に対する組織反応を検討することにより，歯髄組織の動態，象牙質形成能や歯髄組織保存の可能性を *in vivo* ならびに *in vitro* の系で検討する．これらの研究を遂行するためには，組織学的ならびに電子顕微鏡的検索を基本とした形態計測に加え，生化学的検索や RNA の発現，局在を検索するための *in situ* hybridization や RT-PCR 法，タンパク質の変化を western blot，免疫組織化学的検索，免疫電顕などの手法を用いる．平成 16 年度には半導体レーザーを歯牙に作用させ、歯髄内細胞の動態を検索した．

Biomed Res **25**(2), 105~108, 2004 .

Quintessence Int **35**(8), 605~611, 2004 .

Int Endod J **38**(4), 203~210, 2005 .

## 3) 口腔内病変に関する臨床研究

本研究は，東京歯科大学千葉病院および水道橋病院口腔外科において細胞診，組織診，手術材料として得られた口腔病変の検体を用いて，病理組織学的に検討すると共に，免疫組織化学的，超微構造的に検索し，腫瘍細胞の特性や腫瘍発生を明らかにしていく．平成 16 年度には唾液腺腫瘍と歯源性腫瘍の発生メカニズムの解析を症例からアプローチした．

小児歯誌 **42**(3), 447~452, 2004

Oral Medicine & Pathology **9**(2), 87~89, 2004 .

Bull Tokyo Dent Coll **45**(4), 223~227, 2004 .

Bull Tokyo Dent Coll **45**(4), 229~233, 2004 .

### 3. 学外共同研究

担当者	研究課題	学外研究施設		
		研究施設	所在地	責任者
井上 孝	象牙質・歯髄複合体の病態生理	アラバマ大学 バーミングハム校歯学部	アメリカ合衆国	S. Suzuki
井上 孝	ポーラスタイプインプラントの組織親和性	トロント大学歯学部	カナダ	D.A. Deporter
井上 孝 松坂 賢一	歯根膜細胞の再生とその機能	ブリティッシュコロンビア 大学歯学部	カナダ	D.M. Brunette
松坂 賢一	インプラントと組織界面	ナイメーヘン大学歯学部	オランダ	J. A. Jansen
井上 孝 松坂 賢一	インプラントと組織界面	日本大学歯学部	東京	小木曾文内

### 4. 科学研究費補助金・各種補助金

研究代表者	研究課題	研究費
井上 孝	唾液検査とオーダーメイド治療 (分担者: 松坂)	口腔科学研究センター
吉成 正雄	唾液タンパク質の吸着特性を制御した生体 新素材の開発(分担者: 井上、松坂)	口腔科学研究センター
石川 達也	唾液腺房細胞の活性化の機序に及ぼす レーザーの影響(分担者: 松坂)	口腔科学研究センター
高橋 潤一	象牙質知覚過敏症に伴う歯髄感覚の高次 中枢機能との関連(分担者: 松坂)	口腔科学研究センター
小木曾文内	新素材 Mineral Trioxide Aggregate (MTA) の基礎的研究 - 特に本材が歯髄・歯周組織 細胞の動態に与える影響について - (分担者: 井上)	科学研究費・基盤(C)
井上 孝	Tissue engineering により作られたハニカム 構造を持つ人工歯根膜	科学研究費・基盤(A)
井上 孝	Defensin 遺伝子導入による歯周病に罹患し 難い生体を作るプロジェクト(分担者: 松坂)	科学研究費・萌芽研究
松坂 賢一	ナノ制御されたマイクロ表面構造インプラント	科学研究費・若手(B)

## 5. 研究活動の特記すべき事項

## シンポジウム

シンポジスト	年月日	講演演題	学会・研究会名	開催地
井上 孝	2004. 6. 4	Pre-requisite factors of implant success	Japan ITI symposium 2004	東京
井上 孝	2004.10.30	インプラント治療を論証する	日本歯科医学会総会	横浜市

## 学会等招待講演

講演者	年月日	演 題	学会・研究会名	開催地
井上 孝	2004. 7. 18	骨補填材と骨形成そして即時荷重と早期荷重	第 24 回 日本口腔インプラント学会 関東地方会・特別講演	東京
井上 孝	2004.10.24	Pathology of Bone graft of Dental Implant	日韓合同歯科インプラント 研究会・特別講演	東京
井上 孝	2004.12. 5	歯科人間ドックにおける臨床検査	日本歯科人間ドック学会 特別講演	東京
井上 孝	2004.11. 7	歯周病と歯科衛生士の役割	大分県歯科衛生士学会 特別講演	別府市
井上 孝	2005. 2. 6	レーザー治療による歯髄治療 - 医学と医療の接点から -	レーザー研究会・ 特別講演	東京

## 6. 教育講演等教育に関する業績, 活動

## 教育講演

講演者	年月日	演 題	学会・研究会名	開催地
井上 孝	2004. 4. 18	インプラント体と生体の反応、口腔 粘膜の治癒と骨の治癒および骨代謝	九州インプラント研究会 (認定医養成講座)	熊本市
井上 孝	2004. 4. 25	インプラント周囲組織の病理像と 生体材料	新潟再生医療研究会 (認定医養成講座)	新潟市
井上 孝	2004. 5. 9	歯根膜とセメント質のエヴィデンス	岡山県シジフォス	岡山市
井上 孝	2004. 5. 15	インプラントに対する生体反応、 病理・病態	日本歯科先端技術研究所 (認定医養成講座)	東京
井上 孝	2004. 5. 23	インプラントにおける病理的な 基礎知識	日本インプラント臨床 研究会(認定医養成講座)	東京
井上 孝	2004. 5. 22	インプラントの病理	京都インプラント研究会 (認定医養成講座)	京都市
井上 孝	2004. 5. 26	常態と病態	東京歯科大学 千代田区支部・三水会	東京



講演者	年月日	演題	学会・研究会名	開催地
井上 孝	2004. 6.12	インプラントの病態	日本口腔インプラント学会 (認定医養成講座)	東京
井上 孝	2004. 6.13	インプラント周囲組織の病理	総合インプラント臨床 研究会(認定医養成講座)	東京
井上 孝	2004. 6.20	インプラント周囲組織の病理	日本臨床器材研究所 (認定医養成講座)	大阪市
井上 孝	2004. 7.15	インプラントのエビデンス	新潟S.J.C.D 学術講演会	新潟市
井上 孝	2004. 7.21	歯髓の病態	東京歯科大学 千代田区支部・三水会	東京
井上 孝	2004. 7.25	インプラント治療と臨床検査の 考え方	プラトンセミナー	東京
井上 孝	2004. 7.31	病理と病態	嵌植義歯研究所 (認定医養成講座)	仙台市
井上 孝	2004. 8.29	置換医療から再生医療へ、 基礎からの提言	東京歯科大学 愛知県同窓会講演会	名古屋市
井上 孝	2004. 9.11	インプラント周囲組織の病理	北海道形成歯科研究会 (認定医養成講座)	札幌市
井上 孝	2004. 9.12	新世紀における歯科医療の エビデンスを考える	福岡県歯科医学会・ 特別講演	福岡市
井上 孝	2004. 9.27	社会保険報酬支払いのエビデンス を探る	東京都社会保険審査 委員会講演	東京
井上 孝	2004.10.20	歯根膜の病態	東京歯科大学 千代田区支部・三水会	東京
井上 孝	2004.10.21	歯科臨床をささえる根拠を探る	CDC 講演会	東京
井上 孝	2004.10.24	歯科治療におけるエビデンスを探る	杉並区歯科医師会 学術大会特別講演	東京
井上 孝	2004.11.21	インプラント治療の有用性	愛知県歯科医師会 講演会	名古屋市
井上 孝	2005. 2.23	インプラントと再生医療	東京歯科大学 千代田区支部・三水会	東京
井上 孝	2005. 2.16	歯科治療でいかにして口腔病態を 常態に戻すか	松風講演会	東京
井上 孝	2005. 2.25	病理学からみたインプラント	板橋区歯科医師会講演会 (水橋会)	東京

教育ワークショップ等

氏名	年月日	ワークショップ名	役割	開催地
井上 孝 松坂 賢一	2004.11.25	東京歯科大学カリキュラム研修ワークショップ第1回アドバンスコース	参加者	千葉市
井上 孝	2004.12.9	東京歯科大学カリキュラム研修ワークショップ第2回アドバンスコース	講師	東京
井上 孝	2005.1.13	東京歯科大学カリキュラム研修ワークショップ第3回アドバンスコース	講師	千葉市

共用試験等

氏名	年月日	種別	役割	開催地
松坂 賢一	2005.2.9	平成16年度第4学年CBT	試験委員	千葉市
松坂 賢一	2005.2.27	平成16年度第4学年OSCE	評価者	千葉市
松坂 賢一	2005.3.8	平成16年度第4学年CBT 追・再試	試験委員	千葉市

## 論 文

1. Matsuzaka,K., Koike,Y., Yakushiji,T.<sup>(1)</sup>, Shimono,M.<sup>(2)</sup>, Inoue,T. : Intravascular papillary endothelial hyperplasia arising from the upper lip, Bull Tokyo Dent Coll **44**(2), 55 ~ 59, 2003. 症例 平成 15 年度分 細形研 (1)口外 I, (2)病理
2. Murakami,S., Koike,Y., Matsuzaka,K., Oohata,H.<sup>(1)</sup>, Uchiyama,T.<sup>(1)</sup>, Inoue,T. : A case of calcifying odontogenic cyst with numerous calcifications: immunohistochemical analysis, Bull Tokyo Dent Coll **44**(2), 61 ~ 66, 2003. 症例 平成 15 年度分 細形研 (1)口外 II
3. Yoshinari,M.<sup>(1)</sup>, Hayakawa,T.<sup>(2)</sup>, Matsuzaka,K., Inoue,T., Oda,Y.<sup>(1)</sup> : Immobilization of fibronectin onto organic hexamethyldisiloxane coatings with plasma surface modification-analysis of fibronectine adsorption using quartz crystal microbalance-dissipation technique-, J Oral Tissue Eng **2**(1), 69 ~ 79, 2004. 原著 HRC5A03 平成 15 年度分 生素研 (1)理工,(2)Dept. of Dental Materials
4. Shiigai,T.<sup>(1)</sup>, Shimono,M.<sup>(1)</sup>, Yoshinari,M.<sup>(2)</sup>, Matsuzaka,K., Inoue,T. : The effect of substrate pore size on the differentiation of L929 fibroblast cells: Morphological observations and expression of type collagen mRNA, Biomed Res **25**(2), 61 ~ 68, 2004. 原著 HRC5A08 細形研 (1)病理,(2)理工
5. Usuda,J.<sup>(1)</sup>, Hashimoto,S.<sup>(1)</sup>, Enokiya,Y.<sup>(1)</sup>, Inoue,T., Shimono,M.<sup>(1)</sup> : Proliferative activities of epithelial and connective tissue cells in the rat periodontal regeneration using argyrophilic nucleolar organizer regions staining, J Period Res **25**(2), 61 ~ 68, 2004. 原著 HRC5A08 分子生研 (1)病理
6. Matsuzaka,K., Miyake,N.<sup>(1)</sup>, Takahashi,K.<sup>(2)</sup>, Ohta,K.<sup>(3)</sup>, Hattori,M.<sup>(4)</sup>, Muramatsu,T.<sup>(5)</sup>, Satou,T.<sup>(6)</sup>, Oda,Y.<sup>(4)</sup>, Shimono,M.<sup>(5)</sup>, Ishikawa,T.<sup>(2)</sup> : Transformation of hydroxyapatite surface characteristics during diode laser irradiation, Biomed Res **25**(2), 105 ~ 108, 2004. 原著 HRC5A03 生素研,生素研 (1)水病・補綴科,(2)保存 III, (3)生化学,(4)理工,(5)病理,(6)補綴 II
7. 林 芳裕<sup>(1)</sup>, 片倉 朗<sup>(2)</sup>, 黒須美佳<sup>(1)</sup>, 松坂賢一, 薬師寺 仁<sup>(1)</sup> : 6 歳男児に認められた歯牙腫を伴う石灰化歯原性嚢胞の 1 例, 小児歯誌 **42**(3), 447 ~ 452, 2004. 症例 (1)小児歯,(2)口外 I
8. Matsuzaka,K., Shibahara,T.<sup>(1)</sup>, Murakami,S., Lee,D., Shimono,M.<sup>(2)</sup>, Inoue,T. : Acinic cell carcinoma found by recurrence of a mucous cyst in the sublingual gland, Bull Tokyo Dent Coll **45**(2), 95 ~ 98, 2004. 症例 細形研 (1)口外 I,(2)病理
9. Matsuzaka,K., Koeda,H.<sup>(1)</sup>, Watanabe,H.<sup>(2)</sup>, Oohata,H.<sup>(2)</sup>, Shimono,M.<sup>(3)</sup>, Inoue,T. : Completely isolated arteriovenous hemangioma in the tongue, Oral Med Pathol **9**(2), 87 ~ 89, 2004. 症例 細形研 (1)みつわ台総合病院・歯口外,(2)口外 II,(3)病理
10. Hoshina,S.<sup>(1)</sup>, Matsuzaka,K., Motoyoshi,Y., Koike,Y., Takeda,T.<sup>(1)</sup>, Ishigami,K.<sup>(1)</sup>, Inoue,T. : Osteoblast-like cell behavior of rat bone marrow cell under continuous compressive force in vitro, Biomed Res **25**(3), 109 ~ 117, 2004. 原著 HRC5A08 細形研 (1)スポーツ歯
11. 井上 孝, 松坂賢一 : 自家歯牙移植における創傷の治癒過程, 日歯評論 **64**(6), 69 ~ 77, 2004. 総説 細形研, 生素研

12. Matsuzaka,K., Ohta,K.<sup>(1)</sup>, Takahashi,K.<sup>(2)</sup>, Miyake,N.<sup>(3)</sup>, Hattori,M.<sup>(4)</sup>, Muramatsu,T.<sup>(5)</sup>, Satou,T.<sup>(6)</sup>, Oda,Y.<sup>(4)</sup>, Shimono,M.<sup>(5)</sup>, Ishikawa,T.<sup>(2)</sup> : Effect of a diode laser on cell proliferation, alkaline phosphatase activity, and osteopontin mRNA expression in proliferating and in differentiating osteoblastic cells, *Biomed Res* **25**(4), 165 ~ 170, 2004. 原著 HRC5A03 細形研,分子生研,細生研,生素研 実動施設 (1)生化学,(2)保存 III,(3)水病・補綴科,(4)理工,(5)病理,(6)補綴 II
13. 井上 孝 : 歯髓覆髓の考え方, *日歯医師会誌* **57**(5), 539 ~ 546, 2004. 総説 細形研
14. Shima,K.<sup>(1)</sup>, Hashimoto,S.<sup>(1)</sup>, Muramatsu,T.<sup>(1)</sup>, Takasaki,Y.<sup>(2)</sup>, Kakizawa,T.<sup>(2)</sup>, Inoue,T., Shimono,M.<sup>(1)</sup> : Expression of Ki-67, osteocalcin and osteopontin in cementoblastoma, *Oral Med Pathol* **9**(3), 91 ~ 94, 2004. 症例 細形研 (1)病理,(2)水病・口外科
15. Hosoya,Y.<sup>(1)</sup>, Matsuzaka,K., Inoue,T., Marshall, Jr,G.W.<sup>(2)</sup> : Influence of tooth-polishing pastes and sealants on DIAGNOdent values, *Quintessence Int* **35**(8), 605 ~ 611, 2004. 原著 (1)長崎大・小児歯科,(2)Div. of Biomaterials and Bioengineering, Dep. of Preventive and Restorative Dental Science
16. Nishimura,M.<sup>(1)</sup>, Abiko,Y.<sup>(1)</sup>, Kurashige,Y.<sup>(1)</sup>, Takeshima,M.<sup>(1)</sup>, Yamazaki,M.<sup>(1)</sup>, Kusano,K.<sup>(1)</sup>, Saitoh,M.<sup>(2)</sup>, Nakashima,K.<sup>(3)</sup>, Inoue,T., Kaku,T.<sup>(1)</sup> : Effect of defensin peptides on eukaryotic cells: primary epithelial cells, fibroblasts and squamous cell carcinoma cell lines, *J Dermatol Sci* **36**(2), 87 ~ 95, 2004. 原著 (1)北医大・歯・口病,(2)北医大・歯・小児歯,(3)北医大・歯・歯周
17. 松坂賢一 : ミクロ・ナノ制御素材と生体内 Tissue Engineering, *歯科学報* **104**(6), 553 ~ 560, 2004. 総説 細形研, 生素研
18. 吉成正雄<sup>(1)</sup>, 松坂賢一, 井上 孝, 小田 豊<sup>(1)</sup>, 下野正基<sup>(2)</sup>, 早川 徹<sup>(3)</sup> : 超親水性表面は骨芽細胞の増殖を促進する, *日再生歯医会誌* **2**(1), 20 ~ 28, 2004. 原著 細形研,生素研 (1)理工,(2)病理,(3)日大・松戸歯・理工
19. 中山 敦<sup>(1)</sup>, 井上 孝 : 歯槽提保存術に用いられる実験的パテ材を混合させた同種移植材と、ウシ由来の異種在植材の比較:ヒトにおける臨床的、組織学的研究, *Quintessence Dent Imp* **12**(1), 75 ~ 82, 2005. 原著 (1)日大・歯・歯内
20. Wakoh,M.<sup>(1)</sup>, Yonezu,H.<sup>(2)</sup>, Otonari,T.<sup>(1)</sup>, Sano,T.<sup>(1)</sup>, Matsuzaka,K., Inoue,T., Wada,N.<sup>(3)</sup> : Two cases of schwannoma with marked cystic changes, *Dentomaxillofac Radiol* **34**(1), 44 ~ 50, 2005. 症例 (1)歯放,(2)口外 II,(3)千葉脳外科病院
21. Inoue,T., Matsuzaka,K., Yoshinari,M.<sup>(1)</sup>, Tanaka,T.<sup>(2)</sup>, Abiko,Y.<sup>(3)</sup>, Shimono,M.<sup>(4)</sup> : Current dental implant research, *Dent Jpn* **41**, 196 ~ 213, 2005. 総説 HRC5A03 細形研,生素研 (1)理工,(2)九大・口解,(3)北医大・歯・口病,(4)病理
22. Nakayama,A.<sup>(1)</sup>, Ogiso,B.<sup>(1)</sup>, Tanabe,N.<sup>(1)</sup>, Matsuzaka,K., Inoue,T. : Behaviour of bone marrow osteoblast-like cells on mineral trioxide aggregate-Morphology and expression of type collagen and bone related protein mRNAs-, *Int Endod J* **38**(4), 203 ~ 210, 2005. 原著 細形研,分子生研 (1)日大・歯・歯内
23. Matsuzaka,K., Yoshinari,M.<sup>(1)</sup>, Kokubu,E., Shimono,M.<sup>(2)</sup>, Inoue,T. : Behavior of osteoblast-like cells on fibronectin or BMP-2 immobilized surface, *Biomed Res* **25**(6), 263 ~ 268, 2005. 原著 細形研,生素研 (1)理工,(2)病理

24. Sakamoto,K., Matsuzaka,K., Yama,M.<sup>(1)</sup>, Kakizawa,T.<sup>(1)</sup>, Inoue,T. : A case of leiomyosarcoma arising from the tongue, Oral Oncology EXTRA(41), 49 ~ 52, 2005. 症例 細形研 (1)水病・口外科

## 単行図書

1. 井上 孝(a): 著分担 :Ultimate Guide IMPLANTS (a)代謝と治療のメカニズム 38 ~ 53 頁, 医歯薬出版, 東京, 2004. 細形研,生素研
2. 井上 孝(a): 著分担 :Ultimate Guide IMPLANTS (a)インプラントの未来 442 ~ 445 頁, 医歯薬出版, 東京, 2005. 細形研,生素研

## プロシーディングス

1. Yoshinari,M.<sup>(1)</sup>, Hayakawa,T.<sup>(2)</sup>, Matsuzaka,K., Inoue,T., Oda,Y.<sup>(1)</sup>, Shimono,M.<sup>(3)</sup> : Calcium phosphate thin coatings created by ion beam dynamic mixing method and bisphosphonate-immobilization, 7th World Biomaterials Congress(CD-ROM), #306, 2004.(7th World Biomaterials Congress, Sydney, Australia) シンポジウム 細形研,細生研,分析生研,生素研 実動施設 (1)理工,(2)日大・松戸歯・理工,(3)病理

## その他

1. 井上 孝 : 今月号の用語解説 生理活性因子, デンタルハイジーン 24(5), 489, 2004.
2. 井上 孝, 茂木美保<sup>(1)</sup> : 'なんだろう' 10 歯周病克服への道, デンタルハイジーン 24(4), 336 ~ 337, 2004. (1)住友商事(株)歯科診療所
3. 井上 孝, 武田孝之<sup>(1)</sup> : アレルギー反応, 歯界展望 103(4), 743 ~ 748, 2004. (1)東京都
4. 井上 孝, 茂木美保<sup>(1)</sup> : 'なんだろう' 11 医学一流、医療一流を目指そう!, デンタルハイジーン 24(5), 438 ~ 439, 2004. (1)住友商事(株)歯科診療所
5. 井上 孝, 武田孝之<sup>(1)</sup> : 創傷の治癒と遺伝子診断, 歯界展望 103(5), 1013 ~ 1018, 2004. (1)東京都
6. 井上 孝, 茂木美保<sup>(1)</sup> : 'なんだろう' 12' なんだろう?' が大切な理由 完, デンタルハイジーン 24(6), 536 ~ 537, 2004. (1)住友商事(株)歯科診療所
7. 井上 孝, 武田孝之<sup>(1)</sup> : 創傷の治癒と再生医療 置換医療から再生医療へ , 歯界展望 103(6), 1179 ~ 1190, 2004. (1)東京都
8. 井上 孝, 茂木美保<sup>(1)</sup> : 'なんだろう' 特別対談' なんだろう?' を大切に!, デンタルハイジーン 24(7), 674 ~ 675, 2004. (1)住友商事(株)歯科診療所
9. 井上 孝 : :歯科の論法の矛盾, デンタルダイヤモンド 29(7), 17, 2004.
10. 井上 孝 : 臨床検査のススメ,備えて安心チェアサイドの主訴対応マニュアル, デンタルダイヤモンド 29(10), 166 ~ 170, 2004.

11. 井上 孝：携帯電話と部活，デンタルダイヤモンド 29(12), 17, 2004.
12. 井上 孝, 森本光明<sup>(1)</sup>：口腔内金属アレルギーの臨床検査と診断・治療，アレルギー科 18(5), 449～489, 2004.  
(1)市病・オーラルメディスン
13. 村上 聡, 井上 孝：Q&A Q 歯垢染色剤による人体への影響，デンタルダイヤモンド 29(16), 102～103, 2004.
14. 井上 孝, 矢島安朝<sup>(1)</sup>：歯を植える 歯を作る時代へ，デンタルダイヤモンド 29(16), 134～135, 2004. (1)口外I
15. 井上 孝, 松坂賢一, 村上 聡：歯科診療室で役立つ簡易検査法，東京歯医師会誌 52(12), 737～747, 2004.
16. 井上 孝, 松坂賢一：自家歯牙移植における創傷の治癒過程，日歯評論 64(6), 69～77, 2004.
17. 井上 孝：特集 歯科医療の舞台裏 ，鳥取県歯科医学雑誌 17(1), 1～23, 2004.
18. 井上 孝：インプラント治療と技巧に必要な生物学的基礎知識，歯科技工別冊 インプラントの技工，12～15, 2004.
19. 井上 孝：先入観そして慣例，デンタルダイヤモンド 30(1), 17, 2005.
20. 井上 孝：匠の世界を脱却しよう 臨床の「匠」と基礎の「興味」の行方 ，日歯評論 65(1), 69～72, 2005.
21. 鶴岡守人<sup>(1)</sup>, 井上 孝：異なるインプラント表面周囲の組織破壊に関する実験：イヌを用いた臨床的ならびに放射線学的評価,, Quintessence Dent Imp 12(2), 202～204, 2005. (1)補綴I
22. 井上 孝：分化系の歯科，GC Circle 112, 3, 2005.
23. 井上 孝：シリーズ[歯科医院での感染症対策] 歯科医院における血液検査，東京歯科保険医新聞 409, 6, 2005.
24. 井上 孝：今月号の用語解説 シャーピー線維，デンタルハイジーン 24(4), 389, 2005.

## 学会抄録

1. 松坂賢一, 吉成正雄<sup>(1)</sup>, 国分栄仁, 小池吉彦, 井上 孝：ナノ・マイクロ構造を付与した生体材料の可能性，日口腔インプラント会誌 17(3), 367～368, 2004.(第21回九州支部総会, 別府市) 細形研,生素研 (1)理工
2. Ishikawa,T.<sup>(1)</sup>, Shimono,M.<sup>(2)</sup>, Oda,Y.<sup>(3)</sup>, Satou,T.<sup>(4)</sup>, Muramatsu,T.<sup>(2)</sup>, Matsuzaka,K., Miyake,N.<sup>(5)</sup>, Hattori,M.<sup>(3)</sup>, Takahashi,K.<sup>(1)</sup>, Ohta,K.<sup>(6)</sup>：Influences of laser on the activity of salivary acinar cells, Bull Tokyo Dent Coll 45(2), 142～143, 2004.(Workshop 2003 Oral Health Science Center Tokyo Dental College, Chiba) (1)保存 III,(2)病理,(3)理工,(4)補綴 II,(5)水病・補綴科,(6)生化学

3. Inoue,T., Matsuzaka,K., Shimono,M.<sup>(1)</sup>, Yoshinari,M.<sup>(2)</sup>, Yamanaka,S.<sup>(3)</sup>, Tazaki,M.<sup>(4)</sup>, Ishikawa,T.<sup>(5)</sup>, Yamada,S.<sup>(6)</sup>, Kubo,S.<sup>(7)</sup>, Sekine,H.<sup>(8)</sup>, Motegi,E.<sup>(9)</sup>, Yajima,Y.<sup>(10)</sup>, Shintani,M.<sup>(11)</sup>, Ishizaki,K.<sup>(12)</sup> : Saliva examination and order-made therapy, Bull Tokyo Dent Coll **45**(2), 150 ~ 151, 2004.(Workshop 2003 Oral Health Science Center Tokyo Dental College., Chiba) HRC5A03 細形研,生素研 (1)病理,(2)理工,(3)衛生,(4)生理,(5)保存 III,(6)保存 II,(7)小児歯,(8)補綴 III,(9)矯正,(10)口外 I,(11)脳科学研究施設,(12)補綴 I
4. 吉成正雄<sup>(1)</sup>, 松坂賢一, 井上 孝, 小田 豊<sup>(1)</sup>, 下野正基<sup>(2)</sup> : 骨粗鬆症治療薬 Bisphosphonate を固定したチタンインプラントの骨反応, 日口腔インプラント会誌 **17**(2), 73, 2004.(第 23 回日本口腔インプラント学会関東・甲信越支部総会, 東京) 細形研,生素研 (1)理工,(2)病理
5. 諏訪文彦<sup>(1)</sup>, 井上 孝 : イミディエートローディングの可能性 その Evidence を求めて , 日口腔インプラント会誌 **17**(2), 291, 2004.(日本口腔インプラント学会第 23 回近畿・北陸支部総会, 京都市) シンポジウム 細形研,生素研 実動施設 (1)大歯大・解剖
6. 松坂賢一 : ミクロ・ナノ制御素材と Tissue Engineering, 歯科学報 **104**(3), 343, 2004.(第 277 回東京歯科大学学会例会, 千葉市) 学長奨励研究報告 細形研,生素研
7. 国分栄仁, 吉成正雄<sup>(1)</sup>, 太田 卓<sup>(2)</sup>, 元吉康乃, 小池吉彦, 村上 聡, 松坂賢一, 井上 孝 : 歯根膜線維芽細胞に対する b-FGF2 の影響について, 歯科学報 **104**(3), 352, 2004.(第 277 回東京歯科大学学会例会, 千葉市) 細形研,生素研 (1)理工,(2)保存 II
8. 坂本貴和子, 別所央城<sup>(1)</sup>, 武田栄三<sup>(1)</sup>, 田崎裕紀<sup>(2)</sup>, 田崎雅和<sup>(2)</sup>, 矢島安朝<sup>(1)</sup>, 松坂賢一, 井上 孝 : ヒトは目で味を感じる MEG による検討 , 歯科学報 **104**(3), 375, 2004.(第 277 回東京歯科大学学会例会, 千葉市) 脳科学研 (1)口外 I,(2)生理
9. 本橋佳子<sup>(1)</sup>, 中嶋英乃<sup>(1)</sup>, 澁井武夫<sup>(1)</sup>, 中野洋子<sup>(1)</sup>, 内山健志<sup>(1)</sup>, 牛田永子<sup>(2)</sup>, 久保周平<sup>(2)</sup>, 井上 孝, 川原由里香<sup>(3)</sup> : 口唇裂・口蓋裂児の早期口腔清拭指導の試み(第 1 報) 指導前の患児と母の齶触活動性試験について , 歯科学報 **104**(3), 379, 2004.(第 277 回東京歯科大学学会例会, 千葉市) 細形研 (1)口外 II,(2)小児歯,(3)千病・臨検
10. 吉成正雄<sup>(1)</sup>, 武本真治<sup>(1)</sup>, 服部雅之<sup>(1)</sup>, 河田英司<sup>(1)</sup>, 小田 豊<sup>(1)</sup>, 松坂賢一, 井上 孝, 下野正基<sup>(2)</sup> : 表面改質によるチタンインプラントの生体機能化, 日歯医師会誌 **57**(4), 422, 2004.(第 20 回日本歯科医学会総会, 横浜市) (1)理工,(2)病理
11. 鈴木憲久<sup>(1)</sup>, 与謝野 明<sup>(1)</sup>, 山内智博<sup>(1)</sup>, 矢島安朝<sup>(1)</sup>, 野間弘康<sup>(1)</sup>, 井上 孝, 才藤純一<sup>(2)</sup>, 和光 衛<sup>(3)</sup> : TS-1 投与が著効した進行上顎癌の 1 例, 歯科学報 **104**(4), 471, 2004.(第 177 回日本口腔科学会関東地方会, 川崎市) (1)口外 I,(2)千病・臨検,(3)歯放
12. 国分栄仁, 吉成正雄<sup>(1)</sup>, 小池吉彦, 松坂賢一, 井上 孝 : FGF-2 はインプラント周囲の歯根膜作製を可能にする, 日本再生歯科医科学会誌 **2**(1), 72, 2004.(第 2 回日本再生歯科医学会学術大会および総会, 札幌市) 生素研 (1)理工
13. 横尾恵子<sup>(1)</sup>, 野村武史<sup>(1)</sup>, 古谷義隆<sup>(1)</sup>, 山口晋一<sup>(1)</sup>, 矢島安朝<sup>(1)</sup>, 野間弘康<sup>(1)</sup>, 村上 聡, 松坂賢一,井上 孝 : 多形成腺腫と悪性組織球腫の衝突腫瘍の 1 例, 日口腔腫瘍学会誌 **16**(3), 155, 2004.(第 22 回日本口腔腫瘍学会総会, 金沢市) (1)口外 I

14. 桑山真寧<sup>(1)</sup>, 東田亜樹子<sup>(1)</sup>, 菊池徹行<sup>(1)</sup>, 高野正行<sup>(1)</sup>, 柿澤 卓<sup>(1)</sup>, 松坂賢一, 井上 孝 : 上顎洞進展型の嚢胞内に発生した扁平上皮癌の 1 例, 日口腔腫瘍会誌 **16**(3), 155, 2004.(第 22 回日本口腔腫瘍学会総会, 金沢市) (1)水病・口外科
15. 井上 孝 : インプラントのエヴィデンス 2003, 日口腔インプラント会誌 **17**(3), 367, 2004.(第 21 回日本口腔インプラント学会九州支部総会, 別府市) 特別講演 生素研
16. 坂本貴和子, 田崎雅和<sup>(1)</sup>, 田崎裕紀<sup>(1)</sup>, 松坂賢一, 井上 孝 : 視覚刺激による島皮質の応答 MEG のよる検索, J Oral Biosci **46**(5), 126, 2004.(第 46 回歯科基礎医学会学会大会ならびに総会, 広島市) 脳科学研 (1)生理
17. 松坂賢一 : multi-groove の培養骨芽細胞様細胞に対する影響, 歯科学報 **104**(5), 505 ~ 506, 2004.(第 278 回東京歯科大学学会総会, 千葉市) 細形研,生素研
18. 松木美和子<sup>(1)</sup>, 橋本貞充<sup>(1)</sup>, 嶋 香織<sup>(1)</sup>, 佐々木穂高<sup>(1)</sup>, 中野洋子<sup>(2)</sup>, 齋藤 力<sup>(2)</sup>, 柴原孝彦<sup>(3)</sup>, 畑田憲一<sup>(3)</sup>, 松井 隆<sup>(4)</sup>, 井上 孝, 下野正基<sup>(1)</sup> : 口腔領域にみられた sinusoidal hemangioma の 5 例, 歯科学報 **104**(5), 511, 2004.(第 278 回東京歯科大学学会総会, 千葉市) (1)病理,(2)口外 II,(3)口外 I,(4)水病・口外科
19. 中山 敦<sup>(1)</sup>, 小池吉彦, 村上 聡, 松坂賢一, 井上 孝 : Mineral trioxide aggregate(MTA)の培養ラット骨髄幹細胞における影響 形態学的観察および 型コラーゲン,骨関連タンパクの mRNA 発現について , 歯科学報 **104**(5), 517, 2004.(第 278 回東京歯科大学学会総会, 千葉市) 細形研,生素研 (1)日大・歯・歯内
20. 太田 卓<sup>(1)</sup>, 山田 了<sup>(1)</sup>, 国分栄仁, 松坂賢一, 井上 孝 : ラット歯根膜幹細胞の治癒動態, 歯科学報 **104**(5), 519, 2004.(第 278 回東京歯科大学学会総会, 千葉市) 細形研 (1)保存 II
21. Walboomers,F.X.<sup>(1)</sup>, Bruckmann,C.<sup>(1)</sup>, Matsuzaka,K., Jansen,J.<sup>(1)</sup> : Periodontal ligament and Gingival fibroblast adhesion to dentin-like textured surfaces, Biomaterials **26**(3), 339 ~ 346, 2005.( 2nd IADR Chinese Divisional Travel Award, China) 脳科学研 (1)University of Nijmegen
22. Kokubu,E., Yoshinari,M.<sup>(1)</sup>, Sato,D., Koike,Y., Matsuzaka,K., Inoue,T. : Formation of periodontal ligament around titanium implant using FGF2, J Dent Res (CD-ROM) **84**(Special Issue A), #0312, 2005.(83rd General Session & Exhibition of the IADR / AADR / CADR, Baltimore, USA) 細形研,生素研 (1)理工
23. Koike,Y., Murakami,S., Matsuzaka,K., Inoue,T. : The effect of EMDOGAIN on ectopic bone formation with BMP, J Dent Res (CD-ROM) **84**(Special Issue A), #1117, 2005.(83rd General Session & Exhibition of the IADR / AADR / CADR, Baltimore, USA) 細形研,分子生研
24. Ohta,S.<sup>(1)</sup>, Yamada,S.<sup>(1)</sup>, Kokubu,E., Matsuzaka,K., Inoue,T. : Behavior of stem cells of periodontal ligament during wound healing, J Dent Res (CD-ROM) **84**(Special Issue A), #1118, 2005.(83rd General Session & Exhibition of the IADR / AADR / CADR, Baltimore, USA) 細形研 (1)保存 II
25. Murakami,S., Koide,N., Koike,Y., Matsuzaka,K., Inoue,T. : Electron microscopic observations on CO2 Laser irradiation to oral mucosa, J Dent Res (CD-ROM) **84**(Special Issue A), #3589, 2005.(83rd General Session & Exhibition of the IADR / AADR / CADR, Baltimore, USA) HRC5A03 細形研 実動施設



26. 井上 孝 : 歯科人間ドッグにおける臨床検査, 第 7 回日本歯科人間ドック大会学術大会プログラム, 10~11,  
2005.(第 7 回日本歯科人間ドック大会学術大会, 東京)

## プロフィール

### 1. 教室員と主研究テーマ

助 教 授 大原 正志 *Helicobacter pylori* 除菌療法の排菌以外の効果についての検討  
*Helicobacter pylori* 感染と胃癌発生についての遺伝子学的解析  
慢性腎不全透析患者における胃底腺粘膜再生に関わる検討

### 2. 成果の概要

#### 1) 胃粘膜傷害発症の炎症・免疫学的解析

胃粘膜傷害の発生は、*H. pylori*, NSAIDs などの因子による非特異的反応であると考えられてきた。我々は、胃粘膜傷害を炎症・免疫学的に解析して、胃粘膜傷害は *H. pylori* 感染に関わらず、特異的 CTL に誘導される特異的炎症・免疫反応である可能性と CTL を誘導する *H. pylori* 以外の抗原性物質存在の可能性を報告してきた。粘膜傷害は、粘膜固有層内の CTL が粘膜細胞に対しての bystander killing が trigger となり発症する。この粘膜深層の CTL にシグナルを伝達する分子として、粘膜表面の Toll like receptors と被蓋上皮層に存在する human defensins (hBDs), 粘膜上皮層内の dendritic cells (DCs) が知られている。胃粘膜傷害に関わる新たな抗原物質存在の可能性を検討証明すべく、*H. pylori* 陽性・陰性胃粘膜傷害例での TLRs, hBDs, DC と CTL 発現の関係を検討している。特に、TLRs については、ゲノム DNA を作成して DNA 構造異常の有無や、plasmid を作成して 1 ~ 10 までの TLRs のどれが発現してくるかを臨床例で現在解析中である。

Hepatogastroenterology 51(54), 1774 ~ 1779, 2003 .

Int J Mol Med 14(6), 1023 ~ 1027, 2004 .

#### 2) *H. pylori* 除菌療法の排菌以外の効果についての検討

胃疾患と *H. pylori* の関係については未解決の根本的問題が残されている。しかし、治療としての除菌療法が *H. pylori* 陰性の胃以外の MALT や ITP, 慢性蕁麻疹などにも効果をもつことが報告されている。これは排菌というメカニズムだけでは決して説明できない。我々は、除菌の *H. pylori* 陰性 MALT に対する効果の機序に、除菌で使用する抗生物質が腫瘍細胞に対して影響している可能性を考え、臨床例や BALB/c マウス由来の B cell lymphoma cell の培養細胞を使った系でこれを検討し、抗生物質が直接腫瘍細胞にアポトーシスを誘導することを報告した。ITP や慢性蕁麻疹の病態はマクロファージ過剰発現状態にある。我々は抗生物質が前述の腫瘍細胞に対する直接作用と同じく、マクロファージや B cell 系の細胞に何らかの影響を与えている可能性を考え、これらの疾患に対する除菌治療効果の背景を検討中である。

Hepatogastroenterology 50(51), 607 ~ 609, 2003.

Anticancer Res 24(6), 3723 ~ 3730, 2004.

### 3) *Helicobacter pylori* 感染と胃癌発生についての遺伝子学的解析

胃癌と *H. pylori* の関係が注目され、発癌予防に除菌治療が行われてきたが、除菌後に胃癌の発症例が数多く報告され、*H. pylori* と胃癌発生の因果関係は明らかになっていない。遺伝子レベルでこれを解析するため、*H. pylori* 陽性・陰性の胃癌患者の腫瘍細胞を採取して、PCR 法で、1 q, 5 q, 7 q, 17 q, 18 q, 21 q の major な癌遺伝子・抑制遺伝子の存在する領域を全て解析して、染色体構造異常 (LOH, MSI) があるか否かを検討している。また、前癌状態と考えられている *H. pylori* 陽性慢性胃炎についても同様の検討を行って、胃癌発症のプロモーターとしての *H. pylori* の評価について検討している。

### 4) 慢性腎不全透析患者における胃底腺粘膜再生に関わる検討

胃粘膜は加齢とともに胃底腺が退行して粘膜萎縮が起こることが知られ、この変化は不可逆的と考えられてきた。我々は慢性腎不全透析患者に、透析期間に比例して胃底腺が再生してくることを報告した。現在、この粘膜再生に関わる粘膜増殖因子を DNA chip を使った解析で検討中である。

Hepatogastroenterology 51 (57): 679~683, 2004.

### 3. 学外共同研究

担当者	研究課題	学外研究施設		
		研究施設	所在地	責任者
大原 正志	腎不全透析患者の胃粘膜再生の機序	慶応義塾大学医学部総合医科学研究センター (4N9)	大原 正志	鈴木 秀和

## 論 文

1. 森下鉄夫<sup>(1)</sup>, 大原正志, 岸川 浩<sup>(2)</sup>, 中野 雅<sup>(2)</sup>, 西田次郎<sup>(2)</sup>, 鈴木秀和<sup>(3)</sup>, 石井裕正<sup>(3)</sup> : *Helicobacter pylori*感染と自律神経・微小循環調節, *Helicobacter Res* **8**(2), 111 ~ 117, 2004. 総説 (1)市病・内科,(2)市病・消化器科,(3)慶大・医・内科
2. 大原正志, 森下鉄夫<sup>(1)</sup>, 鈴木秀和<sup>(2)</sup>, 正岡建洋<sup>(2)</sup>, 石井裕正<sup>(2)</sup>, 奥田克爾<sup>(3)</sup> : *Helicobacter pylori*感染と消化管粘膜免疫, *Helicobacter Res* **8**(2), 152 ~ 157, 2004. 総説 (1)市病・内科,(2)慶大・医・内科,(3)微生物
3. Ohara,T., Morishita,T.<sup>(1)</sup>, Suzuki,H.<sup>(2)</sup>, Masaoka,T.<sup>(2)</sup>, Hiroshi,N.<sup>(2)</sup>, Hibi,T.<sup>(2)</sup> : Pathophysiological role of human  $\alpha$ -defensin 2 in gastric mucosa, *Int J Mol Med* **14**(6), 1023 ~ 1027, 2004. 原著 (1)市病・内科,(2)慶大・医・内科
4. Ohara,T., Morishita,T.<sup>(1)</sup>, Suzuki,H.<sup>(2)</sup>, Masaoka,T.<sup>(2)</sup>, Ishii,H.<sup>(2)</sup> : Investigation of the pathophysiological role of human  $\alpha$ -defensin in gastric mucosa, *Microcirculation Annual* **20**, 27 ~ 28, 2004. 原著 (1)市病・内科,(2)慶大・医・内科
5. Ohara,T., Morishita,T.<sup>(1)</sup>, Suzuki,H.<sup>(2)</sup>, Masaoka,T.<sup>(2)</sup>, Ishii,H.<sup>(2)</sup> : Antibiotics directly induce apoptosis in B cell lymphoma cells derived from BALB/c mice, *Anticancer Res* **24**(6), 3723 ~ 3730, 2004. 原著 (1)市病・内科,(2)慶大・医・内科
6. 大原正志, 森下鉄夫<sup>(1)</sup> : 粘膜傷害発生の trigger としての CTL によるアポトーシスと潰瘍の多段階的発症機序, *Ulcer Research* **31**(1), 20 ~ 26, 2004. 原著 (1)市病・内科
7. Ohara,T., Suzuki,H.<sup>(1)</sup>, Kanoh,Y.<sup>(2)</sup>, Miriya,R.<sup>(3)</sup>, Okayasu,I.<sup>(4)</sup>, Morishita,T.<sup>(5)</sup> : Hemodialysis reverses gastric mucosal atrophy of patients with chronic renal failure, *Hepatogastroenterology* **51**(57), 679 ~ 683, 2004. 原著 (1)慶大・医・内科,(2)北里大・医・検査医学,(3)北里大・医・腎臓内科,(4)北里大・医・病理,(5)市病・内科
8. Suzuki,H.<sup>(1)</sup>, Masaoka,T.<sup>(1)</sup>, Hosoda,H.<sup>(1)</sup>, Nomura,S.<sup>(1)</sup>, Ohara,T., Kangawa,K.<sup>(2)</sup>, Ishii,H.<sup>(1)</sup>, Hibi,T.<sup>(1)</sup> : Plasma ghrelin concentration correlates with the levels of serum pepsinogen I and pepsinogen I/II ratio - A possible novel and non-invasive marker for gastric atrophy, *Hepatogastroenterology* **51**(59), 1249 ~ 1254, 2004. 原著 (1)慶大・医・内科,(2)国立循環器病センター臨床研究部
9. Ohara,T., Morishita,T.<sup>(1)</sup>, Suzuki,H.<sup>(2)</sup>, Masaoka,t.<sup>(2)</sup>, Ishii,H.<sup>(2)</sup> : Usefulness of proton pump inhibitor(PPI) maintenance therapy for patients with *H.pylori*-negative recurrent peptic ulcer after eradication therapy for *H.pylori*: Pathophysiological characteristics of *H.pylori*-negative recurrent ulcer scars and beyond acid suppression by PPI, *Hepatogastroenterology* **51**, 338 ~ 342, 2004. 原著 (1)市病・内科,(2)慶大・医・内科

## 単行図書

1. Ohara,T., Morishita,T.<sup>(1)</sup>, Suzuki,H.<sup>(2)</sup>, Masaoka,T.<sup>(2)</sup>, Ishii,H.<sup>(2)</sup> : 著分担 :Organ Microcirculation: A gateway to diagnostic and thrapeutic interventions. (a)Role of perforin and granzyme B of cytotoxic T lymphocyte in the onset of peptic ulcer formation. 99 ~ 105 頁, Springer-Verlag, Tokyo, 2004. (1)市病・内科,(2)慶大・医・内科

2. Iwasaki,E.<sup>(1)</sup>, Morishita,T.<sup>(1)</sup>, Sekizuka,E.<sup>(2)</sup>, Osada,T.<sup>(1)</sup>, Kishikawa,H.<sup>(3)</sup>, Nakano,M.<sup>(3)</sup>, Suzuki,H.<sup>(4)</sup>, Ohara,T., Nishida,J.<sup>(3)</sup>, Nagata,H.<sup>(4)</sup>, Ishii,H.<sup>(4)</sup> : 著分担 :Organ Microcirculation: A gateway to diagnostic and therapeutic intervention. (a)Duodenal blood flow in acute portal hypertension. 123 ~ 125 頁, Springer-Verlag, Tokyo, 2004. (1)市病・内科,(2)埼玉医療センター臨床研究部,(3)市病・消化器科,(4)慶大・医・内科
3. Osada,T.<sup>(1)</sup>, Morishita,T.<sup>(1)</sup>, Sekizuka,E.<sup>(2)</sup>, Iwasaki,E.<sup>(1)</sup>, Kishikawa,H.<sup>(3)</sup>, Nakano,M.<sup>(3)</sup>, Ohara,T., Nishida,J.<sup>(3)</sup>, Nagata,H.<sup>(4)</sup>, Ishii,H.<sup>(4)</sup> : 著分担 :Organ Microcirculation: A gateway to diagnostic and therapeutic interventions. (a)Changes of hepatic microcirculation in acute cholestasis. 175 ~ 177 頁, Springer-Verlag, Tokyo, 2004. (1)市病・内科,(2)埼玉医療センター臨床研究部,(3)市病・消化器科,(4)慶大・医・内科

## 学会抄録

1. 大原正志, 森下鉄夫<sup>(1)</sup>, 鈴木秀和<sup>(2)</sup>, 正岡建洋<sup>(2)</sup>, 石井裕正<sup>(2)</sup> : 染色体構造異常からみた *H.pylori* の胃粘膜への影響能の検討, 第 90 回日本消化器病学会総会抄録集, 2004.(第 90 回日本消化器病学会総会, 仙台市) (1)市病・内科,(2)慶大・医・内科
2. 小出希実<sup>(1)</sup>, 森下鉄夫<sup>(1)</sup>, 大原正志, 木村典夫<sup>(2)</sup>, 鈴木秀和<sup>(3)</sup>, 正岡建洋<sup>(3)</sup>, 高山哲郎<sup>(4)</sup>, 西田次郎<sup>(4)</sup>,石井裕正<sup>(3)</sup> : PPI の beyond acid suppression *Helicobacter pylori*除菌後陰性易再発性潰瘍に対するPPI 間歇療法の効果 , 第 13 回千葉ヘリコバクター研究会抄録集, 2004. (第 13 回千葉ヘリコバクター研究会, 千葉市) (1)市病・内科,(2)セコムデック病院消化器内科,(3)慶大・医・内科,(4)市病・消化器科
3. 大原正志, 森下鉄夫<sup>(1)</sup>, 鈴木秀和<sup>(2)</sup> : *H.pylori* 感染の胃粘膜への影響能 染色体構造異常についての解析 , 第 13 回潰瘍病態研究会抄録集シンポジウム 1, 2004.(第 13 回潰瘍病態研究会シンポジウム, 東京) (1)市病・内科,(2)慶大・医・内科
4. 大原正志, 森下鉄夫<sup>(1)</sup> : Lansoprazole 投与による hBD2 の変化と胃疾患における Toll-like receptors の DNA 構造異常の検討, 第 5 回消化器と PPI 研究会抄録集, 2004.(第 5 回消化器と PPI 研究会, 京都市) (1)市病・内科
5. 小出希実<sup>(1)</sup>, 大原正志, 森下鉄夫<sup>(1)</sup>, 宮内潤<sup>(2)</sup> : ポリープ状を呈した左結腸動静脈奇形, 第 282 回日本消化器病学会関東支部例会抄録集, 2004.(第 282 回日本消化器病学会関東支部例会, 宇都宮市) (1)市病・内科,(2)市病・臨検
6. 鈴木秀和<sup>(1)</sup>, 峰岸ゆり子<sup>(2)</sup>, 西本周平<sup>(3)</sup>, 大田孝幸<sup>(1)</sup>, 正岡建洋<sup>(1)</sup>, 西澤俊宏<sup>(1)</sup>, 大原正志, 森下鉄夫<sup>(4)</sup>, 石井裕正<sup>(1)</sup>, 日比紀文<sup>(1)</sup> : *Helicobacter pylori* 感染スナネズミ胃炎の進展と *Sonic Hedgehog* 発現の関係, 第 10 回日本ヘリコバクター学会プログラム抄録集, 53, 2004.(第 10 回日本ヘリコバクター学会, 東京) (1)慶大・医・内科,(2)慶大・総合医科学研究センター,(3)慶大・医・消化器内科,(4)市病・内科
7. 高山哲郎<sup>(1)</sup>, 大原正志, 森下鉄夫<sup>(2)</sup>, 鈴木秀和<sup>(3)</sup>, 正岡建洋<sup>(3)</sup>, 石井裕正<sup>(3)</sup> : 抗生物質の BALB/c マウス由来 B cell lymphoma cell に対する apoptosis 誘導能とその経路についての検討, 第 10 回日本ヘリコバクター学会抄録集, 189, 2004.(第 10 回日本ヘリコバクター学会, 東京) (1)市病・消化器科,(2)市病・内科,(3)慶大・医・内科
8. 中村健太郎<sup>(1)</sup>, 森下鉄夫<sup>(2)</sup>, 大原正志, 関塚永一<sup>(3)</sup>, 平野江里香<sup>(1)</sup>, 岸川 浩<sup>(1)</sup>, 中野 雅<sup>(1)</sup>, 西田次郎<sup>(1)</sup>, 永田博司<sup>(4)</sup>, 石井裕正<sup>(4)</sup> : 胆道内圧上昇にともなう門脈・肝類洞血流変化, 第 24 回日本静脈学会総会抄録集, 2004.(第 24 回日本静脈学会総会, 三重市) (1)市病・消化器科,(2)市病・内科,(3)埼玉医療センター臨床研究部,(4)慶大・医・内科

9. 大原正志, 森下鉄夫<sup>(1)</sup>, 橋本 洋<sup>(2)</sup>, 秋本真寿美<sup>(2)</sup>, 木村典夫<sup>(3)</sup>, 鈴木秀和<sup>(4)</sup>, 正岡建洋<sup>(4)</sup>, 西澤俊宏<sup>(4)</sup>, 日比紀文<sup>(4)</sup> : *H.pylori* 感染の胃粘膜への影響能, 第 32 回日本実験潰瘍学会抄録集, 2004.(第 32 回日本実験潰瘍学会, 大津市) (1)市病・内科,(2)JR 総合病院成人科,(3)セコムデック病院消化器内科,(4)慶大・医・内科
10. 大原正志, 森下鉄夫<sup>(1)</sup>, 鈴木秀和<sup>(2)</sup>, 橋本 洋<sup>(3)</sup>, 秋本真寿美<sup>(3)</sup>, 木村典夫<sup>(4)</sup>, 正岡建洋<sup>(2)</sup>, 西澤俊宏<sup>(2)</sup>, 日比紀文<sup>(2)</sup> : 粘膜炎症の分子マーカーとしての hBD2 の可能性と胃粘膜難治化と Toll-like receptors(TLRs)の変異に関する検討, 第 1 回日本消化管学会抄録集, 55, 2005.(第 1 回日本消化管学会, 名古屋市) (1)市病・内科,(2)慶大・医・内科,(3)JR 総合病院成人科,(4)セコムデック病院消化器内科
11. 大原正志, 森下鉄夫<sup>(1)</sup>, 鈴木秀和<sup>(2)</sup>, 橋本 洋<sup>(3)</sup>, 秋本真寿美<sup>(3)</sup>, 正岡建洋<sup>(2)</sup>, 日比紀文<sup>(2)</sup> : 炎症性胃疾患の発症と TLRs の DNA 変異の関係, 第 30 回日本微小循環学会抄録集, 44, 2005.(第 30 回日本微小循環学会, 東京) (1)市病・内科,(2)慶大・医・内科,(3)JR 総合病院成人科
12. Takayama,T.<sup>(1)</sup>, Morishita,T.<sup>(2)</sup>, Ohara,T., Iwasaki,E.<sup>(2)</sup>, Kishikawa,H.<sup>(1)</sup>, Nakano,M.<sup>(1)</sup>, Suzuki,H.<sup>(3)</sup>, Nishida,J.<sup>(1)</sup>, Sekizuka,E.<sup>(4)</sup>, Nagata,H.<sup>(3)</sup>, Hibi,T.<sup>(3)</sup> : Effect of green tea catechins on the gastric microcirculation, The 6th Asian Congress for Microcirculation Meeting Abstracts, 155, 2005.(The 6th Asian Congress for Microcirculation, Tokyo) (1)市病・消化器科,(2)市病・内科,(3)慶大・医・内科,(4)埼玉医療センター臨床研究部